



2023 年度

シラバス SYLLABUS

帝京学園短期大学

はじめに

本学が授業の内容や方法の改善を目指す自己点検・自己評価の一環として、シラバスの作成を始めたのは、平成5年度のことである。

教職員には、授業に関する学生の評価や意見を取り入れるための資料とし、学生には、講義内容の理解を深められるよう配布している。さらに他大学をはじめ、学外の関係諸機関にも広く配布し、その批正を仰いでいる。

また、現代の保育に必要な内容が講義の中に反映させられるよう、学生の教育・保育実習終了後にアンケートを実施している。それとともに授業についてのアンケートも半期毎実施し、それらの集計結果をもとに、年2回シラバス検討委員会を開催している。

さらに平成22年度より、各教科についての学習成果をシラバスに記載し、学生一人ひとりに履修カルテを作成して、各実習の事前事後指導で活用している。

平成26年度は、本学全体の学習の成果と各教科におけるシラバスとの関連性を図るとともに、さらに卒業認定・学位授与の方針(ディプロマポリシー)との関連性や授業前後の学生の学修向上を図る課題も盛り込みながら、よりよい保育者の育成に努めていくこととする。

今後多くの意見を取り入れ、一層わかりやすく、利用しやすいシラバスを作成し、教育の充実に努めたいと考えている。

大方のご叱正を賜りたい。

2023年4月1日

帝京学園短期大学

学長 沖 永 莊 八

目 次

はじめに	1
目次	3
I 履修案内	5
1. 授業科目の区分	5
2. 単位制	5
3. 卒業の要件	5
4. 科目ナンバリング（授業科目番号）	6
5. 実務経験のある教員等による授業科目及び単位数一覧	6
II 履修科目一覧	7
1. 卒業要件	7
2. 幼稚園教諭2種免許	9
3. 保育士資格	10
III 各ポリシーとの関連性	12
IV シラバス	13
教養科目	
LA101B1 英会話	マフリー 15
LA102A1 体育理論	井上 18
LA103C1 体育実技（ニュースポーツ）	井上 20
LA103C1 体育実技（ストリートダンス）	松野 22
LA103C1 体育実技（ヨガ）	上矢 24
LA104A1 日本国憲法	星田 26
LA105A2 自然観察	五味 28
LA106B1 情報機器演習（情報リテラシー含む）	義見 30
LA107A2 児童館・放課後児童クラブの機能と運営	相河 33
LA108A2 児童館・放課後児童クラブの活動内容と指導法 I	河西 35
LA109A2 キャリア教育	井上 37
LA110A2 アカデミックスキルズ	清水健 39
LA111A2 山梨学	清水健 41
LA112A2 日本語表現	三石 43
LA113A2 基礎音楽	田川 45
専門科目（基礎）	
BO201A2 保育原理 I	清水健 47
BO202A1 教育学概論	橘田 49
NT203A2 子ども家庭福祉	長坂 51
BO204A2 社会福祉	米山 53
NT205A2 子ども家庭支援論	吉田 55
NT206A2 社会的養護 I	長坂 57
BO207A1 保育者論	橘田 59

BO208A1	発達心理学 I	清水一	61
NT209A2	子ども家庭支援の心理学	清水一	63
BO210B1	子どもの理解と援助	清水一	65
NT211A2	子どもの保健	井上	67
NT212B2	子どもの食と栄養	日野原	69
BO213A2	保育原理 II	橘田	71
NT214A2	発達心理学 II	清水一	73
BO215A2	教育の方法と技術	橘田	75
BO216A2	教育相談	清水一	77

専門科目 (内容・方法)

BO301A1	教育課程・保育の計画と評価	清水健	79
BO302B1	保育内容総論	三井	81
BO303B1	保育内容演習 (環境)	吉田	83
BO304B1	保育内容演習 (健康)	井上	85
BO305B1	保育内容演習 (言葉)	三石	87
BO306B1	保育内容演習 (人間関係)	星田	89
BO307B2	保育内容演習 (表現 I)	田川	91
BO308B2	保育内容演習 (表現 II)	三井	93
BO309B1	子どもと環境	吉田	95
BO310B1	子どもと健康	井上	97
BO311B1	子どもと言葉	三石	99
BO312B1	子どもと人間関係	星田	101
BO313B1	子どもと表現	田川・三井	103
NT314A2	乳児保育 I	メレディース	105
NT315B2	乳児保育 II	嘉糠	107
NT316B2	子どもの健康と安全	嘉糠	109
BO317B1	特別支援教育論	清水健	111
NT318B2	社会的養護 II	星田	113
NT319B2	子育て支援	吉田	115
NT320B2	美術表現	三井	117
BO321B1	保育技術研究 I	三井	119
BO321B1	保育技術研究 I	吉田	122
BO321B1	保育技術研究 I	清水健	125
BO321B1	保育技術研究 I	田川	128
BO321B1	保育技術研究 I	小林	131
NT322B2	保育技術研究 II	三井	134
NT322B2	保育技術研究 II	吉田	137
NT322B2	保育技術研究 II	清水健	140
NT322B2	保育技術研究 II	田川	143
NT322B2	保育技術研究 II	小林	146
NT323B2	基礎技能 (器楽) I	田川・関口・青木・藤巻	149
NT324B2	基礎技能 (器楽) II	田川・関口・青木・藤巻	151
NT325B2	基礎技能 (器楽) III	田川・関口・青木	153
NT326B2	基礎技能 (器楽) IV	田川・関口・青木	155
OT327B2	子育て支援実践演習		157

専門科目 (実習・他)

NT401D2	保育実習Ⅰ (保育所)	井上・橘田 他	159
NT403B2	保育実習指導Ⅰ (保育所)	井上・橘田	161
NT402D2	保育実習Ⅰ (施設)	清水健・橘田 他	163
NT404B2	保育実習指導Ⅰ (施設)	清水健・橘田	165
NT405D2	保育実習Ⅱ (保育所)	吉田・橘田 他	167
NT406B2	保育実習指導Ⅱ (保育所)	吉田・橘田	169
NT407D2	保育実習Ⅲ (児童館)	三井・橘田 他	171
NT408B2	保育実習指導Ⅲ (児童館)	三井・橘田	173
KT409D2	教育実習 (幼稚園)	清水健・橘田 他	175
KT410B2	教育実習指導 (幼稚園)	清水健・橘田	177
BO411B2	保育・教職実践演習 (幼稚園)	清水健・橘田	179

I 履修案内

1. 授業科目の区分

本学の授業科目は、以下のように区分される。

(1) 教養科目、専門教育科目等

- ① 教養科目
- ② 保健体育科目
- ③ 専門教育科目

(2) 必修、選択必修、選択

- ① 必修科目・・・・・・・・必ず履修しなければならない科目
- ② 選択必修科目・・・・・・・・指定された科目の中から、指定された単位数以上を必ず履修しなくてはならない科目
- ③ 選択科目・・・・・・・・自由に選択して履修できる科目

2. 単位制

授業科目には単位数が定められている。

単位とは学修に要する時間を表す基準で、1単位は、大学における15時間の講義に加えて30時間の予習・復習からなる自己学習が伴った45時間の学習を行った上で、さらに当該授業科目の行うべき授業回数の3分の2以上出席し、試験その他の方法により成績評価が合格と判定されることで得られるものである。

授業科目の単位数は、1単位を45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準としているが、単位を計算する上での1時間は45分とし、授業時間割上の1時限（1コマ）は2時間（90分）としている。

本学の授業科目の単位数は、授業形態により、原則として次の基準による。

- ① 講義・・・・・・・・15時間から30時間の授業をもって1単位とする。
- ② 演習・・・・・・・・15時間から30時間の授業をもって1単位とする。
- ③ 実習及び実技・・・・30時間から45時間の授業をもって1単位とする。

3. 卒業の要件

本学を卒業するためには、2年以上在学し、

- ① 教養科目（必修科目）・・・・・・・・ 6単位
- ② 保健体育科目（必修科目）・・・・・・・ 2単位
- ③ 専門教育科目（必修科目）・・・・・・・ 23単位

以上の必修科目を含め62単位以上を修得しなければならない。

4. 科目ナンバリング（授業科目番号）

科目ナンバリングとは、本学で開講されているすべての授業科目に適切な番号を付し、分類をすることで、学修の段階、順序等を表し、教育課程の体系的な編成を行うための制度である。

本学の科目ナンバリングの内訳は、下記の例で示す。

例 日本国憲法 LA104A1

内訳 LA 104 A 1

① ② ③ ④

①の分類

教養科目	LA
保育士養成課程科目	NT
幼稚園教諭課程科目	KT
両養成課程科目	BO
その他	OT

②の分類

教養科目	100 番台
専門科目（基礎）	200 番台
専門科目（内容・方法）	300 番台
専門科目（実習・他）	400 番台

③の分類

講義科目	A
演習科目	B
実技科目	C
実習科目	D

④の分類

必修科目	1
選択科目	2

5. 実務経験のある教員等による授業科目及び単位数一覧

科目名	単位	教員名	実務経験
自然観察	2	五味 愛美	インタープリター（自然ガイド）
児童館・放課後児童クラブの機能と運営	2	相河 竜治	児童センター センター長
乳児保育Ⅰ	2	ルデ イース貴子	看護師
乳児保育Ⅱ	1	嘉糠 恵美子	看護師
子どもの健康と安全	1		
保育実習Ⅰ（保育所）	2	保育士	各保育園の保育士
保育実習Ⅰ（施設）	2	施設職員	各施設の職員
保育実習Ⅱ（保育所）	2	保育士	各保育園の保育士
保育実習Ⅲ（児童館）	2	児童館職員	各児童館の職員
教育実習（幼稚園）	2	幼稚園教諭	各幼稚園の幼稚園教諭
計	18		

Ⅱ 履修科目一覧

1. 卒業要件

科目区分	教科科目	授業形態	開設単位数		履修	単位取得
			必修	選択		
教養科目	日本国憲法	講義	2			
	自然観察	講義実習		2		
	情報機器演習（情報リテラシー含む）	演習	2			
	英会話	演習	2			
	キャリア教育	講義		1		
	アカデミックスキルズ	講義		1		
	山梨学	講義		1		
	日本語表現	講義		2		
	基礎音楽	講義		2		
	児童館・放課後児童クラブの機能と運営	講義		2		
児童館・放課後児童クラブの活動内容と指導法Ⅰ	講義		2			
保健体育科目	体育理論	講義	1			
	体育実技	実技	1			
小 計			8	13		
専門教育科目	教育学概論	講義	2			
	保育原理Ⅰ	講義		2		
	保育原理Ⅱ	講義		2		
	社会的養護Ⅰ	講義		2		
	社会的養護Ⅱ	演習		1		
	子ども家庭福祉	講義		2		
	特別支援教育論	演習	2			
	社会福祉	講義		2		
	子ども家庭支援論	講義		2		
	保育内容総論	演習	1			
	保育内容演習（健康）	演習	1			
	保育内容演習（人間関係）	演習	1			
	保育内容演習（環境）	演習	1			
	保育内容演習（言葉）	演習	1			
	保育内容演習（表現Ⅰ）	演習		1		
	保育内容演習（表現Ⅱ）	演習		1		
	子どもと健康	演習	1			
	子どもと人間関係	演習	1			
子どもと環境	演習	1				

子どもと言葉	演習	1			
子どもと表現	演習	1			
保育技術研究Ⅰ	演習	2			
保育技術研究Ⅱ	演習		2		
美術表現	演習		1		
乳児保育Ⅰ	講義		2		
乳児保育Ⅱ	演習		1		
子どもの理解と援助	演習	1			
発達心理学Ⅰ	講義	2			
発達心理学Ⅱ	講義		1		
子ども家庭支援の心理学	講義		2		
子どもの食と栄養	演習		2		
子どもの保健	講義		2		
子どもの健康と安全	演習		1		
教育の方法と技術	講義		2		
教育課程・保育の計画と評価	講義	2			
保育者論	講義	2			
教育相談	講義		2		
子育て支援	演習		1		
教育実習指導（幼稚園）	演習		1		
教育実習（幼稚園）	実習		4		
保育・教職実践演習（幼稚園）	演習		2		
保育実習Ⅰ（保育所）	実習		2		
保育実習Ⅰ（施設）	実習		2		
保育実習Ⅱ（保育所）	実習		2		
保育実習Ⅲ（児童館）	実習		2		
保育実習指導Ⅰ（保育所）	演習		1		
保育実習指導Ⅰ（施設）	演習		1		
保育実習指導Ⅱ（保育所）	演習		1		
保育実習指導Ⅲ（児童館）	演習		1		
子育て支援実践演習	演習		1		
基礎技能（器楽）Ⅰ	演習		1		
基礎技能（器楽）Ⅱ	演習		1		
基礎技能（器楽）Ⅲ	演習		1		
基礎技能（器楽）Ⅳ	演習		1		
専門教育科目小計		23	58		
合 計		31	71		

2. 幼稚園教諭2種免許

教育職員免許法施行規則		教科科目	授業形態	開設単位数		卒業必修	履修	単位取得
				必修	選択			
第66条の6に定める科目	日本国憲法	日本国憲法	講義	2		●		
	情報機器の操作	情報機器演習（情報リテラシー含む）	演習	2		●		
	外国語コミュニケーション	英会話	演習	2		●		
	体育	体育理論	講義	1		●		
体育実技		実技	1		●			
小計				8				
領域及び保育内容の指導法に関する科目	領域に関する専門的事項	健康	子どもと健康	演習	1		●	
		人間関係	子どもと人間関係	演習	1		●	
		環境	子どもと環境	演習	1		●	
		言葉	子どもと言葉	演習	1		●	
		表現	子どもと表現	演習	1		●	
	保育内容の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）	保育内容演習（健康）	演習	1		●		
		保育内容演習（人間関係）	演習	1		●		
		保育内容演習（環境）	演習	1		●		
		保育内容演習（言葉）	演習	1		●		
		保育内容演習（表現Ⅰ）	演習	1				
	保育内容演習（表現Ⅱ）	演習	1					
	保育内容総論	演習	1		●			
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育学概論	講義	2		●		
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）							
	教職の意義及び教員の役割、職務内容（チーム学校への対応を含む。）	保育者論	講義	2		●		
	幼児・児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	発達心理学Ⅰ	講義	2		●		
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育論	演習	2		●		
	教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）	教育課程・保育の計画と評価	講義	2		●		
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）	教育の方法と技術	講義	2				
	幼児理解の理論及び方法	子どもの理解と援助	演習	1		●		
	教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法	教育相談	講義	2				
教育実践に関する科目	教育実習（学校インターンシップ（学校体験活動）を2単位まで含むことができる。）（5単位）	教育実習指導（幼稚園）	演習	1				
		教育実習（幼稚園）	実習	4				
	教職実践演習（2単位）	保育・教職実践演習（幼稚園）	演習	2				
大学が独自に設定する科目	大学が独自に設定する科目	保育原理Ⅰ	講義		2			
		保育原理Ⅱ	講義		2			
		社会福祉	講義		2			
		保育技術研究Ⅰ	演習	2		●		
小計				36	6			
合計				44	6			

3. 保育士資格

保育士養成課程 による系列		教科科目	授業形態	開設単位数			卒業必 修	履修	単位取 得
				必修	選択必修	選択			
教養科目	外国語、体 育以外の科 目	日本国憲法	講義		2		●		
		自然観察	講義実習		2				
		情報機器演習 (情報リテラシー含む)	演習		2		●		
		キャリア教育	講義			1			
		アカデミックスキルズ	講義			1			
		山梨学	講義			1			
		児童館・放課後児童クラブの機能 と運営	講義			2			
		児童館・放課後児童クラブの活動内 容と指導法 I	講義			2			
		日本語表現	講義			2			
		基礎音楽	講義			2			
	外国語	英会話	演習		2		●		
	体育	体育理論	講義	1			●		
		体育実技	実技	1			●		
小 計				2	8	11			
保育の本質・目 的に関する科目	保育原理 I	講義	2						
	教育学概論	講義	2			●			
	子ども家庭福祉	講義	2						
	社会福祉	講義	2						
	子ども家庭支援論	講義	2						
	社会的養護 I	講義	2						
	保育者論	講義	2			●			
	保育原理 II	講義		2		※1			
保育の対象の理 解に関する科目	発達心理学 I	講義	2			●			
	子ども家庭支援の心理学	講義	2						
	子どもの理解と援助	演習	1			●			
	子どもの保健	講義	2						
	子どもの食と栄養	演習	2						
	発達心理学 II	講義		1		※1			
保育の内容・方 法に関する科目	教育課程・保育の計画と評価	講義	2			●			
	保育内容総論	演習	1			●			
	保育内容演習 (健康)	演習	1			●			
	保育内容演習 (人間関係)	演習	1			●			
	保育内容演習 (環境)	演習	1			●			
	保育内容演習 (言葉)	演習	1			●			

	保育内容演習（表現Ⅰ）	演習		1		※4		
	保育内容演習（表現Ⅱ）	演習		1		※4		
	子どもと健康	演習	1			●		
	子どもと人間関係	演習	1			●		
	子どもと環境	演習	1			●		
	子どもと言葉	演習	1			●		
	子どもと表現	演習	1			●		
	乳児保育Ⅰ	講義	2					
	乳児保育Ⅱ	演習	1					
	子どもの健康と安全	演習	1					
	特別支援教育論	演習	2			●		
	社会的養護Ⅱ	演習	1					
	子育て支援	演習	1					
	美術表現	演習		1		※1		
	保育技術研究Ⅰ	演習		2		●※1		
	保育技術研究Ⅱ	演習		2		※1		
	基礎技能（器楽）Ⅰ	演習		1		※1		
	基礎技能（器楽）Ⅱ	演習		1		※1		
	基礎技能（器楽）Ⅲ	演習		1		※1		
	基礎技能（器楽）Ⅳ	演習		1		※1		
	教育の方法と技術	講義		2		※1		
	教育相談	講義		2		※1		
保育実習	保育実習Ⅰ（保育所）	実習	2					
	保育実習Ⅰ（施設）	実習	2					
	保育実習指導Ⅰ（保育所）	演習	1					
	保育実習指導Ⅰ（施設）	演習	1					
	保育実習Ⅱ（保育所）	実習		2		※2		
	保育実習指導Ⅱ（保育所）	演習		1		※2		
	保育実習Ⅲ（児童館）	実習		2		※3		
	保育実習指導Ⅲ（児童館）	演習		1		※3		
総合演習	保育・教職実践演習（幼稚園）	演習	2					
保育士資格得科目ではないが、学校独自の科目として開設されている教科目	教育実習指導（幼稚園）	演習			1			
	教育実習（幼稚園）	実習			4			
	子育て支援実践演習	演習			1			
専門教育科目小計			51	24	6			
合 計			53	32	17			

1. 教養科目の必修科目 2 単位と選択必修科目から 6 単位以上、計 8 単位以上取得のこと。
2. ※1 の選択必修科目から 6 単位以上取得のこと。
3. ※2 又は※3 のどちらか一方の科目を 3 単位取得のこと。
4. ※4 のどちらか一方の科目を 1 単位取得のこと。

Ⅲ 各ポリシーとの関連性

帝京学園短期大学 各ポリシーとの関連性：建学の精神と三つの教育方針、履修カルテ・ポートフォリオ

「学士課程教育の構築に向けて」 (審議のまとめ)	建学の精神 (教育目標/キーワード)	学位授与の方針	教育課程編成・実施の方針	入学者受入方針	ルーブリック評価 カルテ・ポートフォリオ (学習成果の観点)
<p>1. 知識・技能・理解 専攻する特定の学問分野における基本的な知識を体系的に理解するとともに、その知識体系の意味と自己の存在を歴史・社会・自然と関連づけて理解する。 (1)多文化・異文化に関する知識の理解 (2)人類の文化、社会と自然に関する知識の理解</p>	<p>幅広い知識を身につけ、国際的視野に立って判断ができ【(1)社会人として必要な教養と広い視野、(2)幼児教育に関する専門的知識、技能を修得した人材を育成】</p>	<p>(2) 幼児教育に関する専門的知識と保育技能を積極的に身につけ、学んだことを工夫して組み合わせ、自ら計画を立て、創造性溢れる発表ができること</p>	<p>(2) 少人数教育による専門科目の履修と個人の習熟度に応じた保育技術の向上を図る教育課程であること (ルーブリック評価の活用)</p>	<p>(1) 保育の分野に関心のあるもの</p>	<p>1. 知識 教養教育 幼児教育・保育について子ども・利用者についての理解</p>
<p>2. 汎用的技能 知的活動でも職業生活や社会生活でも必要な技能 (1)コミュニケーション・スキル (2)数量的スキル (3)情報リテラシー (4)論理的思考力 (5)問題解決力</p>	<p>実学を通して創造力および人間味豊かな専門性のある人材の養成を目的とする 【(1)社会人として必要な教養と広い視野を身につけた人材、(2)幼児教育に関する専門的知識、技能を修得】</p>	<p>(1) 責任ある社会人として他者に配慮し、豊かな人間性と教養、マナーを身につけていること</p>	<p>(1) 豊かな自然環境を活かし、社会人基礎力(ジェネリック・スキル)を修得できる教育課程であること</p>	<p>(2) 保育の専門職として必要な知識や技術を学ぼうとするもの</p>	<p>1. 技能 保育・教育の指導に関する基礎的な知識</p>
<p>3. 態度・志向性 (1)自己管理能力 (2)チームワーク、リーダーシップ (3)倫理性 (4)市民としての社会的責任 (5)生涯学習力</p>	<p>努力をすべての基とし、偏見を排し 【(1)責任ある社会人、(3)他者に配慮、(2)自ら積極的に、(3)協働して地域社会に貢献できる人材を育成】</p>	<p>(3) 保育の課題を積極的に協働して解決しようとする意欲をもっていること。学んだことを工夫して組み合わせ、創造性溢れる発表ができる</p>	<p>(3) 地域の乳幼児や保護者と交流を深め、体験(ボランティア活動など)から学べる教育課程であること</p>	<p>(3) 向上心のある者</p>	<p>2. ジェネリック・スキル 態度・社会人基礎力</p>
<p>4. 統合的な学習経験と創造的思考力 これまでに獲得した知識・技能・態度等を総合的に活用し、自らが立てた新たな課題にそれらを適用し、その課題を解決する能力</p>	<p>実学を通して創造力および人間味豊かな専門性のある人材の養成を目的とする 【(3)持続可能な社会に向け、(3)地域社会に貢献できる、(2)豊かな表現、(1)社会の変化に対応する人材】</p>	<p>(3) 保育の課題を積極的に協働して解決しようとする意欲をもっていること。学んだことを工夫して組み合わせ、創造性溢れる発表ができる</p>	<p>(3) 地域の乳幼児や保護者と交流を深め、体験(ボランティア活動など)から学べる教育課程であること</p>	<p>(3) 向上心のある者</p>	<p>3. 実践力 課題探求、実習、ボランティア活動</p>

IV シラバス

科目区分	教養科目	科目分類	教養科目	科目番号	LA101B1		
授業科目	英会話			担当教員	マフリー パトリック		
履修年次	開講時期	単位数	時間	授業形態	卒業要件	幼2種免	保育士
2年	通年	2	60	演習	必修	必修	選択必修
(授業の目的) 保育者として就労した際に想定される、園生活における日常的な英会話の習得を目指す。							
(授業の概要) 生活会話の宝庫である保育園の生活、なかでも年間行事と子どもの遊びに焦点をあて、保育の現場にも確実に押し寄せてきている国際化の波を実践的に理解させる。またナーサリータイムを中心とした英語の手遊びを数多く紹介し、日本のわらべ歌との相違を比較検討する。							
(授業の到達目標) ・保育者としてマスターしておきたい基礎的な英会話の習得 ・異文化への理解							
(卒業認定・学位授与の方針との関連)							
ディプロマ・ポリシー				卒業認定・学位授与			
(1) 社会人として必要な教養とマナーを身につけていること。				○			
(2) 幼児教育に関する専門的知識と保育技術を身につけていること。							
(3) 保育の課題を積極的に探究していこうとする意欲を持っていること。							
(学習成果との関連)							
(1) 知識 50%		(2) 技能 30%		計100%			
(3) 態度 10%		(4) 実践力 10%					
【評価方法】 授業内課題:40% 授業への取組み:20% 定期試験:40% 計100%							
【自己学習(予習・復習等)】 「授業計画」参照(合計30時間分)							
【課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法】 課題は、添削のうえ返却する。試験は、解答を公表する。							
【使用テキスト】 赤松直子・久富陽子『保育の英会話』萌文書林							
【参考図書】 百々祐利子監修・訳『マザーグースとあそぶ本』ラボ教育センター							
【学生へのメッセージ】 授業内で、英語圏の子どもたちの手遊びやわらべ歌、行事等を紹介します。 高校時代に英語が好きだった学生もそうでなかった学生も、英語にさらに興味を持ってもらえるような授業を心がけます。							

授 業 計 画

回	授 業 概 要	
1	予習	分からない単語と文法を探して理解してみます。
	学習内容	自己紹介とイスター
	復習	各毎回、授業の復習を行うこと。
2	予習	工作の道具を用意します。
	学習内容	保育の英会話への第一歩 簡単な質問と答え・保育園で働く人々
	復習	各毎回、授業の復習を行うこと。
3	予習	分からない単語と文法を探して理解してみます。
	学習内容	みなと保育園によこそ① 外国人の子どもの入園・あいさつ
	復習	各毎回、授業の復習を行うこと。
4	予習	分からない単語と文法を探して理解してみます。
	学習内容	みなと保育園によこそ② デイヴィーの家族紹介・保育室
	復習	各毎回、授業の復習を行うこと。
5	予習	分からない単語と文法を探して理解してみます。
	学習内容	子どもに人気の英語のうたとゲーム①
	復習	各毎回、授業の復習を行うこと。
6	予習	分からない単語と文法を探して理解してみます。
	学習内容	子どもに人気の英語のうたとゲーム②
	復習	各毎回、授業の復習を行うこと。
7	予習	外側げ着る服
	学習内容	子どもに人気の英語のうたとゲーム③
	復習	各毎回、授業の復習を行うこと。
8	予習	分からない単語と文法を探して理解してみます。
	学習内容	地図と道案内 道順・案内
	復習	各毎回、授業の復習を行うこと。
9	予習	分からない単語と文法を探して理解してみます。
	学習内容	クラスメイトとの出会い① 紹介・子どもの遊び
	復習	各毎回、授業の復習を行うこと。
10	予習	分からない単語と文法を探して理解してみます。
	学習内容	クラスメイトとの出会い② 園庭の遊具
	復習	各毎回、授業の復習を行うこと。
11	予習	工作の道具を用意します。
	学習内容	子どもと文化
	復習	各毎回、授業の復習を行うこと。
12	予習	分からない単語と文法を探して理解してみます。
	学習内容	形容詞と気分
	復習	各毎回、授業の復習を行うこと。
13	予習	分からない単語と文法を探して理解してみます。
	学習内容	英語の表現のポスター①
	復習	各毎回、授業の復習を行うこと。
14	予習	分からない単語と文法を探して理解してみます。
	学習内容	英語の表現のポスター②
	復習	各毎回、授業の復習を行うこと。
15	予習	工作の道具を用意します。
	学習内容	英語の表現のポスター③
	復習	各毎回、授業の復習を行うこと。

授 業 計 画

回	授 業 概 要	
16	予習	工作の道具を用意します。
	学習内容	ハロウィン
	復習	各毎回、授業の復習を行うこと。
17	予習	分からない単語と文法を探して理解してみます。
	学習内容	排泄に関する会話① 排泄
	復習	各毎回、授業の復習を行うこと。
18	予習	分からない単語と文法を探して理解してみます。
	学習内容	排泄に関する会話② 連絡帳・英文でのコミュニケーション
	復習	各毎回、授業の復習を行うこと。
19	予習	分からない単語と文法を探して理解してみます。
	学習内容	英語を学びながら調理(実習)
	復習	各毎回、授業の復習を行うこと。
20	予習	分からない単語と文法を探して理解してみます。
	学習内容	けんか けんか・文房具・体の部位・命令文
	復習	各毎回、授業の復習を行うこと。
21	予習	分からない単語と文法を探して理解してみます。
	学習内容	けがと病気 けがと病気・症状・医療機関・応急処置
	復習	各毎回、授業の復習を行うこと。
22	予習	工作の道具を用意します。
	学習内容	クリスマス
	復習	各毎回、授業の復習を行うこと。
23	予習	分からない単語と文法を探して理解してみます。
	学習内容	電話での対応① 電話での対応・園行事への招待
	復習	各毎回、授業の復習を行うこと。
24	予習	分からない単語と文法を探して理解してみます。
	学習内容	電話での対応② メッセージを書く・リスニング
	復習	各毎回、授業の復習を行うこと。
25	予習	分からない単語と文法を探して理解してみます。
	学習内容	遠足① 遠足・交通機関
	復習	各毎回、授業の復習を行うこと。
26	予習	分からない単語と文法を探して理解してみます。
	学習内容	遠足② IF構文・園からのお知らせ
	復習	各毎回、授業の復習を行うこと。
27	予習	分からない単語と文法を探して理解してみます。
	学習内容	赤ちゃんのケア① 赤ちゃんへの言葉かけ・育児用品
	復習	各毎回、授業の復習を行うこと。
28	予習	分からない単語と文法を探して理解してみます。
	学習内容	赤ちゃんのケア② 赤ちゃんの成長・発達
	復習	各毎回、授業の復習を行うこと。
29	予習	分からない単語と文法を探して理解してみます。
	学習内容	卒園① 卒園・祝福
	復習	各毎回、授業の復習を行うこと。
30	予習	発表を用意します
	学習内容	卒園② 感謝・記念日まとめ 活動発表
	復習	各毎回、授業の復習を行うこと。

科目区分	教養科目	科目分類	教養科目	科目番号	LA102A1		
授業科目	体育理論			担当教員	井上 聖子		
履修年次	開講時期	単位数	時間	授業形態	卒業要件	幼2種免	保育士
2年	前期	1	15	講義	必修	必修	必修
(授業の目的) 運動発現にかかわる生理学的な知識を把握してもらうことを目的とする。またそのことにより、自己の健康・体力に関心を持ち、日頃から身体活動量を増やす心がけや運動に親しむ姿勢、能力を育てることも目的とする。							
(授業の概要) 運動不足が心身の健康に弊害をもたらし、生活習慣病の一つの要因になっていることは、周知の通りである。そのため人々は、運動への関心を高めており、教育現場でも生涯体育が重要視されている。本講義では、生体が運動によって受ける機能的、形態的な影響、トレーニング効果、身体活動について、生理学的な観点から学び、自己の健康・体力に対する認識を深めてもらうよう講義を進めていく。							
(授業の到達目標) ・身体機能の素晴らしさを認識する ・自己の健康に関心を持つ ・日頃から身体活動を行おうという意識を持つ							
(卒業認定・学位授与の方針との関連)							
ディプロマ・ポリシー				卒業認定・学位授与			
(1) 社会人として必要な教養とマナーを身につけていること。				○			
(2) 幼児教育に関する専門的知識と保育技術を身につけていること。							
(3) 保育の課題を積極的に探究していこうとする意欲を持っていること。							
(学習成果との関連)							
(1) 知識 30 %		(2) 技能 20 %		計100%			
(3) 態度 30%		(4) 実践力 20 %					
【評価方法】 課題レポート: 20% 定期試験: 80% 計100%							
【自己学習(予習・復習等)】 「授業計画」参照(合計30時間分)							
【課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法】 課題は、添削のうえ返却する。試験は、解答を公表する。							
【使用テキスト】 配布資料をもとに授業を進めていく。							
【参考図書】 石川利寛『健康・体力のための運動生理学』杏林書院							
【学生へのメッセージ】 生理学的なことを学びますが、難しい内容ではありませんので、自己の健康・体力についての認識を深めて下さい。授業で配布するプリントを中心に講義を進めていきます。							

授 業 計 画

回	授 業 概 要	
1	予習	事前に資料を配布するので、その単元について調べてくること
	学習内容	からだの構造とはたらき (1)からだの構成 (2)からだの構造とはたらき
	復習	授業内容をまとめ、理解した点、理解できなかった点を明らかにし、学びを深めること
2	予習	事前に資料を配布するので、その単元について調べてくること
	学習内容	運動と筋の生理① (1)筋の種類と構造 (2)骨格筋の分類と構造
	復習	授業内容をまとめ、理解した点、理解できなかった点を明らかにし、学びを深めること
3	予習	事前に資料を配布するので、その単元について調べてくること
	学習内容	運動と筋の生理② (3)筋収縮の機構とエネルギー
	復習	授業内容をまとめ、理解した点、理解できなかった点を明らかにし、学びを深めること
4	予習	事前に資料を配布するので、その単元について調べてくること
	学習内容	運動と筋の生理③ (4)骨格筋の損傷と適応 (5)ウォーミングアップとクールダウン
	復習	授業内容をまとめ、理解した点、理解できなかった点を明らかにし、学びを深めること
5	予習	事前に資料を配布するので、その単元について調べてくること
	学習内容	運動と神経 (1)神経とは (2)運動と中枢神経 (3)運動と末梢神経
	復習	授業内容をまとめ、理解した点、理解できなかった点を明らかにし、学びを深めること
6	予習	事前に資料を配布するので、その単元について調べてくること
	学習内容	運動と循環の生理① (1)運動と心拍数 (2)運動と心拍出量
	復習	授業内容をまとめ、理解した点、理解できなかった点を明らかにし、学びを深めること
7	予習	事前に資料を配布するので、その単元について調べてくること
	学習内容	運動と循環の生理② (3)トレーニングと呼吸循環機能 (4)運動と血圧
	復習	授業内容をまとめ、理解した点、理解できなかった点を明らかにし、学びを深めること
8	予習	事前に資料を配布するので、その単元について調べてくること
	学習内容	運動と健康
	復習	授業内容をまとめ、理解した点、理解できなかった点を明らかにし、学びを深めること

科目区分	教養科目	科目分類	教養科目	科目番号	LA103C1		
授業科目	体育実技(ニュースポーツ)			担当教員	井上 聖子		
履修年次	開講時期	単位数	時間	授業形態	卒業要件	幼2種免	保育士
2年	後期	1	30	実技	必修	必修	必修
(授業の目的) ニュースポーツを中心に色々な運動種目のルールを理解し、ゲームが実施できるようにする。 また、生活の中に定期的に運動を取り入れることにより、体力の向上を図ることを目的とする。							
(授業の概要) ニュースポーツであるフリーテニスの特性を知り、技術力の向上を図る。またさまざまな運動をすることにより、身体を動かすことの楽しさを体感し、生涯にわたり計画的に運動に親しむ姿勢や態度を育てる。それらとともに健康の保持増進と体力の向上を図り、豊かな生活を営める態度をも育てる。							
(授業の到達目標) ・運動することの楽しさを知り、生涯体育につなげていく ・運動することを通じて、活動への意欲を高める ・運動することを通じて、他者と協力することの大切さを学ぶ							
(卒業認定・学位授与の方針との関連)							
ディプロマ・ポリシー					卒業認定・学位授与		
(1) 社会人として必要な教養とマナーを身につけていること。					○		
(2) 幼児教育に関する専門的知識と保育技術を身につけていること。							
(3) 保育の課題を積極的に探究していこうとする意欲を持っていること。							
(学習成果との関連)							
(1) 知識 10%		(2) 技能 20%		計100%			
(3) 態度 30%		(4) 実践力 40%					
【評価方法】 実技点:30% 学習意欲:70% 計100%							
【自己学習(予習・復習等)】 「授業計画」参照(合計15時間分)							
【課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法】 毎回の授業内で、課題解決のための指導を行う。							
【使用テキスト】 特になし							
【参考図書】 特になし							
【学生へのメッセージ】 ニュースポーツを中心に色々な運動種目の楽しさを体感します。 運動のできる服装を用意して下さい。							

授 業 計 画

回	授 業 概 要	
1	予習	ルールの理解とそれぞれの技術について事前に調べてくること
	学習内容	フリーテニス(1)
	復習	授業内での反省をもとに、次の課題を決めてくること
2	予習	ルールの理解とそれぞれの技術について事前に調べてくること
	学習内容	フリーテニス(2)
	復習	授業内での反省をもとに、次の課題を決めてくること
3	予習	ルールの理解とそれぞれの技術について事前に調べてくること
	学習内容	フリーテニス(3)
	復習	授業内での反省をもとに、次の課題を決めてくること
4	予習	ルールの理解とそれぞれの技術について事前に調べてくること
	学習内容	フリーテニス(4)
	復習	授業内での反省をもとに、次の課題を決めてくること
5	予習	ルールの理解とそれぞれの技術について事前に調べてくること
	学習内容	フリーテニス(5)
	復習	授業内での反省をもとに、次の課題を決めてくること
6	予習	ルールの理解とそれぞれの技術について事前に調べてくること
	学習内容	フリーテニス(6)
	復習	授業内での反省をもとに、次の課題を決めてくること
7	予習	ルールの理解とそれぞれの技術について事前に調べてくること
	学習内容	フリーテニス(7)
	復習	授業内での反省をもとに、次の課題を決めてくること
8	予習	ルールの理解とそれぞれの技術について事前に調べてくること
	学習内容	フリーテニス(8)
	復習	授業内での反省をもとに、次の課題を決めてくること
9	予習	ルールの理解とそれぞれの技術について事前に調べてくること
	学習内容	ドッジボール(1)
	復習	授業内での反省をもとに、次の課題を決めてくること
10	予習	ルールの理解とそれぞれの技術について事前に調べてくること
	学習内容	ドッジボール(2)
	復習	授業内での反省をもとに、次の課題を決めてくること
11	予習	ルールの理解とそれぞれの技術について事前に調べてくること
	学習内容	ソフトバレーボール(1)
	復習	授業内での反省をもとに、次の課題を決めてくること
12	予習	ルールの理解とそれぞれの技術について事前に調べてくること
	学習内容	ソフトバレーボール(2)
	復習	授業内での反省をもとに、次の課題を決めてくること
13	予習	ルールの理解とそれぞれの技術について事前に調べてくること
	学習内容	ソフトバレーボール(3)
	復習	授業内での反省をもとに、次の課題を決めてくること
14	予習	ルールの理解とそれぞれの技術について事前に調べてくること
	学習内容	ソフトバレーボール(4)
	復習	授業内での反省をもとに、次の課題を決めてくること
15	予習	ルールの理解とそれぞれの技術について事前に調べてくること
	学習内容	ソフトバレーボール(5)
	復習	

科目区分	教養科目	科目分類	教養科目	科目番号	LA103C1		
授業科目	体育実技(ストリートダンス)			担当教員	松野 直也		
履修年次	開講時期	単位数	時間	授業形態	卒業要件	幼2種免	保育士
2年	後期	1	30	実技	必修	必修	必修
(授業の目的)							
生活の中に定期的に運動を取り入れることにより、健康の維持並びに体力の向上を図ることを目的とする。また、身体を動かすことの楽しさを体感し、生涯にわたり運動に親しむ姿勢や態度を育てる。							
(授業の概要)							
<ul style="list-style-type: none"> ・リズムトレーニングを通して、音楽のリズムに乗り、身体を動かしてみよう ・ストレッチ・アイソレーションを通して、ケガの予防、ダンスでの身体の使い方を身に付けよう ・ルーティン(振付)を踊る事で、達成感を味わう事を知りましょう 							
(授業の到達目標)							
<ul style="list-style-type: none"> ・運動することの楽しさを知り、生涯体育につなげていく ・運動することを通じて、活動への意欲を高める ・運動することを通じて、他者と協力することの大切さを学ぶ 							
(卒業認定・学位授与の方針との関連)							
ディプロマ・ポリシー					卒業認定・学位授与		
(1) 社会人として必要な教養とマナーを身につけていること。					○		
(2) 幼児教育に関する専門的知識と保育技術を身につけていること。							
(3) 保育の課題を積極的に探究していこうとする意欲を持っていること。							
(学習成果との関連)							
(1) 知識 10%		(2) 技能 10%		計100%			
(3) 態度 40%		(4) 実践力 40%					
【評価方法】							
実技点:30% 学習意欲:70% 計100%							
【自己学習(予習・復習等)】							
「授業計画」参照(合計15時間分)							
【課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法】							
毎回の授業内で、課題解決のための指導を行う。							
【使用テキスト／参考図書】							
特になし							
【持ち物や服装】							
飲み物(お茶か水など)、フェイスタオルか手ぬぐい、動きやすく裸足になれる服装							
【学生へのメッセージ】							
人には個々の能力がそれぞれ異なります。ダンスが踊れても踊れなくてもどちらでも構いません。一生懸命取り組み、楽しく踊る事が出来れば良いじゃないですか。楽しい時間にしていきましょう。							

科目区分	教養科目	科目分類	教養科目	科目番号	LA103C1		
授業科目	体育実技(ヨガ)			担当教員	上矢 なぎさ		
履修年次	開講時期	単位数	時間	授業形態	卒業要件	幼2種免	保育士
2年	後期	1	30	実技	必修	必修	必修
(授業の目的)							
生活の中に定期的に運動を取り入れることにより、健康の維持並びに体力の向上を図ることを目的とする。また、身体を動かすことの楽しさを体感し、生涯にわたり運動に親しむ姿勢や態度を育てる。							
(授業の概要)							
<ul style="list-style-type: none"> ・アーサナ(ヨガポーズ)の実技を通して、体の使い方、緊張弛緩のバランス、ケガの予防法を学習する ・プラナーヤマ(呼吸法)の実践によって、感情のコントロール法、ストレスケア法を身につける ・プラティヤハারা(意識化)を取り入れることで、勉学や日常生活での平常心や集中力、持続力を図る 							
(授業の到達目標)							
<ul style="list-style-type: none"> ・運動することの楽しさを知り、生涯体育につなげていく ・運動することを通じて、活動への意欲を高める ・運動することを通じて、他者と協力することの大切さを学ぶ 							
(卒業認定・学位授与の方針との関連)							
ディプロマ・ポリシー				卒業認定・学位授与			
(1) 社会人として必要な教養とマナーを身につけていること。				○			
(2) 幼児教育に関する専門的知識と保育技術を身につけていること。							
(3) 保育の課題を積極的に探究していこうとする意欲を持っていること。							
(学習成果との関連)							
(1) 知識 25%		(2) 技能 10%		計100%			
(3) 態度 40%		(4) 実践力 25%					
【評価方法】							
実技点:30% 学習意欲:70% 計100%							
【自己学習(予習・復習等)】							
「授業計画」参照(合計15時間分)							
【課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法】							
特になし							
【使用テキスト／参考書】							
特になし							
【持ち物や服装】							
飲み物(お茶か水など)、フェイスタオルか手ぬぐい、ヨガマット、ブランケット(必要な人)、動きやすく裸足になれる服装							
【学生へのメッセージ】							
ヨガは、ストレス過多な現代を生きる人にとって必須ともいえる健康的なリラクゼーション法です。体が硬い人も安心して楽しめる授業内容です。社会人になってからも自宅で続けられる様に身につけてみましょう。伝統的なヨガとともに、予防医学の目線からのヨガのお話もしていきます。							

授 業 計 画

回	授 業 概 要	
1	予習	授業の前にその日の体調や心の様子を観察しておく
	学習内容	オリエンテーション(授業内容の進め方について、ヨガの概要説明) 時間があったら簡単なヨガ
	復習	授業で行ったポーズや呼吸法など気に入ったものを自宅で実践してみる。どんな変化があったのが記録する
2	予習	授業の前にその日の体調や心の様子を観察しておく
	学習内容	ヨガ実技(アーサナ、プラーナーヤーマ、プラティヤハール) テーマ:土台の力を身につける
	復習	授業で行ったポーズや呼吸法など気に入ったものを自宅で実践してみる。どんな変化があったのが記録する
3	予習	授業の前にその日の体調や心の様子を観察しておく
	学習内容	ヨガ実技(アーサナ、プラーナーヤーマ、プラティヤハール) テーマ:軸の感覚を養う
	復習	授業で行ったポーズや呼吸法など気に入ったものを自宅で実践してみる。どんな変化があったのが記録する
4	予習	授業の前にその日の体調や心の様子を観察しておく
	学習内容	ヨガ実技(アーサナ、プラーナーヤーマ、プラティヤハール) テーマ:体の中に空間を作る
	復習	授業で行ったポーズや呼吸法など気に入ったものを自宅で実践してみる。どんな変化があったのが記録する
5	予習	授業の前にその日の体調や心の様子を観察しておく
	学習内容	ヨガ実技(アーサナ、プラーナーヤーマ、プラティヤハール) テーマ:自律神経を整える
	復習	授業で行ったポーズや呼吸法など気に入ったものを自宅で実践してみる。どんな変化があったのが記録する
6	予習	授業の前にその日の体調や心の様子を観察しておく
	学習内容	ヨガ実技(アーサナ、プラーナーヤーマ、プラティヤハール) テーマ:体と心のつながり
	復習	授業で行ったポーズや呼吸法など気に入ったものを自宅で実践してみる。どんな変化があったのが記録する
7	予習	授業の前にその日の体調や心の様子を観察しておく
	学習内容	ヨガ実技(アーサナ、プラーナーヤーマ、プラティヤハール) テーマ:痛みをケアする
	復習	授業で行ったポーズや呼吸法など気に入ったものを自宅で実践してみる。どんな変化があったのが記録する
8	予習	授業の前にその日の体調や心の様子を観察しておく
	学習内容	ヨガ実技(アーサナ、プラーナーヤーマ、プラティヤハール) テーマ:感情をコントロールする
	復習	授業で行ったポーズや呼吸法など気に入ったものを自宅で実践してみる。どんな変化があったのが記録する
9	予習	授業の前にその日の体調や心の様子を観察しておく
	学習内容	ヨガ実技(アーサナ、プラーナーヤーマ、プラティヤハール) テーマ:自信がないときは
	復習	授業で行ったポーズや呼吸法など気に入ったものを自宅で実践してみる。どんな変化があったのが記録する
10	予習	授業の前にその日の体調や心の様子を観察しておく
	学習内容	ヨガ実技(アーサナ、プラーナーヤーマ、プラティヤハール) テーマ:自分や相手に寄り添う
	復習	授業で行ったポーズや呼吸法など気に入ったものを自宅で実践してみる。どんな変化があったのが記録する
11	予習	授業の前にその日の体調や心の様子を観察しておく
	学習内容	ヨガ実技(アーサナ、プラーナーヤーマ、プラティヤハール) テーマ:ヨガで有名な「太陽礼拝」をしてみよう
	復習	授業で行ったポーズや呼吸法など気に入ったものを自宅で実践してみる。どんな変化があったのが記録する
12	予習	授業の前にその日の体調や心の様子を観察しておく
	学習内容	ヨガ実技(アーサナ、プラーナーヤーマ、プラティヤハール) テーマ:人生の目標を感じる
	復習	授業で行ったポーズや呼吸法など気に入ったものを自宅で実践してみる。どんな変化があったのが記録する
13	予習	授業の前にその日の体調や心の様子を観察しておく
	学習内容	ヨガ実技(アーサナ、プラーナーヤーマ、プラティヤハール) テーマ:体を温める方法
	復習	授業で行ったポーズや呼吸法など気に入ったものを自宅で実践してみる。どんな変化があったのが記録する
14	予習	授業の前にその日の体調や心の様子を観察しておく
	学習内容	ヨガ実技(アーサナ、プラーナーヤーマ、プラティヤハール) テーマ:心を穏やかに保つ
	復習	授業で行ったポーズや呼吸法など気に入ったものを自宅で実践してみる。どんな変化があったのが記録する
15	予習	授業の前にその日の体調や心の様子を観察しておく
	学習内容	ヨガ実技(アーサナ、プラーナーヤーマ、プラティヤハール) テーマ:ヨガの瞑想をしてみよう
	復習	授業で行ったポーズや呼吸法など気に入ったものを自宅で実践してみる。どんな変化があったのが記録する

科目区分	教養科目	科目分類	教養科目	科目番号	LA104A1		
授業科目	日本国憲法			担当教員	星田 由哉		
履修年次	開講時期	単位数	時間	授業形態	卒業要件	幼2種免	保育士
2年	前期	2	30	講義	必修	必修	選択必修
(授業の目的)							
日本という国の基本である憲法を学びながら、国の仕組みを理解する。 憲法で保障される人権について理解する。 現代社会の諸問題を個人的立場を離れ、社会という大きな枠組みの中で理解する力を育てる。							
(授業の概要)							
日本の国のあり方を定めた「日本国憲法」について、その基本的考え方を学びながら、日本の社会と文化について理解を深める。							
(授業の到達目標)							
・身のまわりの出来事を、個人の主観的立場を離れて社会的・公共的視点(社会科学的視点)から理解する。							
(卒業認定・学位授与の方針との関連)							
ディプロマ・ポリシー				卒業認定・学位授与			
(1) 社会人として必要な教養とマナーを身につけていること。				○			
(2) 幼児教育に関する専門的知識と保育技術を身につけていること。							
(3) 保育の課題を積極的に探究していこうとする意欲を持っていること。							
(学習成果との関連)							
(1) 知識 60%		(2) 技能 10%		計100%			
(3) 態度 20%		(4) 実践力 10%					
【評価方法】							
定期試験:70% 学習マナー:30% 計100%							
【自己学習(予習・復習等)】							
「授業計画」参照(合計60時間分)							
【課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法】							
定期試験について、試験後解説を行う。							
【使用テキスト】							
上田健介・尾形健・片桐直人著『憲法判例50!』2020有斐閣 授業で配布する日本国憲法の全文							
【参考図書】							
授業にて適宜紹介する。							
【学生へのメッセージ】							
この国の基本になっているのが憲法です。 憲法の学びを通じて、我々の持つ権利や義務、社会の仕組みについて考えてみましょう。							

授 業 計 画

回	授 業 概 要	
1	予習	授業で扱う憲法の条文や判例を熟読し、内容を把握しておく。わからない単語は調べておく。
	学習内容	ガイダンス 憲法とは何か - 前文や成立過程について知ろう
	復習	テキストやプリントで、授業の要点を理解する。社会問題と憲法との関係を把握しておく。
2	予習	授業で扱う憲法の条文や判例を熟読し、内容を把握しておく。わからない単語は調べておく。
	学習内容	人権総論① 人権とは何か？
	復習	テキストやプリントで、授業の要点を理解する。社会問題と憲法との関係を把握しておく。
3	予習	授業で扱う憲法の条文や判例を熟読し、内容を把握しておく。わからない単語は調べておく。
	学習内容	人権総論② 幸福追求権
	復習	テキストやプリントで、授業の要点を理解する。社会問題と憲法との関係を把握しておく。
4	予習	授業で扱う憲法の条文や判例を熟読し、内容を把握しておく。わからない単語は調べておく。
	学習内容	人権総論③ 法の下での平等
	復習	テキストやプリントで、授業の要点を理解する。社会問題と憲法との関係を把握しておく。
5	予習	授業で扱う憲法の条文や判例を熟読し、内容を把握しておく。わからない単語は調べておく。
	学習内容	精神的自由① 思想・良心の自由、信教の自由
	復習	テキストやプリントで、授業の要点を理解する。社会問題と憲法との関係を把握しておく。
6	予習	授業で扱う憲法の条文や判例を熟読し、内容を把握しておく。わからない単語は調べておく。
	学習内容	精神的自由② 表現の自由、学問の自由
	復習	テキストやプリントで、授業の要点を理解する。社会問題と憲法との関係を把握しておく。
7	予習	授業で扱う憲法の条文や判例を熟読し、内容を把握しておく。わからない単語は調べておく。
	学習内容	経済的自由 職業選択の自由
	復習	テキストやプリントで、授業の要点を理解する。社会問題と憲法との関係を把握しておく。
8	予習	授業で扱う憲法の条文や判例を熟読し、内容を把握しておく。わからない単語は調べておく。
	学習内容	社会権 健康で文化的な最低限度の生活
	復習	テキストやプリントで、授業の要点を理解する。社会問題と憲法との関係を把握しておく。
9	予習	授業で扱う憲法の条文や判例を熟読し、内容を把握しておく。わからない単語は調べておく。
	学習内容	中間まとめ いろいろな人権について学び、考えてみよう
	復習	テキストやプリントで、授業の要点を理解する。社会問題と憲法との関係を把握しておく。
10	予習	授業で扱う憲法の条文や判例を熟読し、内容を把握しておく。わからない単語は調べておく。
	学習内容	統治機構① 国会のしくみ
	復習	テキストやプリントで、授業の要点を理解する。社会問題と憲法との関係を把握しておく。
11	予習	授業で扱う憲法の条文や判例を熟読し、内容を把握しておく。わからない単語は調べておく。
	学習内容	統治機構② 内閣のしくみ
	復習	テキストやプリントで、授業の要点を理解する。社会問題と憲法との関係を把握しておく。
12	予習	授業で扱う憲法の条文や判例を熟読し、内容を把握しておく。わからない単語は調べておく。
	学習内容	統治機構③ 裁判所のしくみ
	復習	テキストやプリントで、授業の要点を理解する。社会問題と憲法との関係を把握しておく。
13	予習	授業で扱う憲法の条文や判例を熟読し、内容を把握しておく。わからない単語は調べておく。
	学習内容	地方自治 都道府県や市区町村について
	復習	テキストやプリントで、授業の要点を理解する。社会問題と憲法との関係を把握しておく。
14	予習	授業で扱う憲法の条文や判例を熟読し、内容を把握しておく。わからない単語は調べておく。
	学習内容	象徴天皇制、平和主義について
	復習	テキストやプリントで、授業の要点を理解する。社会問題と憲法との関係を把握しておく。
15	予習	授業で扱う憲法の条文や判例を熟読し、内容を把握しておく。わからない単語は調べておく。
	学習内容	まとめ
	復習	テキストやプリントで、授業の要点を理解する。社会問題と憲法との関係を把握しておく。

科目区分	教養科目	科目分類	教養科目	科目番号	LA105A2		
授業科目	自然観察			担当教員	五味 愛美		
履修年次	開講時期	単位数	時間	授業形態	卒業要件	幼2種免	保育士
1年	前期	2	30	講義・実習	選択	—	選択必修
(授業の目的) 子どもと接する一人の保育者として、自然環境を知り、自然物に関心を持ち、その伝え方の手法について理解を深めます。							
(授業の概要) 保育士、幼稚園教諭の基本的な技術としての、自然の中で子どもを遊ばせる手法を学びます。子どもが自然の中に身を置く事は情緒の発達、コミュニケーション能力、五感の刺激、命の巧みの認知を促す事ができます。そのために保育者自身が自然生態系を知っておく事が必須です。園庭にある自然物、園外の公園や森で子どもが五感を使って自然を感じるための手法を学びます。(本講義は、インタープリター(自然ガイド)の実務家活動を基に行われる。)							
(授業の到達目標) ・基本的な自然物の生態系を知る ・野外での五感を使いながらの野外遊びが出来るようになる							
(卒業認定・学位授与の方針との関連)							
ディプロマ・ポリシー				卒業認定・学位授与			
(1) 社会人として必要な教養とマナーを身につけていること。				○			
(2) 幼児教育に関する専門的知識と保育技術を身につけていること。							
(3) 保育の課題を積極的に探究していこうとする意欲を持っていること。							
(学習成果との関連)							
(1) 知識	30%	(2) 技能	30%	計100%			
(3) 態度	30%	(4) 実践力	10%				
【評価方法】 授業への取り組み:40% 課題レポート:20% 試験:40% 計100%							
【自己学習(予習・復習等)】 「授業計画」参照(合計60時間分)							
【課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法】 課題は、添削のうえ返却する。試験は、解答を公表する。							
【使用テキスト】 特になし							
【参考図書】 「自然観察ハンドブック」 平凡社出版／(財)日本自然保護協会 「自然植物あそび一年中」 学研／出原大著							
【学生へのメッセージ】 「自然体験プログラム」は実習、「自然の理解」は講義となります。 野外実習がありますので、動きやすい服装でのぞんで下さい。毎回、身の回りの自然を観察しながらの授業になりますので、自然を活かした遊びを考えておいて下さい。							

授 業 計 画

回	授 業 概 要	
1	予習	予めテキストを読んでおき、授業時に理解を深められるようにする
	学習内容	オリエンテーション 自然への関わり方に関する理解(昔遊びを思い出してみる)
	復習	講義で学んだことをノートに書くことで、知識の定着を図る
2	予習	予めテキストを読んでおき、授業時に理解を深められるようにする
	学習内容	自然体験プログラム① 保育者がまずは自然に触れてみる
	復習	講義で学んだことをノートに書くことで、知識の定着を図る
3	予習	予めテキストを読んでおき、授業時に理解を深められるようにする
	学習内容	自然の理解① 基本的な自然の構成物及び自然体験プログラムの組み立て方を知る
	復習	講義で学んだことをノートに書くことで、知識の定着を図る
4	予習	予めテキストを読んでおき、授業時に理解を深められるようにする
	学習内容	自然体験プログラム② 植物に焦点を置いたプログラム体験
	復習	講義で学んだことをノートに書くことで、知識の定着を図る
5	予習	予めテキストを読んでおき、授業時に理解を深められるようにする
	学習内容	自然の理解② 基本的な植物の生態を知る
	復習	講義で学んだことをノートに書くことで、知識の定着を図る
6	予習	予めテキストを読んでおき、授業時に理解を深められるようにする
	学習内容	自然体験プログラム③ 動物に焦点を置いたプログラム体験
	復習	講義で学んだことをノートに書くことで、知識の定着を図る
7	予習	予めテキストを読んでおき、授業時に理解を深められるようにする
	学習内容	自然の理解③ 基本的な動物の生態を知る
	復習	講義で学んだことをノートに書くことで、知識の定着を図る
8	予習	予めテキストを読んでおき、授業時に理解を深められるようにする
	学習内容	自然体験プログラム④ 昆虫に焦点を置いたプログラム体験
	復習	講義で学んだことをノートに書くことで、知識の定着を図る
9	予習	予めテキストを読んでおき、授業時に理解を深められるようにする
	学習内容	自然の理解④ 基本的な昆虫の生態を知る
	復習	講義で学んだことをノートに書くことで、知識の定着を図る
10	予習	予めテキストを読んでおき、授業時に理解を深められるようにする
	学習内容	自然体験プログラム⑤ 自然物を使ったクラフト体験、草花遊び
	復習	講義で学んだことをノートに書くことで、知識の定着を図る
11	予習	予めテキストを読んでおき、授業時に理解を深められるようにする
	学習内容	自然の理解⑤ 危険な動植物、悪天候の場合の注意点、アクティビティ実施実習のための準備
	復習	講義で学んだことをノートに書くことで、知識の定着を図る
12	予習	予めテキストを読んでおき、授業時に理解を深められるようにする
	学習内容	自然体験プログラム⑥ アクティビティの実施実習
	復習	講義で学んだことをノートに書くことで、知識の定着を図る
13	予習	予めテキストを読んでおき、授業時に理解を深められるようにする
	学習内容	自然の理解⑥ NEAL自然体験指導者とは
	復習	講義で学んだことをノートに書くことで、知識の定着を図る
14	予習	予めテキストを読んでおき、授業時に理解を深められるようにする
	学習内容	自然体験プログラム⑦ アクティビティの実施実習
	復習	講義で学んだことをノートに書くことで、知識の定着を図る
15	予習	予めテキストを読んでおき、授業時に理解を深められるようにする
	学習内容	まとめ
	復習	ノートや資料を振り返り、知識の定着を図る

科目区分	教養科目	科目分類	教養科目	科目番号	LA106B1		
授業科目	情報機器演習(情報リテラシー含む)			担当教員	義見 善知		
履修年次	開講時期	単位数	時間	授業形態	卒業要件	幼2種免	保育士
1年	通年	2	60	演習	必修	必修	選択必修
(授業の目的)							
情報社会において、インターネット利用に関しての正しい知識及びマナーの理解、表現メディアの編集と表現に関する知識と技術を習得させ、実際に活用する能力と態度を育てると同時にディプロマポリシーに対応する演習をめざす。							
(授業の概要)							
情報社会において必要とされているコンピュータ利用スキル並びに情報倫理に関する講義を行う。 そして、大学内外で必須となる情報処理に関する実践的能力を習得するために、具体的な課題を解決する演習を行う。							
(授業の到達目標)							
<ul style="list-style-type: none"> ・インターネットの正しい利用を理解させる(法規・セキュリティ) ・園だより・園案内・児童台帳・ホームページの作成 ・PCの基礎知識・幼児教育現場での活用例の習得 							
(卒業認定・学位授与の方針との関連)							
ディプロマ・ポリシー				卒業認定・学位授与			
(1) 社会人として必要な教養とマナーを身につけていること。				○			
(2) 幼児教育に関する専門的知識と保育技術を身につけていること。				○			
(3) 保育の課題を積極的に探究していこうとする意欲を持っていること。				○			
(学習成果との関連)							
(1) 知識 60%		(2) 技能 20%		計100%			
(3) 態度 10%		(4) 実践力 10%					
【評価方法】							
定期試験:10% 各検定:10% 授業態度:10% 課題レポート:70% 計100%							
【自己学習(予習・復習等)】							
「授業計画」参照(合計30時間分)							
【課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法】							
課題は、添削のうえ返却する。試験は、解答を公表する。							
【使用テキスト】							
「保育者のためのパソコン講座」 阿部正平・阿部和子・二宮祐子 編著(萌文書林) 日本情報処理検定協会問題集 ※毎授業ごとテキストプリントを配布します。							
【参考図書】							
Adobe Photoshop 基礎テキスト ACA PhotoshopCS6 広田正康 著(ソーテック社) Illustratorトレーニングブック 広田正康 著(ソーテック社) IllustratorCS6の本 佐々木京子 著(技術評論社)							
【学生へのメッセージ】							
課題制作に対する取り組み、および授業への積極的参加度等をふまえて総合的に判断し評価する。							

授 業 計 画

回	授 業 概 要	
1	予習	毎回の授業前に前回作業した演習内容を再度理解しておくこと
	学習内容	受講の説明、PCの基本操作、注意説明
	復習	授業で学習したテーマを復習して、技術や技能を確実に習得すること
2	予習	毎回の授業前に前回作業した演習内容を再度理解しておくこと
	学習内容	通信文Ⅰ 通信文の書式を学ぶ。文章の位置関係
	復習	授業で学習したテーマを復習して、技術や技能を確実に習得すること
3	予習	毎回の授業前に前回作業した演習内容を再度理解しておくこと
	学習内容	通信文Ⅱ 通信文の作成 表の挿入、受信者と発信者
	復習	授業で学習したテーマを復習して、技術や技能を確実に習得すること
4	予習	毎回の授業前に前回作業した演習内容を再度理解しておくこと
	学習内容	通信文Ⅲ 通信文の作成 図形挿入による地図の作成方法
	復習	授業で学習したテーマを復習して、技術や技能を確実に習得すること
5	予習	毎回の授業前に前回作業した演習内容を再度理解しておくこと
	学習内容	通信文Ⅳ 通信文の応用 線による地図の作成方法、方位記号の作成方法
	復習	授業で学習したテーマを復習して、技術や技能を確実に習得すること
6	予習	毎回の授業前に前回作業した演習内容を再度理解しておくこと
	学習内容	課題演習 通信文検定 保育園・幼稚園の事例を挙げ時間内に作成
	復習	授業で学習したテーマを復習して、技術や技能を確実に習得すること
7	予習	毎回の授業前に前回作業した演習内容を再度理解しておくこと
	学習内容	文章デザインⅠ 文章デザインの基礎を学ぶ フォント、サイズ、フォントデザイン、表の挿入
	復習	授業で学習したテーマを復習して、技術や技能を確実に習得すること
8	予習	毎回の授業前に前回作業した演習内容を再度理解しておくこと
	学習内容	文章デザインⅡ 文章デザインの作成 文字の加工、図形の加工、表の加工、画像の挿入
	復習	授業で学習したテーマを復習して、技術や技能を確実に習得すること
9	予習	毎回の授業前に前回作業した演習内容を再度理解しておくこと
	学習内容	文章デザインⅢ 文章デザインの応用 レイアウトの加工、特殊文字、ドロップキャップ
	復習	授業で学習したテーマを復習して、技術や技能を確実に習得すること
10	予習	毎回の授業前に前回作業した演習内容を再度理解しておくこと
	学習内容	課題演習 文書デザイン検定 レイアウト課題を与え時間内に作成
	復習	授業で学習したテーマを復習して、技術や技能を確実に習得すること
11	予習	毎回の授業前に前回作業した演習内容を再度理解しておくこと
	学習内容	文章デザイン課題制作 「画家ポール・セザンヌについての考察」
	復習	授業で学習したテーマを復習して、技術や技能を確実に習得すること
12	予習	毎回の授業前に前回作業した演習内容を再度理解しておくこと
	学習内容	画像処理Ⅰ 画像処理の基礎を学ぶ。(Photoshop) ペイント系ブラシによる修復方法
	復習	授業で学習したテーマを復習して、技術や技能を確実に習得すること
13	予習	毎回の授業前に前回作業した演習内容を再度理解しておくこと
	学習内容	画像処理Ⅱ 画像処理の基礎を学ぶ。(Photoshop) ピクセル(画素)単位の修復方法
	復習	授業で学習したテーマを復習して、技術や技能を確実に習得すること
14	予習	毎回の授業前に前回作業した演習内容を再度理解しておくこと
	学習内容	画像処理Ⅲ レイヤーの操作方法(Photoshop) レイヤースタイルの適用、画像の合成
	復習	授業で学習したテーマを復習して、技術や技能を確実に習得すること
15	予習	毎回の授業前に前回作業した演習内容を再度理解しておくこと
	学習内容	画像処理Ⅳ フィルターの操作方法(Photoshop) Creative Cloudの進化の軌跡とトップクリエイターの活用法
	復習	授業で学習したテーマを復習して、技術や技能を確実に習得すること

授 業 計 画

回	授 業 概 要	
16	予習	毎回の授業前に前回作業した演習内容を再度理解しておくこと
	学習内容	画像処理Ⅴ アンディウォーホルの世界 課題制作 シルクスクリーン技法での作品を制作(Photoshop)
	復習	授業で学習したテーマを復習して、技術や技能を確実に習得すること
17	予習	毎回の授業前に前回作業した演習内容を再度理解しておくこと
	学習内容	図形描写Ⅰ 図形処理の基礎を学ぶ。ベクター形式の図形操作(Illustratorオペレーション基礎)
	復習	授業で学習したテーマを復習して、技術や技能を確実に習得すること
18	予習	毎回の授業前に前回作業した演習内容を再度理解しておくこと
	学習内容	図形描写Ⅱ 図形のハンドリング ベジェ曲線の特性(Illustrator)
	復習	授業で学習したテーマを復習して、技術や技能を確実に習得すること
19	予習	毎回の授業前に前回作業した演習内容を再度理解しておくこと
	学習内容	図形描写Ⅲ 文字・図形・画像の統合処理(アプリケーションの連携)
	復習	授業で学習したテーマを復習して、技術や技能を確実に習得すること
20	予習	毎回の授業前に前回作業した演習内容を再度理解しておくこと
	学習内容	課題制作 園だよりの作成Ⅰ マイホルダー画像の編集
	復習	授業で学習したテーマを復習して、技術や技能を確実に習得すること
21	予習	毎回の授業前に前回作業した演習内容を再度理解しておくこと
	学習内容	課題制作 園だよりの作成Ⅱ 文字・イラスト・地図の編集
	復習	授業で学習したテーマを復習して、技術や技能を確実に習得すること
22	予習	毎回の授業前に前回作業した演習内容を再度理解しておくこと
	学習内容	課題制作 園だよりの作成Ⅰ 最終仕上げ、校正、印刷
	復習	授業で学習したテーマを復習して、技術や技能を確実に習得すること
23	予習	毎回の授業前に前回作業した演習内容を再度理解しておくこと
	学習内容	プレゼンテーションⅠ 園案内の作成 発表内容の設計と制作
	復習	授業で学習したテーマを復習して、技術や技能を確実に習得すること
24	予習	毎回の授業前に前回作業した演習内容を再度理解しておくこと
	学習内容	プレゼンテーションⅡ 園案内の作成 資料の制作
	復習	授業で学習したテーマを復習して、技術や技能を確実に習得すること
25	予習	毎回の授業前に前回作業した演習内容を再度理解しておくこと
	学習内容	表計算ソフトⅠ 児童台帳の作成 セルの設定 入力規制
	復習	授業で学習したテーマを復習して、技術や技能を確実に習得すること
26	予習	毎回の授業前に前回作業した演習内容を再度理解しておくこと
	学習内容	表計算ソフトⅡ 児童台帳の作成 並び替え カウント系関数の利用 身体測定データの分析
	復習	授業で学習したテーマを復習して、技術や技能を確実に習得すること
27	予習	毎回の授業前に前回作業した演習内容を再度理解しておくこと
	学習内容	ホームページ作成Ⅰ CSSを利用した編集
	復習	授業で学習したテーマを復習して、技術や技能を確実に習得すること
28	予習	毎回の授業前に前回作業した演習内容を再度理解しておくこと
	学習内容	マルチメディアの編集とwebへの活用方法
	復習	授業で学習したテーマを復習して、技術や技能を確実に習得すること
29	予習	毎回の授業前に前回作業した演習内容を再度理解しておくこと
	学習内容	法規とセキュリティ 情報の管理・保護に関する法律
	復習	授業で学習したテーマを復習して、技術や技能を確実に習得すること
30	予習	毎回の授業前に前回作業した演習内容を再度理解しておくこと
	学習内容	まとめ 幼児教育におけるPCの運用 その他 年間既習事項の復習と確認
	復習	授業で学習したテーマを復習して、技術や技能を確実に習得すること

科目区分	教養科目	科目分類	教養科目	科目番号	LA107A2		
授業科目	児童館・放課後児童クラブの機能と運営			担当教員	相河 竜治		
履修年次	開講時期	単位数	時間	授業形態	卒業要件	幼2種免	保育士
2年	前期	2	30	講義	選択	—	選択
(授業の目的)							
<p>児童福祉の基本理念である「健全育成」の考え方を理解するとともに、現代の子どもの健全育成の課題について学ぶ。また、その理念を地域で具現する児童館・放課後児童クラブの機能を理解する。</p>							
(授業の概要)							
<p>児童館・放課後児童クラブとはどのような施設であり、どのような理念に基づいて運営されているかを学ぶ。その中で、現状における両施設の動向について概観する。(本講義は、児童センター センター長の実務家活動を基に行われる。)</p>							
(授業の到達目標)							
<ul style="list-style-type: none"> ・児童館について理解する ・放課後児童クラブについて理解する ・児童の健全育成について理解する 							
(卒業認定・学位授与の方針との関連)							
ディプロマ・ポリシー				卒業認定・学位授与			
(1) 社会人として必要な教養とマナーを身につけていること。							
(2) 幼児教育に関する専門的知識と保育技術を身につけていること。				○			
(3) 保育の課題を積極的に探究していこうとする意欲を持っていること。				○			
(学習成果との関連)							
(1) 知識 30%		(2) 技能 10%		計100%			
(3) 態度 30%		(4) 実践力 30%					
【評価方法】							
授業内提出物など:50% 定期試験:50% 計100%							
【自己学習(予習・復習等)】							
「授業計画」参照(合計60時間分)							
【課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法】							
課題は、添削のうえ返却する。定期試験についても添削のうえ返却する。							
【使用テキスト】							
授業時に印刷物として渡す。							
【参考図書】							
『児童館・放課後児童クラブテキストシリーズ② 児童館論』一般財団法人 児童健全育成推進財団							
【学生へのメッセージ】							
分からない箇所は、授業内配布物の該当部分を熟読することや、授業担当者に質問することで復習し、学期末に備えてください。							

授 業 計 画

回	授 業 概 要	
1	予習	テキストを読み、分からない箇所などの確認を行う
	学習内容	オリエンテーション(講義内容、評価方法の説明)、児童館の工作について
	復習	配布プリントなどにより、授業内容について確認する
2	予習	テキストを読み、分からない箇所などの確認を行う
	学習内容	児童福祉法の理念と健全育成
	復習	配布プリントなどにより、授業内容について確認する
3	予習	テキストを読み、分からない箇所などの確認を行う
	学習内容	健全育成の具体的内容と遊びの健全育成上の意味
	復習	配布プリントなどにより、授業内容について確認する
4	予習	テキストを読み、分からない箇所などの確認を行う
	学習内容	児童館・放課後児童クラブの変遷
	復習	配布プリントなどにより、授業内容について確認する
5	予習	テキストを読み、分からない箇所などの確認を行う
	学習内容	児童館・放課後児童クラブの概要と特性
	復習	配布プリントなどにより、授業内容について確認する
6	予習	テキストを読み、分からない箇所などの確認を行う
	学習内容	児童館ガイドラインの内容と児童館に求められる機能①
	復習	配布プリントなどにより、授業内容について確認する
7	予習	テキストを読み、分からない箇所などの確認を行う
	学習内容	児童館ガイドラインの内容と児童館に求められる機能②
	復習	配布プリントなどにより、授業内容について確認する
8	予習	テキストを読み、分からない箇所などの確認を行う
	学習内容	放課後児童クラブの「基準」「運営指針」「認定資格研修」
	復習	配布プリントなどにより、授業内容について確認する
9	予習	テキストを読み、分からない箇所などの確認を行う
	学習内容	運営管理(法令遵守、子どもの権利擁護、要望苦情への対応)
	復習	配布プリントなどにより、授業内容について確認する
10	予習	テキストを読み、分からない箇所などの確認を行う
	学習内容	安全対策(安全管理・危機管理、防災・防犯、事故防止活動)
	復習	配布プリントなどにより、授業内容について確認する
11	予習	テキストを読み、分からない箇所などの確認を行う
	学習内容	児童館・放課後児童クラブの環境構成
	復習	配布プリントなどにより、授業内容について確認する
12	予習	テキストを読み、分からない箇所などの確認を行う
	学習内容	児童館・放課後児童クラブにおける障害児支援
	復習	配布プリントなどにより、授業内容について確認する
13	予習	テキストを読み、分からない箇所などの確認を行う
	学習内容	児童厚生員・放課後児童指導員の職場倫理
	復習	配布プリントなどにより、授業内容について確認する
14	予習	テキストを読み、分からない箇所などの確認を行う
	学習内容	児童館・放課後児童クラブの課題と展望
	復習	配布プリントなどにより、授業内容について確認する
15	予習	テキストを読み、分からない箇所などの確認を行う
	学習内容	まとめ
	復習	配布プリントなどにより、授業内容について確認する

科目区分	教養科目	科目分類	教養科目	科目番号	LA108A2		
授業科目	児童館・放課後児童クラブの活動内容と指導法 I			担当教員	河西 美代子		
履修年次	開講時期	単位数	時間	授業形態	卒業要件	幼2種免	保育士
2年	集中	2	30	講義	選択	—	選択

(授業の目的)

「あそび」を通じて少子化対策の推進、いじめ、児童虐待、不登校、青少年犯罪など、多様化し複雑化する児童問題へ対応する児童館の役割について理解を深める。

(授業の概要)

児童館の機能と役割を学習し、児童館における児童健全育成活動の手法を学ぶなかで、児童館における児童健全育成活動の初歩的な手法と運営について包括的に学んでいく。(本講義は、児童厚生員の実務家活動を基に行われる。)

(授業の到達目標)

- ・児童館の持つ機能と役割の基本を理解する
- ・健全育成の手段としてのあそびを理解する
- ・あそびを実践し、その効果を分析する

(卒業認定・学位授与の方針との関連)

ディプロマ・ポリシー	卒業認定・学位授与
(1) 社会人として必要な教養とマナーを身につけていること。	○
(2) 幼児教育に関する専門的知識と保育技術を身につけていること。	○
(3) 保育の課題を積極的に探究していこうとする意欲を持っていること。	○

(学習成果との関連)

(1) 知識 60 %	(2) 技能 10 %	計100%
(3) 態度 10 %	(4) 実践力 20 %	

【評価方法】

授業内課題:50% 学習マナー:20% 試験:30% 計100%

【自己学習(予習・復習等)】

「授業計画」参照(合計60時間分)

【課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法】

課題は、添削のうえ返却する。試験は、解答を公表する。

【使用テキスト】

毎回、授業時にプリントを配布する予定。

【参考図書】

児童館 理論と実践／発達障害のある子どもたちの受け入れのために／児童館・放課後児童クラブのための安全対策ハンドブック
すべて著&出版:(財)児童健全育成推進財団 発行:全国児童館連合会

【学生へのメッセージ】

児童館についてを知識として知るとともに、「健全育成としてのあそび」は、実際に体験する中で実感・理解することが大切です。そのため、授業中に紹介する「あそび」について積極的に参加する姿勢を求めます。野外も想定した「活動しやすい服装・靴」で受講してください。

授 業 計 画

回	授 業 概 要	
1	予習	授業に臨む前に下調べをし、児童館について把握しておく
	学習内容	児童福祉法に定められた児童福祉施設としての児童館の役割 課題:「児童館」のイメージを考える
	復習	学習した内容をノート等にて整理し直し、理解を深める
2	予習	授業に臨む前に下調べをし、児童館について把握しておく
	学習内容	「放課後子どもプラン」と児童館・児童クラブ
	復習	学習した内容をノート等にて整理し直し、理解を深める
3	予習	授業に臨む前に下調べをし、児童館について把握しておく
	学習内容	児童館の個別援助活動について
	復習	学習した内容をノート等にて整理し直し、理解を深める
4	予習	授業に臨む前に下調べをし、児童館について把握しておく
	学習内容	個別援助活動と集団援助活動について
	復習	学習した内容をノート等にて整理し直し、理解を深める
5	予習	授業に臨む前に下調べをし、児童館について把握しておく
	学習内容	児童館の集団援助活動について
	復習	学習した内容をノート等にて整理し直し、理解を深める
6	予習	授業に臨む前に下調べをし、児童館について把握しておく
	学習内容	グループ遊びについて
	復習	学習した内容をノート等にて整理し直し、理解を深める
7	予習	授業に臨む前に下調べをし、児童館について把握しておく
	学習内容	児童館における安全管理
	復習	学習した内容をノート等にて整理し直し、理解を深める
8	予習	授業に臨む前に下調べをし、児童館について把握しておく
	学習内容	児童館における要保護児童の対応について
	復習	学習した内容をノート等にて整理し直し、理解を深める
9	予習	授業に臨む前に下調べをし、児童館について把握しておく
	学習内容	児童館における地域組織活動について
	復習	学習した内容をノート等にて整理し直し、理解を深める
10	予習	授業に臨む前に下調べをし、児童館について把握しておく
	学習内容	児童館における工作遊びについて
	復習	学習した内容をノート等にて整理し直し、理解を深める
11	予習	授業に臨む前に下調べをし、児童館について把握しておく
	学習内容	児童館における自然遊びについて
	復習	学習した内容をノート等にて整理し直し、理解を深める
12	予習	授業に臨む前に下調べをし、児童館について把握しておく
	学習内容	児童館における表現遊びについて
	復習	学習した内容をノート等にて整理し直し、理解を深める
13	予習	授業に臨む前に下調べをし、児童館について把握しておく
	学習内容	児童館における体力増進活動について
	復習	学習した内容をノート等にて整理し直し、理解を深める
14	予習	授業に臨む前に下調べをし、児童館について把握しておく
	学習内容	児童館におけるゲーム運動遊びについて
	復習	学習した内容をノート等にて整理し直し、理解を深める
15	予習	授業に臨む前に下調べをし、児童館について把握しておく
	学習内容	まとめ
	復習	学習した内容をノート等にて整理し直し、理解を深める

科目区分	教養科目	科目分類	教養科目	科目番号	LA109A2		
授業科目	キャリア教育			担当教員	井上 聖子		
履修年次	開講時期	単位数	時間	授業形態	卒業要件	幼2種免	保育士
1・2年	通年	1	15	講義	選択	—	選択
(授業の目的)							
近年の社会情勢や労働市場の動向について理解を深め、自分らしい生き方・働き方を考える。それらを基に職業観を形成し、自らの力で生き方を選択できるようキャリア形成を行う。また社会人として必要な基礎能力や態度を身に付けることも目的とする。							
(授業の概要)							
ワークシートを作成したり、グループワークを通して、自己や他者の理解を深め、対人関係のスキルも向上させる。園長先生や卒業生等社会に出て働いている方の講演を聞くことにより、働くことの意義や職業観を形成していく。また社会人としてのマナーも身に付けていく。							
(授業の到達目標)							
<ul style="list-style-type: none"> 自己や他者の理解を深めることができる 社会人として課題解決する力やコミュニケーション能力を身に付けることができる 自分が自分として生きるためのキャリア形成ができる 							
(卒業認定・学位授与の方針との関連)							
ディプロマ・ポリシー				卒業認定・学位授与			
(1) 社会人として必要な教養とマナーを身につけていること。				○			
(2) 幼児教育に関する専門的知識と保育技術を身につけていること。							
(3) 保育の課題を積極的に探究していこうとする意欲を持っていること。				○			
(学習成果との関連)							
(1) 知識 20%		(2) 技能 20%		計100%			
(3) 態度 30%		(4) 実践力 30%					
【評価方法】							
レポート: 30% 定期試験: 70% 計100%							
【自己学習(予習・復習等)】							
「授業計画」参照(合計30時間分)							
【課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法】							
課題は、添削のうえ返却する。							
【使用テキスト】							
配布資料をもとに授業を進めていきます。							
【参考図書】							
特になし							
【学生へのメッセージ】							
自己理解を深め、社会に出る前の知識や技能について学びます。							

授 業 計 画

回	授 業 概 要	
1	予習	事前に配布した資料をもとに、その内容について調べてくること
	学習内容	オリエンテーション キャリア教育とは何か ワークシート作成 自己理解を深める
	復習	授業内容をまとめ、自分自身のキャリア形成に役立てること
2	予習	講演内容について、学生自身の考えをまとめておくこと
	学習内容	社会や保育で求められる資質とは(園長先生による講演)
	復習	授業内容をまとめ、自分自身のキャリア形成に役立てること
3	予習	講演内容について、学生自身の考えをまとめておくこと
	学習内容	社会や保育で求められる資質とは(卒業生による講演)
	復習	授業内容をまとめ、自分自身のキャリア形成に役立てること
4	予習	講演内容について、学生自身の考えをまとめておくこと
	学習内容	社会や保育で求められる資質とは(園長先生による講演)
	復習	授業内容をまとめ、自分自身のキャリア形成に役立てること
5	予習	講演内容について、学生自身の考えをまとめておくこと
	学習内容	社会や保育で求められる資質とは(卒業生による講演)
	復習	授業内容をまとめ、自分自身のキャリア形成に役立てること
6	予習	講演内容について、学生自身の考えをまとめておくこと
	学習内容	社会人として求められるマナーとは(マナー講師による講演)
	復習	授業内容をまとめ、自分自身のキャリア形成に役立てること
7	予習	講演内容について、学生自身の考えをまとめておくこと
	学習内容	社会人として求められる資質(園長先生による講演)
	復習	授業内容をまとめ、自分自身のキャリア形成に役立てること
8	予習	事前に配布した資料をもとに、自分自身のキャリア形成を考えてくること
	学習内容	自分らしく生きるためのキャリア形成
	復習	授業内容をまとめ、自分自身のキャリア形成に役立てること

科目区分	教養科目	科目分類	教養科目	科目番号	LA110A2		
授業科目	アカデミックスキルズ			担当教員	清水 健		
履修年次	開講時期	単位数	時間	授業形態	卒業要件	幼2種免	保育士
1年	通年	1	15	講義	選択	—	選択
(授業の目的) 高等教育機関で学ぶための技法について、高校と大学の学び方の違いについて理解し、主体的な学習者となるための基礎を習得する。							
(授業の概要) 高校と大学の違い／大学での学び方／短期大学卒業者に期待される資質・能力／保育者として身に付けて欲しい資質・能力について学び、2年間の学びの見通し、基本的な学び方を習得する。							
(授業の到達目標) ・短期大学での学び方を理解し、主体的に学ぶ姿勢を理解する ・短期大学卒業時に期待される資質・能力及び保育者として身につける資質・能力について理解する ・情報検索の方法や文献の要約について理解し、レポートの記述についての基本的スキルを理解する							
(卒業認定・学位授与の方針との関連)							
ディプロマ・ポリシー				卒業認定・学位授与			
(1) 社会人として必要な教養とマナーを身につけていること。				○			
(2) 幼児教育に関する専門的知識と保育技術を身につけていること。							
(3) 保育の課題を積極的に探究していこうとする意欲を持っていること。				○			
(学習成果との関連)							
(1) 知識 25%		(2) 技能 25%		計100%			
(3) 態度 25%		(4) 実践力 25%					
【評価方法】 グループワーク:30% プレゼンテーション:30% 提出物:40% 計100%							
【自己学習(予習・復習等)】 「授業計画」参照(合計30時間分)							
【課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法】 各時間の授業内で提示された課題は、次回授業時に解説する。							
【使用テキスト】 なし							
【参考図書】 特になし							
【学生へのメッセージ】 毎回資料を配布します。							

授 業 計 画

回	授 業 概 要	
1	予習	学生生活ハンドブックに目を通す。
	学習内容	アイスブレイク(自己紹介) 自分が通う大学について知る(建学の精神・教育目標～3つのポリシー等、本学についての理解)
	復習	授業で扱った内容について復習し、知識の定着を図る。
2	予習	予めテキスト等の資料を読んでおき、授業時に理解を深められるようにする。
	学習内容	自身の将来について考える(到達目標・2年間の学びの計画を立てる。履修カルテ・ポートフォリオ)
	復習	授業で扱った内容について復習し、知識の定着を図る。
3	予習	予めテキスト等の資料を読んでおき、授業時に理解を深められるようにする。
	学習内容	大学生のスタディ・スキルズ(学びのデザイン)
	復習	授業で扱った内容について復習し、知識の定着を図る。
4	予習	予めテキスト等の資料を読んでおき、授業時に理解を深められるようにする。
	学習内容	情報収集・整理法
	復習	授業で扱った内容について復習し、知識の定着を図る。
5	予習	予めテキスト等の資料を読んでおき、授業時に理解を深められるようにする。
	学習内容	文章での表現法(要約する力)
	復習	授業で扱った内容について復習し、知識の定着を図る。
6	予習	予めテキスト等の資料を読んでおき、授業時に理解を深められるようにする。
	学習内容	大学図書館・学びの空間を活用する
	復習	授業で扱った内容について復習し、知識の定着を図る。
7	予習	予めテキスト等の資料を読んでおき、授業時に理解を深められるようにする。
	学習内容	レポートの書き方・資料の探し方
	復習	授業で扱った内容について復習し、知識の定着を図る。
8	予習	予めテキスト等の資料を読んでおき、授業時に理解を深められるようにする。
	学習内容	初年次教育の振り返り
	復習	授業で扱った内容について復習し、知識の定着を図る。

科目区分	教養科目	科目分類	教養科目	科目番号	LA111A2		
授業科目	山梨学			担当教員	清水 健		
履修年次	開講時期	単位数	時間	授業形態	卒業要件	幼2種免	保育士
2年	集中	1	15	講義	選択	—	選択
(授業の目的)							
<p>本学が所在する「山梨県」の保育に関する現代的な課題について分析、検討、考察を行うことを通して、問題の解決について学びを深め、今後の自身の保育スタイルを確立していく。</p>							
(授業の概要)							
<p>「山梨県の保育」をテーマに現代的な課題を考察する機会として、保育現場の施設長や保育者を招いて講演会を開催する。講演会を通して、実際の保育現場の姿や保育現場に求められる保育者像について学びを深める。 また、卒業後に保育者としてより広い視野を持って保育現場に従事することができるよう、山梨県のような自然や文化、社会資源等、教育資源となりうる環境について幅広く学び、理解を深める。</p>							
(授業の到達目標)							
<ul style="list-style-type: none"> ・実際の保育現場の姿や保育現場に求められる保育者像について学びを深める ・山梨県のような自然や文化、社会資源等、教育資源となりうる環境について理解を深める ・自然や文化、社会資源等の教育資源を活用した保育活動計画を立案する 							
(卒業認定・学位授与の方針との関連)							
ディプロマ・ポリシー				卒業認定・学位授与			
(1) 社会人として必要な教養とマナーを身につけていること。				○			
(2) 幼児教育に関する専門的知識と保育技術を身につけていること。							
(3) 保育の課題を積極的に探究していこうとする意欲を持っていること。							
(学習成果との関連)							
(1) 知識 50%		(2) 技能 10%		計100%			
(3) 態度 30%		(4) 実践力 10%					
【評価方法】							
レポート課題等提出物:50% プレゼンテーションの評価:50% 計100%							
【自己学習(予習・復習等)】							
「授業計画」参照(合計30時間分)							
【課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法】							
各時間の授業内で提出された課題を確認後、返却する。							
【使用テキスト】							
なし							
【参考図書】							
毎回資料を配布します。							
【学生へのメッセージ】							
この講義では特に積極的な態度を求めます。履修者は毎回の授業までに必要な資料をまとめておく等、意欲的な姿勢で望んでください。							

授 業 計 画

回	授 業 概 要	
1	予習	各履修学生の居住地に伝わる文化について調べる
	学習内容	山梨県の自然、文化、社会資源等、教育資源となりうる環境①
	復習	ノートや資料を振り返り、知識の定着を図る
2	予習	前回の活動で提示された課題に取り組み、資料をまとめる
	学習内容	山梨県の自然、文化、社会資源等、教育資源となりうる環境②
	復習	ノートや資料を振り返り、知識の定着を図る
3	予習	前回の活動で提示された課題に取り組み、資料をまとめる
	学習内容	山梨県の自然、文化、社会資源等、教育資源となりうる環境③
	復習	ノートや資料を振り返り、知識の定着を図る
4	予習	前回の活動で提示された課題に取り組み、資料をまとめる
	学習内容	山梨県の自然、文化、社会資源等、教育資源となりうる環境④
	復習	ノートや資料を振り返り、知識の定着を図る
5	予習	前回の活動で提示された課題に取り組み、資料をまとめる
	学習内容	山梨県の自然、文化、社会資源等、教育資源となりうる環境⑤
	復習	ノートや資料を振り返り、知識の定着を図る
6	予習	前回の活動で提示された課題に取り組み、資料をまとめる
	学習内容	山梨県の自然、文化、社会資源等、教育資源となりうる環境⑥
	復習	ノートや資料を振り返り、知識の定着を図る
7	予習	前回の活動で提示された課題に取り組み、資料をまとめる
	学習内容	山梨県の自然、文化、社会資源等、教育資源となりうる環境⑦
	復習	ノートや資料を振り返り、知識の定着を図る
8	予習	前回の活動で提示された課題に取り組み、資料をまとめる
	学習内容	山梨県の自然、文化、社会資源等、教育資源となりうる環境⑧
	復習	ノートや資料を振り返り、知識の定着を図る

科目区分	教養科目	科目分類	教養科目	科目番号	LA112A2		
授業科目	日本語表現			担当教員	三石 美鶴		
履修年次	開講時期	単位数	時間	授業形態	卒業要件	幼2種免	保育士
1年	前期	2	30	講義	選択	—	選択

(授業の目的)

日本語の特性、美しさについて知り、その表現方法について正しい知識、技術を習得する。また、日本語を通じたコミュニケーションを円滑にすすめるためのマナーや配慮について学ぶ。言葉を育む保育者として、子供のモデルとなる正しく、美しい日本語の担い手となるよう、実践で生きて働くコミュニケーション力、文章表現力を育成する。

(授業の概要)

日本語の特性について学び、日本語を正しく使い、表現する力を育成する。言葉を育む保育者として実践的な日本語表現について学修する。主に会話表現と文章表現に大別し、コミュニケーション力と文字言語による文章表現力を育成する。社会人・保育者として日本語を駆使し、実の場で生きて働く表現力を身に付ける上で、具体的な場面を想定した実践的な学修を行う。

(授業の到達目標)

- ・日本語の特性について理解する。
- ・会話表現について敬語をはじめ様々な場に応じた日本語の使い方を理解し、コミュニケーション力を身に付ける。
- ・文章表現において正しい文字表記、文章の書き方、様々な文章表現の仕方を理解し、習得する。

(卒業認定・学位授与の方針との関連)

ディプロマ・ポリシー	卒業認定・学位授与
(1) 社会人として必要な教養とマナーを身につけていること。	○
(2) 幼児教育に関する専門的知識と保育技術を身につけていること。	○
(3) 保育の課題を積極的に探究していこうとする意欲を持っていること。	

(学習成果との関連)

(1) 知識 30%	(2) 技能 30%	計100%
(3) 態度 20%	(4) 実践力 20%	

【評価方法】

定期試験:40% 授業態度:30% 提出物:30% 計100%

【自己学習(予習・復習等)】

「授業計画」参照(合計60時間分)

【課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法】

授業ごとに作成したワークシートや小レポート等が返却されるので、指導者のコメントや助言を参照し、毎回振り返りを行う。自らの学修のよかった点や改善点等を確認し、次の授業に活かす。

【使用テキスト】

保育者になるための「国語表現」 田上貞一郎 萌文書林

【参考図書】

「保育学生のための基礎学力演習」 馬見塚昭久・大浦賢治 編著 中央法規

【学生へのメッセージ】

言葉を育む保育者として、この授業を通して正しい日本語、美しい日本語の担い手となり、子供たちのモデルとなってほしいと願っています。保育者にとってコミュニケーション力、文章表現力は必須です。国語に苦手意識をもっている人は特にこの授業を通して日本語学習に励み、会話表現、文章表現両方の実践力を身に付けてください。

授 業 計 画

回	授 業 概 要	
1	予習	日本語について自分の考えをまとめておく
	学習内容	オリエンテーション: 自己紹介をし合い、学修内容を理解し、見通しをもつ。「日本語」について考える
	復習	学修への見通しをもち、学修した内容についてテキストやノート、配布資料などを復習し、知識の定着を図る
2	予習	保育者としてよい日本語表現をするための方策を考えておく
	学習内容	保育者としてよい日本語表現をするための方策を考え、協議する
	復習	協議した結果を振り返り、自らの日本語表現に生かす
3	予習	テキストの会話表現基礎編を読んでおき、授業時の理解を深める
	学習内容	会話表現として話し方の基本、あいさつ、敬語の使い方について学修し、演習する
	復習	話し方の基本、あいさつ、敬語の使い方についてテキストやノート、配布資料などを復習し、演習問題等により知識の定着を図り、実際に生かす
4	予習	テキストの会話表現応用編を読んでおき、授業時の理解を深める
	学習内容	会話表現として発声、保育現場等での話し方について学修し、演習する
	復習	発声や話し方についてテキストやノート、配布資料などを復習し、演習問題等により知識の定着を図り、実際に生かす
5	予習	テキストの文章表現基本編を読んでおき、授業時の理解を深める
	学習内容	文章表現として正しい文字表記について学修し、演習する
	復習	正しい文字表記についてテキストやノート、配布資料などを復習し、演習問題等により知識の定着を図り、実際に生かす
6	予習	テキストの文章表現基本編を読んでおき、授業時の理解を深める
	学習内容	文章表現として文章の基本的な書き方について学修し、演習する
	復習	文章の基本的な書き方についてテキストやノート、配布資料などを復習し、演習問題等により知識の定着を図り、実際に生かす
7	予習	テキストの日記の書き方を読んでおき、授業時の理解を深める
	学習内容	文章表現として日記の書き方について学修し、演習する
	復習	日記の書き方についてテキストやノート、配布資料などを復習し、知識・技能の定着を図り、実際に生かす
8	予習	テキストの手紙やハガキの書き方を読んでおき、授業時の理解を深める
	学習内容	文章表現として手紙やハガキの書き方について学修し、演習する
	復習	手紙やハガキの書き方についてテキストやノート、配布資料などを復習し、知識・技能の定着を図り、実際に生かす
9	予習	テキストの履歴書の書き方を読んでおき、授業時の理解を深める
	学習内容	文章表現として履歴書の書き方について学修し、演習する
	復習	履歴書の書き方についてテキストやノート、配布資料などを復習し、知識・技能の定着を図り、実際に生かす
10	予習	テキストの連絡帳の書き方を読んでおき、授業時の理解を深める
	学習内容	文章表現として連絡帳の書き方について学修し、演習する
	復習	連絡帳の書き方についてテキストやノート、配布資料などを復習し、知識・技能の定着を図り、実際に生かす
11	予習	テキストの小論文の書き方を読んでおき、授業時の理解を深める
	学習内容	文章表現として小論文の書き方について学修し、演習する
	復習	小論文の書き方についてテキストやノート、配布資料などを復習し、知識・技能の定着を図り、実際に生かす
12	予習	協議したい保育課題についてリサーチする
	学習内容	現在の保育課題について協議し、その中からテーマを決め小論文を書く。
	復習	小論文の校正・推敲を行う。
13	予習	テキストの広報文書の書き方を読んでおき、授業時の理解を深める
	学習内容	文章表現として広報文書の書き方について学修する
	復習	広報文書の書き方についてテキストやノート、配布資料などを復習し、知識・技能の定着を図り、実際に生かす
14	予習	作成する広報文書のプロット・レイアウト等を考えておく
	学習内容	グループで広報文書を作成し、交流し合う。
	復習	自己評価や友達との相互評価を受け、広報文書を振り返り、今後に生かす。
15	予習	今まで学修したことをファイルし、学修内容を把握しておく
	学習内容	本学修の振り返りと学修のまとめ
	復習	今まで学修したことを振り返るとともに、学修成果を実の場で実践する

科目区分	教養科目	科目分類	教養科目	科目番号	LA113A2		
授業科目	基礎音楽			担当教員	田川 智美		
履修年次	開講時期	単位数	時間	授業形態	卒業要件	幼2種免	保育士
1年	前期	2	30	講義	選択	—	選択
(授業の目的) 保育における表現活動をするために、音楽の基礎知識を習得すると共に、歌う、聴く、動く、演奏する活動を通して学生自らが音楽の楽しさを感じ、指導するための技能を身に付ける。							
(授業の概要) 保育内容を理解し展開するために、音楽に関する基本的な知識を習得し技能を身に付け、保育の中で取り扱う教材やそれらを展開するために必要な知識や技能を身に付ける。							
(授業の到達目標) ・幼児曲をたくさん知る ・基礎知識をもとに、幼児曲の伴奏付けなどが出来るようになる ・音楽表現活動を通して音楽の楽しさや喜びを知る							
(卒業認定・学位授与の方針との関連)							
ディプロマ・ポリシー				卒業認定・学位授与			
(1) 社会人として必要な教養とマナーを身につけていること。							
(2) 幼児教育に関する専門的知識と保育技術を身につけていること。				○			
(3) 保育の課題を積極的に探究していこうとする意欲を持っていること。				○			
(学習成果との関連)							
(1) 知識 40%		(2) 技能 20 %		計100%			
(3) 態度 20%		(4) 実践力 20%					
【評価方法】 授業への取り組み:40% 定期試験:60% 計100%							
【自己学習(予習・復習等)】 「授業計画」参照(合計60時間分)							
【課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法】 課題は、添削のうえ返却する。							
【使用テキスト】 「楽譜の読み方」小林一夫著 日東書院 「こどものうたベストテン」ドレミ楽譜							
【参考図書】 「リトミックで遊ぼう」全音楽譜 「子どものリトミック」アドグリーン 保育実技選書							
【学生へのメッセージ】 音楽の基礎から学習します。基礎力をつけて音楽の楽しさを学び保育に役立つ実践力を身に付けましょう。							

授 業 計 画

回	授 業 概 要	
1	予習	予めテキストを読んでおく
	学習内容	オリエンテーション
	復習	復習によってしっかりと知識を定着させる
2	予習	予めテキストを読んでおく
	学習内容	保育者として必要な音楽知識・・・① 音の高さを表す・発声法と歌唱法 子どもの歌
	復習	復習によってしっかりと知識を定着させる
3	予習	予めテキストを読んでおく
	学習内容	保育者として必要な音楽知識・・・② 音の長さをあらわす・発声法と歌唱法 子どもの歌
	復習	復習によってしっかりと知識を定着させる
4	予習	予めテキストを読んでおく
	学習内容	保育者として必要な音楽知識・・・③ リズムを表す・発声法と歌唱法 子どもの歌
	復習	復習によってしっかりと知識を定着させる
5	予習	予めテキストを読んでおく
	学習内容	保育者として必要な音楽知識・・・④ 演奏の順序を表す・発声法と歌唱法 子どもの歌
	復習	復習によってしっかりと知識を定着させる
6	予習	予めテキストを読んでおく
	学習内容	保育者として必要な音楽知識・・・⑤ 音のつながりを表す・発声法と歌唱法 子どもの歌
	復習	復習によってしっかりと知識を定着させる
7	予習	予めテキストを読んでおく
	学習内容	保育者として必要な音楽知識・・・⑥ 音のつながりを表す・発声法と歌唱法 子どもの歌
	復習	復習によってしっかりと知識を定着させる
8	予習	予めテキストを読んでおく
	学習内容	保育者として必要な音楽知識・・・⑦ 音の幅を表す・発声法と歌唱法 子どもの歌
	復習	復習によってしっかりと知識を定着させる
9	予習	予めテキストを読んでおく
	学習内容	保育者として必要な音楽知識・・・⑧ 音の調和を表す・発声法と歌唱法 子どもの歌
	復習	復習によってしっかりと知識を定着させる
10	予習	予めテキストを読んでおく
	学習内容	保育者として必要な音楽知識・・・⑨ コードネームについて・発声法と歌唱法 子どもの歌
	復習	復習によってしっかりと知識を定着させる
11	予習	予めテキストを読んでおく
	学習内容	保育者として必要な音楽知識・・・⑩ 幼児曲の伴奏部分のアナリゼ・発声法と歌唱法 子どもの歌
	復習	復習によってしっかりと知識を定着させる
12	予習	予めテキストを読んでおく
	学習内容	保育者として必要な音楽知識・・・⑪ 幼児曲の伴奏部分の編曲・発声法と歌唱法 子どもの歌
	復習	復習によってしっかりと知識を定着させる
13	予習	予めテキストを読んでおく
	学習内容	保育者として必要な音楽知識・・・⑫ 幼児曲を用いての実践演習
	復習	復習によってしっかりと知識を定着させる
14	予習	予めテキストを読んでおく
	学習内容	保育者として必要な音楽知識・・・⑬ 幼児曲を用いての実践演習
	復習	復習によってしっかりと知識を定着させる
15	予習	予めテキストを読んでおく
	学習内容	まとめ
	復習	復習によってしっかりと知識を定着させる

科目区分	専門教育科目	科目分類	専門科目(基礎)	科目番号	BO201A2		
授業科目	保育原理 I			担当教員	清水 健		
履修年次	開講時期	単位数	時間	授業形態	卒業要件	幼2種免	保育士
1年	前期	2	30	講義	選択	選択必修	必修
(授業の目的)							
<p>幼児の保育・教育の本質について理解し、幼児の保育・教育の場に関する歴史と類型について学ぶことを通じて、保育所・幼稚園における保育・教育の原理と内容について理解する。さらに、発達過程区分における幼児の保育・教育内容の理解を通じて、幼児の保育・教育計画作成上の基本的視点や留意点について学ぶ。また、幼稚園・保育所での健康・安全上の留意事項及び多様な幼児の保育・教育ニーズへの対応について理解する。</p>							
(授業の概要)							
<p>幼児の保育・教育に関する基礎的事項についての理解を深め、幼児の保育・教育の意義について明確な認識を持つ中で幼児に対する保育・教育に関する総論を学ぶ。</p>							
(授業の到達目標)							
<ul style="list-style-type: none"> ・幼児の保育・教育の本質について、理解する ・歴史や類型の学びを通して、保育所・幼稚園における保育・教育の原理と内容について理解する ・幼稚園、保育所での幼児の保育教育的ニーズを理解する 							
(卒業認定・学位授与の方針との関連)							
ディプロマ・ポリシー				卒業認定・学位授与			
(1) 社会人として必要な教養とマナーを身につけていること。							
(2) 幼児教育に関する専門的知識と保育技術を身につけていること。				○			
(3) 保育の課題を積極的に探究していこうとする意欲を持っていること。				○			
(学習成果との関連)							
(1) 知識 60%		(2) 技能 10%		計100%			
(3) 態度 20%		(4) 実践力 10%					
【評価方法】							
授業レポート:30% 定期試験:60% 討論・プレゼンテーション:10% 計100%							
【自己学習(予習・復習等)】							
「授業計画」参照(合計60時間分)							
【課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法】							
課題は、添削のうえ返却しフィードバックを行う。試験は、解答を公表する。							
【使用テキスト】							
「保育原理」小田豊他編著 光生館							
【参考図書】							
「PriPriブックス 新保育所保育指針サポートブック ～保育家庭から指導計画作成まで～」保育総合研究会監修 世界文化社							
【学生へのメッセージ】							
幼稚園や保育所・施設それぞれの幼児の保育・教育の基礎、原理について学ぶため、毎回の授業終了後、学び得たことをまとめたレポートを提出してもらう予定である。							

授 業 計 画

回	授 業 概 要	
1	予習	予めテキストを読んでおき、授業時に理解を深められるようにする
	学習内容	オリエンテーション
	復習	ノートや資料を振り返り、知識の定着を図る
2	予習	予めテキストを読んでおき、授業時に理解を深められるようにする
	学習内容	幼児の保育・教育とは何か(本質と原理)
	復習	ノートや資料を振り返り、知識の定着を図る
3	予習	予めテキストを読んでおき、授業時に理解を深められるようにする
	学習内容	幼児の保育・教育制度の歴史と世界の動向
	復習	ノートや資料を振り返り、知識の定着を図る
4	予習	予めテキストを読んでおき、授業時に理解を深められるようにする
	学習内容	幼児の保育・教育の場とその役割－幼稚園の実際－
	復習	ノートや資料を振り返り、知識の定着を図る
5	予習	予めテキストを読んでおき、授業時に理解を深められるようにする
	学習内容	幼児の保育・教育の場とその役割－保育所の実際－
	復習	ノートや資料を振り返り、知識の定着を図る
6	予習	予めテキストを読んでおき、授業時に理解を深められるようにする
	学習内容	幼児の保育・教育の場とその役割－保育所以外の児童福祉施設の実際－
	復習	ノートや資料を振り返り、知識の定着を図る
7	予習	予めテキストを読んでおき、授業時に理解を深められるようにする
	学習内容	乳幼児の発達特性の理解(1)乳児期
	復習	ノートや資料を振り返り、知識の定着を図る
8	予習	予めテキストを読んでおき、授業時に理解を深められるようにする
	学習内容	乳幼児の発達特性の理解(2)幼児期
	復習	ノートや資料を振り返り、知識の定着を図る
9	予習	予めテキストを読んでおき、授業時に理解を深められるようにする
	学習内容	発達段階と発達課題(1)乳児期
	復習	ノートや資料を振り返り、知識の定着を図る
10	予習	予めテキストを読んでおき、授業時に理解を深められるようにする
	学習内容	発達段階と発達課題(2)幼児期
	復習	ノートや資料を振り返り、知識の定着を図る
11	予習	予めテキストを読んでおき、授業時に理解を深められるようにする
	学習内容	幼児の保育・教育計画の立案・展開・評価の実際(1)－計画作成上の留意点－
	復習	ノートや資料を振り返り、知識の定着を図る
12	予習	予めテキストを読んでおき、授業時に理解を深められるようにする
	学習内容	幼児の保育・教育計画の立案・展開・評価の実際(2)－発達過程区分ごとの内容と計画(1)－乳児期
	復習	ノートや資料を振り返り、知識の定着を図る
13	予習	予めテキストを読んでおき、授業時に理解を深められるようにする
	学習内容	幼児の保育・教育計画の立案・展開・評価の実際(3)－発達過程区分ごとの内容と計画(2)－幼児期
	復習	ノートや資料を振り返り、知識の定着を図る
14	予習	予めテキストを読んでおき、授業時に理解を深められるようにする
	学習内容	幼児の保育・教育計画の立案・展開・評価の実際(4)－発達過程区分ごとの内容と計画(3)－幼児期
	復習	ノートや資料を振り返り、知識の定着を図る
15	予習	予めテキストを読んでおき、授業時に理解を深められるようにする
	学習内容	まとめ
	復習	ノートや資料を振り返り、知識の定着を図る

科目区分	専門教育科目	科目分類	専門科目(基礎)	科目番号	BO202A1		
授業科目	教育学概論			担当教員	橋田 重男		
履修年次	開講時期	単位数	時間	授業形態	卒業要件	幼2種免	保育士
1年	後期	2	30	講義	必修	必修	必修

(授業の目的)

現代の学校教育に関する社会的な状況を考察し、今後の教育政策の動向について理解する。特に、地域における学校のあり方を重視し、学校と地域の連携や協働の仕方について、取り組み事例を踏まえて理解する。また、学校における危機管理について、現代の社会状況の中で何が求められているのかを考察する。

(授業の概要)

教育、特に幼児教育分野についての変遷や、それを下支えた思想上の変遷を概観し、現代における子ども観がどのように成立したかを理解する。現状における教育観・子ども観においてどのような地域を含む学校外の人々との関係が可能であるのかを、事例を通して考察する。また、事件・事故・災害・感染症など、様々な学校をめぐるリスクについて理解する。

(授業の到達目標)

- ・教育の基本的概念・理念について、教育の歴史や思想を通して学び、教育及び学校の捉え方の変遷について理解する。
- ・現代の学校教育に関する社会的な状況を考察し、今後の教育政策の動向などについて理解する。
- ・地域における学校のあり方を重視し、学校と地域の連携や協働の仕方について理解する。

(卒業認定・学位授与の方針との関連)

ディプロマ・ポリシー	卒業認定・学位授与
(1) 社会人として必要な教養とマナーを身につけていること。	○
(2) 幼児教育に関する専門的知識と保育技術を身につけていること。	○
(3) 保育の課題を積極的に探究していこうとする意欲を持っていること。	

(学習成果との関連)

(1) 知識 40%	(2) 技能 10%	計100%
(3) 態度 40%	(4) 実践力 10%	

【評価方法】

定期試験:50% 学習マナー:20% 課題レポート:30% 計100%

【自己学習(予習・復習等)】

「授業計画」参照(合計60時間分)

【課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法】

毎回の授業課題 及び定期試験を行う。

【使用テキスト】

福元真由美編『はじめての子ども教育原理』(有斐閣)

【参考図書】

授業内で適宜示す

【学生へのメッセージ】

授業時には必ず、教科書と既に配布したプリントを持参すること。

授 業 計 画

回	授 業 概 要	
1	予習	テキストを読み、分からない箇所などの確認を行う
	学習内容	「教育」の意味について
	復習	配布プリントなどにより、授業内容について確認する
2	予習	テキストを読み、分からない箇所などの確認を行う
	学習内容	子ども教育の系譜
	復習	配布プリントなどにより、授業内容について確認する
3	予習	テキストを読み、分からない箇所などの確認を行う
	学習内容	子ども教育の制度とその改革Ⅰ（公教育ならびに幼児教育の成立）
	復習	配布プリントなどにより、授業内容について確認する
4	予習	テキストを読み、分からない箇所などの確認を行う
	学習内容	子ども教育の制度とその改革Ⅱ（教育方法の成立と改革）
	復習	配布プリントなどにより、授業内容について確認する
5	予習	テキストを読み、分からない箇所などの確認を行う
	学習内容	子どもという存在Ⅰ（子ども親の変遷）
	復習	配布プリントなどにより、授業内容について確認する
6	予習	テキストを読み、分からない箇所などの確認を行う
	学習内容	子どもという存在Ⅱ（子どもの権利）
	復習	配布プリントなどにより、授業内容について確認する
7	予習	テキストを読み、分からない箇所などの確認を行う
	学習内容	子ども教育をめぐる思想Ⅰ（教育思想の変遷）
	復習	配布プリントなどにより、授業内容について確認する
8	予習	テキストを読み、分からない箇所などの確認を行う
	学習内容	子ども教育をめぐる思想Ⅱ（教育思想の変遷）
	復習	配布プリントなどにより、授業内容について確認する
9	予習	テキストを読み、分からない箇所などの確認を行う
	学習内容	子ども教育をめぐる思想Ⅲ（教育と社会）
	復習	配布プリントなどにより、授業内容について確認する
10	予習	テキストを読み、分からない箇所などの確認を行う
	学習内容	子ども教育をめぐる思想Ⅳ（教育と社会）
	復習	配布プリントなどにより、授業内容について確認する
11	予習	テキストを読み、分からない箇所などの確認を行う
	学習内容	経済格差と教育Ⅰ
	復習	配布プリントなどにより、授業内容について確認する
12	予習	テキストを読み、分からない箇所などの確認を行う
	学習内容	経済格差と教育Ⅱ
	復習	配布プリントなどにより、授業内容について確認する
13	予習	テキストを読み、分からない箇所などの確認を行う
	学習内容	教育活動を支える組織と運営（学校と地域との連携・学校安全への対応）
	復習	配布プリントなどにより、授業内容について確認する
14	予習	テキストを読み、分からない箇所などの確認を行う
	学習内容	気になる子の理解と対応
	復習	配布プリントなどにより、授業内容について確認する
15	予習	テキストを読み、分からない箇所などの確認を行う
	学習内容	諸外国における子ども親と教育
	復習	配布プリントなどにより、授業内容について確認する

科目区分	専門教育科目	科目分類	専門科目(基礎)	科目番号	NT203A2		
授業科目	子ども家庭福祉			担当教員	長坂 健司		
履修年次	開講時期	単位数	時間	授業形態	卒業要件	幼2種免	保育士
1年	前期	2	30	講義	選択	—	必修
(授業の目的) 現代の子どもが置かれている状況を理解する。子ども家庭福祉についての考え方の歴史を理解する。また、子ども家庭福祉の制度と現状について理解する。							
(授業の概要) 少子化、核家族化が進行した現代社会において児童の養育はどのように行われているのか、その現状について理解を深めるとともに、社会福祉の視点からどのような支援が可能か考える。子ども家庭福祉の実施体制や法体系についても理解を深める。							
(授業の到達目標) ・現代の子どもが置かれている状況を理解する。 ・子ども福祉の制度と実施体制について理解する。							
(卒業認定・学位授与の方針との関連)							
ディプロマ・ポリシー				卒業認定・学位授与			
(1) 社会人として必要な教養とマナーを身につけていること。							
(2) 幼児教育に関する専門的知識と保育技術を身につけていること。				○			
(3) 保育の課題を積極的に探究していこうとする意欲を持っていること。				○			
(学習成果との関連)							
(1) 知識 60 %		(2) 技能 10 %		計100%			
(3) 態度 20 %		(4) 実践力 10 %					
【評価方法】 定期試験:70% 学習マナー:30% 計100%							
【自己学習(予習・復習等)】 「授業計画」参照(合計60時間分)							
【課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法】 定期試験について、試験後解説を行う。							
【使用テキスト】 澁谷昌史・加藤洋子編著『子ども家庭福祉』2019 光生館							
【参考図書】 新保幸男・小林理編『こども家庭福祉』2019中央法規出版							
【学生へのメッセージ】 こども家庭福祉の制度や現状について理解することで、子どもの育成に責任のある保育者として必要な考え方を身につけてください。制度は変わってしまうこともありますが、身につけた考え方は一生ものです。							

授 業 計 画

回	授 業 概 要	
1	予習	テキストを読み、分からない箇所などの確認を行う
	学習内容	ガイダンス、子ども家庭福祉とは何か
	復習	配布プリントなどにより、授業内容について確認する
2	予習	テキストを読み、分からない箇所などの確認を行う
	学習内容	子ども家庭福祉の歴史の変遷と、現代社会における子ども家庭福祉
	復習	配布プリントなどにより、授業内容について確認する
3	予習	テキストを読み、分からない箇所などの確認を行う
	学習内容	子ども家庭福祉と保育
	復習	配布プリントなどにより、授業内容について確認する
4	予習	テキストを読み、分からない箇所などの確認を行う
	学習内容	子ども家庭福祉の法体系
	復習	配布プリントなどにより、授業内容について確認する
5	予習	テキストを読み、分からない箇所などの確認を行う
	学習内容	子ども家庭福祉の実施機関
	復習	配布プリントなどにより、授業内容について確認する
6	予習	テキストを読み、分からない箇所などの確認を行う
	学習内容	少子化と子育て支援サービス
	復習	配布プリントなどにより、授業内容について確認する
7	予習	テキストを読み、分からない箇所などの確認を行う
	学習内容	母子保健の実施機関
	復習	配布プリントなどにより、授業内容について確認する
8	予習	テキストを読み、分からない箇所などの確認を行う
	学習内容	子どもの健全育成と課題
	復習	配布プリントなどにより、授業内容について確認する
9	予習	テキストを読み、分からない箇所などの確認を行う
	学習内容	多様な保育ニーズへの対応Ⅰ（保育所待機児童問題）
	復習	配布プリントなどにより、授業内容について確認する
10	予習	テキストを読み、分からない箇所などの確認を行う
	学習内容	多様な保育ニーズへの対応Ⅱ（潜在保育士問題）
	復習	配布プリントなどにより、授業内容について確認する
11	予習	テキストを読み、分からない箇所などの確認を行う
	学習内容	子ども虐待の防止とDVへの対応
	復習	配布プリントなどにより、授業内容について確認する
12	予習	テキストを読み、分からない箇所などの確認を行う
	学習内容	社会的養護体系
	復習	配布プリントなどにより、授業内容について確認する
13	予習	テキストを読み、分からない箇所などの確認を行う
	学習内容	貧困とセーフティーネット
	復習	配布プリントなどにより、授業内容について確認する
14	予習	テキストを読み、分からない箇所などの確認を行う
	学習内容	ひとり親家庭・外国籍の家庭への支援
	復習	配布プリントなどにより、授業内容について確認する
15	予習	テキストを読み、分からない箇所などの確認を行う
	学習内容	まとめと展望
	復習	配布プリントなどにより、授業内容について確認する

科目区分	専門教育科目	科目分類	専門科目(基礎)	科目番号	BO204A2		
授業科目	社会福祉			担当教員	米山 委月		
履修年次	開講時期	単位数	時間	授業形態	卒業要件	幼2種免	保育士
1年	後期	2	30	講義	選択	選択必修	必修
(授業の目的)							
社会福祉の目的と概念を、成り立ちから現在まで概観し、保育者としての価値観を築く基盤をつくる。現在の社会福祉の法と制度のあらましを理解し、福祉を届ける方法と技術について探索を深める。							
(授業の概要)							
社会福祉は何のためにあるのか。その基本的な考え方を自分の生き方との関連で理解する。その上で現代社会における社会福祉の現状について考察する。社会福祉の法体系と社会福祉の仕事についても理解を深める。							
(授業の到達目標)							
<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉の歴史と現状を理解する。 ・現在の福祉制度の枠組みを理解できる。 ・保育士として社会福祉を担う自覚を持つ。 							
(卒業認定・学位授与の方針との関連)							
ディプロマ・ポリシー				卒業認定・学位授与			
(1) 社会人として必要な教養とマナーを身につけていること。				○			
(2) 幼児教育に関する専門的知識と保育技術を身につけていること。				○			
(3) 保育の課題を積極的に探究していこうとする意欲を持っていること。							
(学習成果との関連)							
(1) 知識 80%		(2) 技能 0%		計100%			
(3) 態度 20%		(4) 実践力 0%					
【評価方法】							
定期試験:50% 授業時のリアクションペーパー:50% 計100%							
【自己学習(予習・復習等)】							
「授業計画」参照(合計60時間分)							
【課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法】							
授業時のリアクションペーパーにコメントし、返却する。							
【使用テキスト】							
「改訂 第2版 はじめて学ぶ社会福祉」 松本峰雄 編著 建帛社(2022年5月10日発行) 「ひと目でわかる日本国憲法MAP」 かたりな 編著							
【参考図書】							
授業内で適宜紹介する。							
【学生へのメッセージ】							
社会のなかで、自分の果たす役割の可能性を膨らませる学びにいきましょう。							

授 業 計 画

回	授 業 概 要	
1	予習	テキストを読み、分からない箇所などの確認を行う
	学習内容	ガイダンス 講義方法、評価方法 社会福祉の概念 日本国憲法を読む
	復習	配布プリントなどにより、授業内容について確認する
2	予習	テキストを読み、分からない箇所などの確認を行う
	学習内容	生活と社会福祉
	復習	配布プリントなどにより、授業内容について確認する
3	予習	テキストを読み、分からない箇所などの確認を行う
	学習内容	社会福祉の理念と歴史Ⅰ(日本)
	復習	配布プリントなどにより、授業内容について確認する
4	予習	テキストを読み、分からない箇所などの確認を行う
	学習内容	社会福祉の理念と歴史Ⅱ(欧米)
	復習	配布プリントなどにより、授業内容について確認する
5	予習	テキストを読み、分からない箇所などの確認を行う
	学習内容	社会保障と社会福祉制度
	復習	配布プリントなどにより、授業内容について確認する
6	予習	テキストを読み、分からない箇所などの確認を行う
	学習内容	社会福祉の行財政と実施機関
	復習	配布プリントなどにより、授業内容について確認する
7	予習	テキストを読み、分からない箇所などの確認を行う
	学習内容	社会福祉の施設と専門職
	復習	配布プリントなどにより、授業内容について確認する
8	予習	テキストを読み、分からない箇所などの確認を行う
	学習内容	子どもと女性の福祉
	復習	配布プリントなどにより、授業内容について確認する
9	予習	テキストを読み、分からない箇所などの確認を行う
	学習内容	障害者の福祉
	復習	配布プリントなどにより、授業内容について確認する
10	予習	テキストを読み、分からない箇所などの確認を行う
	学習内容	高齢者の福祉
	復習	配布プリントなどにより、授業内容について確認する
11	予習	テキストを読み、分からない箇所などの確認を行う
	学習内容	貧困と福祉
	復習	配布プリントなどにより、授業内容について確認する
12	予習	テキストを読み、分からない箇所などの確認を行う
	学習内容	社会福祉における相談援助
	復習	配布プリントなどにより、授業内容について確認する
13	予習	テキストを読み、分からない箇所などの確認を行う
	学習内容	社会福祉における利用者の保護
	復習	配布プリントなどにより、授業内容について確認する
14	予習	テキストを読み、分からない箇所などの確認を行う
	学習内容	社会福祉の動向と課題
	復習	配布プリントなどにより、授業内容について確認する
15	予習	テキストを読み、分からない箇所などの確認を行う
	学習内容	まとめ
	復習	配布プリントなどにより、授業内容について確認する

科目区分	専門教育科目	科目分類	専門科目(基礎)	科目番号	NT205A2		
授業科目	子ども家庭支援論			担当教員	吉田 百加利		
履修年次	開講時期	単位数	時間	授業形態	卒業要件	幼2種免	保育士
2年	前期	2	30	講義	選択	—	必修
(授業の目的)							
1. 家庭・家族の意義やその機能、家庭・家族を取り巻く社会的状況について理解する 2. 子育て家庭への支援体制や関係機関との連携について理解する							
(授業の概要)							
家庭・家族の現代社会における意義や機能を理解し、家庭や家族も含めて現代の保育は成立しているということについて、十分な知識をつける。その中で、保育士としてどのような家庭・家族への支援が行えるかを模索していく。							
(授業の到達目標)							
・保育の対象は子どもだけではなく家庭・家族も含まれることを理解する ・家庭・家族が現代社会においてどのような状況に置かれているかを理解する							
(卒業認定・学位授与の方針との関連)							
ディプロマ・ポリシー					卒業認定・学位授与		
(1) 社会人として必要な教養とマナーを身につけていること。							
(2) 幼児教育に関する専門的知識と保育技術を身につけていること。					○		
(3) 保育の課題を積極的に探究していこうとする意欲を持っていること。					○		
(学習成果との関連)							
(1) 知識 40%		(2) 技能 25%		計100%			
(3) 態度 25%		(4) 実践力 10%					
【評価方法】							
定期試験:70% 学習マナー:30% 計100%							
【自己学習(予習・復習等)】							
「授業計画」参照(合計60時間分)							
【課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法】							
試験は、試験後解答を公表する。							
【使用テキスト】							
子ども家庭支援論 守 巧 編著 萌文書林							
【参考図書】							
授業内で適宜紹介する。							
【学生へのメッセージ】							
意欲的な態度での受講を期待します。							

授 業 計 画

回	授 業 概 要	
1	予習	テキストを読み、分からない箇所などの確認を行う
	学習内容	オリエンテーション(講義内容、評価方法の説明)
	復習	配布プリントなどにより、授業内容について確認する
2	予習	テキストを読み、分からない箇所などの確認を行う
	学習内容	家族支援の必要性
	復習	配布プリントなどにより、授業内容について確認する
3	予習	テキストを読み、分からない箇所などの確認を行う
	学習内容	保育士等が行う家庭支援の原理
	復習	配布プリントなどにより、授業内容について確認する
4	予習	テキストを読み、分からない箇所などの確認を行う
	学習内容	現代の家庭と地域社会における人間関係
	復習	配布プリントなどにより、授業内容について確認する
5	予習	テキストを読み、分からない箇所などの確認を行う
	学習内容	男女共同参画とワーク・ライフ・バランス
	復習	配布プリントなどにより、授業内容について確認する
6	予習	テキストを読み、分からない箇所などの確認を行う
	学習内容	少子化対策施策・次世代育成支援施策
	復習	配布プリントなどにより、授業内容について確認する
7	予習	テキストを読み、分からない箇所などの確認を行う
	学習内容	子育て家庭の支援体制Ⅰ
	復習	配布プリントなどにより、授業内容について確認する
8	予習	テキストを読み、分からない箇所などの確認を行う
	学習内容	子育て家庭の支援体制Ⅱ
	復習	配布プリントなどにより、授業内容について確認する
9	予習	テキストを読み、分からない箇所などの確認を行う
	学習内容	家庭支援の展開の多様性と関係機関との連携Ⅰ
	復習	配布プリントなどにより、授業内容について確認する
10	予習	テキストを読み、分からない箇所などの確認を行う
	学習内容	家庭支援の展開の多様性と関係機関との連携Ⅱ
	復習	配布プリントなどにより、授業内容について確認する
11	予習	テキストを読み、分からない箇所などの確認を行う
	学習内容	要保護児童およびその家庭に対する支援Ⅰ
	復習	配布プリントなどにより、授業内容について確認する
12	予習	テキストを読み、分からない箇所などの確認を行う
	学習内容	要保護児童およびその家庭に対する支援Ⅱ
	復習	配布プリントなどにより、授業内容について確認する
13	予習	テキストを読み、分からない箇所などの確認を行う
	学習内容	子ども家庭支援の課題と展望Ⅰ
	復習	配布プリントなどにより、授業内容について確認する
14	予習	テキストを読み、分からない箇所などの確認を行う
	学習内容	子ども家庭支援の課題と展望Ⅱ
	復習	配布プリントなどにより、授業内容について確認する
15	予習	これまでの学びを振り返り、分らない箇所などの確認を行う
	学習内容	まとめ
	復習	これまでの学びを振り返り、授業内容について確認する

科目区分	専門教育科目	科目分類	専門科目(基礎)	科目番号	NT206A2		
授業科目	社会的養護 I			担当教員	長坂 健司		
履修年次	開講時期	単位数	時間	授業形態	卒業要件	幼2種免	保育士
1年	後期	2	30	講義	選択	—	必修
(授業の目的)							
<p>保育者として社会的養護に対して貢献できることは何かを理解し、子育て支援の一環としての社会的養護という視点を涵養し、保育士としての見識を深めることを目的とする。</p>							
(授業の概要)							
<p>社会的養護が必要となる養護問題の現状を理解するとともに、社会的養護の意義と歴史の変遷、制度体系について学ぶ。また、社会的養護における児童の人権擁護や自立支援について理解すると同時に、今後の社会的養護の展開についても検討していく。</p>							
(授業の到達目標)							
<ul style="list-style-type: none"> ・社会的養護が必要となる養護問題の現状や背景を理解する。 ・社会的養護の援助体制や、そこでの児童観について考察する。 							
(卒業認定・学位授与の方針との関連)							
ディプロマ・ポリシー					卒業認定・学位授与		
(1) 社会人として必要な教養とマナーを身につけていること。							
(2) 幼児教育に関する専門的知識と保育技術を身につけていること。					○		
(3) 保育の課題を積極的に探究していこうとする意欲を持っていること。					○		
(学習成果との関連)							
(1) 知識 70%		(2) 技能 10%		計100%			
(3) 態度 10%		(4) 実践力 10%					
【評価方法】							
定期試験:70% 学習マナー:30% 計100%							
【自己学習(予習・復習等)】							
「授業計画」参照(合計60時間分)							
【課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法】							
定期試験について、試験後解説を行う。							
【使用テキスト】							
『社会的養護 I・II』 谷口純世・加藤洋子・志濃原阿美 編著 光生館							
【参考図書】							
授業内で適宜紹介する							
【学生へのメッセージ】							
社会的養護を必要とする子どもや家庭は決して特別ではありません。養育者として、その意義についてしっかりと学び、考えていただくことを期待しています。							

授 業 計 画

回	授 業 概 要	
1	予習	テキストを読み、分からない箇所などの確認を行う
	学習内容	オリエンテーション（授業体制や評価、全体的な枠組み）
	復習	配布プリントなどにより、授業内容について確認する
2	予習	テキストを読み、分からない箇所などの確認を行う。
	学習内容	社会的養護の理念と概念
	復習	配布プリントなどにより、授業内容について確認する
3	予習	テキストを読み、分からない箇所などの確認を行う。
	学習内容	社会的養護の歴史の変遷
	復習	配布プリントなどにより、授業内容について確認する
4	予習	テキストを読み、分からない箇所などの確認を行う。
	学習内容	子どもの権利擁護
	復習	配布プリントなどにより、授業内容について確認する
5	予習	テキストを読み、分からない箇所などの確認を行う。
	学習内容	社会的養護の基本的原則
	復習	配布プリントなどにより、授業内容について確認する
6	予習	テキストを読み、分からない箇所などの確認を行う。
	学習内容	保育士間等の倫理・責務
	復習	配布プリントなどにより、授業内容について確認する
7	予習	テキストを読み、分からない箇所などの確認を行う。
	学習内容	社会的養護にかかわる制度と法体系 I（子ども虐待防止・子どもの貧困対策・ひとり親への支援）
	復習	配布プリントなどにより、授業内容について確認する
8	予習	テキストを読み、分からない箇所などの確認を行う。
	学習内容	社会的養護にかかわる制度と法体系 II（DV対策・障害児や気になる子どもへの支援）
	復習	配布プリントなどにより、授業内容について確認する
9	予習	テキストを読み、分からない箇所などの確認を行う。
	学習内容	社会的養護のしくみと実施体系
	復習	配布プリントなどにより、授業内容について確認する
10	予習	テキストを読み、分からない箇所などの確認を行う。
	学習内容	社会的養護の対象
	復習	配布プリントなどにより、授業内容について確認する
11	予習	テキストを読み、分からない箇所などの確認を行う。
	学習内容	家庭養護と施設養護 I（施設養護の現状）
	復習	配布プリントなどにより、授業内容について確認する
12	予習	テキストを読み、分からない箇所などの確認を行う。
	学習内容	家庭養護と施設養護 II（家庭養護の課題）
	復習	配布プリントなどにより、授業内容について確認する
13	予習	テキストを読み、分からない箇所などの確認を行う。
	学習内容	社会的養護にかかわる専門職
	復習	配布プリントなどにより、授業内容について確認する
14	予習	テキストを読み、分からない箇所などの確認を行う。
	学習内容	社会的養護の現状と課題
	復習	配布プリントなどにより、授業内容について確認する
15	予習	テキストを読み、分からない箇所などの確認を行う。
	学習内容	まとめ
	復習	配布プリントなどにより、授業内容について確認する

科目区分	専門教育科目	科目分類	専門科目(基礎)	科目番号	BO207A1		
授業科目	保育者論			担当教員	橘田 重男		
履修年次	開講時期	単位数	時間	授業形態	卒業要件	幼2種免	保育士
1年	前期	2	30	講義	必修	必修	必修
(授業の目的) 保育者の役割が多様化する中で、保育者を目指すために必要な基礎的知識・及び資質能力を学び、自己課題を意識しつつ保育者の在り方を理解する。							
(授業の概要) 保育者の役割や制度づけなど、基礎的な知識を理解する。事例研究や、グループディスカッションを通して学びを深める。							
(授業の到達目標) ・保育者の役割、制度的位置づけを理解した上で、求められる資質・能力について理解する。 ・保育者の役割の拡大・多様化への理解と園内及び園外の専門機関との連携や協働について理解する。 ・保育者の職能成長とキャリア形成について理解する。							
(卒業認定・学位授与の方針との関連)							
ディプロマ・ポリシー					卒業認定・学位授与		
(1) 社会人として必要な教養とマナーを身につけていること。					○		
(2) 幼児教育に関する専門的知識と保育技術を身につけていること。					○		
(3) 保育の課題を積極的に探究していこうとする意欲を持っていること。					○		
(学習成果との関連)							
(1) 知識 30%		(2) 技能 20%		計100%			
(3) 態度 30%		(4) 実践力 20%					
【評価方法】 小テスト・課題シート:25% 試験:50% 授業態度及び積極性:25% 計100%							
【自己学習(予習・復習等)】 「授業計画」参照(合計60時間分)							
【課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法】 ・小テストは採点し、解説を行う。 ・各時間の授業内で提示された課題シートは、確認後返却する。							
【使用テキスト】 「保育者論」 公益財団法人 児童育成会 監修 中央法規出版							
【参考図書】 「保育所保育指針解説」フレーベル館 「幼稚園教育要領解説」フレーベル館 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」フレーベル館							
【学生へのメッセージ】 ・ディスカッションやグループワークなど、積極的な態度で受講してください。 ・授業内容は皆さんの学習進捗状況により内容が一部変更になる場合があります。その際は事前にお伝えします							

授 業 計 画

回	授 業 概 要	
1	予習	特になし
	学習内容	保育者・社会人としての心構えと役割
	復習	日々の生活において意識して行きたい心構えや所作を実践する
2	予習	先週の授業内容を中心に復習
	学習内容	保育者の役割及び施設区分
	復習	福祉施設における区分を中心に復習
3	予習	第一講の9ページを読んでおくこと
	学習内容	保育における役割と職務内容①
	復習	環境を通じた教育等「人的環境」「物的環境」等、基本的な職務内容の理解
4	予習	指定した保育所保育指針の項目を熟読すること
	学習内容	保育における役割と職務内容②
	復習	資質能力についての復習
5	予習	第8講 保育の質の向上を読んでおくこと
	学習内容	保育者の「葛藤」における物的環境構成方法①
	復習	保育室を中心とした環境構成方法の復習
6	予習	指定したレジメをあらかじめ読んでおくこと
	学習内容	保育者の「葛藤」における人的環境構成方法②
	復習	主に戸外遊びにおける実践方法をまとめておくこと
7	予習	養護及び教育の一体的展開P58より熟読しておくこと
	学習内容	幼児教育における5領域に基づく教育の展開①
	復習	指定したレジメ及び教科書の復習
8	予習	指定したレジメ等により各領域における教育の展開を事前に読んでおくこと
	学習内容	幼児教育における5領域に基づく教育の展開②
	復習	指定したレジメ及び教科書の復習
9	予習	指定したレジメ等により各領域における教育の展開を事前に読んでおくこと
	学習内容	幼児教育における5領域に基づく教育の展開③
	復習	指定したレジメ及び教科書の復習
10	予習	指定したレジメ等により各領域における教育の展開を事前に読んでおくこと
	学習内容	幼児教育における5領域に基づく教育の展開④
	復習	指定したレジメ及び教科書の復習
11	予習	指定したレジメ等により各領域における教育の展開を事前に読んでおくこと
	学習内容	幼児教育における5領域に基づく教育の展開⑤
	復習	指定したレジメ及び教科書の復習
12	予習	専門職間および専門機関との連携・協働におけるP122を中心に熟読しておくこと
	学習内容	保育現場と小学校連携方法
	復習	小学校との連携についてのレジメ及び教科書を読み返しておくこと
13	予習	保育者の専門性の向上とキャリア形成の意義P162ページを熟読しておくこと
	学習内容	保育者としての専門性の向上①
	復習	指定したレジメ等を読んでおくこと
14	予習	保育者の専門性の向上とキャリア形成の意義において授業内で指定した箇所を熟読しておくこと
	学習内容	保育者としての専門性の向上②
	復習	指定したレジメ等を読んでおくこと
15	予習	14回までの全内容を振り返ること
	学習内容	本講義のまとめ
	復習	本講義における各内容の要点の整理と理解

科目区分	専門教育科目	科目分類	専門科目(基礎)	科目番号	BO208A1		
授業科目	発達心理学 I			担当教員	清水 一毅		
履修年次	開講時期	単位数	時間	授業形態	卒業要件	幼2種免	保育士
1年	前期	2	30	講義	必修	必修	必修
(授業の目的) 生涯発達の視点から、乳幼児期を中心にして発達過程の知識を身に付け、保育園や幼稚園などの現場で使える知識を培う。							
(授業の概要) 保育士や幼稚園教諭に関連の深い乳幼児期に焦点を当てた発達心理学のテキストを使用し、生物的存在でありかつ社会的存在である人間の発達について、生涯発達の視点から包括的に考える。特に乳幼児期の発達については身体的・心理的・社会性・言語の発達及び学習の過程について詳細に学ぶ。また、基礎的な課題として「人としての発達」「家族生活の中で育つ」「近隣社会への広がりの中で育つ」「学校生活の中での学び」「青年期を生きる」「熟年・老年期を生きる」といった心身の発達及び学習の過程についてのキーワードを学び、その支援の在り方について考える。							
(授業の到達目標) ・発達の概念を理解し、説明できること ・子どもの発達について各期の特徴を理解し、子どもの支援に活かせるようになること ・発達における周囲との関わり的重要性を理解し、保育場面で活用できるようになること							
(卒業認定・学位授与の方針との関連)							
ディプロマ・ポリシー				卒業認定・学位授与			
(1) 社会人として必要な教養とマナーを身につけていること。				○			
(2) 幼児教育に関する専門的知識と保育技術を身につけていること。				○			
(3) 保育の課題を積極的に探究していこうとする意欲を持っていること。				○			
(学習成果との関連)							
(1) 知識 20%		(2) 技能 20%		計100%			
(3) 態度 30%		(4) 実践力 30%					
【評価方法】 定期試験:70% レポート提出:30% 計100%							
【自己学習(予習・復習等)】 「授業計画」参照(合計60時間分)							
【課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法】 課題は、添削のうえ返却する。試験は、解答を公表し、解説する。							
【使用テキスト】 「保育の心理学」編集:杉村伸一郎・白川佳子・清水益治 中央法規刊							
【参考図書】 「よくわかる臨床発達心理学(やわらかアカデミズム・わかるシリーズ)」 麻生武・浜田寿美男(編)ミネルヴァ書房							
【学生へのメッセージ】 人間の発達に関する心理学的知識は、保育士や幼稚園教諭の仕事に必要不可欠です！							

授 業 計 画

回	授 業 概 要	
1	予習	テキストを読み、分からない箇所などの確認を行う
	学習内容	ガイダンス・心理学について
	復習	ウェブ課題にて復習を行う。配布プリントをダウンロードし、授業内容について確認する
2	予習	テキストを読み、分からない箇所などの確認を行う
	学習内容	発達概念
	復習	ウェブ課題にて復習を行う。配布プリントをダウンロードし、授業内容について確認する
3	予習	テキストを読み、分からない箇所などの確認を行う
	学習内容	一般的な発達段階
	復習	ウェブ課題にて復習を行う。配布プリントをダウンロードし、授業内容について確認する
4	予習	テキストを読み、分からない箇所などの確認を行う
	学習内容	心理社会的発達段階(1)乳児期から児童期
	復習	ウェブ課題にて復習を行う。配布プリントをダウンロードし、授業内容について確認する
5	予習	テキストを読み、分からない箇所などの確認を行う
	学習内容	心理社会的発達段階(2)青年期から老年期
	復習	ウェブ課題にて復習を行う。配布プリントをダウンロードし、授業内容について確認する
6	予習	テキストを読み、分からない箇所などの確認を行う
	学習内容	認知発達段階(1)認知心理の基礎
	復習	ウェブ課題にて復習を行う。配布プリントをダウンロードし、授業内容について確認する
7	予習	テキストを読み、分からない箇所などの確認を行う
	学習内容	認知発達段階(2)各発達期の特徴
	復習	ウェブ課題にて復習を行う。配布プリントをダウンロードし、授業内容について確認する
8	予習	テキストを読み、分からない箇所などの確認を行う
	学習内容	性的発達段階・道徳性の発達
	復習	ウェブ課題にて復習を行う。配布プリントをダウンロードし、授業内容について確認する
9	予習	テキストを読み、分からない箇所などの確認を行う
	学習内容	発達段階のまとめ
	復習	ウェブ課題にて復習を行う。配布プリントをダウンロードし、授業内容について確認する
10	予習	テキストを読み、分からない箇所などの確認を行う
	学習内容	発達を促す要因について
	復習	ウェブ課題にて復習を行う。配布プリントをダウンロードし、授業内容について確認する
11	予習	テキストを読み、分からない箇所などの確認を行う
	学習内容	関係発達
	復習	ウェブ課題にて復習を行う。配布プリントをダウンロードし、授業内容について確認する
12	予習	テキストを読み、分からない箇所などの確認を行う
	学習内容	発達の相互作用性
	復習	ウェブ課題にて復習を行う。配布プリントをダウンロードし、授業内容について確認する
13	予習	テキストを読み、分からない箇所などの確認を行う
	学習内容	これからの発達の考え方
	復習	ウェブ課題にて復習を行う。配布プリントをダウンロードし、授業内容について確認する
14	予習	テキストを読み、分からない箇所などの確認を行う
	学習内容	発達障害
	復習	ウェブ課題にて復習を行う。配布プリントをダウンロードし、授業内容について確認する
15	予習	テキストを読み、分からない箇所などの確認を行う
	学習内容	総まとめ
	復習	ウェブ課題にて復習を行う。配布プリントをダウンロードし、授業内容について確認する

科目区分	専門教育科目	科目分類	専門科目(基礎)	科目番号	NT209A2		
授業科目	子ども家庭支援の心理学			担当教員	清水 一毅		
履修年次	開講時期	単位数	時間	授業形態	卒業要件	幼2種免	保育士
2年	前期	2	30	講義	選択	—	必修
(授業の目的)							
生涯発達に関する知識を習得することを通して、親子関係や家族関係等について発達的な観点から理解し、子どもとその家族を包括的に捉える視点を習得する。 子育て家庭をめぐる現代の社会的状況と課題、子どもの精神保健とその課題について理解する。							
(授業の概要)							
生涯発達を捉えることにより、子どもを取り巻く周囲環境との関係性を理解し、子どもとその家族を包括的に捉えていく。また、子育て家庭をめぐる現代の社会的状況と課題、子どもの精神保健とその課題について学習していく。							
(授業の到達目標)							
<ul style="list-style-type: none"> ・生涯発達に関する基礎的な知識を習得し、子育て支援に活用することができるようになること ・親子関係や家族関係等について発達的な観点から理解し、子どもとその家族を包括的に捉える事ができるようになること ・子育て家庭をめぐる現代の社会的状況と課題、子どもの精神保健とその課題について理解する事ができるようになること 							
(卒業認定・学位授与の方針との関連)							
ディプロマ・ポリシー				卒業認定・学位授与			
(1) 社会人として必要な教養とマナーを身につけていること。							
(2) 幼児教育に関する専門的知識と保育技術を身につけていること。				○			
(3) 保育の課題を積極的に探究していこうとする意欲を持っていること。				○			
(学習成果との関連)							
(1) 知識 20%		(2) 技能 20%		計100%			
(3) 態度 30%		(4) 実践力 30%					
【評価方法】							
定期試験:70% 課題提出:30% 計100%							
【自己学習(予習・復習等)】							
「授業計画」参照(合計60時間分)							
【課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法】							
授業後課題は各授業の前半で振り返り、解説する。試験は解答を公表し、解説する。							
【使用テキスト】							
「子ども家庭支援の心理学」 白川佳子・福丸由佳 編集 中央法規出版							
【参考図書】							
「保護者のための子育て支援ガイドブック 専門性を活かした保護者へのサポート」 竹田信子著 中央法規出版							
【学生へのメッセージ】							
授業中は受動的に話を聞くだけでなく、能動的に自分の中で考えながら受講して下さい。							

授 業 計 画

回	授 業 概 要	
1	予習	テキストを読み、分からない箇所などの確認を行う
	学習内容	ガイダンス
	復習	ウェブ課題にて復習を行う。配布プリントをダウンロードし、授業内容について確認する
2	予習	テキストを読み、分からない箇所などの確認を行う
	学習内容	乳幼児期の発達とかかわり
	復習	ウェブ課題にて復習を行う。配布プリントをダウンロードし、授業内容について確認する
3	予習	テキストを読み、分からない箇所などの確認を行う
	学習内容	家庭支援の実践(1)乳児期
	復習	ウェブ課題にて復習を行う。配布プリントをダウンロードし、授業内容について確認する
4	予習	テキストを読み、分からない箇所などの確認を行う
	学習内容	幼児期の発達とかかわり
	復習	ウェブ課題にて復習を行う。配布プリントをダウンロードし、授業内容について確認する
5	予習	テキストを読み、分からない箇所などの確認を行う
	学習内容	家庭支援の実践(2)幼児期前期
	復習	ウェブ課題にて復習を行う。配布プリントをダウンロードし、授業内容について確認する
6	予習	テキストを読み、分からない箇所などの確認を行う
	学習内容	家庭支援の実践(3)幼児期後期
	復習	ウェブ課題にて復習を行う。配布プリントをダウンロードし、授業内容について確認する
7	予習	テキストを読み、分からない箇所などの確認を行う
	学習内容	児童期以降の発達とかかわり
	復習	ウェブ課題にて復習を行う。配布プリントをダウンロードし、授業内容について確認する
8	予習	テキストを読み、分からない箇所などの確認を行う
	学習内容	子育てを取り巻く社会的状況
	復習	ウェブ課題にて復習を行う。配布プリントをダウンロードし、授業内容について確認する
9	予習	テキストを読み、分からない箇所などの確認を行う
	学習内容	ライフコースと仕事、子育て
	復習	ウェブ課題にて復習を行う。配布プリントをダウンロードし、授業内容について確認する
10	予習	テキストを読み、分からない箇所などの確認を行う
	学習内容	多様な家庭とその理解
	復習	ウェブ課題にて復習を行う。配布プリントをダウンロードし、授業内容について確認する
11	予習	テキストを読み、分からない箇所などの確認を行う
	学習内容	特別な配慮をする家庭
	復習	ウェブ課題にて復習を行う。配布プリントをダウンロードし、授業内容について確認する
12	予習	テキストを読み、分からない箇所などの確認を行う
	学習内容	子どもの生活・生育環境とその影響
	復習	ウェブ課題にて復習を行う。配布プリントをダウンロードし、授業内容について確認する
13	予習	テキストを読み、分からない箇所などの確認を行う
	学習内容	子どもの心の健康に関わる問題
	復習	ウェブ課題にて復習を行う。配布プリントをダウンロードし、授業内容について確認する
14	予習	テキストを読み、分からない箇所などの確認を行う
	学習内容	子ども家庭支援のための社会構造と子どもの理解
	復習	ウェブ課題にて復習を行う。配布プリントをダウンロードし、授業内容について確認する
15	予習	テキストを読み、分からない箇所などの確認を行う
	学習内容	まとめ
	復習	ウェブ課題にて復習を行う。配布プリントをダウンロードし、授業内容について確認する

科目区分	専門教育科目	科目分類	専門科目(基礎)	科目番号	BO210B1		
授業科目	子どもの理解と援助			担当教員	清水 一毅		
履修年次	開講時期	単位数	時間	授業形態	卒業要件	幼2種免	保育士
1年	後期	1	30	演習	必修	必修	必修
(授業の目的) 一般の保育・教育と障害児保育・教育との連続性から、様々な障害についての理解を促し、一人一人発達上の課題に対して特別な保育ニーズと支援を学び、保護者を中心とした支援の内容に関して理解を深める。							
(授業の概要) 幼児理解の理論、考え方及び基礎的態度について理解し、幼児理解の方法について具体的に理解する。							
(授業の到達目標) ・子ども理解の重要性について理解し、ありのままの子どもの姿を捉える基礎的態度を身につけること ・保育における評価の方法について学び、子ども理解の手法として活用できるようになること ・ICFの考え方にに基づき、保育における環境調整を考え、実践することができるようになること							
(卒業認定・学位授与の方針との関連)							
ディプロマ・ポリシー				卒業認定・学位授与			
(1) 社会人として必要な教養とマナーを身につけていること。							
(2) 幼児教育に関する専門的知識と保育技術を身につけていること。				○			
(3) 保育の課題を積極的に探究していこうとする意欲を持っていること。				○			
(学習成果との関連)							
(1) 知識 20%		(2) 技能 20%		計100%			
(3) 態度 30%		(4) 実践力 30%					
【評価方法】 定期試験:70% 課題提出:30% 計100%							
【自己学習(予習・復習等)】 「授業計画」参照(合計15時間分)							
【課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法】 課題は、各授業の前半で解説する。試験は、解答を公表し、解説する。							
【使用テキスト】 「幼稚園教育要領解説 平成30年3月」フレーベル館 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説 平成30年3月」フレーベル館							
【参考図書】 授業中に適宜配布する。							
【学生へのメッセージ】 保育において、その対象である子どもを理解しようとすることは、保育活動の土台となり保育のスタートラインに立つことです。子どもを理解せずに保育は成り立ちません。「どのような子どもなのか」を考えることの大切さを一緒に学んでいきましょう。受け身的に聞くのではなく、積極的に授業参加をするようにしましょう。							

授 業 計 画

回	授 業 概 要	
1	予習	テキストを読み、分からない箇所などの確認を行う
	学習内容	ガイダンス・保育における子ども理解の意義
	復習	ウェブ課題にて復習を行う。配布プリントをダウンロードし、授業内容について確認する
2	予習	テキストを読み、分からない箇所などの確認を行う
	学習内容	保育の評価
	復習	ウェブ課題にて復習を行う。配布プリントをダウンロードし、授業内容について確認する
3	予習	テキストを読み、分からない箇所などの確認を行う
	学習内容	幼児理解を深めるための方法について
	復習	ウェブ課題にて復習を行う。配布プリントをダウンロードし、授業内容について確認する
4	予習	事例課題を読み、自分の意見を考える
	学習内容	実際の事例から子ども理解を考える(1)映像視聴
	復習	ウェブ課題にて復習を行う。配布プリントをダウンロードし、授業内容について確認する
5	予習	テキストを読み、分からない箇所などの確認を行う
	学習内容	子ども理解を深める
	復習	ウェブ課題にて復習を行う。配布プリントをダウンロードし、授業内容について確認する
6	予習	テキストを読み、分からない箇所などの確認を行う
	学習内容	インクルーシブの視点から子どもの援助を考える
	復習	ウェブ課題にて復習を行う。配布プリントをダウンロードし、授業内容について確認する
7	予習	テキストを読み、分からない箇所などの確認を行う
	学習内容	ICIDHの基礎知識について学ぶ
	復習	ウェブ課題にて復習を行う。配布プリントをダウンロードし、授業内容について確認する
8	予習	テキストを読み、分からない箇所などの確認を行う
	学習内容	ICFの基礎知識について学ぶ
	復習	ウェブ課題にて復習を行う。配布プリントをダウンロードし、授業内容について確認する
9	予習	事例課題を読み、自分の意見を考える
	学習内容	ICIDHとICFの違いについて捉える
	復習	ウェブ課題にて復習を行う。配布プリントをダウンロードし、授業内容について確認する
10	予習	事例課題を読み、自分の意見を考える
	学習内容	事例から環境調整について考える
	復習	ウェブ課題にて復習を行う。配布プリントをダウンロードし、授業内容について確認する
11	予習	テキストを読み、分からない箇所などの確認を行う
	学習内容	特別な配慮を必要とするこどもについて理解する
	復習	ウェブ課題にて復習を行う。配布プリントをダウンロードし、授業内容について確認する
12	予習	事例課題を読み、自分の意見を考える
	学習内容	実際の事例から子ども理解を考える(2)映像視聴
	復習	ウェブ課題にて復習を行う。配布プリントをダウンロードし、授業内容について確認する
13	予習	テキストを読み、分からない箇所などの確認を行う
	学習内容	実際の事例から子ども理解を考える(3)ディスカッション
	復習	ウェブ課題にて復習を行う。配布プリントをダウンロードし、授業内容について確認する
14	予習	テキストを読み、分からない箇所などの確認を行う
	学習内容	子どもを理解し援助するということについて考える
	復習	ウェブ課題にて復習を行う。配布プリントをダウンロードし、授業内容について確認する
15	予習	事例課題を読み、自分の意見を考える
	学習内容	学習の総まとめ
	復習	ウェブ課題にて復習を行う。配布プリントをダウンロードし、授業内容について確認する

科目区分	専門教育科目	科目分類	専門科目(基礎)	科目番号	NT211A2		
授業科目	子どもの保健			担当教員	井上 聖子		
履修年次	開講時期	単位数	時間	授業形態	卒業要件	幼2種免	保育士
1年	前期	2	30	講義	選択	—	必修
(授業の目的)							
<p>子どもの保健の意義と目的、重要性を理解する。子どもの心身の発育・発達について、個人生活と集団生活の両面からの理解を深め、今日的な健康問題への対応を認識し、これらを子どもの発育・発達を促す教育実践・保育実践に活かそうとする態度を身に着ける。</p>							
(授業の概要)							
<p>子どもの生命の保持、健康の増進を図ることの意味を認識させ、教育実践・保育実践における保健活動の重要性についての認識を深められる内容とする。総論的な視点から、子どもの発育・発達について解説し、疾病や事故を予防する環境整備とともに、疾病や事故が見られた場合の対応について解説する。</p>							
(授業の到達目標)							
<ol style="list-style-type: none"> 1. 子どもの心身の発育・発達を理解し、健康増進を図る保健活動の意義を理解する 2. 子どもの心身の健康状態とその把握の方法について理解する 3. 子どもの疾病とその予防法及び多職種間の連携・協働の下での適切な対応について理解する 							
(卒業認定・学位授与の方針との関連)							
ディプロマ・ポリシー				卒業認定・学位授与			
(1) 社会人として必要な教養とマナーを身につけていること。				○			
(2) 幼児教育に関する専門的知識と保育技術を身につけていること。				○			
(3) 保育の課題を積極的に探究していこうとする意欲を持っていること。				○			
(学習成果との関連)							
(1) 知識 40%		(2) 技能 20%		計100%			
(3) 態度 20%		(4) 実践力 20%					
【評価方法】							
定期試験:80% 学習マナー:20% 計100%							
【自己学習(予習・復習等)】							
「授業計画」参照(合計60時間分)							
【課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法】							
課題に対して、授業内で解説を行う。							
【使用テキスト】							
松田博雄、金森三枝編集『子どもの保健』(中央法規)							
【参考図書】							
鈴木美枝子編著『子どもの保健 I』(創成社)							
【学生へのメッセージ】							
この授業は子どもの安全と健康を守るための大切な科目です。欠かさず学び、有能な保育者、教育者を目指してください。							

授 業 計 画

回	授 業 概 要	
1	予習	テキストを利用した予習を行い、授業中に質問や発言ができるようにすること
	学習内容	オリエンテーション(講義計画) 子どもの健康と保健活動の意義と目的
	復習	配布資料を利用した復習を行い、知識を確実にすること
2	予習	テキストを利用した予習を行い、授業中に質問や発言ができるようにすること
	学習内容	健康の概念と健康指標 現代社会における子どもの健康に関する現状と課題
	復習	配布資料を利用した復習を行い、知識を確実にすること
3	予習	テキストを利用した予習を行い、授業中に質問や発言ができるようにすること
	学習内容	地域における保健活動と子ども虐待防止
	復習	配布資料を利用した復習を行い、知識を確実にすること
4	予習	テキストを利用した予習を行い、授業中に質問や発言ができるようにすること
	学習内容	身体発育および運動機能の発達と保健
	復習	配布資料を利用した復習を行い、知識を確実にすること
5	予習	テキストを利用した予習を行い、授業中に質問や発言ができるようにすること
	学習内容	生理機能の発達と保健
	復習	配布資料を利用した復習を行い、知識を確実にすること
6	予習	テキストを利用した予習を行い、授業中に質問や発言ができるようにすること
	学習内容	健康状態の観察
	復習	配布資料を利用した復習を行い、知識を確実にすること
7	予習	テキストを利用した予習を行い、授業中に質問や発言ができるようにすること
	学習内容	発育・発達の把握と健康診断
	復習	配布資料を利用した復習を行い、知識を確実にすること
8	予習	テキストを利用した予習を行い、授業中に質問や発言ができるようにすること
	学習内容	保護者との情報共有
	復習	配布資料を利用した復習を行い、知識を確実にすること
9	予習	テキストを利用した予習を行い、授業中に質問や発言ができるようにすること
	学習内容	主な疾病の特徴① 新生児の病気、先天性の病気
	復習	配布資料を利用した復習を行い、知識を確実にすること
10	予習	テキストを利用した予習を行い、授業中に質問や発言ができるようにすること
	学習内容	主な疾病の特徴② 循環器、呼吸器、血液、消化器の病気
	復習	配布資料を利用した復習を行い、知識を確実にすること
11	予習	テキストを利用した予習を行い、授業中に質問や発言ができるようにすること
	学習内容	主な疾病の特徴③ アレルギー、免疫の病気、腎泌尿器、内分泌の病気
	復習	配布資料を利用した復習を行い、知識を確実にすること
12	予習	テキストを利用した予習を行い、授業中に質問や発言ができるようにすること
	学習内容	主な疾病の特徴④ 脳の病気、その他の疾患
	復習	配布資料を利用した復習を行い、知識を確実にすること
13	予習	テキストを利用した予習を行い、授業中に質問や発言ができるようにすること
	学習内容	主な疾病の特徴⑤ 感染症
	復習	配布資料を利用した復習を行い、知識を確実にすること
14	予習	テキストを利用した予習を行い、授業中に質問や発言ができるようにすること
	学習内容	子どもの疾病の予防と適切な対応
	復習	配布資料を利用した復習を行い、知識を確実にすること
15	予習	今までの学びを振り返り、疑問点や理解できなかった点をまとめてくること
	学習内容	まとめ
	復習	今までの学びを振り返り、保育者としての知識を確実にすること

科目区分	専門教育科目	科目分類	専門科目(基礎)	科目番号	NT212B2		
授業科目	子どもの食と栄養			担当教員	日野原 一穂		
履修年次	開講時期	単位数	時間	授業形態	卒業要件	幼2種免	保育士
2年	前期	2	30	演習	選択	—	必修
(授業の目的) 子どもの食事と栄養について理解を深め、一人一人の心身の状態や発達過程を踏まえた食育実践を行う能力を身につける。栄養と食事に関する基本的理解に基づき子どもや家庭への栄養指導や専門機関との連携について理解する。							
(授業の概要) 子どもの健康と食生活の意義を中心に、栄養に関する基礎知識、子どもの発育・発達と食生活の関係、食育の重要性とその内容、家庭や児童福祉施設における食事と栄養、特別な配慮を要する子どもの食と栄養に関する基礎的知識の習得と実践について学ぶ。							
(授業の到達目標) ・食生活の意義や栄養に関する基本的知識について説明できる ・子ども発育・発達と食生活の関連について関係づけて理解することが出来る ・食育の重要性を踏まえ、保育における指導計画の立案および教材の作成が出来る							
(卒業認定・学位授与の方針との関連)							
ディプロマ・ポリシー				卒業認定・学位授与			
(1) 社会人として必要な教養とマナーを身につけていること。							
(2) 幼児教育に関する専門的知識と保育技術を身につけていること。				○			
(3) 保育の課題を積極的に探究していこうとする意欲を持っていること。				○			
(学習成果との関連)							
(1) 知識 30 %		(2) 技能 20 %		計100%			
(3) 態度 20 %		(4) 実践力 30 %					
【評価方法】 試験:60% 学習への積極的な参加(事前事後の演習課題への取り組み)等:40% 計100%							
【自己学習(予習・復習等)】 「授業計画」参照(合計60時間分)							
【課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法】 課題は、添削のうえ返却する。							
【使用テキスト】 「子どもの食と栄養」公益財団法人児童育成会監修 堤ちはる 藤沢由美子 編集 中央法規出版							
【参考図書】 「保育所におけるアレルギー対応ガイドライン」(厚生労働省) 保育所保育指針解説 厚生労働省編 平成30年 フレーベル館 その他 授業の中で紹介します。							
【学生へのメッセージ】 子どもと食をめぐる課題に関する文献・新聞記事を読んで課題意識をもって授業に臨んでください。ボランティア等の食育実践活動に積極的に参加し、具体的な実践を通して理解を深めましょう。調理実習に関して(費用・衛生面他)はオリエンテーションで詳細を説明いたします。							

授 業 計 画

回	授 業 概 要	
1	予習	シラバスの確認・子どもの食生活の現状と課題について調べてくる。
	学習内容	「子どもの食と栄養」の学びについて 子どもの食生活の現状と課題
	復習	演習1 朝食欠食についての課題をまとめる。
2	予習	教科書 STEP1(14p～17p)までを読み、概要を整理する。
	学習内容	栄養の基本
	復習	教科書 STEP3を読む。
3	予習	教科書 STEP1(26p～31p)までを読み、概要を整理する。
	学習内容	栄養素の種類とはたらき
	復習	演習1(32p)、演習2(33p)をまとめる。
4	予習	日本人の食事摂取基準について事前に調べ理解する。
	学習内容	日本人の食生活の目標
	復習	演習 自分の食生活を見直してみよう」
5	予習	食品群について事前に調べ整理をする。
	学習内容	献立作成・調理の基本
	復習	演習 1日分の献立を作る。
6	予習	乳児期の栄養・食生活の特徴について整理する。
	学習内容	乳児期の授乳の意義と食生活
	復習	母乳育児の留意点についてまとめる。
7	予習	厚生労働省「授乳・離乳の支援ガイド」について概要を整理する。
	学習内容	乳児期の離乳の意義と食生活
	復習	演習 手づかみ食への重要性について
8	予習	幼児期の身体の発達について事前に調べ理解する。
	学習内容	幼児期の心身の発達と食生活
	復習	演習 おやつ役割について
9	予習	学童期・思春期の成長と発達について事前に調べ理解する。
	学習内容	学童期・思春期の心身の発達と食生活・生涯発達と食生活
	復習	演習 ライフイベントと食について
10	予習	保育所における食育に関する指針について読んでくる。
	学習内容	保育における食育の意義・目的と基本的考え方
	復習	演習 食育活動と「教育」との関連について考える。
11	予習	保育所における食育に関する指針:年齢区分別「ねらい」と「内容」の概要整理。
	学習内容	食育の内容と計画および評価
	復習	食育の指導計画の立案
12	予習	食育実践のための地域の資源について調べる。(143p)
	学習内容	地域や家庭と連携した食育の展開
	復習	「食育だより」の作成
13	予習	家庭における食生活上の問題点、家庭における食事の役割についての概要整理。
	学習内容	家庭や児童福祉施設における食事と栄養
	復習	演習 行事食を伝えるポスター
14	予習	子どもの疾病および体調不良の特徴について教科書を読む。
	学習内容	特別な配慮を要する子どもの食と栄養
	復習	演習 アレルギー疾患管理指導表・経過記録表の記入を通してその対応を考える。
15	予習	授業全体を振り返り、子どもの食と栄養に関する知識・実践の確認・整理を行う
	学習内容	まとめ
	復習	振り返りシートの記入

科目区分	専門教育科目	科目分類	専門科目(基礎)	科目番号	BO213A2		
授業科目	保育原理Ⅱ			担当教員	橘田 重男		
履修年次	開講時期	単位数	時間	授業形態	卒業要件	幼2種免	保育士
2年	集中	2	30	講義	選択	選択必修	選択必修
(授業の目的) 保育所と家庭、地域との連携、保育所における相談援助活動の基本原理と実践、保育サービスの評価と苦情解決の方法などについて学び、保育士の資質と任務についての理解を深める。							
(授業の概要) 保育に関する基礎的事項をふまえ、より専門的な保育方法について学ぶ。							
(授業の到達目標) グループ討議を通して、相談援助活動を含め、保育士の資質と任務について考え、自分の意見を発表する。							
(卒業認定・学位授与の方針との関連)							
ディプロマ・ポリシー					卒業認定・学位授与		
(1) 社会人として必要な教養とマナーを身につけていること。							
(2) 幼児教育に関する専門的知識と保育技術を身につけていること。							
(3) 保育の課題を積極的に探究していこうとする意欲を持っていること。					○		
(学習成果との関連)							
(1) 知識 40%		(2) 技能 10%		計100%			
(3) 態度 20%		(4) 実践力 10%					
【評価方法】 課題レポート:30% 実習(討論含):10% 学習マナー:60% 計100%							
【自己学習(予習・復習等)】 「授業計画」参照(合計60時間分)							
【課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法】 課題は、添削のうえ返却する。試験は、解答を公表する。							
【使用テキスト】 必要に応じて資料を提示、配付。							
【参考図書】 「PriPriブックス 新保育所保育指針サポートブック ～保育家庭から指導計画作成まで～」保育総合研究会監修 世界文化社							
【学生へのメッセージ】 集中講義となります。就職を踏まえ、保育士の資質と任務について自分の意見を発表できることを目指します。							

授 業 計 画

回	授 業 概 要	
1	予習	配布プリントより授業内容について確認する
	学習内容	オリエンテーション
	復習	授業内容を振り返り整理する
2	予習	配布プリントより授業内容について確認する
	学習内容	保育の現状
	復習	授業内容を振り返り整理する
3	予習	配布プリントより授業内容について確認する
	学習内容	保育の課題
	復習	授業内容を振り返り整理する
4	予習	配布プリントより授業内容について確認する
	学習内容	相談援助活動(1) 心構え
	復習	授業内容を振り返り整理する
5	予習	配布プリントより授業内容について確認する
	学習内容	相談援助活動(2) 個別
	復習	授業内容を振り返り整理する
6	予習	配布プリントより授業内容について確認する
	学習内容	相談援助活動(3) 集団
	復習	授業内容を振り返り整理する
7	予習	配布プリントより授業内容について確認する
	学習内容	相談援助活動(4) 地域
	復習	授業内容を振り返り整理する
8	予習	配布プリントより授業内容について確認する
	学習内容	保育サービスとは(1) 個別
	復習	授業内容を振り返り整理する
9	予習	配布プリントより授業内容について確認する
	学習内容	保育サービスとは(2) 集団
	復習	授業内容を振り返り整理する
10	予習	配布プリントより授業内容について確認する
	学習内容	保育における連携(1) 家庭との連携
	復習	授業内容を振り返り整理する
11	予習	配布プリントより授業内容について確認する
	学習内容	保育における連携(2) 他機関との連携
	復習	授業内容を振り返り整理する
12	予習	配布プリントより授業内容について確認する
	学習内容	保育士の資質と任務(1) 子ども
	復習	授業内容を振り返り整理する
13	予習	配布プリントより授業内容について確認する
	学習内容	保育士の資質と任務(2) 保護者
	復習	授業内容を振り返り整理する
14	予習	配布プリントより授業内容について確認する
	学習内容	保育士の資質と任務(3) 地域
	復習	授業内容を振り返り整理する
15	予習	配布プリントより授業内容について確認する
	学習内容	まとめ
	復習	授業内容を振り返り整理する

科目区分	専門教育科目	科目分類	専門科目(基礎)	科目番号	NT214A2		
授業科目	発達心理学Ⅱ			担当教員	清水 一毅		
履修年次	開講時期	単位数	時間	授業形態	卒業要件	幼2種免	保育士
2年	後期	1	15	講義	選択	—	選択必修
(授業の目的) 青年期の発達や課題についての理解を深める。カウンセリングや関連する心理学の理論方法について学習し、教育・福祉・保育などの実際場面で人とかかわるために必要な力を身につける。							
(授業の概要) “Peer”は「仲間」、「Helper」は「助ける人」であり、ピアヘルパーは直訳すれば仲間を助ける人という意味となる。つまり、職場やボランティア活動の現場において、様々な問題に直面している仲間の手助けをすることがピアヘルパーの活動許容範囲となる。そのようなピアヘルパーの資格取得に向けて、ピアヘルパーの役割や活動内容、意義について学習する。また、さまざまな演習を通してカウンセリングの技法を学ぶことで、よりの確な手助けができるよう学習を深めていく。							
(授業の到達目標) ピアサポートをする上で、知っておくべき基本事項を学習し、さらに応用的な内容についても学習する。							
(卒業認定・学位授与の方針との関連)							
ディプロマ・ポリシー					卒業認定・学位授与		
(1) 社会人として必要な教養とマナーを身につけていること。					○		
(2) 幼児教育に関する専門的知識と保育技術を身につけていること。					○		
(3) 保育の課題を積極的に探究していこうとする意欲を持っていること。							
(学習成果との関連)							
(1) 知識 50%		(2) 技能 20%		計100%			
(3) 態度 10%		(4) 実践力 20%					
【評価方法】 課題: 70% 学習マナー: 30% 計100%							
【自己学習(予習・復習等)】 「授業計画」参照(合計30時間分)							
【課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法】 課題は、添削のうえ返却する。							
【使用テキスト】 特になし							
【参考図書】 「ピアヘルパー・ハンドブック」 日本教育カウンセラー協会編 図書文化社刊 「ピアヘルパー・ワークブック」 日本教育カウンセラー協会編 図書文化社刊							
【学生へのメッセージ】 ピアヘルパー資格取得のために頑張りましょう。							

授 業 計 画

回	授 業 概 要	
1	予習	ウェブ課題を行い、分からない箇所などの確認を行う
	学習内容	オリエンテーションと導入、ピアヘルパーの活動と役割
	復習	ウェブ課題により、授業内容について確認する
2	予習	ウェブ課題を行い、分からない箇所などの確認を行う
	学習内容	カウンセリング概論①(グループエンカウンター)
	復習	ウェブ課題により、授業内容について確認する
3	予習	ウェブ課題を行い、分からない箇所などの確認を行う
	学習内容	カウンセリング概論②(カウンセリングの理論)
	復習	ウェブ課題により、授業内容について確認する
4	予習	ウェブ課題を行い、分からない箇所などの確認を行う
	学習内容	カウンセリングスキル①(カウンセリングの技法)
	復習	ウェブ課題により、授業内容について確認する
5	予習	ウェブ課題を行い、分からない箇所などの確認を行う
	学習内容	カウンセリングスキル②(ロールプレイ)
	復習	ウェブ課題により、授業内容について確認する
6	予習	ウェブ課題を行い、分からない箇所などの確認を行う
	学習内容	青年期の課題とピアヘルパーの留意点①
	復習	ウェブ課題により、授業内容について確認する
7	予習	ウェブ課題を行い、分からない箇所などの確認を行う
	学習内容	青年期の課題とピアヘルパーの留意点②
	復習	ウェブ課題により、授業内容について確認する
8	予習	ウェブ課題を行い、分からない箇所などの確認を行う
	学習内容	まとめ
	復習	ウェブ課題により、授業内容について確認する

科目区分	専門教育科目	科目分類	専門科目(基礎)	科目番号	BO215A2		
授業科目	教育の方法と技術			担当教員	橋田 重男		
履修年次	開講時期	単位数	時間	授業形態	卒業要件	幼2種免	保育士
1年	後期	2	30	講義	選択	必修	選択必修
(授業の目的)							
これからの社会を担う子どもたちに求められる資質・能力を育成するために必要な、教育(保育)の方法及び実践と技術、情報機器及び教材の活用に関する基礎的な知識・技術を身につける。							
(授業の概要)							
(1)教育(保育)の方法:これからの社会を担う子どもたちに求められる資質・能力を育成するために必要な教育の方法を理解する。 (2)教育(保育)の技術:教育の目的に適した指導技術を理解し、身に付ける。 (3)情報機器を活用した効果的な保育や情報活用能力の育成を視野に入れた教材の作成活用に関する基礎的な能力を身に付ける。							
(授業の到達目標)							
(1)教育(保育)の方法に関する基礎的な内容を理解している。 (2)保育を行う上での基礎的な技術および学習理論を踏まえた指導計画の立案が出来る。 (3)子どもたちの学びの振り返りや体験との関連を考慮しながら、情報機器を活用し教材の作成・提示ができる。							
(卒業認定・学位授与の方針との関連)							
ディプロマ・ポリシー				卒業認定・学位授与			
(1)社会人として必要な教養とマナーを身につけていること。							
(2)幼児教育に関する専門的知識と保育技術を身につけていること。				○			
(3)保育の課題を積極的に探究していこうとする意欲を持っていること。				○			
(学習成果との関連)							
(1)知識 20%		(2)技能 30%		計100%			
(3)態度 30%		(4)実践力 20%					
【評価方法】							
試験:50% 指導計画の立案・教材作成:50% 計100%							
【自己学習(予習・復習等)】							
「授業計画」参照(合計60時間分)							
【課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法】							
授業内で課題を提示し、提出を求める。							
【使用テキスト】							
保育方法論 神長美津子・津金美智子・五十嵐市郎 編著 光生館							
【参考図書】							
幼稚園教育要領解説(平成30年 3月) 文部科学省 幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説(平成30年 3月) 内閣府・文部科学省・厚生労働省 幼児理解に基づいた評価 平成31年3月 文部科学省							
【学生へのメッセージ】							
演習を含め、明るく積極的に授業に臨む姿を含めて評価します。 皆さんの学習到達状況等に応じて一部内容が変更になる場合があります。その際は事前にお伝え致します。 課題は期限内に必ず提出をお願いします。							

授 業 計 画

回	授 業 概 要	
1	予習	3. 4. 5歳児向けの絵本を2冊用意すること 詳細において事前に指示をする
	学習内容	児童文化財と保育 幼児教育における絵本の読み聞かせ方法と演習①
	復習	配布したレジメ及びテキストについて当日指示する
2	予習	絵本読み聞かせの事前練習
	学習内容	児童文化財と保育 幼児教育における絵本の読み聞かせ方法と演習②
	復習	配布したレジメ及びテキストについて当日指示する
3	予習	進捗状況によりテキスト及び事前配布資料にて指示する
	学習内容	児童文化財と保育 幼児教育における絵本の読み聞かせ方法と「言葉の領域」における理論
	復習	配布したレジメ及びテキストについて当日指示する
4	予習	進捗状況によりテキスト及び事前配布資料にて指示する
	学習内容	保育ドキュメンテーションの作成方法
	復習	配布したレジメ及びテキストについて当日指示する
5	予習	進捗状況によりテキスト及び事前配布資料にて指示する
	学習内容	「設定保育」と「自由保育」とは何か
	復習	配布したレジメ及びテキストについて当日指示する
6	予習	進捗状況によりテキスト及び事前配布資料にて指示する
	学習内容	保育における「援助」とは何か
	復習	配布したレジメ及びテキストについて当日指示する
7	予習	進捗状況によりテキスト及び事前配布資料にて指示する
	学習内容	「健康」領域における資質能力育成方法
	復習	配布したレジメ及びテキストについて当日指示する
8	予習	進捗状況によりテキスト及び事前配布資料にて指示する
	学習内容	幼児期における資質能力と非認知能力の関係性とは
	復習	配布したレジメ及びテキストについて当日指示する
9	予習	進捗状況によりテキスト及び事前配布資料にて指示する
	学習内容	3・4・5歳児の発達的特徴と関わりとは①
	復習	配布したレジメ及びテキストについて当日指示する
10	予習	進捗状況によりテキスト及び事前配布資料にて指示する
	学習内容	3・4・5歳児の発達的特徴と関わりとは②
	復習	配布したレジメ及びテキストについて当日指示する
11	予習	進捗状況によりテキスト及び事前配布資料にて指示する
	学習内容	3・4・5歳児の発達的特徴と関わりとは③
	復習	配布したレジメ及びテキストについて当日指示する
12	予習	進捗状況によりテキスト及び事前配布資料にて指示する
	学習内容	3・4・5歳児の発達的特徴と関わりとは④
	復習	配布したレジメ及びテキストについて当日指示する
13	予習	進捗状況によりテキスト及び事前配布資料にて指示する
	学習内容	保育における資質能力へつながる表現方法とは
	復習	配布したレジメ及びテキストについて当日指示する
14	予習	進捗状況によりテキスト及び事前配布資料にて指示する
	学習内容	協同的な活動とは何か①
	復習	配布したレジメ及びテキストについて当日指示する
15	予習	進捗状況によりテキスト及び事前配布資料にて指示する
	学習内容	協同的な活動とは何か②
	復習	配布したレジメ及びテキストについて当日指示する

科目区分	専門教育科目	科目分類	専門科目(基礎)	科目番号	BO216A2		
授業科目	教育相談			担当教員	清水 一毅		
履修年次	開講時期	単位数	時間	授業形態	卒業要件	幼2種免	保育士
2年	後期	2	30	講義	選択	必修	選択必修
(授業の目的) 幼児教育・保育に有用なカウンセリングの技法を習得する。特にコミュニケーションの特質や問題点について理解し、上手なコミュニケーションのあり方について学ぶ。							
(授業の概要) 本来カウンセリングは「心の専門家」と呼ばれる人が行うが、その基本や技法には保育者にとっても有用なものが含まれている。こうした知識や技術を学び、その習得を目指す。 また、カウンセリングの基礎的な理論および方法の学習を通して、幼児期の子どもと保護者の心を理解し、地域との繋がりの中での子育てを支援するための教育相談の方法を実践的に学ぶ。							
(授業の到達目標) ・主にグループワークの演習を通して、コミュニケーションの難しさを知る ・日常における自分のコミュニケーションの特徴・欠点を理解し修正する ・演習を通して学んだことを日常生活や保育現場において実践し、活用する能力を身につける							
(卒業認定・学位授与の方針との関連)							
ディプロマ・ポリシー				卒業認定・学位授与			
(1) 社会人として必要な教養とマナーを身につけていること。				○			
(2) 幼児教育に関する専門的知識と保育技術を身につけていること。				○			
(3) 保育の課題を積極的に探究していこうとする意欲を持っていること。							
(学習成果との関連)							
(1) 知識 20%		(2) 技能 20%		計100%			
(3) 態度 30%		(4) 実践力 30%					
【評価方法】 定期試験:70% 課題提出:30% 計100%							
【自己学習(予習・復習等)】 「授業計画」参照(合計15時間分)							
【課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法】 課題は、添削のうえ返却する。							
【使用テキスト】 「子育て支援カウンセリング」 石川洋子著 図書文化							
【参考図書】 「教師・保育者のための教育相談」 大野精一著 萌文書林							
【学生へのメッセージ】 授業を通して、受動的に話を聞くだけでなく、能動的に自分で考えながら受講して下さい。また、グループワークやロールプレイを行う場面が多くあるので積極的に参加しましょう。							

授 業 計 画

回	授 業 概 要	
1	予習	テキストを読み、分からない箇所などの確認を行う
	学習内容	ガイダンス・カウンセリングの基礎知識
	復習	ウェブ課題にて復習を行う。配布プリントをダウンロードし、授業内容について確認する
2	予習	テキストを読み、分からない箇所などの確認を行う
	学習内容	クライアント中心理論(来談者中心理論)と傾聴
	復習	ウェブ課題にて復習を行う。配布プリントをダウンロードし、授業内容について確認する
3	予習	テキストを読み、分からない箇所などの確認を行う
	学習内容	「聞く」と「聴く」の体験的理解
	復習	ウェブ課題にて復習を行う。配布プリントをダウンロードし、授業内容について確認する
4	予習	テキストを読み、分からない箇所などの確認を行う
	学習内容	聴く姿勢・態度:自分の「癖」を知ろう
	復習	ウェブ課題にて復習を行う。配布プリントをダウンロードし、授業内容について確認する
5	予習	テキストを読み、分からない箇所などの確認を行う
	学習内容	「話す」ことについて
	復習	ウェブ課題にて復習を行う。配布プリントをダウンロードし、授業内容について確認する
6	予習	テキストを読み、分からない箇所などの確認を行う
	学習内容	精神分析療法 意識・無意識について
	復習	ウェブ課題にて復習を行う。配布プリントをダウンロードし、授業内容について確認する
7	予習	テキストを読み、分からない箇所などの確認を行う
	学習内容	カウンセリングマインドとラポールの形成
	復習	ウェブ課題にて復習を行う。配布プリントをダウンロードし、授業内容について確認する
8	予習	テキストを読み、分からない箇所などの確認を行う
	学習内容	学習理論と行動療法(1)学習理論の基礎
	復習	ウェブ課題にて復習を行う。配布プリントをダウンロードし、授業内容について確認する
9	予習	テキストを読み、分からない箇所などの確認を行う
	学習内容	学習理論と行動療法(2)行動療法の基礎
	復習	ウェブ課題にて復習を行う。配布プリントをダウンロードし、授業内容について確認する
10	予習	テキストを読み、分からない箇所などの確認を行う
	学習内容	認知理論と認知行動療法(1)認知理論の基礎
	復習	ウェブ課題にて復習を行う。配布プリントをダウンロードし、授業内容について確認する
11	予習	テキストを読み、分からない箇所などの確認を行う
	学習内容	認知理論と認知行動療法(2)認知行動療法の基礎
	復習	ウェブ課題にて復習を行う。配布プリントをダウンロードし、授業内容について確認する
12	予習	テキストを読み、分からない箇所などの確認を行う
	学習内容	ビリーフシステム
	復習	ウェブ課題にて復習を行う。配布プリントをダウンロードし、授業内容について確認する
13	予習	テキストを読み、分からない箇所などの確認を行う
	学習内容	論理療法の基礎
	復習	ウェブ課題にて復習を行う。配布プリントをダウンロードし、授業内容について確認する
14	予習	テキストを読み、分からない箇所などの確認を行う
	学習内容	保護者との関わりを考える
	復習	ウェブ課題にて復習を行う。配布プリントをダウンロードし、授業内容について確認する
15	予習	テキストを読み、分からない箇所などの確認を行う
	学習内容	まとめ
	復習	ウェブ課題にて復習を行う。配布プリントをダウンロードし、授業内容について確認する

科目区分	専門教育科目	科目分類	専門科目(内容・方法)	科目番号	BO301A1		
授業科目	教育課程・保育の計画と評価			担当教員	清水 健		
履修年次	開講時期	単位数	時間	授業形態	卒業要件	幼2種免	保育士
1年	後期	2	30	講義	必修	必修	必修
(授業の目的) 教育・保育課程の意義及び編成の方法を理解するとともに、環境をとおしておこなう教育・保育を基本とする幼児教育における教育・保育課程の役割を明らかにし、幼児の心身の健やかな発達が促される教育・保育課程の編成について学ぶ。							
(授業の概要) 学校教育において教育課程が有する役割・機能・意義を理解する。教育課程編成の基本原理及び学校の教育実践に即した教育課程編成の方法を理解する教科・領域・学年をまたいでカリキュラムを把握し、学校教育課程全体をマネジメントすることの意義を理解する。							
(授業の到達目標) ・各要領、指針を基に編成される教育課程の意義を理解する ・幼児教育・保育における教育・保育課程の役割を理解する ・各学校の実情に合わせたカリキュラム・マネジメントの意義を理解する							
(卒業認定・学位授与の方針との関連)							
ディプロマ・ポリシー				卒業認定・学位授与			
(1) 社会人として必要な教養とマナーを身につけていること。							
(2) 幼児教育に関する専門的知識と保育技術を身につけていること。				○			
(3) 保育の課題を積極的に探究していこうとする意欲を持っていること。				○			
(学習成果との関連)							
(1) 知識 60%		(2) 技能 10%		計100%			
(3) 態度 20%		(4) 実践力 10%					
【評価方法】 定期試験:50% 課題レポート:30% 討論・プレゼンテーション:20% 計100%							
【自己学習(予習・復習等)】 「授業計画」参照(合計60時間分)							
【課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法】 課題は、添削のうえ返却しフィードバックを行う。試験は、解答を公表する。							
【使用テキスト】 「就学前教育の計画を学ぶ 教育課程・全体的な計画(保育課程)から指導計画へ」村松和子・近藤幹生・柁島香代著 ななみ書房 「平成30年度施行 新要領・新指針サポートブック 全体的な計画の作成から実践まで」保育総合研究会監修 PriPriブックス							
【参考図書】 「保育課程論 保育の基盤の理解と実習への活用」加藤敏子・岡田耕一編著 萌文書林							
【学生へのメッセージ】 幼稚園や保育所、認定こども園での保育・教育の基礎や、幼稚園教育要領、保育所保育指針の変遷などの原理を学ぶため、毎回の授業終了後、学び得たことをまとめたレポートを提出してもらう予定である。							

授 業 計 画

回	授 業 概 要	
1	予習	予めテキストを読んでおき、授業時に理解を深められるようにする
	学習内容	学習指導要領・幼稚園教育要領の性格及び位置付け並びに教育課程編成の目的理解
	復習	ノートや資料を振り返り、知識の定着を図る
2	予習	予めテキストを読んでおき、授業時に理解を深められるようにする
	学習内容	学習指導要領・幼稚園教育要領の改訂の変遷及び主な改訂内容の社会的背景理解
	復習	ノートや資料を振り返り、知識の定着を図る
3	予習	予めテキストを読んでおき、授業時に理解を深められるようにする
	学習内容	教育課程が社会において果たしている役割や機能を理解
	復習	ノートや資料を振り返り、知識の定着を図る
4	予習	予めテキストを読んでおき、授業時に理解を深められるようにする
	学習内容	教育課程編成の基本原則を理解 教育目標・教育理念
	復習	ノートや資料を振り返り、知識の定着を図る
5	予習	予めテキストを読んでおき、授業時に理解を深められるようにする
	学習内容	教育課程編成の基本原則を理解 学習計画・月案、週案、日案、細案
	復習	ノートや資料を振り返り、知識の定着を図る
6	予習	予めテキストを読んでおき、授業時に理解を深められるようにする
	学習内容	教育課程編成の基本原則を理解 日案、細案の立案
	復習	ノートや資料を振り返り、知識の定着を図る
7	予習	予めテキストを読んでおき、授業時に理解を深められるようにする
	学習内容	教科・領域を横断して教育内容を選択・配列する方法を例示 保育者養成課程 観点
	復習	ノートや資料を振り返り、知識の定着を図る
8	予習	予めテキストを読んでおき、授業時に理解を深められるようにする
	学習内容	教科・領域を横断して教育内容を選択・配列する方法を例示 保育者養成課程カルテ
	復習	ノートや資料を振り返り、知識の定着を図る
9	予習	予めテキストを読んでおき、授業時に理解を深められるようにする
	学習内容	教科・領域を横断して教育内容を選択・配列する方法を例示 保育者養成課程カルテ
	復習	ノートや資料を振り返り、知識の定着を図る
10	予習	予めテキストを読んでおき、授業時に理解を深められるようにする
	学習内容	長期的・現場実態から、教育課程や指導計画を検討 アンケート調査
	復習	ノートや資料を振り返り、知識の定着を図る
11	予習	予めテキストを読んでおき、授業時に理解を深められるようにする
	学習内容	長期的・現場実態から、教育課程や指導計画を検討 観点の整理
	復習	ノートや資料を振り返り、知識の定着を図る
12	予習	予めテキストを読んでおき、授業時に理解を深められるようにする
	学習内容	長期的・現場の実態から、教育課程や指導計画を検討 PDCAサイクル
	復習	ノートや資料を振り返り、知識の定着を図る
13	予習	予めテキストを読んでおき、授業時に理解を深められるようにする
	学習内容	第三者評価の視点 本学第三者評価内容例示
	復習	ノートや資料を振り返り、知識の定着を図る
14	予習	予めテキストを読んでおき、授業時に理解を深められるようにする
	学習内容	第三者評価の視点 幼稚園、保育所、施設 第三者評価 教育課程の見直し
	復習	ノートや資料を振り返り、知識の定着を図る
15	予習	予めテキストを読んでおき、授業時に理解を深められるようにする
	学習内容	まとめ 学習成果・新学習指導要領
	復習	ノートや資料を振り返り、知識の定着を図る

科目区分	専門教育科目	科目分類	専門科目(内容・方法)	科目番号	BO302B1		
授業科目	保育内容総論			担当教員	三井 正人		
履修年次	開講時期	単位数	時間	授業形態	卒業要件	幼2種免	保育士
1年	前期	1	30	演習	必修	必修	必修
(授業の目的)							
1. 保育所や幼稚園の保育に関する基本的理解をすすめる 2. 保育所保育指針・幼稚園教育要領等の基本を学ぶ 3. 保育課程・教育課程、保育・幼児教育の実践活動について学び、保育が地域と連携した総合性をもつことを知る							
(授業の概要)							
保育所や幼稚園、認定こども園などに関する基礎的な理解。保育所指針、教育要領等の理解。保育課程、教育課程の理解と実践。保育課題と地域との連携について学習する。							
(授業の到達目標)							
<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園教育要領・保育所指針の5領域のねらい、内容、留意事項を理解する ・児童福祉施設をはじめとするさまざまな施設に対する理解を深める ・保育内容に関するさまざまな技術を指導計画として立て、実践の過程で保育が直面する課題について総合的に学ぶ 							
(卒業認定・学位授与の方針との関連)							
ディプロマ・ポリシー				卒業認定・学位授与			
(1) 社会人として必要な教養とマナーを身につけていること。				○			
(2) 幼児教育に関する専門的知識と保育技術を身につけていること。				○			
(3) 保育の課題を積極的に探究していこうとする意欲を持っていること。				○			
(学習成果との関連)							
(1) 知識 20%		(2) 技能 20%		計100%			
(3) 態度 20%		(4) 実践力 40%					
【評価方法】							
グループ発表:50% ポートフォリオとして提出:50% 計100%							
【自己学習(予習・復習等)】							
「授業計画」参照(合計15時間分)							
【課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法】							
課題発表の後、質疑応答時間を設け、意見交換、教員のアドバイスをを行う。そののちに再度課題を見直して、ポートフォリオとして提出。							
【使用テキスト】							
『新・保育実践を支える 保育内容総論』中村恵 水田聖一 生田貞子 編著 福村出版							
【参考図書】							
「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」その他設置基準など関係法令をインターネットより検索							
【学生へのメッセージ】							
保育内容のまとめです。5領域をはじめ、関係法令、子どもをめぐる少子化などの様々な問題をインターネットで検索して調べ、パワーポイントでまとめて発表します。さらに学んだ成果をポートフォリオとしてまとめます。自ら子育ての専門家になるための様々な疑問を話し合える科目にしたいと思います。							

授 業 計 画

回	授 業 概 要	
1	予習	教育要領、保育所指針、保育教育要領を読む
	学習内容	ガイダンス 授業のねらい計画
	復習	教育要領、保育所指針、保育教育要領を確認する
2	予習	学力の3要素、育てたい子どもの姿がどのように要領や指針などに書かれているか調べる
	学習内容	幼稚園・保育園の保育内容 教育要領と保育指針 5領域
	復習	要領や指針の目指す育てたい子どもの姿などを確認する
3	予習	幼稚園・保育園・認定こども園・児童福祉施設について理解する
	学習内容	さまざまな保育の形態 幼稚園 認定子ども園 保育所 児童福祉施設 グループ研究①
	復習	各施設を担当に分け、それぞれの施設について、根拠となる法令、設置の基準を調べる
4	予習	各施設を担当に分け、それぞれの施設について、根拠となる法令、設置の基準をインターネットで調べる
	学習内容	さまざまな保育の形態 幼稚園 認定子ども園 保育所 児童福祉施設 グループ研究②
	復習	それぞれの施設についてパワーポイントにまとめる
5	予習	それぞれの施設についてパワーポイントにまとめる
	学習内容	さまざまな保育の形態 幼稚園 認定子ども園 保育所 児童福祉施設 グループ研究③
	復習	それぞれの施設についてパワーポイントにまとめる/ポートフォリオとしてまとめる
6	予習	それぞれの施設についてパワーポイントにまとめる
	学習内容	グループ研究発表 質問・意見交換①
	復習	発表された各施設について、疑問点などに回答できるようにする
7	予習	発表された各施設について、疑問点などに回答できるようにするためパワーポイントで書き加える
	学習内容	グループ研究発表 質問・意見交換②
	復習	全体の施設について理解を深めるため一覧にして掲示する/ポートフォリオとしてまとめる
8	予習	指導案の書き方について事前にしよしきなど理解しておく
	学習内容	保育技術の理解
	復習	指導案の書き方で注意事項を確認する
9	予習	実際に指導案をもとにグループで模擬授業などを行う準備をする
	学習内容	保育技術の実践/グループ
	復習	指導案を書く前に事前に保育技術を行ってみる
10	予習	保育技術を盛り込んだ指導案の作成
	学習内容	保育計画の理解
	復習	指導案作成の際の留意事項を確認しながら指導案の作成
11	予習	指導案をもとに子ども分だけの教材を用意する
	学習内容	保育の指導法理解
	復習	模擬授業などを行った際の反省点などをもとに完成版の指導案を仕上げる/ポートフォリオとしてまとめる
12	予習	現代の日本で課題となっている保育、福祉の諸課題を見出す
	学習内容	保育課題について 少子化高齢化 ① グループ研究・発表
	復習	諸課題をパワーポイントにまとめる
13	予習	諸課題をパワーポイントにまとめる
	学習内容	保育課題について 家族・子育て ② グループ研究・発表
	復習	発表後に全体を振り返り、パワーポイントにまとめ、一覧できるよう掲示する/ポートフォリオとしてまとめる
14	予習	実際のボランティア活動を前提に指導計画を立てる
	学習内容	地域との連携
	復習	発表後、反省をもとに指導計画を見直す ポートフォリオとしてネット上に公開する
15	予習	発表後、反省をもとに指導計画を見直す ポートフォリオとしてネット上に公開する
	学習内容	まとめ
	復習	掲示された印刷物、ポートフォリオとしてまとめられたものを振り返る

科目区分	専門教育科目	科目分類	専門科目(内容・方法)	科目番号	BO303B1		
授業科目	保育内容演習(環境)			担当教員	吉田 百加利		
履修年次	開講時期	単位数	時間	授業形態	卒業要件	幼2種免	保育士
1年	後期	1	30	演習	必修	必修	必修
(授業の目的) 保育者として、発達過程に即して子どもを理解することと、総合的に指導・援助が行えるような保育方法の実践的な修得を目指す。							
(授業の概要) 領域「環境」のねらいと内容を踏まえ、幼児が様々な環境と関わりながら成長を遂げるためにどのような援助を行えばよいのか、子どもの現況を把握し、また、子どもの体験との関連を考慮した情報機器及び教材を活用した指導方法を身につけることを目指す。							
(授業の到達目標) ・領域「環境」と他の領域との関連性を理解する ・身近な事物や自然と子どものかかわりを援助する指導案を書くことができる ・教育保育の全体構造の理解に基づいて総合的に指導援助が行えるよう実践的な方法(子どもの体験との関連を考慮した情報機器及び教材の活用を含む。)の習得を目指す							
(卒業認定・学位授与の方針との関連)							
ディプロマ・ポリシー				卒業認定・学位授与			
(1) 社会人として必要な教養とマナーを身につけていること。							
(2) 幼児教育に関する専門的知識と保育技術を身につけていること。				○			
(3) 保育の課題を積極的に探究していこうとする意欲を持っていること。				○			
(学習成果との関連)							
(1) 知識 20%		(2) 技能 40%		計100%			
(3) 態度 20%		(4) 実践力 20%					
【評価方法】 定期試験:60% 課題:20% 発表:20% 計100%							
【自己学習(予習・復習等)】 「授業計画」参照(合計15時間分)							
【課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法】 課題は、添削のうえ返却する。試験は、解答を公表する。							
【使用テキスト】 『保育内容 環境 -基礎的事項の理解と指導法-』(岡 健著 建帛社)							
【参考図書】 授業中に適宜資料を配布する。							
【学生へのメッセージ】 意欲的に学ぶ姿勢を期待します。							

授 業 計 画

回	授 業 概 要	
1	予習	テキストを読み、授業時に理解を深められるようにする
	学習内容	「環境」のねらい、内容、内容の取扱いへの理解
	復習	授業内容や資料を振り返り、知識の定着を図る
2	予習	テキストを読み、授業時に理解を深められるようにする
	学習内容	幼児に対する環境教育の指導方法 物を扱う
	復習	授業内容や資料を振り返り、知識の定着を図る
3	予習	テキストを読み、授業時に理解を深められるようにする
	学習内容	園の実践事例から学ぶ シャボン玉、風車、紙飛行機、虫眼鏡、コマ、磁石、光・影
	復習	授業内容や資料を振り返り、知識の定着を図る
4	予習	テキストを読み、授業時に理解を深められるようにする
	学習内容	幼児に対する環境教育の指導方法 生物を知る
	復習	授業内容や資料を振り返り、知識の定着を図る
5	予習	テキストを読み、授業時に理解を深められるようにする
	学習内容	園の実践事例から学ぶ 飼育と栽培、ピオトープ
	復習	授業内容や資料を振り返り、知識の定着を図る
6	予習	テキストを読み、授業時に理解を深められるようにする
	学習内容	幼児に対する環境教育の指導方法 大きな自然を感じる
	復習	授業内容や資料を振り返り、知識の定着を図る
7	予習	テキストを読み、授業時に理解を深められるようにする
	学習内容	園の実践事例から学ぶ 野外活動、園外保育
	復習	授業内容や資料を振り返り、知識の定着を図る
8	予習	テキストを読み、授業時に理解を深められるようにする
	学習内容	幼児に対する環境教育の指導方法 文字や標識
	復習	授業内容や資料を振り返り、知識の定着を図る
9	予習	テキストを読み、授業時に理解を深められるようにする
	学習内容	幼児に対する環境教育の指導方法 数量や図形
	復習	授業内容や資料を振り返り、知識の定着を図る
10	予習	テキストを読み、授業時に理解を深められるようにする
	学習内容	園の実践事例から学ぶ 保育室内環境構成
	復習	授業内容や資料を振り返り、知識の定着を図る
11	予習	テキストを読み、授業時に理解を深められるようにする
	学習内容	安全対策 自然への配慮
	復習	授業内容や資料を振り返り、知識の定着を図る
12	予習	テキストを読み、授業時に理解を深められるようにする
	学習内容	指導案の書き方、作成
	復習	授業内容や資料を振り返り、知識の定着を図る
13	予習	テキストを読み、授業時に理解を深められるようにする
	学習内容	指導案にもとづく模擬保育の実践
	復習	授業内容や資料を振り返り、知識の定着を図る
14	予習	テキストを読み、授業時に理解を深められるようにする
	学習内容	自己評価の作成と評価の生かし方
	復習	授業内容や資料を振り返り、知識の定着を図る
15	予習	テキストを読み、授業時に理解を深められるようにする
	学習内容	小学校との連携
	復習	授業内容や資料を振り返り、知識の定着を図る

科目区分	専門教育科目	科目分類	専門科目(内容・方法)	科目番号	BO304B1		
授業科目	保育内容演習(健康)			担当教員	井上 聖子		
履修年次	開講時期	単位数	時間	授業形態	卒業要件	幼2種免	保育士
1年	後期	1	30	演習	必修	必修	必修
(授業の目的)							
乳幼児期は、生涯にわたる心身の健康の基礎を培う重要な時期である。このことを理解するとともに、乳幼児期の心身の発達や発育について学び、健康で安全に過ごせるための援助の仕方について学ぶ事を目的とする。							
(授業の概要)							
幼稚園教育要領の中での領域「健康」のねらいや内容について理解した上、幼児が主体的に心身の健康と安全な生活を送るための指導の在り方について考察する。また、子どもの体験との関連を考慮した情報機器及び教材を活用した模擬授業を通じて、具体的な指導場面における教師のかかわり方や評価の仕方を身に付ける。							
(授業の到達目標)							
<ul style="list-style-type: none"> ・領域「健康」のねらいと内容について理解するとともに、その背景にある専門領域との関連性について理解を深める ・幼児自ら健康で安全な生活を作り出す力を養うべき子どもの体験との関連を考慮した情報機器及び教材を活用した指導方法や保育を構想する力を身に付ける ・指導場面における教師のかかわり方の評価について理解する 							
(卒業認定・学位授与の方針との関連)							
ディプロマ・ポリシー				卒業認定・学位授与			
(1) 社会人として必要な教養とマナーを身につけていること。							
(2) 幼児教育に関する専門的知識と保育技術を身につけていること。				○			
(3) 保育の課題を積極的に探究していこうとする意欲を持っていること。				○			
(学習成果との関連)							
(1) 知識 20%		(2) 技能 30%		計100%			
(3) 態度 20%		(4) 実践力 30%					
【評価方法】							
定期試験: 70% 発表: 30% 計100%							
【自己学習(予習・復習等)】							
「授業計画」参照(合計15時間分)							
【課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法】							
課題は、添削のうえ返却する。試験は、解答を公表する。							
【使用テキスト】							
「演習 保育内容 健康」 編著者 河邊貴子 発行所 建帛社							
【参考図書】							
「幼稚園教育要領」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」「保育所保育指針」 「保育保健の基礎知識」監修 巷野悟郎 編集 日本保育園保健協議会 日本小児医事出版社 「運動遊び」編著者 井上 勝子 発行所 建帛社							
【学生へのメッセージ】							
生涯の健康の基礎となる乳幼児期の健康について学ぶことは、保育者として養育者として、とても重要なことです。現代の子どもたちの健康に関心をもつとともに、自分自身の健康にも関心を持ち、意欲的に授業に臨んで下さい。							

授 業 計 画

回	授 業 概 要	
1	予習	事前に配布する資料をもとに、内容について調べてくること
	学習内容	幼稚園教育要領の基本の理解と領域「健康」のねらいについて
	復習	授業内容についてまとめ、理解した点・理解できなかった点を明らかにし、さらに学びを深めること
2	予習	事前に配布する資料をもとに、内容について調べてくること
	学習内容	領域「健康」の内容について
	復習	授業内容についてまとめ、理解した点・理解できなかった点を明らかにし、さらに学びを深めること
3	予習	事前に配布する資料をもとに、内容について調べてくること
	学習内容	領域「健康」の内容に即した幼児の活動と具体的な指導について ー 基本的な生活習慣(食事・排泄・睡眠)
	復習	授業内容についてまとめ、理解した点・理解できなかった点を明らかにし、さらに学びを深めること
4	予習	事前に配布する資料をもとに、内容について調べてくること
	学習内容	領域「健康」の内容に即した幼児の活動と具体的な指導について ー 基本的な生活習慣(清潔・衣服の着脱)
	復習	授業内容についてまとめ、理解した点・理解できなかった点を明らかにし、さらに学びを深めること
5	予習	事前に配布する資料をもとに、内容について調べてくること
	学習内容	領域「健康」の内容に即した幼児の活動と指導上の留意点について ー 運動遊び
	復習	授業内容についてまとめ、理解した点・理解できなかった点を明らかにし、さらに学びを深めること
6	予習	事前に配布する資料をもとに、内容について調べてくること
	学習内容	領域「健康」の内容に即した幼児の活動における評価について ー 運動遊び
	復習	授業内容についてまとめ、理解した点・理解できなかった点を明らかにし、さらに学びを深めること
7	予習	事前に配布する資料をもとに、内容について調べてくること
	学習内容	領域「健康」における内容と小学校の教科等の関連性について
	復習	授業内容についてまとめ、理解した点・理解できなかった点を明らかにし、さらに学びを深めること
8	予習	事前に配布する資料をもとに、内容について調べてくること
	学習内容	幼児の心情、認識、思考及び動き等を視野に入れた保育構成の重要性について
	復習	授業内容についてまとめ、理解した点・理解できなかった点を明らかにし、さらに学びを深めること
9	予習	事前に配布する資料をもとに、内容について調べてくること
	学習内容	保育を想定した指導案の作成方法につて
	復習	授業内容についてまとめ、理解した点・理解できなかった点を明らかにし、さらに学びを深めること
10	予習	事前に配布する資料をもとに、発表の課題について検討してくること
	学習内容	模擬授業とその振り返り ー 保育構想と改善する視点を身に付けるー 学生発表グループ(1)
	復習	授業内容についてまとめ、理解した点・理解できなかった点を明らかにし、さらに学びを深めること
11	予習	発表の課題について調べておくこと
	学習内容	模擬授業とその振り返り ー 保育構想と改善する視点を身に付けるー 学生発表グループ(2)
	復習	授業内容についてまとめ、理解した点・理解できなかった点を明らかにし、さらに学びを深めること
12	予習	発表の課題について調べておくこと
	学習内容	模擬授業とその振り返り ー 保育構想と改善する視点を身に付けるー 学生発表グループ(3)
	復習	授業内容についてまとめ、理解した点・理解できなかった点を明らかにし、さらに学びを深めること
13	予習	発表の課題について調べておくこと
	学習内容	模擬授業とその振り返り ー 保育構想と改善する視点を身に付けるー 学生発表グループ(4)
	復習	授業内容についてまとめ、理解した点・理解できなかった点を明らかにし、さらに学びを深めること
14	予習	事前に配布する資料をもとに、内容について調べてくること
	学習内容	領域「健康」の特性に応じた現代の課題と保育実践について
	復習	授業内容についてまとめ、理解した点・理解できなかった点を明らかにし、さらに学びを深めること
15	予習	今までの学びを振り返り、疑問点や理解できなかった点をまとめておくこと
	学習内容	領域「健康」のまとめー幼児教育における領域「健康」の在り方
	復習	今までの学びを保育者として役立てられるようまとめておくこと

科目区分	専門教育科目	科目分類	専門科目(内容・方法)	科目番号	BO305B1		
授業科目	保育内容演習(言葉)			担当教員	三石 美鶴		
履修年次	開講時期	単位数	時間	授業形態	卒業要件	幼2種免	保育士
1年	後期	1	30	演習	必修	必修	必修
(授業の目的)							
「子どもと言葉」の学修と関連させ、乳幼児期の言葉の発達過程と保育者の役割について理解し、各発達段階に応じて児童文化財を有効に活用し、創造的な保育を主体的に実践する力を育成することを目指す。							
(授業の概要)							
幼稚園教育要領の領域「言葉」のねらいや内容を理解し、それらを達成するための保育者の役割や関わり方について理解する。また、乳幼児の言葉の発達過程を理解し、各発達段階に応じた言葉を育む保育の在り方や保育者の役割を考える。その際、児童文化財の種類や特性を理解し、演習を通してそれらを有効に活用する実践力を育成する。また、グループ活動や交流活動を通して協調性やコミュニケーション力、言葉を介した表現力等を身に付ける。乳幼児の最大の言語環境が保育者であることを自覚し、言葉を育む保育者としての資質能力を育成する。							
(授業の到達目標)							
<ul style="list-style-type: none"> ・領域「言葉」のねらいや内容と保育者の役割について理解し、乳幼児の発達段階に応じ、言葉を育む保育の実践力を育成する ・児童文化財それぞれの特性や効用の理解及び操作や演じ方等の技能を習得し、乳幼児の発達段階に応じた保育において適切に児童文化財を活用する技能を習得する ・発表や交流活動を通して表現力・コミュニケーション力を身に付け、言葉を育む保育者としての資質能力を育成する 							
(卒業認定・学位授与の方針との関連)							
ディプロマ・ポリシー				卒業認定・学位授与			
(1) 社会人として必要な教養とマナーを身につけていること。							
(2) 幼児教育に関する専門的知識と保育技術を身につけていること。				○			
(3) 保育の課題を積極的に探究していこうとする意欲を持っていること。				○			
(学習成果との関連)							
(1) 知識 20%		(2) 技能 20%		計100%			
(3) 態度 30%		(4) 実践力 30%					
【評価方法】							
定期試験:40% 授業態度:30% 提出物:30% 計100%							
【自己学習(予習・復習等)】							
「授業計画」参照(合計15時間分)							
【課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法】							
授業ごとに作成したワークシートや小レポート等が返却されるので、指導者のコメントや助言を参照し、毎回振り返りを行う。自らの学修のよかった点や改善点等を確認し、次の授業に活かす。							
【使用テキスト】							
「保育所保育指針解説」(厚生労働省編 フレーベル館)							
【参考図書】							
授業内にて、適宜資料を配布する。 「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」「幼保連携型認定子ども園教育・保育要領」							
【学生へのメッセージ】							
子どもたちの言葉を育む保育者としての資質能力を育成する学修です。自身が言葉の担い手としてのモデルとなることを意識して学修に臨んでください。 子どもたちの言葉を育む上で、児童文化財を活用する演習を行います。実際に保育実習や幼稚園実習等で実践することを意識して学修しましょう。							

授 業 計 画

回	授 業 概 要	
1	予習	予めシラバスやテキストを読み、学修内容や学修の進め方を把握する
	学習内容	オリエンテーション:学修内容を理解し、見通しをもつ。スピーチの仕方を理解し、相手に応じた自己紹介を行う。
	復習	学修した内容についてテキストやノート、配布資料などを復習し、知識の定着を図る
2	予習	テキストのこの内容について読んでおき、授業時の理解を深める
	学習内容	幼稚園教育要領領域「言葉」の目的・内容について理解する
	復習	幼稚園教育要領領域「言葉」の目的・内容についてテキストやノート、配布資料などを復習し、知識の定着を図る
3	予習	事前に「言葉を育む保育者とは」について考える
	学習内容	言葉を育む保育者の役割について考える
	復習	言葉を育む保育者の役割についてテキストやノート、配布資料などを復習し、知識の定着を図る
4	予習	事前に児童文化財についてリサーチする
	学習内容	児童文化財についてそれぞれの特性や効能を理解する
	復習	児童文化財についてテキストやノート、配布資料などを復習し、知識の定着を図る
5	予習	絵本についてリサーチする。絵本の読み聞かせを行い、課題を把握しておく
	学習内容	絵本の読み聞かせの仕方を理解する
	復習	絵本の読み聞かせの仕方についてテキストやノート、配布資料などを復習し、知識・技能の定着を図る
6	予習	5歳時に最も読み聞かせたい絵本を選び、読み聞かせ練習を行う
	学習内容	幼児に読み聞かせたい絵本を選び、読み聞かせを実践し、交流する
	復習	自らの絵本の読み聞かせを振り返り、友達の良さを取り入れる等、課題の改善を図り、読み聞かせ技能の向上を図る
7	予習	ストーリーテリングの題材をリサーチする
	学習内容	ストーリーテリングの仕方を理解する
	復習	ストーリーテリングの仕方についてテキストやノート、配布資料などを復習し、知識・技能の定着を図る
8	予習	ストーリーテリングの台本を作成し、練習する
	学習内容	ストーリーテリングを実践し、交流する
	復習	自らのストーリーテリングを振り返り、友達の良さを取り入れる等、課題の改善を図り、ストーリーテリング技能の向上を図る
9	予習	ペープサートの題材をリサーチする
	学習内容	ペープサートの作成方法や演じ方を理解する
	復習	ペープサートの作成方法や演じ方についてテキストやノート、配布資料などを復習し、知識・技能の定着を図る
10	予習	グループで相談してペープサートの題材やキャラクター、あらすじ等を考える
	学習内容	グループでのオリジナルペープサート創りに向け、構想を練る
	復習	グループで、オリジナルペープサートの構想について振り返り、次の活動を共有し、準備を行う
11	予習	ペープサート作成に向け、役割分担や作成工程を打ち合わせる
	学習内容	グループでオリジナルペープサートを作成し、発表に向け準備を行う
	復習	ペープサート作成が協働してできたか振り返り、発表に向けてリハーサル等準備する
12	予習	ペープサート発表に向け、グループで最終確認・準備を行う
	学習内容	オリジナルペープサートの発表を行い、交流する
	復習	オリジナルペープサートの出来栄え、演技を振り返り、他のグループの良さを取り入れる
13	予習	言葉遊び、文字遊びについて知っているものを含め、事前にリサーチする
	学習内容	言葉遊び、文字遊びについて理解する
	復習	言葉遊び、文字遊びについてテキストやノート、配布資料などを復習し、知識・技能の定着を図る
14	予習	グループごとに紹介する言葉遊び、文字遊びを決めて、実践しておく
	学習内容	様々な言葉遊びや文字遊びを実践する
	復習	グループごとに実践した言葉遊び、文字遊びを復習し、実習等で活用できるようにする
15	予習	今まで学修したことをファイルし、学修内容を把握しておく
	学習内容	本学修の振り返りと学修のまとめ
	復習	今まで学修してきたことを振り返り、知識・技能の定着を図り、実践できるようにする

科目区分	専門教育科目	科目分類	専門科目(内容・方法)	科目番号	BO306B1		
授業科目	保育内容演習(人間関係)			担当教員	星田 由哉		
履修年次	開講時期	単位数	時間	授業形態	卒業要件	幼2種免	保育士
1年	後期	1	30	演習	必修	必修	必修

(授業の目的)

前期授業である「子どもと人間関係」で学んだ基礎的な知識及び援助方法を演習において実践し、様々な状況において臨機応変に関わる力をつける。

(授業の概要)

「子どもと人間関係」で学んだことを基盤とし、実践DVDや実際に保育園・幼稚園に行き、子どもたち同士の対話やつながりを観察し、実際に関わりながら援助方法を理解して実践する。
保育における振り返りをよりよいものにするため、情報機器の活用方法を理解し、実践する

(授業の到達目標)

- ・子どもの発達と人間関係の基礎を実際に関わりの中で学ぶ
- ・子どもたち同士の対話等を見逃さない注意力の基礎を身に着ける
- ・グループワークを通して、新たな視点に気付く
- ・情報機器の活用方法理解し、実践する。

(卒業認定・学位授与の方針との関連)

ディプロマ・ポリシー	卒業認定・学位授与
(1) 社会人として必要な教養とマナーを身につけていること。	○
(2) 幼児教育に関する専門的知識と保育技術を身につけていること。	○
(3) 保育の課題を積極的に探究していこうとする意欲を持っていること。	○

(学習成果との関連)

(1) 知識 10%	(2) 技能 10%	計100%
(3) 態度 20%	(4) 実践力 60%	

【評価方法】

定期試験:30% 課題提出:70% 計100%

【自己学習(予習・復習等)】

「授業計画」参照(合計15時間分)

【課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法】

課題は、添削のうえ返却する。試験は、解答を公表し、解説する。

【使用テキスト】

「演習 保育内容 人間関係」田代和美・村松正幸 編著 建帛社

【参考図書】

「体験する・調べる・考える 領域人間関係」田宮緑 萌文書林
「事例で学ぶ保育内容 領域 人間関係」無藤隆 監修 萌文書林
「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」

【学生へのメッセージ】

近隣の保育園・幼稚園にて演習を予定していますが、状況により学内演習になる場合もあります。予めご了承ください。内容は学生諸君の進捗状況により、変更になる場合があります。

授 業 計 画

回	授 業 概 要	
1	予習	テキストの第一章を熟読しておくこと
	学習内容	「子どもと人間関係」の復習及び再確認～演習における注意点等 目線と立ち位置とねらい
	復習	授業内において指示した箇所を再度熟読すること
2	予習	前回の授業で指示したテキスト内容を熟読すること
	学習内容	保育園演習①～近隣の保育園で与えられた課題を基に、実際に観察と参加演習を行う。自身で「ねらい」を立て、どのように子どもたちと関わるかを学ぶ
	復習	授業内において指示した箇所を再度熟読すること
3	予習	前回の授業で指示したテキスト内容を熟読すること
	学習内容	演習の振り返りと発表 ねらいに沿った課題達成の実践発表を行う
	復習	授業内において指示した箇所を再度熟読すること
4	予習	前回の授業で指示したテキスト内容を熟読すること
	学習内容	保育園演習②～近隣の保育園で与えられた課題を基に、実際に観察と参加演習を行う。保育における物的環境・人的環境の配慮について具体的に学ぶ
	復習	授業内において指示した箇所を再度熟読すること
5	予習	前回の授業で指示したテキスト内容を熟読すること
	学習内容	演習の振り返りと発表 デジカメを通して、物的環境を考察し、発表する。
	復習	授業内において指示した箇所を再度熟読すること
6	予習	前回の授業で指示したテキスト内容を熟読すること
	学習内容	保育園演習③～近隣の保育園で与えられた課題を基に、実際に観察と参加演習を行う。保育者と子どもたちとの関わりから資質能力育成につながる言葉がけを学ぶ
	復習	授業内において指示した箇所を再度熟読すること
7	予習	前回の授業で指示したテキスト内容を熟読すること
	学習内容	演習の振り返りと発表 資質能力につながる援助方法を発表する
	復習	授業内において指示した箇所を再度熟読すること
8	予習	前回の授業で指示したテキスト内容を熟読すること
	学習内容	保育園演習④～近隣の保育園で与えられた課題を基に、実際に観察と参加演習を行う。子どもたち同士のトラブルにおいて、どのように受け止め、お互いの理解につながるかを学ぶ。
	復習	授業内において指示した箇所を再度熟読すること
9	予習	前回の授業で指示したテキスト内容を熟読すること
	学習内容	演習の振り返りと発表 トラブル等、咄嗟の事態にどのように対応するかを発表する
	復習	授業内において指示した箇所を再度熟読すること
10	予習	前回の授業で指示したテキスト内容を熟読すること
	学習内容	保育園演習⑤～近隣の保育園で与えられた課題を基に、実際に観察と参加演習を行う。共同的な活動において、保育者はどのような言葉がけをしているかを学ぶ
	復習	授業内において指示した箇所を再度熟読すること
11	予習	前回の授業で指示したテキスト内容を熟読すること
	学習内容	演習の振り返りと発表 共同的な活動において、情報機器を使った発表を行う
	復習	授業内において指示した箇所を再度熟読すること
12	予習	前回の授業で指示したテキスト内容を熟読すること
	学習内容	エピソード記録の書き方を学び、実践生かす方法論を学ぶ
	復習	授業内において指示した箇所を再度熟読すること
13	予習	前回の授業で指示したテキスト内容を熟読すること
	学習内容	保育者間の連携を学び、組織的に必要なスキルを学ぶ
	復習	授業内において指示した箇所を再度熟読すること
14	予習	前回の授業で指示したテキスト内容を熟読すること
	学習内容	子どもたちの人間関係が深まる環境構成とは何かを学ぶ
	復習	授業内において指示した箇所を再度熟読すること
15	予習	前回の授業で指示したテキスト内容を熟読すること
	学習内容	まとめ 10の姿につながる保育実践とは何かを学ぶ
	復習	授業内において指示した箇所を再度熟読すること

科目区分	専門教育科目	科目分類	専門科目(内容・方法)	科目番号	BO307B2		
授業科目	保育内容演習(表現Ⅰ)			担当教員	田川 智美		
履修年次	開講時期	単位数	時間	授業形態	卒業要件	幼2種免	保育士
1年	後期	1	30	演習	選択	必修	選択必修
(授業の目的)							
表現領域の音楽について、意義やねらい、また内容や留意事項について理解させる。保育実践に向けた、子どもの表現の仕方、活動展開、指導方法を学び、子どもの表現についての認識と理解を深める。							
(授業の概要)							
領域「表現」の音楽について意義やねらい、また内容や指導上の留意点について理解する。保育実践に向けて、子どもの表現の仕方、活動展開、体験との関連を考慮し、情報機器及び教材を活用した指導法を学び、子どもの表現についての認識と理解を深める。							
(授業の到達目標)							
<ul style="list-style-type: none"> ・領域「表現」を音楽的な視野から理解する。 ・様々な表現活動を通して子どもの発達に応じた指導援助と実践力を習得する。(情報機器及び教材の活用を含む。) ・子どもの体験との関連を考慮した環境構成を学ぶ。 							
(卒業認定・学位授与の方針との関連)							
ディプロマ・ポリシー				卒業認定・学位授与			
(1) 社会人として必要な教養とマナーを身につけていること。				○			
(2) 幼児教育に関する専門的知識と保育技術を身につけていること。				○			
(3) 保育の課題を積極的に探究していこうとする意欲を持っていること。				○			
(学習成果との関連)							
(1) 知識 20%		(2) 技能 30%		計100%			
(3) 態度 10%		(4) 実践力 40%					
【評価方法】							
授業への取り組み:60% 発表:40% 計100%							
【自己学習(予習・復習等)】							
「授業計画」参照(合計15時間分)							
【課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法】							
課題は、添削のうえ返却する。							
【使用テキスト】							
「あそびうた大全集200」永岡書店 「こどものうたベストテン」ドレミ楽譜							
【参考図書】							
「保育のうた・こどものうた120」シンコーミュージック 「ダルクローズシステムによる リトミック指導1, 2, 3」全音楽譜出版社 「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」							
【学生へのメッセージ】							
責任実習に役立つ実践的な学習に取り組みます。音楽で表現する楽しさとその指導法をしっかり学び、積極的に取り組んで下さい。							

授 業 計 画

回	授 業 概 要	
1	予習	予めテキストを読んでおく
	学習内容	子どもの表現の仕方(映像を用いる)の特徴と領域「表現」の特徴について
	復習	学習内容を振り返る
2	予習	予めテキストを読んでおく
	学習内容	年齢にあった音楽表現について
	復習	学習内容を振り返る
3	予習	予めテキストを読んでおく
	学習内容	リトミックについての基礎知識 理論と実践 …①
	復習	学習内容を振り返る
4	予習	予めテキストを読んでおく
	学習内容	リトミックについての基礎知識 理論と実践 …②
	復習	学習内容を振り返る
5	予習	予めテキストを読んでおく
	学習内容	幼児曲の歌唱 楽しく表現しながら歌う歌唱法について…①
	復習	学習内容を振り返る
6	予習	予めテキストを読んでおく
	学習内容	幼児曲の歌唱 楽しく表現しながら歌う歌唱法について…②
	復習	学習内容を振り返る
7	予習	予めテキストを読んでおく
	学習内容	幼児曲の歌唱 楽しく表現しながら歌う歌唱法について…③
	復習	学習内容を振り返る
8	予習	予めテキストを読んでおく
	学習内容	音楽あそび(リズム) 年齢別の音楽あそび
	復習	学習内容を振り返る
9	予習	予めテキストを読んでおく
	学習内容	手遊び 年齢ごとの指導法について…①
	復習	学習内容を振り返る
10	予習	予めテキストを読んでおく
	学習内容	手遊び 年齢ごとの指導法について…②
	復習	学習内容を振り返る
11	予習	予めテキストを読んでおく
	学習内容	手遊び 年齢ごとの指導法について…③
	復習	学習内容を振り返る
12	予習	各自指導案の内容を考えておく
	学習内容	リトミック、歌唱、音楽あそび、手遊びを用いた指導案の作成(グループ研究)
	復習	指導案についての理解を深める
13	予習	指導案作成に取り組む
	学習内容	作成した指導案の発表と改善点について
	復習	指導案の問題点について改善する
14	予習	指導案発表の練習をする
	学習内容	作成した指導案の発表と改善点について
	復習	指導案の問題点について改善する
15	予習	これまでの学習をまとめる
	学習内容	完成させた指導案の提出と領域「表現」のまとめ
	復習	これまでの学習の振り返りまとめる

科目区分	専門教育科目	科目分類	専門科目(内容・方法)	科目番号	BO308B2		
授業科目	保育内容演習(表現Ⅱ)			担当教員	三井 正人		
履修年次	開講時期	単位数	時間	授業形態	卒業要件	幼2種免	保育士
1年	後期	1	30	演習	選択	必修	選択必修
(授業の目的)							
表現領域の造形について、意義やねらい、また内容や留意事項について理解させる。保育実践に向けた、子どもの表現の仕方、活動展開、指導方法を学び、子どもの表現についての認識と理解を深める。							
(授業の概要)							
領域「表現」の造形について意義やねらい、また内容や指導上の留意点について理解する。保育実践に向けて、子どもの表現の仕方、活動展開、体験との関連を考慮し、情報機器及び教材を活用した指導法を学び、子どもの表現についての認識と理解を深める。							
(授業の到達目標)							
<ul style="list-style-type: none"> ・領域「表現」を造形的な視点から理解する。 ・様々な表現活動を通して子どもの発達に応じた指導援助と実践力を学ぶ。(情報機器及び教材の活用を含む。) ・子どもとの体験との関連を考慮した環境構成を学ぶ。 							
(卒業認定・学位授与の方針との関連)							
ディプロマ・ポリシー				卒業認定・学位授与			
(1) 社会人として必要な教養とマナーを身につけていること。				○			
(2) 幼児教育に関する専門的知識と保育技術を身につけていること。				○			
(3) 保育の課題を積極的に探究していこうとする意欲を持っていること。				○			
(学習成果との関連)							
(1) 知識 20%		(2) 技能 30%		計100%			
(3) 態度 20%		(4) 実践力 30%					
【評価方法】							
課題提出:70% 発表:30% 計100%							
【自己学習(予習・復習等)】							
「授業計画」参照(合計15時間分)							
【課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法】							
課題は、添削のうえ返却する。							
【使用テキスト】							
コンパス 保育内容 表現 建帛社							
【参考図書】							
「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」							
【学生へのメッセージ】							
責任実習に役立つ実践的な学習に取り組みます。造形で表現する楽しさとその指導法をしっかり学び、積極的に取り組んで下さい。							

授 業 計 画

回	授 業 概 要	
1	予習	子どもの表現についてインターネットなどを活用し調べておく
	学習内容	子どもの表現の仕方(映像を用いる)の特徴と領域「表現」の特徴について
	復習	子どもの絵の発達について理解する
2	予習	発達過程の諸理論に目を通す
	学習内容	年齢にあった造形表現について
	復習	発達に応じて子どものできることなどを確認する
3	予習	0歳児～の体の発達について調べる
	学習内容	子どもの造形についての基礎知識 理論と実践 3、4歳児…①
	復習	0～2歳、3歳、4歳時の年齢に合わせた教材を具体的に考える
4	予習	0～2歳、3歳、4歳時の年齢に合わせた教材を用意する
	学習内容	子どもの造形についての基礎知識 理論と実践 5歳児…②
	復習	5歳時の年齢に合わせた教材を具体的に考える
5	予習	指導案の書式を用意し確認する/先輩の資料をポートフォリオから確認
	学習内容	楽しく表現するための指導法について(子どもの姿、ねらい)…①
	復習	子どもの発達と発達に合わせたねらいを造形教材を考えながら用意する
6	予習	教材材料を用意する
	学習内容	楽しく表現するための指導法について(導入、環境構成)…②
	復習	導入のために手遊び、ペープサートなどを用意する
7	予習	展開のための教材を実際に作製し、注意点をまとめる
	学習内容	楽しく表現するための指導法について(展開)…③
	復習	展開の図の描き方、言葉がけ、多様な子どもへの対応などを指導案に書き込む
8	予習	指導案を完成させる
	学習内容	楽しく表現するための指導法について(まとめ)…④
	復習	発達を踏まえた環境構成、ねらい、導入、展開、まとめに至る指導案の構成を復習する
9	予習	グループごとの指導案作成、準備
	学習内容	手遊び 年齢ごとの手遊びの指導法について 指導計画の立案(グループごと)
	復習	実際に教材研究を行う
10	予習	グループごとの指導案作成、準備
	学習内容	手遊び 年齢ごとの手遊びの指導法について グループごとに模擬授業発表…① 反省、振り返り
	復習	反省の内容を指導案に活かし完成させるーポートフォリオ/行った模擬授業をビデオ撮影し振り返る
11	予習	グループごとの指導案作成、準備
	学習内容	手遊び 年齢ごとの手遊びの指導法について グループごとに模擬授業発表…② 反省、振り返り
	復習	反省の内容を指導案に活かし完成させるーポートフォリオ/行った模擬授業をビデオ撮影し振り返る
12	予習	グループごとの指導案作成、準備
	学習内容	手遊び 年齢ごとの手遊びの指導法について グループごとに模擬授業発表…③ 反省、振り返り
	復習	反省の内容を指導案に活かし完成させるーポートフォリオ/行った模擬授業をビデオ撮影し振り返る
13	予習	グループごとの指導案作成、準備
	学習内容	手遊び 年齢ごとの手遊びの指導法について グループごとに模擬授業発表…④ 反省、振り返り
	復習	反省の内容を指導案に活かし完成させるーポートフォリオ/行った模擬授業をビデオ撮影し振り返る
14	予習	グループごとの指導案作成、準備
	学習内容	手遊び 年齢ごとの手遊びの指導法について グループごとに模擬授業発表…⑤ 反省、振り返り
	復習	反省の内容を指導案に活かし完成させる/行った模擬授業をビデオ撮影し振り返る
15	予習	指導案の書き方の注意点をまとめておく
	学習内容	完成させた指導案の提出と領域「表現」のまとめ
	復習	指導案の書き方をルーブリック表にまとめる

科目区分	専門教育科目	科目分類	専門科目(内容・方法)	科目番号	BO309B1		
授業科目	子どもと環境			担当教員	吉田 百加利		
履修年次	開講時期	単位数	時間	授業形態	卒業要件	幼2種免	保育士
1年	前期	1	30	演習	必修	必修	必修
(授業の目的) 領域「環境」の指導に関連する幼児を取り巻く環境や、幼児と環境との関わりについての専門的事項における感性を養い、知識・技能を身に付ける。							
(授業の概要) 子どもたちの学びや育ちを支える専門家となるために、映像等の視覚的教材を活用し、多くの具体的な事例から環境による教育に関する学習を深めることを目指す。							
(授業の到達目標) ・幼児を取り巻く環境と、幼児の発達にとっての意義を理解する ・幼児期の思考・科学的概念の発達を理解する ・幼児期の標識・文字等、情報・施設との関りの発達を理解する							
(卒業認定・学位授与の方針との関連)							
ディプロマ・ポリシー					卒業認定・学位授与		
(1) 社会人として必要な教養とマナーを身につけていること。							
(2) 幼児教育に関する専門的知識と保育技術を身につけていること。					○		
(3) 保育の課題を積極的に探究していこうとする意欲を持っていること。					○		
(学習成果との関連)							
(1) 知識 20%		(2) 技能 40%		計100%			
(3) 態度 20%		(4) 実践力 20%					
【評価方法】 定期試験:60% 課題:20% 授業マナー:20% 計100%							
【自己学習(予習・復習等)】 「授業計画」参照(合計15時間分)							
【課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法】 課題は、添削のうえ返却する。試験は、解答を公表する。							
【使用テキスト】 『保育内容 環境 ー基礎的事項の理解と指導法ー』(岡 健著 建帛社)							
【参考図書】 授業中に適宜資料を配布する。							
【学生へのメッセージ】 意欲的に学ぶ姿勢を期待します。							

授 業 計 画

回	授 業 概 要	
1	予習	テキストを読み、授業時に理解を深められるようにする
	学習内容	「環境」を捉える
	復習	授業内容や資料を振り返り、知識の定着を図る
2	予習	テキストを読み、授業時に理解を深められるようにする
	学習内容	乳幼児の発達と環境
	復習	授業内容や資料を振り返り、知識の定着を図る
3	予習	テキストを読み、授業時に理解を深められるようにする
	学習内容	領域「環境」のねらい、内容および評価
	復習	授業内容や資料を振り返り、知識の定着を図る
4	予習	テキストを読み、授業時に理解を深められるようにする
	学習内容	身近な生き物や植物に親しみをもって関わる その1
	復習	授業内容や資料を振り返り、知識の定着を図る
5	予習	テキストを読み、授業時に理解を深められるようにする
	学習内容	身近な生き物や植物に親しみをもって関わる その2
	復習	授業内容や資料を振り返り、知識の定着を図る
6	予習	テキストを読み、授業時に理解を深められるようにする
	学習内容	季節による生活や自然の変化に気づく その1
	復習	授業内容や資料を振り返り、知識の定着を図る
7	予習	テキストを読み、授業時に理解を深められるようにする
	学習内容	季節による生活や自然の変化に気づく その2
	復習	授業内容や資料を振り返り、知識の定着を図る
8	予習	テキストを読み、授業時に理解を深められるようにする
	学習内容	様々な物や道具に触れその性質や仕組みに興味や関心をもつ
	復習	授業内容や資料を振り返り、知識の定着を図る
9	予習	テキストを読み、授業時に理解を深められるようにする
	学習内容	生活の中で数量や図形などに関心をもつ
	復習	授業内容や資料を振り返り、知識の定着を図る
10	予習	テキストを読み、授業時に理解を深められるようにする
	学習内容	生活の中で標識や文字などに関心をもつ
	復習	授業内容や資料を振り返り、知識の定着を図る
11	予習	テキストを読み、授業時に理解を深められるようにする
	学習内容	生活に関係の深い情報や施設などに興味・関心をもつ その1
	復習	授業内容や資料を振り返り、知識の定着を図る
12	予習	テキストを読み、授業時に理解を深められるようにする
	学習内容	生活に関係の深い情報や施設などに興味・関心をもつ その2
	復習	授業内容や資料を振り返り、知識の定着を図る
13	予習	テキストを読み、授業時に理解を深められるようにする
	学習内容	生活の中で文化や伝統、行事などに親しむ その1
	復習	授業内容や資料を振り返り、知識の定着を図る
14	予習	テキストを読み、授業時に理解を深められるようにする
	学習内容	生活の中で文化や伝統、行事などに親しむ その2
	復習	授業内容や資料を振り返り、知識の定着を図る
15	予習	テキストを読み、授業時に理解を深められるようにする
	学習内容	保育者の役割
	復習	授業内容や資料を振り返り、知識の定着を図る

科目区分	専門教育科目	科目分類	専門科目(内容・方法)	科目番号	BO310B1		
授業科目	子どもと健康			担当教員	井上 聖子		
履修年次	開講時期	単位数	時間	授業形態	卒業要件	幼2種免	保育士
1年	前期	1	30	演習	必修	必修	必修
(授業の目的) 領域「健康」の指導に関する幼児の心身の発達、基本的な生活習慣、安全な生活、運動発達などの専門的事項についての知識を身に着ける。							
(授業の概要) 幼児における心身の健康について専門的な知識を身に付ける。また幼児の健康に関するデータを分析・検討を行い、課題を見つけ、幼児の健康についての理解を深める。							
(授業の到達目標) ・幼児期の健康課題と健康の発達の意味を理解する ・幼児期の体の諸機能の発達と生活習慣の形成を理解する ・安全な生活と病気の予防を理解する							
(卒業認定・学位授与の方針との関連)							
ディプロマ・ポリシー					卒業認定・学位授与		
(1) 社会人として必要な教養とマナーを身につけていること。							
(2) 幼児教育に関する専門的知識と保育技術を身につけていること。					○		
(3) 保育の課題を積極的に探究していこうとする意欲を持っていること。					○		
(学習成果との関連)							
(1) 知識 30%		(2) 技能 25%		計100%			
(3) 態度 20%		(4) 実践力 25%					
【評価方法】 定期試験:80% 発表:20% 合計100%							
【自己学習(予習・復習等)】 「授業計画」参照(合計15時間分)							
【課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法】 課題は、添削のうえ返却する。試験は、解答を公表する。							
【使用テキスト】 「演習 保育内容 健康」 編著者 河邊貴子 発行所 建帛社							
【参考図書】 「運動遊び」 編著者 井上勝子 高原和子 発行所 建帛社							
【学生へのメッセージ】 保育者は、子どもたちが楽しい園生活を送るため、子どもの健康や安全面への配慮を欠かすことはできません。そのため、子どもの健康を守るための視点を日頃から持つようにして下さい。							

授 業 計 画

回	授 業 概 要	
1	予習	事前に配布する資料をもとに、内容について調べてくること
	学習内容	乳幼児の健康とは
	復習	授業内容についてまとめ、理解した点・理解できなかった点を明らかにし、さらに学びを深めること
2	予習	事前に配布する資料をもとに、内容について調べてくること
	学習内容	乳幼児の発達の理解(1) —身体的な発達
	復習	授業内容についてまとめ、理解した点・理解できなかった点を明らかにし、さらに学びを深めること
3	予習	事前に配布する資料をもとに、内容について調べてくること
	学習内容	乳幼児の発達の理解(2) —心の発達
	復習	授業内容についてまとめ、理解した点・理解できなかった点を明らかにし、さらに学びを深めること
4	予習	事前に配布する資料をもとに、内容について調べてくること
	学習内容	乳幼児の発達の理解(3) —運動機能の発達
	復習	授業内容についてまとめ、理解した点・理解できなかった点を明らかにし、さらに学びを深めること
5	予習	事前に配布する資料をもとに、内容について調べてくること
	学習内容	幼児の体力・運動能力に関する現代の問題
	復習	授業内容についてまとめ、理解した点・理解できなかった点を明らかにし、さらに学びを深めること
6	予習	事前に配布する資料をもとに、内容について調べてくること
	学習内容	乳幼児期の発達と生活習慣の形成との関わり
	復習	授業内容についてまとめ、理解した点・理解できなかった点を明らかにし、さらに学びを深めること
7	予習	事前に配布する資料をもとに、内容について調べてくること
	学習内容	乳幼児の事故の原因と特徴(1)
	復習	授業内容についてまとめ、理解した点・理解できなかった点を明らかにし、さらに学びを深めること
8	予習	事前に配布する資料をもとに、内容について調べてくること
	学習内容	乳幼児の事故の原因と特徴(2) —グループ討議
	復習	授業内容についてまとめ、理解した点・理解できなかった点を明らかにし、さらに学びを深めること
9	予習	事前に配布する資料をもとに、内容について調べてくること
	学習内容	乳幼児期の安全教育とケガの予防(1)
	復習	授業内容についてまとめ、理解した点・理解できなかった点を明らかにし、さらに学びを深めること
10	予習	事前に配布する資料をもとに、内容について調べてくること
	学習内容	乳幼児期の安全教育とケガの予防(2) —安全教育・安全面での配慮について 学生発表
	復習	授業内容についてまとめ、理解した点・理解できなかった点を明らかにし、さらに学びを深めること
11	予習	事前に配布する資料をもとに、内容について調べてくること
	学習内容	乳幼児期での病気の特徴とその予防について(1)
	復習	授業内容についてまとめ、理解した点・理解できなかった点を明らかにし、さらに学びを深めること
12	予習	事前に配布する資料をもとに、内容について調べてくること
	学習内容	乳幼児期での病気の特徴とその予防について(2)
	復習	授業内容についてまとめ、理解した点・理解できなかった点を明らかにし、さらに学びを深めること
13	予習	事前に配布する資料をもとに、内容について調べてくること
	学習内容	運動遊びの意義と多様な動きの獲得
	復習	授業内容についてまとめ、理解した点・理解できなかった点を明らかにし、さらに学びを深めること
14	予習	事前に配布する資料をもとに、内容について調べてくること
	学習内容	運動遊びの環境構成と指導法
	復習	授業内容についてまとめ、理解した点・理解できなかった点を明らかにし、さらに学びを深めること
15	予習	今までの学びを振り返り課題点や理解できなかった点についてまとめておくこと
	学習内容	乳幼児の運動指針について
	復習	今までの学びを保育者として役立てられるようまとめておくこと

科目区分	専門教育科目	科目分類	専門科目(内容・方法)	科目番号	BO311B1		
授業科目	子どもと言葉			担当教員	三石 美鶴		
履修年次	開講時期	単位数	時間	授業形態	卒業要件	幼2種免	保育士
1年	前期	1	30	演習	必修	必修	必修
(授業の目的)							
保育と言葉の関わりについて理解を深め、言語感覚や言語能力を身に付け、実践的な言葉に関する保育や援助の在り方を習得する。							
(授業の概要)							
言葉の意義や機能について理解し、言葉を育む保育者として豊かな言語感覚や言語能力の必要性を認識する。その上で、保育所保育指針 領域「言葉」のねらいや内容を理解し、それらを達成するための保育者の役割や関わり方について考える。また、乳幼児の言葉の発達過程を理解し、発達段階に応じた言語活動や保育者の果たすべき役割を理解し、最終的には小学校との接続を見据え、総則に示された「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」の主に(8)(9)の育成を目指すことを把握する。さらに、絵本や紙芝居等児童文化財の意義を理解し、それらを取り入れた保育指導案を作成して模擬保育を行う等、実践力を育成する。その際、特別な支援の必要な子ども等への配慮についても意識し、人権感覚を身に付ける。							
(授業の到達目標)							
<ul style="list-style-type: none"> ・人間にとっての言葉の意義や機能について理解し、保育者として適切な言語感覚やコミュニケーション力等の言語能力を身に付ける。 ・領域「言葉」のねらいや内容と、その達成に向けた保育者の役割を理解する。 ・乳幼児期の言葉の発達過程を理解すると共に、それぞれの発達段階に適切に対応し、言葉を育む保育者の在り方を習得する。 ・乳幼児にとっての児童文化財(絵本・紙芝居等)の意義を理解し、実践力を身に付ける。 							
(卒業認定・学位授与の方針との関連)							
ディプロマ・ポリシー				卒業認定・学位授与			
(1) 社会人として必要な教養とマナーを身につけていること。				○			
(2) 幼児教育に関する専門的知識と保育技術を身につけていること。				○			
(3) 保育の課題を積極的に探究していこうとする意欲を持っていること。				○			
(学習成果との関連)							
(1) 知識 30%		(2) 技能 20%		計100%			
(3) 態度 30%		(4) 実践力 20%					
【評価方法】							
定期試験40% 授業態度30% 提出物30% 計100%							
【自己学習(予習・復習等)】							
「授業計画」参照(合計15時間分)							
【課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法】							
授業ごとに作成したワークシートや小レポート等が返却されるので、指導者のコメントや助言を参照し、毎回振り返りを行う。自らの学修のよかった点や改善点等を確認し、次の授業に活かす。							
【使用テキスト】							
「保育所保育指針解説」(厚生労働省編 フレーベル館)							
【参考図書】							
授業内にて、適宜資料を配布する。 「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」「幼保連携型認定子ども園教育・保育要領」							
【学生へのメッセージ】							
<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちの言葉を育む保育者としての資質能力を育成する学修です。自身が言葉の担い手としてのモデルとなることを意識して学修に臨んでください。 ・幼稚園教諭、保育士の資格取得のための必修科目であるため、授業態度や提出物の評価を重視します。 ・学修したことを実際の保育実習や幼稚園実習等ですぐに生かせるよう意識して学修しましょう。 							

授 業 計 画

回	授 業 概 要	
1	予習	予めシラバスやテキストを読み、学修内容や学修の進め方を把握する
	学習内容	オリエンテーション:学修内容を理解し、見通しをもち、「言葉」について考える
	復習	学修した内容についてテキストやノート、配布資料などを復習し、知識の定着を図る
2	予習	テキストのこの内容について読んでおき、授業時の理解を深める
	学習内容	領域「言葉」を中心に幼稚園教育要領・保育所保育指針・幼保連携型認定子ども園教育・保育要領の改定点とこれからの幼児教育・保育の方向性について理解する
	復習	領域「言葉」を中心に幼稚園教育要領等の改訂とこれからの幼児教育・保育の方向性についてテキストやノート、配布資料などを復習し、知識の定着を図る
3	予習	テキストの領域「言葉」の目的について読んでおき、授業時の理解を深める
	学習内容	保育所保育指針領域「言葉」の目的・内容について理解する
	復習	領域「言葉」の目的・内容についてテキストやノート、配布資料などを復習し、知識の定着を図る
4	予習	乳児保育についてテキストを読んでおき、授業時の理解を深める
	学習内容	言葉を育む乳児保育について理解する
	復習	言葉を育む乳児保育についてテキストやノート、配布資料などを復習し、知識の定着を図る
5	予習	1歳以上3歳未満児の保育領域「言葉」についてテキストを読んでおき、授業時の理解を深める
	学習内容	言葉を育む1歳以上3歳未満児の保育について理解する
	復習	言葉を育む1歳以上3歳未満児の保育についてテキストやノート、配布資料などを復習し、知識の定着を図る
6	予習	3歳以上児の保育領域「言葉」についてテキストを読んでおき、授業時の理解を深める
	学習内容	言葉を育む3歳以上児の保育について理解する
	復習	言葉を育む3歳以上児の保育についてテキストやノート、配布資料などを復習し、知識の定着を図る
7	予習	乳幼児の言語発達について事前リサーチする。
	学習内容	乳幼児の言語発達について理解する
	復習	乳幼児の言語発達についてテキストやノート、配布資料などを復習し、知識の定着を図る
8	予習	言葉が育つ環境条件について事前リサーチする。
	学習内容	言葉が育つ環境条件と言葉を育むための教師の援助について考える
	復習	言葉が育つ環境条件と言葉を育むための教師の援助についてテキストやノート、配布資料などを復習し、知識の定着を図る
9	予習	絵本について事前リサーチする。
	学習内容	児童文化財の絵本と絵本の読み聞かせについて理解する
	復習	児童文化財の絵本と絵本の読み聞かせについてノート、配布資料などを復習し、知識・技能の定着を図り、実践に生かせるようにする
10	予習	ビブリオバトルで紹介するお薦め絵本を選び、絵本の作者・あらすじ・良さ等について調べておく。
	学習内容	言葉を育む児童文化財「絵本」の教材研究をビブリオバトルの手法を用いて行う
	復習	自らのビブリオバトルを振り返ると共に、友達の紹介絵本を把握し、読み聞かせ絵本のレパートリーを広げる。
11	予習	保育指導案についてリサーチする。
	学習内容	保育指導案の作成の仕方を理解する
	復習	保育指導案についてノート、配布資料などを復習し、知識の定着を図り、活用できるようにする。
12	予習	選んだ絵本の読み聞かせ活動を盛り込んだ保育指導案のプロットを把握しておく。
	学習内容	ビブリオバトルで選んだ絵本の読み聞かせと言葉遊びを盛り込んだ保育指導案を作成する
	復習	自ら作成した保育指導案を読み込み、模擬保育のイメージを把握する。
13	予習	模擬保育で実践する絵本の読み聞かせの練習を行っておく。
	学習内容	絵本の読み聞かせの仕方を理解し、保育指導案を基に模擬保育を行う
	復習	自己評価や友達との相互評価を受け、絵本の読み聞かせの模擬保育を振り返り、課題の改善を図る。
14	予習	幼児教育と小学校教育の連携について事前リサーチする。
	学習内容	言葉を育む上で幼小の連携について考える
	復習	言葉を育む上で幼小の連携についてテキスト、ノート、配布資料などを復習し、知識の定着を図る。
15	予習	今まで学修したことをファイルし、学修内容を把握しておく
	学習内容	本学修の振り返りと学修のまとめ
	復習	今まで学修したことを振り返り、知識・技能の定着を図り、実習等で実践できるようにする

科目区分	専門教育科目	科目分類	専門科目(内容・方法)	科目番号	BO312B1		
授業科目	子どもと人間関係			担当教員	星田 由哉		
履修年次	開講時期	単位数	時間	授業形態	卒業要件	幼2種免	保育士
1年	前期	1	30	演習	必修	必修	必修
(授業の目的) 「人間関係」の領域において、子どもたちが資質能力を育むための基本的知識及び、援助方法を身に付けることを目的とする							
(授業の概要) 乳幼児期における資質能力の育成内容を基盤とし、様々な事例を通して実践的な関わりの基礎を身に付ける							
(授業の到達目標) ・幼児期の人間関係を資質能力育成の視点において考察する。 ・保育者の多義的な関わりを学び、子どもたちの生きる力の基礎を育む援助方法を理解する。							
(卒業認定・学位授与の方針との関連)							
ディプロマ・ポリシー					卒業認定・学位授与		
(1) 社会人として必要な教養とマナーを身につけていること。							
(2) 幼児教育に関する専門的知識と保育技術を身につけていること。					○		
(3) 保育の課題を積極的に探究していこうとする意欲を持っていること。					○		
(学習成果との関連)							
(1) 知識 30%		(2) 技能 10%		計100%			
(3) 態度 10%		(4) 実践力 40%					
【評価方法】 定期試験:40% 課題提出:60% 計100%							
【自己学習(予習・復習等)】 「授業計画」参照(合計15時間分)							
【課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法】 課題は、添削のうえ返却する。							
【使用テキスト】 新訂 事例で学ぶ保育内容 領域 人間関係 無藤隆 岩立京子 萌文書林							
【参考図書】 「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」「幼保連携型認定子ども園教育・保育要領」 「ここが変わった 3法令改訂(定)の要点とこれからの保育」無藤隆 チャイルド本社 「マンガでわかる 保育所保育指針」浅井拓久也 中央法規							
【学生へのメッセージ】 授業中は受動的に話を聞くだけでなく、能動的に自分の中で考えながら受講して下さい。							

授 業 計 画

回	授 業 概 要	
1	予習	テキストを読み、分からない箇所などの確認を行う
	学習内容	幼児教育の基本とは
	復習	配布プリントなどにより、授業内容について確認する
2	予習	テキストを読み、分からない箇所などの確認を行う
	学習内容	資質能力とは何か① 技能及び知識の基礎を中心に事例を用いて教授する
	復習	配布プリントなどにより、授業内容について確認する
3	予習	テキストを読み、分からない箇所などの確認を行う
	学習内容	資質能力とは何か② 思考力・判断力・表現力の基礎を中心に事例を用いて教授する
	復習	配布プリントなどにより、授業内容について確認する
4	予習	テキストを読み、分からない箇所などの確認を行う
	学習内容	領域「人間関係」について 人間関係とは何か
	復習	配布プリントなどにより、授業内容について確認する
5	予習	テキストを読み、分からない箇所などの確認を行う
	学習内容	子どもの人間関係の基礎 愛着関係について
	復習	配布プリントなどにより、授業内容について確認する
6	予習	テキストを読み、分からない箇所などの確認を行う
	学習内容	乳幼児の発達と人間関係 乳児保育の人間関係
	復習	配布プリントなどにより、授業内容について確認する
7	予習	テキストを読み、分からない箇所などの確認を行う
	学習内容	3歳児の人間関係 事例研究～ファシリテーション① 平衡遊びにおける保育者の援助方法を理解する
	復習	配布プリントなどにより、授業内容について確認する
8	予習	テキストを読み、分からない箇所などの確認を行う
	学習内容	3歳児の人間関係 事例研究～ファシリテーション② 自己肯定感を育む「共感」とは何か
	復習	配布プリントなどにより、授業内容について確認する
9	予習	テキストを読み、分からない箇所などの確認を行う
	学習内容	4歳児の人間関係 事例研究～ファシリテーション① 対立的自我の事例を中心に教授する
	復習	配布プリントなどにより、授業内容について確認する
10	予習	テキストを読み、分からない箇所などの確認を行う
	学習内容	4歳児の人間関係 事例研究～ファシリテーション② 葛藤やいざこざにおける保育者の関わり方を教授する
	復習	配布プリントなどにより、授業内容について確認する
11	予習	テキストを読み、分からない箇所などの確認を行う
	学習内容	4歳児の人間関係 事例研究～ファシリテーション③ 戸外遊びにおける資質能力の育成を中心に教授する
	復習	配布プリントなどにより、授業内容について確認する
12	予習	テキストを読み、分からない箇所などの確認を行う
	学習内容	5歳児の人間関係 事例研究～ファシリテーション① 多様な判断の基礎を育む援助方法を教授する
	復習	配布プリントなどにより、授業内容について確認する
13	予習	テキストを読み、分からない箇所などの確認を行う
	学習内容	5歳児の人間関係 事例研究～ファシリテーション② 5歳児における「学びに向かう力人間性等」について教授する
	復習	配布プリントなどにより、授業内容について確認する
14	予習	テキストを読み、分からない箇所などの確認を行う
	学習内容	5歳児の人間関係 事例研究～ファシリテーション③ 共同的な活動とは何かを教授する
	復習	配布プリントなどにより、授業内容について確認する
15	予習	テキストを読み、分からない箇所などの確認を行う
	学習内容	まとめ 資質の力を育む人間関係とは何かを事例研究を踏まえて解説する
	復習	配布プリントなどにより、授業内容について確認する

科目区分	専門教育科目	科目分類	専門科目(内容・方法)	科目番号	BO313B1		
授業科目	子どもと表現			担当教員	田川 智美 三井 正人		
履修年次	開講時期	単位数	時間	授業形態	卒業要件	幼2種免	保育士
1年	前期	1	30	演習	必修	必修	必修
(授業の目的) 領域「表現」の指導に関する、幼児の表現の姿やその発達及びそれを促す要因、幼児の感性や創造性を豊かにする様々な表現遊びや環境の構成などの専門的知識・技能、表現力を身に付ける。							
(授業の概要) 領域「表現」について子どもの表現の特性、意義やねらい、留意点を理解し、保育実践に向けて活動展開や指導法を学ぶ。							
(授業の到達目標) ・幼児の表現の姿や、その発達を理解する ・身体・造形・音楽表現などの様々な表現の基礎的な知識・技能を学ぶ ・幼児の表現を豊かにするための指導法を学ぶ							
(卒業認定・学位授与の方針との関連)							
ディプロマ・ポリシー					卒業認定・学位授与		
(1) 社会人として必要な教養とマナーを身につけていること。					○		
(2) 幼児教育に関する専門的知識と保育技術を身につけていること。					○		
(3) 保育の課題を積極的に探究していこうとする意欲を持っていること。					○		
(学習成果との関連)							
(1) 知識 30%		(2) 技能 30%		計100%			
(3) 態度 10%		(4) 実践力 30%					
【評価方法】 定期試験:70% 課題提出・発表:30% 計100%							
【自己学習(予習・復習等)】 「授業計画」参照(合計15時間分)							
【課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法】 作成した指導案の提出。添削後再提出。							
【使用テキスト】 「こどもの歌ベストテン」ドレミ楽譜(田川) 「コンパス 保育内容 表現」建帛社 独自印刷資料(三井)							
【参考図書】 「ダルクローズシステムによる リトミック指導1. 2. 3」全音楽譜出版社 「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」「幼保連携型認定子ども園教育・保育要領」							
【学生へのメッセージ】 子どもは日常の生活の中で出会う自然や季節、行事などを通して新鮮な驚きや感動を経験します。そしてその思いを声に出して歌ってみたり、絵に描いたり、踊ったりして表現します。子どもたちの様々な思いを素直に表現するためにはどんな環境や指導が必要か学ぶのが、この授業です。							

授 業 計 画

回	授 業 概 要	
1	予習	自分の子ども期の音楽表現に関する体験をまとめておく
	学習内容	子ども期の音楽表現の特性と領域「表現」について(田川)
	復習	学習内容を振り返る
2	予習	わらべうた について各自調査する
	学習内容	子どもの遊びや生活に見られる音楽表現 わらべ歌(田川)
	復習	実践練習をする
3	予習	教科書で生活の歌。季節の歌を調べる
	学習内容	歌による音楽表現①(生活・季節のうた) リズム表現(田川)
	復習	実践練習をする
4	予習	教科書で生活の歌。季節の歌を調べる
	学習内容	歌による音楽表現②(生活・季節のうた) 音楽表現遊び(田川)
	復習	実践練習をする
5	予習	指導案作成のための題材を考える
	学習内容	音楽表現に関する指導案の立案(田川)
	復習	指導案の作成について考える
6	予習	自分の子ども期の身体表現の関する体験をまとめる
	学習内容	子ども期の身体表現の特性と領域「表現」について(田川)
	復習	学習したことをまとめる
7	予習	次の授業の内容について考える
	学習内容	イメージと動き リズムに合わせた表現(歩く、走る、回る、振る、弾む)(田川)
	復習	授業内容の振り返りをする
8	予習	次の授業の内容について考えてる
	学習内容	音楽に合わせた表現(スキップ、ツーステップ等リズムミカルな動作の習得)(田川)
	復習	授業内容の振り返りをする
9	予習	身体表現遊びについて調べる
	学習内容	身体表現遊び「〇〇〇になってみよう」(田川)
	復習	授業内容の振り返りをする
10	予習	指導案の内容を考える
	学習内容	身体表現に関する指導案の立案(田川)
	復習	指導案の作成について考える
11	予習	子どもの絵の発達について調べる
	学習内容	造形表現の特性 幼児の造形表現とは 発達過程と発達理論(三井)
	復習	発達過程、発達理論を振り返る
12	予習	幼児の造形表現の特徴について調べる
	学習内容	幼児の造形表現とは 基礎的な造形教育理論と教育要領表現領域の理解(三井)
	復習	幼児の造形理論を振り返る
13	予習	指導案について、先輩のポートフォリオを見ておく
	学習内容	造形表現に関する指導案の立案(三井)
	復習	指導案の立て方を確認する
14	予習	子どもの造形教材について調べる
	学習内容	教材／指導案 デカルコマニー、スクラッチ グループごとに研究・模擬授業(三井)
	復習	子どもの造形教材について振り返る
15	予習	さまざまな造形教材について調べる
	学習内容	教材／指導案 スライム、小麦粉粘土、紙コップを使った教材 グループごとに研究・模擬授業(三井)
	復習	造形教材を指導案にどう盛り込むかまとめる

科目区分	専門教育科目	科目分類	専門科目(内容・方法)	科目番号	NT314A2		
授業科目	乳児保育 I			担当教員	メレディース 貴子		
履修年次	開講時期	単位数	時間	授業形態	卒業要件	幼2種免	保育士
1年	後期	2	30	講義	選択	—	必修
(授業の目的)							
3歳児未満の子どもの健やかな成長を支える保育者のかかわりは、0歳児からの長時間保育において重要である。そのため乳児がおかれている現状と課題を把握し、乳児保育の役割や機能、3歳児未満の子どもの発育・発達を理解し、乳児保育の基本的な知識や技術を身に付けることを目的とする。							
(授業の概要)							
乳児保育の意義・目的と役割、歴史的変遷を理解した上で、現状での課題について検討する。また3歳未満児の発育・発達を踏まえた保育について、事例やグループワークなどを行い理解を深める。(本講義は、看護師の実務家活動を基に行われる。)							
(授業の到達目標)							
<ul style="list-style-type: none"> ・「乳児保育」の意義と役割、そして課題等について理解する ・3歳未満児の発育・発達を踏まえ、健やかに成長するための生活と遊びについて理解する ・「乳児保育」における保護者や関係機関との連携について理解する 							
(卒業認定・学位授与の方針との関連)							
ディプロマ・ポリシー				卒業認定・学位授与			
(1) 社会人として必要な教養とマナーを身につけていること。							
(2) 幼児教育に関する専門的知識と保育技術を身につけていること。				○			
(3) 保育の課題を積極的に探究していこうとする意欲を持っていること。				○			
(学習成果との関連)							
(1) 知識 60%		(2) 技能 15%		計100%			
(3) 態度 10%		(4) 実践力 15%					
【評価方法】							
授業態度・課題:10% 定期試験:90% 計100%							
【自己学習(予習・復習等)】							
「授業計画」参照(合計60時間分)							
【課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法】							
課題を出すときは、添削のうえ返却する。試験は、解答を公表する。							
【使用テキスト】							
『講義で学ぶ 乳児保育』小山朝子 編 わかば社							
【参考図書】							
『発達のサインが見えるともっと楽しい 0.1.2さい児の遊びとくらし』鈴木八朗 編著 汐見稔幸 監修 メイト							
『40のサインでわかる乳幼児の発達—0.1.2歳児が生活面で自立する保育の進め方—』くらき永田保育園監修 鈴木八朗 著 黎明書房							
【学生へのメッセージ】							
授業以外にも、周りの乳児に目を向け、理解を深めて下さい。							

授 業 計 画

回	授 業 概 要	
1	予習	テキストの学習内容に合うところを熟読して理解しておくこと(P10-P27)
	学習内容	乳児保育の意義・目的・歴史の変遷委について
	復習	授業内容についてまとめ、理解した点・理解できなかった点を明らかにし、さらに学びを深めること
2	予習	テキストの学習内容に合うところを熟読して理解しておくこと(P10-P17)
	学習内容	乳児保育の役割と機能について
	復習	授業内容についてまとめ、理解した点・理解できなかった点を明らかにし、さらに学びを深めること
3	予習	テキストの学習内容に合うところを熟読して理解しておくこと(P10-P27)
	学習内容	乳児保育の現状と課題 (1)保育所における乳児保育 (2)乳児院における乳児保育
	復習	授業内容についてまとめ、理解した点・理解できなかった点を明らかにし、さらに学びを深めること
4	予習	テキストの学習内容に合うところを熟読して理解しておくこと(P18-27、P134-P143)
	学習内容	乳児保育の現状と課題 (3)家庭的保育等における乳児保育 (4)乳児や家庭を取り巻く環境と子育て支援
	復習	授業内容についてまとめ、理解した点・理解できなかった点を明らかにし、さらに学びを深めること
5	予習	テキストの学習内容に合うところを熟読して理解しておくこと(P28-P81)
	学習内容	3歳児未満の発達と保育内容 (1)乳児保育における基本的な援助やかかわり
	復習	授業内容についてまとめ、理解した点・理解できなかった点を明らかにし、さらに学びを深めること
6	予習	テキストの学習内容に合うところを熟読して理解しておくこと(P28-P47、P64-P115)
	学習内容	3歳児未満の発達と保育内容 (2)6か月未満児の発達と保育内容
	復習	授業内容についてまとめ、理解した点・理解できなかった点を明らかにし、さらに学びを深めること
7	予習	テキストの学習内容に合うところを熟読して理解しておくこと(P28-P63、P64-P115)
	学習内容	3歳児未満の発達と保育内容 (3)6か月から1歳3か月未満児の発達と保育内容
	復習	授業内容についてまとめ、理解した点・理解できなかった点を明らかにし、さらに学びを深めること
8	予習	テキストの学習内容に合うところを熟読して理解しておくこと(P28-P63、P64-P115)
	学習内容	3歳児未満の発達と保育内容 (4)1歳3か月から2歳未満児の発達と保育内容
	復習	授業内容についてまとめ、理解した点・理解できなかった点を明らかにし、さらに学びを深めること
9	予習	テキストの学習内容に合うところを熟読して理解しておくこと(P28-P35、P48-P63、P64-P115)
	学習内容	3歳児未満の発達と保育内容 (5)2歳児の発達と保育内容
	復習	授業内容についてまとめ、理解した点・理解できなかった点を明らかにし、さらに学びを深めること
10	予習	テキストの学習内容に合うところを熟読して理解しておくこと(P124-P133)
	学習内容	乳児保育の計画と記録と評価について
	復習	授業内容についてまとめ、理解した点・理解できなかった点を明らかにし、さらに学びを深めること
11	予習	テキストの学習内容に合うところを熟読して理解しておくこと(P116-P123)
	学習内容	乳児保育の環境構成について
	復習	授業内容についてまとめ、理解した点・理解できなかった点を明らかにし、さらに学びを深めること
12	予習	テキストの学習内容に合うところを熟読して理解しておくこと(P134-P147)
	学習内容	乳児保育における保育者の役割について
	復習	授業内容についてまとめ、理解した点・理解できなかった点を明らかにし、さらに学びを深めること
13	予習	テキストの学習内容に合うところを熟読して理解しておくこと(P134-P147)
	学習内容	乳児保育における連携 (1)保護者との連携
	復習	授業内容についてまとめ、理解した点・理解できなかった点を明らかにし、さらに学びを深めること
14	予習	テキストの学習内容に合うところを熟読して理解しておくこと(P134-P147)
	学習内容	乳児保育における連携 (2)保健・医療機関、家庭的保育、地域子育て支援等との連携
	復習	授業内容についてまとめ、理解した点・理解できなかった点を明らかにし、さらに学びを深めること
15	予習	テキストの学習内容に合うところを熟読して理解しておくこと(P148-P153)
	学習内容	乳児保育の総理解
	復習	授業内容についてまとめ、理解した点・理解できなかった点を明らかにし、さらに学びを深めること

科目区分	専門教育科目	科目分類	専門科目(内容・方法)	科目番号	NT315B2		
授業科目	乳児保育Ⅱ			担当教員	嘉糠 恵美子		
履修年次	開講時期	単位数	時間	授業形態	卒業要件	幼2種免	保育士
2年	前期	1	30	演習	選択	—	必修
(授業の目的)							
近年の国内外の実践や研究の結果、子どもの人生の出発点である乳児期における経験の質の重要性が見直されている。乳児保育Ⅰでの学びを踏まえ、保育の方法や環境について具体的に理解する。							
(授業の概要)							
①乳児保育の基本 ②乳児保育における子どもの発育・発達を踏まえた生活と遊びについて ③乳児保育における配慮の実際 ④乳児保育における計画の実際 を理解し具体的な指導計画を立案する。(本演習は、看護師の実務家活動を基に行われる。)							
(授業の到達目標)							
<ul style="list-style-type: none"> ・「乳児保育」の養護と教育の一体性を踏まえた保育の方法や環境について具体的に理解する ・3歳未満児の発育・発達を踏まえた援助やかかわりについて理解する ・「乳児保育」における計画の作成について具体的に理解する 							
(卒業認定・学位授与の方針との関連)							
ディプロマ・ポリシー				卒業認定・学位授与			
(1) 社会人として必要な教養とマナーを身につけていること。							
(2) 幼児教育に関する専門的知識と保育技術を身につけていること。				○			
(3) 保育の課題を積極的に探究していこうとする意欲を持っていること。				○			
(学習成果との関連)							
(1) 知識50%		(2) 技能20%		計100%			
(3) 態度15%		(4) 実践力15%					
【評価方法】							
授業の取り組み・レポート:50% 定期試験:50% 計100%							
【自己学習(予習・復習等)】							
「授業計画」参照(合計15時間分)							
【課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法】							
授業中の課題レポートについては、添削し、返却する。 課題、レポート、定期試験の結果を総合的に評価する。							
【使用テキスト】							
「新基本保育シリーズ15 乳児保育Ⅰ・Ⅱ」編集 寺田清美他 編 中央法規 「保育所保育指針解説」厚生労働省編 平成30年 フレーベル館							
【参考図書】							
「発達のサインが見えるともっと楽しい 0.1.2さい児の遊びとくらし」鈴木八朗 編著 汐見稔幸 監修 メイト 「40のサインでわかる乳幼児の発達—0.1.2歳児が生活面で自立する保育の進め方—」くらき永田保育園監修 鈴木八朗 著 黎明書房							
【学生へのメッセージ】							
保育実習での観察・体験を授業にいかし、具体的な指導計画が立案できる力をつけましょう。							

授 業 計 画

回	授 業 概 要	
1	予習	テキスト第1講通読
	学習内容	乳児保育の基本
	復習	授業内容から提示する。(次回提出)
2	予習	テキスト第2講通読
	学習内容	子どもの生活の流れ(0歳児クラス)
	復習	授業内容から提示する。(次回提出)
3	予習	テキスト第3講通読
	学習内容	子どもの保育環境(0歳児クラス)
	復習	授業内容から提示する。(次回提出)
4	予習	テキスト第4講通読
	学習内容	子どもの援助の実際(0歳児クラス)
	復習	授業内容から提示する。(次回提出)
5	予習	テキスト第5講通読
	学習内容	子どもの生活の流れ(1歳児クラス)
	復習	授業内容から提示する。(次回提出)
6	予習	テキスト第6講通読
	学習内容	子どもの保育環境(1歳児クラス)
	復習	授業内容から提示する。(次回提出)
7	予習	テキスト第7講通読
	学習内容	子どもの援助の実際(1歳児クラス)
	復習	授業内容から提示する。(次回提出)
8	予習	テキスト第8講通読
	学習内容	子どもの生活の流れ(2歳児クラス)
	復習	授業内容から提示する。(次回提出)
9	予習	テキスト第9講通読
	学習内容	子どもの保育環境(2歳児クラス)
	復習	授業内容から提示する。(次回提出)
10	予習	テキスト第10講通読
	学習内容	子どもの援助の実際(2歳児クラス)
	復習	授業内容から提示する。(次回提出)
11	予習	テキスト第11講通読
	学習内容	子どもの心身の健康・安全と情緒の安定を図るための配慮
	復習	授業内容から提示する。(次回提出)
12	予習	テキスト第12講通読
	学習内容	集団での生活における配慮
	復習	授業内容から提示する。(次回提出)
13	予習	テキスト第13講通読
	学習内容	環境の変化や移行に対する配慮
	復習	授業内容から提示する。(次回提出)
14	予習	テキスト第14講通読
	学習内容	長期的な指導計画と短期的な指導計画
	復習	授業内容から提示する。(次回提出)
15	予習	テキスト第15講通読
	学習内容	個別的な指導計画と集団の指導計画
	復習	全体の復習

科目区分	専門教育科目	科目分類	専門科目(内容・方法)	科目番号	NT316B2		
授業科目	子どもの健康と安全			担当教員	嘉糠 恵美子		
履修年次	開講時期	単位数	時間	授業形態	卒業要件	幼2種免	保育士
2年	後期	1	30	演習	選択	—	必修
(授業の目的)							
子どもの保健管理、保健指導の基本と実際について理解し、さらに技術を習得して、教育・保育現場において子どもの保健管理・指導が担えるような能力を培う。また保健活動を体験的に学び、地域と連携しながら教育実践・保育実践に活かそうとする態度を身につける。							
(授業の概要)							
教育・保育現場における子どもの保健管理、保健指導について、子どもの保健の学習内容を踏まえながら、より深く具体的に理解させる授業内容とする。子どもの健康と安全に関する計画、活動の実際を体験的に学習したうえで、子どもの保健管理、保健指導の技術を身につけさせる。(本演習は、看護師の実務家活動を基に行われる。)							
(授業の到達目標)							
<ol style="list-style-type: none"> 1. 保育における保健的観点を踏まえた保育環境や援助について理解する 2. 保育における衛生管理・事故防止及び安全対策・危機管理・災害対策について具体的に理解する 3. 子どもの体調不良等に対する適切な対応について、具体的に理解する 4. 関連するガイドラインや近年のデータ等を踏まえ、保育における感染症対策について具体的に理解する 5. 保育における保健的対応の基本的な考え方を踏まえ、子どもの発達や状態等に即した適切な対応について、具体的に理解する 6. 子どもの健康及び安全の管理の関わる、組織的取り組みや保健活動の計画及び評価等について、具体的に理解する 							
(卒業認定・学位授与の方針との関連)							
ディプロマ・ポリシー				卒業認定・学位授与			
(1) 社会人として必要な教養とマナーを身につけていること。				○			
(2) 幼児教育に関する専門的知識と保育技術を身につけていること。				○			
(3) 保育の課題を積極的に探究していこうとする意欲を持っていること。				○			
(学習成果との関連)							
(1) 知識 50%		(2) 技能 20%		計100%			
(3) 態度 15%		(4) 実践力 15%					
【評価方法】							
定期テスト:50% 学習マナー:50% 計100%							
【自己学習(予習・復習等)】							
「授業計画」参照(合計15時間分)							
【課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法】							
課題に対して、授業内で解説を行う。							
【使用テキスト】							
これだけはおさえたい! 保育者のための子どもの健康と安全 鈴木美枝子 偏著 創成社							
【参考図書】							
松田博雄、金森美恵編集『子どもの健康と安全』(中央法規) 榎原洋一監修 小林美由紀執筆 『子どもの保健演習ノート』(診断と治療社)							
【学生へのメッセージ】							
保健活動の実際を体験的に学びます。実際の保育ですぐに活用できる技術を身につけることを目指して積極的に取り組みましょう。							

授 業 計 画

回	授 業 概 要	
1	予習	テキスト第1章通読
	学習内容	保育的観点を踏まえた保育環境と援助
	復習	授業内容から提示する。
2	予習	1回目の復習 第2章通読
	学習内容	保育における健康と安全管理 1. 衛生管理
	復習	授業内容から提示する。
3	予習	2回目の復習 第2章通読
	学習内容	保育における健康と安全管理 2. 事故防止と安全管理 3. 危機管理 4. 災害の備え
	復習	授業内容から提示する。
4	予習	第3章通読
	学習内容	子どもの体調不良などへの対応 1. 体調不良や傷害が発生した場合の対応
	復習	授業内容から提示する。
5	予習	4回目の復習 第3章通読
	学習内容	子どもの体調不良などへの対応 2. 応急手当
	復習	授業内容から提示する。
6	予習	4・5回目の復習 第3章通読
	学習内容	子どもの体調不良などへの対応 3. 一次救命処置
	復習	授業内容から提示する。
7	予習	第4章通読
	学習内容	子どものかかりやすい感染症対策 1. 感染症の集団発生の予防
	復習	授業内容から提示する。
8	予習	7回目の復習 第4章通読
	学習内容	子どものかかりやすい感染症対策 2. 感染症発生時と罹患後の対応
	復習	授業内容から提示する。
9	予習	第5章通読
	学習内容	保育における保健的対応 1. 保育における保健的対応の基本的考え方
	復習	授業内容から提示する。
10	予習	9回目の復習 第5章通読
	学習内容	保育における保健的対応 2. 3歳未満児への対応
	復習	授業内容から提示する。
11	予習	9・10回目の復習 第5章通読
	学習内容	保育における保健的対応 3. 個別的な配慮が必要な子どもへの対応
	復習	授業内容から提示する。
12	予習	9・10・11回目の復習 第5章通読
	学習内容	保育における保健的対応 4. 障害のある子どもへの対応
	復習	授業内容から提示する。
13	予習	援助方法について
	学習内容	バイタルサイン 健康診断 身体計測 援助の実際
	復習	授業内容から提示する。
14	予習	援助方法について
	学習内容	生活の援助 おむつ換え 衣類 シャワー・清拭など
	復習	授業内容から提示する。
15	予習	第6章通読
	学習内容	健康および安全の管理の実施体制
	復習	全体の復習

科目区分	専門教育科目	科目分類	専門科目(内容・方法)	科目番号	BO317B1		
授業科目	特別支援教育論			担当教員	清水 健		
履修年次	開講時期	単位数	時間	授業形態	卒業要件	幼2種免	保育士
2年	後期	2	30	演習	必修	必修	必修
(授業の目的)							
一般の保育・教育と障害児保育・教育との連続性から、様々な障害についての理解を促し、一人一人発達上の課題に対して特別な保育ニーズと支援を学び、保護者を中心とした支援の内容に関して理解を深める。							
(授業の概要)							
特別な支援を必要とする幼児への保育について、理念や歴史的変遷について学び、特別な支援を必要とする幼児及びその保育について理解する。 また、様々な障害や教育的ニーズについて理解し、子どもの理解や援助の方法、環境構成、障害のある子どもや特別な教育的ニーズのある子どもの保育の計画等についての学びを通して個別支援及び他の子どもとのかかわりのなかで育ち合う保育実践について理解を深める。							
(授業の到達目標)							
<ul style="list-style-type: none"> ・特別な支援を必要とする幼児への保育についての理念や歴史的変遷を理解する ・様々な障害についての理解を深める ・特別な支援を必要とする幼児の理解や援助の方法、保育の計画等、個別支援について理解する 							
(卒業認定・学位授与の方針との関連)							
ディプロマ・ポリシー				卒業認定・学位授与			
(1) 社会人として必要な教養とマナーを身につけていること。							
(2) 幼児教育に関する専門的知識と保育技術を身につけていること。				○			
(3) 保育の課題を積極的に探究していこうとする意欲を持っていること。				○			
(学習成果との関連)							
(1) 知識 50%		(2) 技能 10%		計100%			
(3) 態度 20%		(4) 実践力 20%					
【評価方法】							
レポート試験:30% 演習課題:30% 演習発表:40% 計100%							
【自己学習(予習・復習等)】							
「授業計画」参照(合計60時間分)							
【課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法】							
演習課題については、演習発表時に解説を通してフィードバックする。試験については、解説を公表する。							
【使用テキスト】							
「実践に生かす障害児保育・特別支援教育」前田康弘編著 萌文書林							
【参考図書】							
「保育者のための障害児保育―理解と実践」尾野明美編著 萌文書林							
「キーワードで学ぶ障害児保育入門」七木田敦編著 保育出版社							
【学生へのメッセージ】							
演習課題・演習発表での取り組みが重要であることを理解し、必要な準備を怠らないよう留意すること。							

授 業 計 画

回	授 業 概 要	
1	予習	予めテキストを読んでおき、授業時に理解を深められるようにする
	学習内容	障害の捉え方(1)ーノーマライゼーションとICFー
	復習	ノートや資料を振り返り、知識の定着を図る
2	予習	予めテキストを読んでおき、授業時に理解を深められるようにする
	学習内容	障害児保育・教育の歴史的視点 ー障害観と処遇の歴史・障害児保育の歴史ー
	復習	ノートや資料を振り返り、知識の定着を図る
3	予習	予めテキストを読んでおき、授業時に理解を深められるようにする
	学習内容	障害児の発達とアセスメント ー心身の発達と障害児の発達特徴・アセスメントの理解ー
	復習	ノートや資料を振り返り、知識の定着を図る
4	予習	予めテキストを読んでおき、授業時に理解を深められるようにする
	学習内容	保育・療育機関などにおける障害児保育の展開 ー就学前の保育の場・障害児保育の形態と実践ー
	復習	ノートや資料を振り返り、知識の定着を図る
5	予習	予めテキストを読んでおき、授業時に理解を深められるようにする
	学習内容	個別的教育支援計画等、保育の計画作成と実施 ー「個別的教育支援計画」と「個別の指導計画」の理解ー
	復習	ノートや資料を振り返り、知識の定着を図る
6	予習	予めテキストを読んでおき、授業時に理解を深められるようにする
	学習内容	障害の理解と保育における発達の援助① ー視覚障害の理解ー
	復習	ノートや資料を振り返り、知識の定着を図る
7	予習	予めテキストを読んでおき、授業時に理解を深められるようにする
	学習内容	障害の理解と保育における発達の援助② ー聴覚障害の理解ー
	復習	ノートや資料を振り返り、知識の定着を図る
8	予習	予めテキストを読んでおき、授業時に理解を深められるようにする
	学習内容	障害の理解と保育における発達の援助③ ー肢体不自由の理解ー
	復習	ノートや資料を振り返り、知識の定着を図る
9	予習	予めテキストを読んでおき、授業時に理解を深められるようにする
	学習内容	障害の理解と保育における発達の援助④ ー知的障害の理解ー
	復習	ノートや資料を振り返り、知識の定着を図る
10	予習	予めテキストを読んでおき、授業時に理解を深められるようにする
	学習内容	障害の理解と保育における発達の援助⑤ ー自閉症スペクトラム障害の理解ー
	復習	ノートや資料を振り返り、知識の定着を図る
11	予習	予めテキストを読んでおき、授業時に理解を深められるようにする
	学習内容	障害の理解と保育における発達の援助⑥ ー注意欠陥・多動性障害の理解ー
	復習	ノートや資料を振り返り、知識の定着を図る
12	予習	予めテキストを読んでおき、授業時に理解を深められるようにする
	学習内容	障害の理解と保育における発達の援助⑦ ー学習障害の理解ー
	復習	ノートや資料を振り返り、知識の定着を図る
13	予習	予めテキストを読んでおき、授業時に理解を深められるようにする
	学習内容	さまざまな障害の理解と個別的配慮 ーその他特別な支援を必要とする幼児の理解ー
	復習	ノートや資料を振り返り、知識の定着を図る
14	予習	予めテキストを読んでおき、授業時に理解を深められるようにする
	学習内容	家庭への支援 ー家庭との協力、支援の場の広がりにつながりー
	復習	ノートや資料を振り返り、知識の定着を図る
15	予習	予めテキストを読んでおき、授業時に理解を深められるようにする
	学習内容	まとめ ー授業の到達目標を踏まえた演習の振り返りー
	復習	ノートや資料を振り返り、知識の定着を図る

科目区分	専門教育科目	科目分類	専門科目(内容・方法)	科目番号	NT318B2		
授業科目	社会的養護Ⅱ			担当教員	星田 由哉		
履修年次	開講時期	単位数	時間	授業形態	卒業要件	幼2種免	保育士
2年	後期	1	30	演習	選択	—	必修
(授業の目的)							
1. 社会的養護における児童の権利擁護や支援者としての倫理を理解する。 2. 施設ごとの支援の内容を検討する中で、支援内容を具体的に学ぶ。 3. 社会的養護にかかわる支援の技法について理解する。							
(授業の概要)							
社会的擁護を通して社会福祉や家庭支援などについての見識を深めるとともに、児童の権利や職員としての倫理を学ぶ。また、一人ひとりの児童に応じた個別支援計画や実際の支援内容についても学ぶ。さらに、社会的養護にかかわるソーシャルワークの技法について理解する。							
(授業の到達目標)							
・1年次の「社会的養護Ⅰ」で学んだ知識をさらに深める。 ・社会的養護の現状について理解する。 ・家庭養護の現状について理解する。							
(卒業認定・学位授与の方針との関連)							
ディプロマ・ポリシー				卒業認定・学位授与			
(1) 社会人として必要な教養とマナーを身につけていること。							
(2) 幼児教育に関する専門的知識と保育技術を身につけていること。				○			
(3) 保育の課題を積極的に探究していこうとする意欲を持っていること。				○			
(学習成果との関連)							
(1) 知識 70%		(2) 技能 10%		計100%			
(3) 態度 10%		(4) 実践力 10%					
【評価方法】							
定期試験:70% 学習マナー:30% 計100%							
【自己学習(予習・復習等)】							
「授業計画」参照(合計15時間分)							
【課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法】							
定期試験について、試験後解説を行う。							
【使用テキスト】							
授業内で指定する							
【参考図書】							
『社会的養護Ⅰ・Ⅱ』 谷口純世・加藤洋子・志濃原阿美 編著 光生館							
【学生へのメッセージ】							
社会的養護を必要とする子どもや家庭は決して特別ではありません。養育者として、その意義についてしっかりと学び、考えていただくことを期待しています。							

授 業 計 画

回	授 業 概 要	
1	予習	テキストを読み、分からない箇所などの確認を行う
	学習内容	社会的養護における子どもの理解
	復習	配布プリントなどにより、授業内容について確認する
2	予習	テキストを読み、分からない箇所などの確認を行う
	学習内容	日常生活支援とは何か
	復習	配布プリントなどにより、授業内容について確認する
3	予習	テキストを読み、分からない箇所などの確認を行う
	学習内容	治療的支援とは何か
	復習	配布プリントなどにより、授業内容について確認する
4	予習	テキストを読み、分からない箇所などの確認を行う
	学習内容	自立支援とは何か
	復習	配布プリントなどにより、授業内容について確認する
5	予習	テキストを読み、分からない箇所などの確認を行う
	学習内容	社会的養護の実際Ⅰ(児童養護施設・乳児院)
	復習	配布プリントなどにより、授業内容について確認する
6	予習	テキストを読み、分からない箇所などの確認を行う
	学習内容	社会的養護の実際Ⅱ(児童自立支援施設・児童心理治療施設)
	復習	配布プリントなどにより、授業内容について確認する
7	予習	テキストを読み、分からない箇所などの確認を行う
	学習内容	社会的養護の実際Ⅲ(母子生活支援施設・障害児施設)
	復習	配布プリントなどにより、授業内容について確認する
8	予習	テキストを読み、分からない箇所などの確認を行う
	学習内容	社会的養護の実際Ⅳ(家庭養護)
	復習	配布プリントなどにより、授業内容について確認する
9	予習	テキストを読み、分からない箇所などの確認を行う
	学習内容	アセスメントと自立支援計画の作成
	復習	配布プリントなどにより、授業内容について確認する
10	予習	テキストを読み、分からない箇所などの確認を行う
	学習内容	社会的養護における記録
	復習	配布プリントなどにより、授業内容について確認する
11	予習	テキストを読み、分からない箇所などの確認を行う
	学習内容	社会的養護における自己評価
	復習	配布プリントなどにより、授業内容について確認する
12	予習	テキストを読み、分からない箇所などの確認を行う
	学習内容	保育の専門性にかかわる知識・技術とその実践
	復習	配布プリントなどにより、授業内容について確認する
13	予習	テキストを読み、分からない箇所などの確認を行う
	学習内容	社会的養護にかかわる相談援助の知識・技術とその実践
	復習	配布プリントなどにより、授業内容について確認する
14	予習	テキストを読み、分からない箇所などの確認を行う
	学習内容	社会的養護における家庭支援
	復習	配布プリントなどにより、授業内容について確認する
15	予習	テキストを読み、分からない箇所などの確認を行う
	学習内容	まとめ
	復習	配布プリントなどにより、授業内容について確認する

科目区分	専門教育科目	科目分類	専門科目(内容・方法)	科目番号	NT319B2		
授業科目	子育て支援			担当教員	吉田 百加利		
履修年次	開講時期	単位数	時間	授業形態	卒業要件	幼2種免	保育士
2年	後期	1	30	演習	選択	—	必修
(授業の目的) 現代社会において地域の子育て支援が必要とされる背景を理解し、子育てを支援するための政策・制度及び具体的な地域活動の現状と問題点について学ぶ。							
(授業の概要) 保育の専門性を背景とした保護者に対する相談、助言、情報提供、行動見本の提示等の支援について、その特性と展開を具体的に理解する。また、保育士の行う子育て支援について、様々な場や対象に即した支援の内容と方法及び技術を、実践事例等を通して具体的に理解する。							
(授業の到達目標) ・現代社会における子育ての現状と課題、子育て支援の意義と必要性を理解する ・支援者の役割を理解し、支援に求められる知識と技術を修得する							
(卒業認定・学位授与の方針との関連)							
ディプロマ・ポリシー				卒業認定・学位授与			
(1) 社会人として必要な教養とマナーを身につけていること。							
(2) 幼児教育に関する専門的知識と保育技術を身につけていること。				○			
(3) 保育の課題を積極的に探究していこうとする意欲を持っていること。				○			
(学習成果との関連)							
(1) 知識 40 %		(2) 技能 20 %		計100%			
(3) 態度 20 %		(4) 実践力 20 %					
【評価方法】 定期試験:40% 課題・発表:30% 学習マナー:30% 計100%							
【自己学習(予習・復習等)】 「授業計画」参照(合計30時間分)							
【課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法】 課題は、添削のうえ返却する。試験は、解答を公表する。							
【使用テキスト】 「子育て支援」中山書店							
【参考図書】 「…育つ・つながる…子育て支援 具体的な技術・態度を身につける32のリスト」 子育て支援コンピテンシー研究会／編著 チャイルド本社							
【学生へのメッセージ】 自分の住んでいる地域の子育て支援に興味を持ちましょう。また、子育て支援現場のボランティアに参加して、保護者との交流等を通して様々な視点から子育てについて考える機会を持ちましょう。							

授 業 計 画

回	授 業 概 要	
1	予習	テキストを読み、授業時に理解を深められるようにする
	学習内容	オリエンテーション（授業内容の説明）
	復習	授業内容や資料を振り返り、知識の定着を図る
2	予習	テキストを読み、授業時に理解を深められるようにする
	学習内容	子育て支援とは
	復習	授業内容や資料を振り返り、知識の定着を図る
3	予習	テキストを読み、授業時に理解を深められるようにする
	学習内容	妊娠・出産・乳幼児期・小学生期の支援①
	復習	授業内容や資料を振り返り、知識の定着を図る
4	予習	テキストを読み、授業時に理解を深められるようにする
	学習内容	妊娠・出産・乳幼児期・小学生期の支援②
	復習	授業内容や資料を振り返り、知識の定着を図る
5	予習	テキストを読み、授業時に理解を深められるようにする
	学習内容	幼稚園による子育て支援
	復習	授業内容や資料を振り返り、知識の定着を図る
6	予習	テキストを読み、授業時に理解を深められるようにする
	学習内容	保育園による子育て支援
	復習	授業内容や資料を振り返り、知識の定着を図る
7	予習	テキストを読み、授業時に理解を深められるようにする
	学習内容	児童館・保健センターによる子育て支援
	復習	授業内容や資料を振り返り、知識の定着を図る
8	予習	テキストを読み、授業時に理解を深められるようにする
	学習内容	NPOの取り組み
	復習	授業内容や資料を振り返り、知識の定着を図る
9	予習	テキストを読み、授業時に理解を深められるようにする
	学習内容	地域の子育て支援の現状①—育児不安の原因と対応
	復習	授業内容や資料を振り返り、知識の定着を図る
10	予習	テキストを読み、授業時に理解を深められるようにする
	学習内容	地域の子育て支援の現状②—母親以外の育児参加
	復習	授業内容や資料を振り返り、知識の定着を図る
11	予習	テキストを読み、授業時に理解を深められるようにする
	学習内容	保育相談と支援の意義
	復習	授業内容や資料を振り返り、知識の定着を図る
12	予習	テキストを読み、授業時に理解を深められるようにする
	学習内容	保育相談と支援の基本
	復習	授業内容や資料を振り返り、知識の定着を図る
13	予習	テキストを読み、授業時に理解を深められるようにする
	学習内容	保育相談と支援の実践
	復習	授業内容や資料を振り返り、知識の定着を図る
14	予習	テキストを読み、授業時に理解を深められるようにする
	学習内容	世界の子育て支援を知る
	復習	授業内容や資料を振り返り、知識の定着を図る
15	予習	これまでの学びを振り返り、授業時に理解を深められるようにする
	学習内容	まとめ
	復習	これまでの学びを振り返り、授業内容について確認する

科目区分	専門教育科目	科目分類	専門科目(内容・方法)	科目番号	NT320B2		
授業科目	美術表現			担当教員	三井 正人		
履修年次	開講時期	単位数	時間	授業形態	卒業要件	幼2種免	保育士
2年	後期	1	30	演習	選択	—	選択必修

(授業の目的)

1年時保育内容演習(表現Ⅱ)で学習した教材研究や指導案、模擬授業の学習を基礎に、より実践的、専門的なスキルアップを目指す。
また美術の楽しさを知り、造形教育指導の視野を広げるため、教育・保育・ボランティアなどの現場で実際に子どもたちに指導を行い、問題点を洗い出し、本番の教育・保育実習での実践につなげられるようにする。

(授業の概要)

幼児が楽しみながらおこなえる造形遊びを研究しながら、保育内容演習(表現Ⅱ)で学習した幼児の発達状況、基礎的な教育理論を再確認する。また指導案を作成するとともに、実践的な模擬授業を通して造形遊びの具体的な環境構成や教材研究を学習する。また美術館等での校外授業を行い、美術表現を広い視野で捉える。

(授業の到達目標)

- ・1年時保育内容演習(表現Ⅱ)で学習した教材研究や指導案、模擬授業の学習を基礎に、より実践的、専門的なスキルアップを目指す。
- ・美術の楽しさを知り、造形教育指導の視野を広げるため、美術史や様々な現代の表現の多様性を知る。
- ・ボランティアなどの現場で実際に子どもたちに指導を行い、問題点を洗い出し、本番の教育・保育実習での実践につなげられるようにする。

(卒業認定・学位授与の方針との関連)

ディプロマ・ポリシー	卒業認定・学位授与
(1) 社会人として必要な教養とマナーを身につけていること。	○
(2) 幼児教育に関する専門的知識と保育技術を身につけていること。	○
(3) 保育の課題を積極的に探究していこうとする意欲を持っていること。	○

(学習成果との関連)

(1) 知識 30%	(2) 技能 20 %	計100%
(3) 態度 10%	(4) 実践力 40 %	

【評価方法】

レポート提出:30% 実践発表:70% 計100%

【自己学習(予習・復習等)】

「授業計画」参照(合計30時間分)

【課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法】

課題発表後は、意見交換し、教員のアドバイスを参考に発表を見直す。

【使用テキスト】

コンパス 保育内容 表現 建帛社

【参考図書】

「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」その他インターネットによる検索

【学生へのメッセージ】

1年時の保育内容演習(表現Ⅱ)をもとに、講義科目ではありますが、実践的な授業になります。
学外発表、学外授業については、現地までの移動や美術館入館料などの実費がかかる場合があります。

授 業 計 画

回	授 業 概 要	
1	予習	シラバスを見て表現(造形)関係のまとめをしておく
	学習内容	オリエンテーション ①授業の目的と内容の説明 ②課題説明
	復習	美術(表現)とは？を考える
2	予習	主体的で、対話的で、深い学びについて復習しておく
	学習内容	幼稚園教育要領、保育指針などでの表現の位置づけ
	復習	表現領域の特色について
3	予習	古代とはどんな時代か
	学習内容	多様な表現 古代～中世の表現 王、神、宗教
	復習	土偶、壁画、エジプト、メソポタミア、ギリシャ、神の誕生、さまざまな宗教
4	予習	ルネッサンスとは
	学習内容	多様な表現 美術史 ルネサンス～近代
	復習	近代絵画の特徴～印象派
5	予習	認識、概念
	学習内容	多様な表現 近代から現代の表現 概念芸術
	復習	見えるものと見えないもの 無意識
6	予習	形や色を組み替えたり、統合したりする
	学習内容	表現の多様性
	復習	多様な表現を組み合わせる
7	予習	現代美術における制作手法
	学習内容	美術における手法・・・メタ認知/深い学びとの関連性
	復習	さまざまな美術教育
8	予習	子どもの発達に即した教材研究
	学習内容	教材研究 グループごとに 計画
	復習	指導計画の作成
9	予習	実際にボランティア活動をする調整
	学習内容	教材研究 グループごとに 作って遊ぶ 集団、遊び、ルール・展開
	復習	実際の準備
10	予習	事前準備
	学習内容	教材研究 グループごとに 実践
	復習	整理、片付け、ビデオ撮影、映像記録
11	予習	事前準備
	学習内容	美術館を巡り造形表現・教材の研究し、子どもたちとの美術体験ボランティアに参加
	復習	整理、片付け、ビデオ撮影、映像記録
12	予習	事前準備
	学習内容	美術館を巡り造形表現・教材の研究し、子どもたちとの美術体験ボランティアに参加
	復習	整理、片付け、ビデオ撮影、映像記録
13	予習	事前準備
	学習内容	美術館を巡り造形表現・教材の研究し、子どもたちとの美術体験ボランティアに参加
	復習	整理、片付け、ビデオ撮影、映像記録
14	予習	活動を動画、写真でまとめておく
	学習内容	幼児の造形遊び・指導のまとめ 幼稚園にて発表した指導研究及び指導案作成・模擬授業の反省
	復習	片づけ、整理
15	予習	活動を動画、写真でまとめポートフォリオとして完成
	学習内容	まとめ
	復習	ポートフォリオの振り返り

科目区分	専門教育科目	科目分類	専門科目(内容・方法)	科目番号	BO321B1		
授業科目	保育技術研究 I			担当教員	三井 正人		
履修年次	開講時期	単位数	時間	授業形態	卒業要件	幼2種免	保育士
1年	通年	2	60	演習	必修	必修	選択必修
(授業の目的) 保育所指針、教育要領、発達の様子を踏まえて保育実践のための特に表現領域の造形製作(平面・立体造形)における教材開発の能力と技術を身につける。							
(授業の概要) 子どものあそびには、子どもの成長や発達にとって大きな役割を果たす体験が多く含まれている。保育者には、子どもの成長や発達段階を捉え、具体的な計画のもとにその更なる成長・発達を促す保育活動を展開する「保育技術」が求められる。「保育技術研究」では、保育に関する自発的、科目横断的な学習能力を習得させ、これまでに学んだ知識を基にして保育実践のための計画、教材研究、実践的活動を行い、これを通して保育活動を展開するために必要な知識・技術を習得させる。							
(授業の到達目標) ・保育所保育指針、幼稚園教育要領を踏まえた保育技術としての人形劇の意義、学習成果としての実践力について確認する ・人形劇(15分程度)のマリオネットの人形製作を通して、知識、技術を身につける ・子どもたちを前にして舞台製作、発表を行いながら、自主性、協働性を育みながら、さまざまに試行して、実践力を身につける							
(卒業認定・学位授与の方針との関連)							
ディプロマ・ポリシー				卒業認定・学位授与			
(1) 社会人として必要な教養とマナーを身につけていること。				○			
(2) 幼児教育に関する専門的知識と保育技術を身につけていること。				○			
(3) 保育の課題を積極的に探究していこうとする意欲を持っていること。				○			
(学習成果との関連)							
(1) 知識 20 %		(2) 技能 20 %		計100%			
(3) 態度 20 %		(4) 実践力 40 %					
【評価方法】 製作状況の評価:50 % 発表時の積極性: 50 % 計100%							
【自己学習(予習・復習等)】 「授業計画」参照(合計60時間分)							
【課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法】 発表後の意見交換を通して改善点を見出しアドバイスする。発表をビデオ撮影し、振り返るとともにyoutubeにアップしてポートフォリオとしてまとめる							
【使用テキスト】 インターネットでの物語検索、決定。人形作り、舞台づくりについて先輩他の人形劇の映像を参考に学習。							
【参考図書】 人形や舞台づくりの実際を近隣のマリオネットを公演している絵本村に見学に行く。							
【学生へのメッセージ】 人形作りでは1つ1つ課題を、乗り越えて造形活動から効果的な表現にいたる流れを学習します。また子どもたちに発表し子どもたちに見てもらい喜びを体験しよう。							

授 業 計 画

回	授 業 概 要	
1	予習	主体的、対話的で深い学習の一環として保育技術を学ぶ意義を考える
	学習内容	ガイダンス 課題(劇づくり)の決定
	復習	さまざまな人形劇について調べる
2	予習	さまざまな人形劇から好きなストーリーを選ぶ
	学習内容	内容の検討 昔話、絵本などからストーリーを選ぶ
	復習	候補に上がったストーリーをビデオなどで見てくる
3	予習	人形劇の様式について調べる
	学習内容	内容の決定 ストーリーと劇内容の決定
	復習	ストーリーと人形劇が決まったたら、どんな作業が必要か考える
4	予習	先輩の人形劇についてyoutubeなどで見てくる
	学習内容	役割分担(舞台づくり、背景製作、人形製作、小道具)、台本作り 演じる場所の決定
	復習	役割分担(舞台づくり、背景製作、人形製作、小道具)、台本作り を決定し仕事内容を検討する
5	予習	日程を定め、台本を検討する
	学習内容	製作①原案検討 子どもの招待(保育園、幼稚園、施設)
	復習	各担当は製作日程を検討する
6	予習	台本を検討する
	学習内容	製作②原案決定
	復習	台本を見ながら、舞台割、人形の数、種類、背景の描き方を検討する
7	予習	必要なものを購入する予算を立てる
	学習内容	製作③材料購入
	復習	作業内容を確認し、役割分担が決まったら、製作に必要なものを買ってくる
8	予習	作業効率を考え手順を決める
	学習内容	製作④製材・加工
	復習	時間内でできない作業を継続
9	予習	時間内でできない作業を継続
	学習内容	製作⑤製材・加工
	復習	時間内でできない作業を継続
10	予習	時間内でできない作業を継続
	学習内容	製作⑥製材・加工
	復習	時間内でできない作業を継続
11	予習	時間内でできない作業を継続
	学習内容	製作⑦製材・加工
	復習	時間内でできない作業を継続
12	予習	時間内でできない作業を継続
	学習内容	製作⑧加工・着色
	復習	時間内でできない作業を継続
13	予習	時間内でできない作業を継続
	学習内容	製作⑨加工・着色
	復習	時間内でできない作業を継続
14	予習	時間内でできない作業を継続
	学習内容	製作⑩組立・完成
	復習	時間内でできない作業を継続
15	予習	時間内でできない作業を継続
	学習内容	製作終了 完成品提出
	復習	製作した人形、舞台、背景、音響、案内、進行、手遊びなどの各作ったものを確認し、不足しているものをチェックする

授 業 計 画

回	授 業 概 要	
16	予習	製作した人形、舞台、背景、音響、案内、進行、手遊びなどの各作ったものを確認し、不足しているものをチェックする
	学習内容	役者、音響、ライトを交互に担当
	復習	実際に演じてみて不足するものや演技方を工夫する
17	予習	人形の動かし方、声の出し方、音楽、ライトのつけ方などを話し合う
	学習内容	役割に分かれて練習 人形、場面設定 声だし 音楽の検討①
	復習	人形の動かし方、声の出し方、音楽、ライトのつけ方などを話し合う 工夫し、協働する
18	予習	人形の動かし方、声の出し方、音楽、ライトのつけ方などを話し合う
	学習内容	役割に分かれて練習 人形、場面設定 声だし 音楽の検討②
	復習	人形の動かし方、声の出し方、音楽、ライトのつけ方などを話し合う 工夫し、協働する
19	予習	人形の動かし方、声の出し方、音楽、ライトのつけ方などを話し合う
	学習内容	役割に分かれて練習 人形、場面設定 声だし 音楽の検討③
	復習	人形の動かし方、声の出し方、音楽、ライトのつけ方などを話し合う 工夫し、協働する 課題を見つける
20	予習	人形の動かし方、声の出し方、音楽、ライトのつけ方などを話し合う
	学習内容	役割に分かれて練習 人形、場面設定 声だし 音楽の検討④
	復習	人形の動かし方、声の出し方、音楽、ライトのつけ方などを話し合う 工夫し、協働する 課題を見つける
21	予習	全体の大まかな流れができてきたら、実際に子どもの前で演じる時に必要な準備が何か考える
	学習内容	全体練習① 導入の検討 手遊び 司会進行
	復習	全体の大まかな流れができてきたら、実際に子どもの前で演じる時に必要な準備が何か考える
22	予習	全体の大まかな流れができてきたら、実際に子どもの前で演じる時に必要な準備が何か考える
	学習内容	全体練習② 導入手遊び決定
	復習	全体の大まかな流れができてきたら、実際に子どもの前で演じる時に必要な準備が何か考える
23	予習	全体の大まかな流れができてきたら、実際に子どもの前で演じる時に必要な準備が何か考える
	学習内容	全体練習③ 効果的なライト 効果音
	復習	全体の大まかな流れができてきたら、実際に子どもの前で演じる時に必要な準備が何か考える
24	予習	より良い演出のため意見を出し合う
	学習内容	全体練習④
	復習	不足している準備を協力して補う
25	予習	より良い演出のため意見を出し合う ヴィデオ撮影
	学習内容	全体練習⑤
	復習	不足している準備を協力して補う ヴィデオ振り返り
26	予習	最終リハーサル準備 ヴィデオ撮影
	学習内容	発表準備
	復習	不足している準備を協力して補う ヴィデオ振り返り
27	予習	最終 セット
	学習内容	発表
	復習	発表を振り返る
28	予習	課題を確認する
	学習内容	片付け
	復習	次回発表のための準備
29	予習	次回発表のための準備
	学習内容	ビデオ撮影 意見交換
	復習	反省をもとに振り返る 課題を見出す
30	予習	ポートフォリオの下準備
	学習内容	まとめ
	復習	ポートフォリオを確認する

科目区分	専門教育科目	科目分類	専門科目(内容・方法)	科目番号	BO321B1		
授業科目	保育技術研究 I			担当教員	吉田 百加利		
履修年次	開講時期	単位数	時間	授業形態	卒業要件	幼2種免	保育士
1年	通年	2	60	演習	必修	必修	選択必修
(授業の目的)							
<p>子どものあそびには、子どもの成長や発達にとって大きな役割を果たす体験が多く含まれている。保育者には、子どもの成長や発達段階を捉え、具体的な計画のもとにその更なる成長・発達を促す保育活動を展開する「保育技術」が求められる。「保育技術研究」では、保育に関する自発的、科目横断的な学習能力を習得させ、これまでに学んだ知識を基にして保育実践のための計画、教材研究、実践的活動を行い、これを通して保育活動を展開するために必要な知識・技術を習得させる。</p>							
(授業の概要)							
<p>子どもの発達を踏まえ、パネル型シアターの製作や演示、子どもとの関わりを通して保育実践のための技術の修得を目指す。</p>							
(授業の到達目標)							
<ul style="list-style-type: none"> ・パネル型シアターのオリジナル作品をグループ製作することで創造性、積極性、協働することを身につける。 ・子どもの発達に応じた関わり方と演示方の工夫を身につける ・保育教材への理解を深める 							
(卒業認定・学位授与の方針との関連)							
ディプロマ・ポリシー					卒業認定・学位授与		
(1) 社会人として必要な教養とマナーを身につけていること。							
(2) 幼児教育に関する専門的知識と保育技術を身につけていること。					○		
(3) 保育の課題を積極的に探究していこうとする意欲を持っていること。					○		
(学習成果との関連)							
(1) 知識 20 %		(2) 技能 20 %		計100%			
(3) 態度 20 %		(4) 実践力 40 %					
【評価方法】							
発表:40% 学習マナー(取り組み):60% 計100%							
【自己学習(予習・復習等)】							
「授業計画」参照(合計60時間分)							
【課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法】							
発表作品は映像等を活用し、相互に評価したあと担当が総括する。							
【使用テキスト】							
必要に応じて提示、配布							
【参考図書】							
「実習に役立つパネルシアターハンドブック」 古宇田亮順 萌文書林							
【学生へのメッセージ】							
自ら学ぶ姿勢を期待します。							

授 業 計 画

回	授 業 概 要	
1	予習	授業に向けて課題点や工夫点を整理し、授業時に理解を深められるようにする
	学習内容	オリエンテーション
	復習	授業を振り返り、技能や知識の定着を図る
2	予習	授業に向けて課題点や工夫点を整理し、授業時に理解を深められるようにする
	学習内容	パネル型シアターの説明
	復習	授業を振り返り、技能や知識の定着を図る
3	予習	授業に向けて課題点や工夫点を整理し、授業時に理解を深められるようにする
	学習内容	オリジナルストーリーの選定①
	復習	授業を振り返り、技能や知識の定着を図る
4	予習	授業に向けて課題点や工夫点を整理し、授業時に理解を深められるようにする
	学習内容	オリジナルストーリーの選定② グループ分け
	復習	授業を振り返り、技能や知識の定着を図る
5	予習	授業に向けて課題点や工夫点を整理し、授業時に理解を深められるようにする
	学習内容	ストーリー製作①
	復習	授業を振り返り、技能や知識の定着を図る
6	予習	授業に向けて課題点や工夫点を整理し、授業時に理解を深められるようにする
	学習内容	ストーリー製作②
	復習	授業を振り返り、技能や知識の定着を図る
7	予習	授業に向けて課題点や工夫点を整理し、授業時に理解を深められるようにする
	学習内容	ストーリーにあわせたパーツの整理
	復習	授業を振り返り、技能や知識の定着を図る
8	予習	授業に向けて課題点や工夫点を整理し、授業時に理解を深められるようにする
	学習内容	ストーリーにあわせたパーツの作成①
	復習	授業を振り返り、技能や知識の定着を図る
9	予習	授業に向けて課題点や工夫点を整理し、授業時に理解を深められるようにする
	学習内容	ストーリーにあわせたパーツの作成②
	復習	授業を振り返り、技能や知識の定着を図る
10	予習	授業に向けて課題点や工夫点を整理し、授業時に理解を深められるようにする
	学習内容	ストーリーにあわせたパーツの作成③
	復習	授業を振り返り、技能や知識の定着を図る
11	予習	授業に向けて課題点や工夫点を整理し、授業時に理解を深められるようにする
	学習内容	パネル型シアター製作①
	復習	授業を振り返り、技能や知識の定着を図る
12	予習	授業に向けて課題点や工夫点を整理し、授業時に理解を深められるようにする
	学習内容	パネル型シアター製作②
	復習	授業を振り返り、技能や知識の定着を図る
13	予習	授業に向けて課題点や工夫点を整理し、授業時に理解を深められるようにする
	学習内容	パネル型シアター製作③
	復習	授業を振り返り、技能や知識の定着を図る
14	予習	授業に向けて課題点や工夫点を整理し、授業時に理解を深められるようにする
	学習内容	パネル型シアター製作④
	復習	授業を振り返り、技能や知識の定着を図る
15	予習	授業に向けて課題点や工夫点を整理し、授業時に理解を深められるようにする
	学習内容	パネル型シアター製作⑤
	復習	授業を振り返り、技能や知識の定着を図る

授 業 計 画

回	授 業 概 要	
16	予習	授業に向けて課題点や工夫点を整理し、授業時に理解を深められるようにする
	学習内容	パネル型シアター製作⑥
	復習	授業を振り返り、技能や知識の定着を図る
17	予習	授業に向けて課題点や工夫点を整理し、授業時に理解を深められるようにする
	学習内容	パネル型シアター製作⑦
	復習	授業を振り返り、技能や知識の定着を図る
18	予習	授業に向けて課題点や工夫点を整理し、授業時に理解を深められるようにする
	学習内容	パネル型シアター製作⑧
	復習	授業を振り返り、技能や知識の定着を図る
19	予習	授業に向けて課題点や工夫点を整理し、授業時に理解を深められるようにする
	学習内容	発表用シナリオ作成①
	復習	授業を振り返り、技能や知識の定着を図る
20	予習	授業に向けて課題点や工夫点を整理し、授業時に理解を深められるようにする
	学習内容	発表用シナリオ作成②
	復習	授業を振り返り、技能や知識の定着を図る
21	予習	授業に向けて課題点や工夫点を整理し、授業時に理解を深められるようにする
	学習内容	発表用シナリオ作成③
	復習	授業を振り返り、技能や知識の定着を図る
22	予習	授業に向けて課題点や工夫点を整理し、授業時に理解を深められるようにする
	学習内容	パネル型シアター演習①
	復習	授業を振り返り、技能や知識の定着を図る
23	予習	授業に向けて課題点や工夫点を整理し、授業時に理解を深められるようにする
	学習内容	パネル型シアター演習②
	復習	授業を振り返り、技能や知識の定着を図る
24	予習	授業に向けて課題点や工夫点を整理し、授業時に理解を深められるようにする
	学習内容	パネル型シアター演習③
	復習	授業を振り返り、技能や知識の定着を図る
25	予習	授業に向けて課題点や工夫点を整理し、授業時に理解を深められるようにする
	学習内容	パネル型シアター演習④
	復習	授業を振り返り、技能や知識の定着を図る
26	予習	発表練習に向けて課題点や工夫点を整理し、授業時に理解を深められるようにする
	学習内容	発表練習①
	復習	授業を振り返り、技能や知識の定着を図る
27	予習	発表練習に向けて課題点や工夫点を整理し、授業時に理解を深められるようにする
	学習内容	発表練習②
	復習	授業を振り返り、技能や知識の定着を図る
28	予習	発表に向けて課題点や工夫点を整理し、授業時に理解を深められるようにする
	学習内容	発表
	復習	発表を振り返り、技能や知識の定着を図る
29	予習	発表に向けて課題点や工夫点を整理し、授業時に理解を深められるようにする
	学習内容	発表
	復習	発表を振り返り、技能や知識の定着を図る
30	予習	これまでの授業を振り返り、授業時に理解を深められるようにする
	学習内容	発表の反省、課題
	復習	これまでの学びを振り返り、授業内容について確認する

科目区分	専門教育科目	科目分類	専門科目(内容・方法)	科目番号	BO321B1		
授業科目	保育技術研究 I			担当教員	清水 健		
履修年次	開講時期	単位数	時間	授業形態	卒業要件	幼2種免	保育士
1年	通年	2	60	演習	必修	必修	選択必修
(授業の目的)							
<p>子どものあそびには、子どもの成長や発達にとって大きな役割を果たす体験が多く含まれている。保育者には、子どもの成長や発達段階を捉え、具体的な計画のもとにその更なる成長・発達を促す保育活動を展開する「保育技術」が求められる。「保育技術研究」では、保育に関する自発的、科目横断的な学習能力を習得させ、これまでに学んだ知識を基にして保育実践のための計画、教材研究、実践的活動を行い、これを通して保育活動を展開するために必要な知識・技術を習得させる。</p>							
(授業の概要)							
<p>子どもの発達や絵本の基礎を踏まえ、手作り絵本の製作・発表に取り組む。子どもとの遊び、年中行事への理解を通して保育実践のための技術の修得を目指す。</p>							
(授業の到達目標)							
<ul style="list-style-type: none"> ・手作り絵本を製作する ・絵本製作活動を通して絵本に関する基本的な知識をもつ ・対象者の姿(子どもの発達等)に応じた遊びとその工夫・配慮を身につける 							
(卒業認定・学位授与の方針との関連)							
ディプロマ・ポリシー					卒業認定・学位授与		
(1) 社会人として必要な教養とマナーを身につけていること。							
(2) 幼児教育に関する専門的知識と保育技術を身につけていること。					○		
(3) 保育の課題を積極的に探究していこうとする意欲を持っていること。					○		
(学習成果との関連)							
(1) 知識 20%		(2) 技能 20%		計100%			
(3) 態度 30%		(4) 実践力 30%					
【評価方法】							
活動への取り組み:60% 発表:40% 計100%							
【自己学習(予習・復習等)】							
「授業計画」参照(合計60時間分)							
【課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法】							
課題はその都度確認し、返却する。発表作品は映像等を活用し、相互に評価したあと担当が総括する。							
【使用テキスト】							
必要に応じて配布、提示							
【参考図書】							
『絵本のひみつ 絵本の知と読み聞かせの心』 余郷 裕次 南日本新聞社							
【学生へのメッセージ】							
学生の主体性、自主性を重視します。責任感を持って取り組んでください。クラスメイトや2年生への協力を求めます。							

授 業 計 画

回	授 業 概 要	
1	予習	授業時に検討・討論が進められるよう、次回の活動に向けて準備を整えておくこと
	学習内容	オリエンテーション
	復習	授業を振り返り、技術や知識の定着を図ること
2	予習	授業時に検討・討論が進められるよう、次回の活動に向けて準備を整えておくこと
	学習内容	絵本の理解 紙面の構成
	復習	授業を振り返り、技術や知識の定着を図ること
3	予習	授業時に検討・討論が進められるよう、次回の活動に向けて準備を整えておくこと
	学習内容	絵本の理解 色彩
	復習	授業を振り返り、技術や知識の定着を図ること
4	予習	授業時に検討・討論が進められるよう、次回の活動に向けて準備を整えておくこと
	学習内容	絵本の理解 絵本モニタージュ
	復習	授業を振り返り、技術や知識の定着を図ること
5	予習	授業時に検討・討論が進められるよう、次回の活動に向けて準備を整えておくこと
	学習内容	絵本製作 シナリオ作り①
	復習	授業を振り返り、技術や知識の定着を図ること
6	予習	授業時に検討・討論が進められるよう、次回の活動に向けて準備を整えておくこと
	学習内容	絵本製作 シナリオ作り②
	復習	授業を振り返り、技術や知識の定着を図ること
7	予習	授業時に検討・討論が進められるよう、次回の活動に向けて準備を整えておくこと
	学習内容	絵本製作 シナリオ作り③
	復習	授業を振り返り、技術や知識の定着を図ること
8	予習	授業時に検討・討論が進められるよう、次回の活動に向けて準備を整えておくこと
	学習内容	絵本製作 シナリオ作り④
	復習	授業を振り返り、技術や知識の定着を図ること
9	予習	授業時に検討・討論が進められるよう、次回の活動に向けて準備を整えておくこと
	学習内容	絵本製作 シナリオ作り⑤
	復習	授業を振り返り、技術や知識の定着を図ること
10	予習	授業時に検討・討論が進められるよう、次回の活動に向けて準備を整えておくこと
	学習内容	絵本製作 キャラクター作り①
	復習	授業を振り返り、技術や知識の定着を図ること
11	予習	授業時に検討・討論が進められるよう、次回の活動に向けて準備を整えておくこと
	学習内容	絵本製作 キャラクター作り②
	復習	授業を振り返り、技術や知識の定着を図ること
12	予習	授業時に検討・討論が進められるよう、次回の活動に向けて準備を整えておくこと
	学習内容	絵本製作 キャラクター作り③
	復習	授業を振り返り、技術や知識の定着を図ること
13	予習	授業時に検討・討論が進められるよう、次回の活動に向けて準備を整えておくこと
	学習内容	絵本製作 場面構成①
	復習	授業を振り返り、技術や知識の定着を図ること
14	予習	授業時に検討・討論が進められるよう、次回の活動に向けて準備を整えておくこと
	学習内容	絵本製作 場面構成②
	復習	授業を振り返り、技術や知識の定着を図ること
15	予習	授業時に検討・討論が進められるよう、次回の活動に向けて準備を整えておくこと
	学習内容	絵本製作 場面ごとの作画①
	復習	授業を振り返り、技術や知識の定着を図ること

授 業 計 画

回	授 業 概 要	
16	予習	授業時に検討・討論が進められるよう、次回の活動に向けて準備を整えておくこと
	学習内容	絵本製作 場面ごとの作画②
	復習	授業を振り返り、技術や知識の定着を図ること
17	予習	授業時に検討・討論が進められるよう、次回の活動に向けて準備を整えておくこと
	学習内容	絵本製作 場面ごとの作画③
	復習	授業を振り返り、技術や知識の定着を図ること
18	予習	授業時に検討・討論が進められるよう、次回の活動に向けて準備を整えておくこと
	学習内容	絵本製作 場面ごとの作画④
	復習	授業を振り返り、技術や知識の定着を図ること
19	予習	授業時に検討・討論が進められるよう、次回の活動に向けて準備を整えておくこと
	学習内容	絵本製作 文章作成①
	復習	授業を振り返り、技術や知識の定着を図ること
20	予習	授業時に検討・討論が進められるよう、次回の活動に向けて準備を整えておくこと
	学習内容	絵本製作 文章作成②
	復習	授業を振り返り、技術や知識の定着を図ること
21	予習	授業時に検討・討論が進められるよう、次回の活動に向けて準備を整えておくこと
	学習内容	絵本製作 文章作成③
	復習	授業を振り返り、技術や知識の定着を図ること
22	予習	授業時に検討・討論が進められるよう、次回の活動に向けて準備を整えておくこと
	学習内容	絵本製作 文章作成④
	復習	授業を振り返り、技術や知識の定着を図ること
23	予習	授業時に検討・討論が進められるよう、次回の活動に向けて準備を整えておくこと
	学習内容	絵本製作 製本①
	復習	授業を振り返り、技術や知識の定着を図ること
24	予習	授業時に検討・討論が進められるよう、次回の活動に向けて準備を整えておくこと
	学習内容	絵本製作 製本②
	復習	授業を振り返り、技術や知識の定着を図ること
25	予習	授業時に検討・討論が進められるよう、次回の活動に向けて準備を整えておくこと
	学習内容	絵本製作 製本③
	復習	授業を振り返り、技術や知識の定着を図ること
26	予習	授業時に検討・討論が進められるよう、次回の活動に向けて準備を整えておくこと
	学習内容	絵本製作 製本④
	復習	授業を振り返り、技術や知識の定着を図ること
27	予習	授業時に検討・討論が進められるよう、次回の活動に向けて準備を整えておくこと
	学習内容	発表練習
	復習	授業を振り返り、技術や知識の定着を図ること
28	予習	授業時に検討・討論が進められるよう、次回の活動に向けて準備を整えておくこと
	学習内容	発表練習
	復習	授業を振り返り、技術や知識の定着を図ること
29	予習	授業時に検討・討論が進められるよう、次回の活動に向けて準備を整えておくこと
	学習内容	発表
	復習	授業を振り返り、技術や知識の定着を図ること
30	予習	授業時に検討・討論が進められるよう、次回の活動に向けて準備を整えておくこと
	学習内容	発表の反省・課題
	復習	授業を振り返り、技術や知識の定着を図ること

科目区分	専門教育科目	科目分類	専門科目(内容・方法)	科目番号	BO321B1		
授業科目	保育技術研究 I			担当教員	田川 智美		
履修年次	開講時期	単位数	時間	授業形態	卒業要件	幼2種免	保育士
1年	通年	2	60	演習	必修	必修	選択必修
(授業の目的)							
<p>子どものあそびには子供の成長や発達にとって大きな役割を果たす体験が多く含まれている。保育者には、子どもの成長や発達段階を捉え、具体的な計画のもとにその更なる成長・発達を促す保育活動を展開する「保育技術」が求められる。「保育技術研究」では、保育に関する自発的、科目横断的な学習能力を習得させ、これまでに学んだ知識を基にして保育実践のための計画、教材研究、実践的活動を行い、これを通して保育活動を展開するために必要な知識・技術を習得させる。</p>							
(授業の概要)							
<p>子どもの音楽活動である歌うこと、合奏すること、リズムに合わせて活動することを主に、実践的な能力と技術、表現力を身につける。</p>							
(授業の到達目標)							
<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの年齢や状況を考え、題材を選択しアレンジすることができる ・本質を理解し、表現活動ができる ・実践活動を通して音楽の楽しさを知り、技術力を高める 							
(卒業認定・学位授与の方針との関連)							
ディプロマ・ポリシー				卒業認定・学位授与			
(1) 社会人として必要な教養とマナーを身につけていること。							
(2) 幼児教育に関する専門的知識と保育技術を身につけていること。				○			
(3) 保育の課題を積極的に探究していこうとする意欲を持っていること。				○			
(学習成果との関連)							
(1) 知識 10 %		(2) 技能 40%		計100%			
(3) 態度 10 %		(4) 実践力 40%					
【評価方法】							
授業への取り組み:50% 発表:40% 計100%							
【自己学習(予習・復習等)】							
「授業計画」参照(合計60時間分)							
【課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法】							
発表作品は映像等を活用し、相互に批評したあと担当が総括する。							
【使用テキスト】							
授業内で配布。							
【参考図書】							
なし							
【学生へのメッセージ】							
音楽を通して、表現することの楽しさを知り、実践・発表を通して、保育現場で役立つような力をつけていきます。							

授 業 計 画

回	授 業 概 要	
1	予習	次回のテーマに向けて工夫点を考え、授業時に理解を深められるようにする
	学習内容	オリエンテーション 題材を考える
	復習	授業を振り返り、技術や知識の定着を図ること
2	予習	次の授業内容に対して具体的なイメージをしておく
	学習内容	子どものための音楽表現について研究 題材について
	復習	課題をまとめておく
3	予習	授業内容に合わせた準備をする
	学習内容	子どものための音楽表現研究 役割について
	復習	課題をまとめておく
4	予習	授業内容に合わせた準備をする
	学習内容	子どものための音楽表現研究 ①ストーリー編成
	復習	課題をまとめておく
5	予習	授業内容に合わせた準備をする
	学習内容	子どものための音楽表現研究 ②ストーリー編成
	復習	課題をまとめておく
6	予習	授業内容に合わせた準備をする
	学習内容	子どものための音楽表現研究 ③ストーリー編成
	復習	課題をまとめておく
7	予習	自主練習をする
	学習内容	子どものための音楽表現研究 ①実践練習 パート毎の練習
	復習	自主練習をする
8	予習	自主練習をする
	学習内容	子どものための音楽表現研究 ②実践練習 パート毎の練習
	復習	自主練習をする
9	予習	自主練習をする
	学習内容	子どものための音楽表現研究 ③実践練習 パート毎の練習
	復習	自主練習をする
10	予習	次回の準備をする
	学習内容	子どものための音楽表現研究 ④実践練習 パート毎の練習
	復習	自主練習をする
11	予習	次回の準備をする
	学習内容	子どものための音楽表現研究 ⑤実践練習 パート毎の練習
	復習	自主練習をする
12	予習	次回の準備をする
	学習内容	子どものための音楽表現研究 ⑥実践練習 パート毎の練習
	復習	自主練習をする
13	予習	次回の準備をする
	学習内容	子どものための音楽表現研究 ⑦実践練習 パート毎の練習
	復習	自主練習をする
14	予習	全体練習のための準備をする
	学習内容	子どものための音楽表現研究 ①実践練習 全体練習
	復習	問題点の改善に取り組む
15	予習	全体練習のための準備をする
	学習内容	子どものための音楽表現研究 ②実践練習 全体練習
	復習	問題点の改善に取り組む

授 業 計 画

回	授 業 概 要	
16	予習	全体練習のための準備をする
	学習内容	子どものための音楽表現研究 ③実践練習 全体練習
	復習	問題点の改善に取り組む
17	予習	全体練習のための準備をする
	学習内容	子どものための音楽表現研究 ④実践練習 全体練習
	復習	問題点の改善に取り組む
18	予習	全体練習のための準備をする
	学習内容	子どものための音楽表現研究 ⑤実践練習 全体練習
	復習	問題点の改善に取り組む
19	予習	全体練習のための準備をする
	学習内容	子どものための音楽表現研究 ⑥実践練習 全体練習
	復習	問題点の改善に取り組む
20	予習	全体練習のための準備をする
	学習内容	子どものための音楽表現研究 ⑦実践練習 全体練習
	復習	問題点の改善に取り組む
21	予習	全体練習のための準備をする
	学習内容	子どものための音楽表現研究 ⑧実践練習 全体練習
	復習	問題点の改善に取り組む
22	予習	全体練習のための準備をする
	学習内容	子どものための音楽表現研究 ⑨実践練習 全体練習
	復習	問題点の改善に取り組む
23	予習	全体練習のための準備をする
	学習内容	子どものための音楽表現研究 ⑩実践練習 全体練習
	復習	問題点の改善に取り組む
24	予習	自主練習をする
	学習内容	公演練習①
	復習	問題点の改善に取り組む
25	予習	自主練習をする
	学習内容	公演練習②
	復習	問題点の改善に取り組む
26	予習	自主練習をする
	学習内容	公演練習③
	復習	問題点の改善に取り組む
27	予習	自主練習をする
	学習内容	公演練習④
	復習	問題点の改善に取り組む
28	予習	自主練習をする
	学習内容	公演練習⑤
	復習	問題点の改善に取り組む
29	予習	自主練習をする
	学習内容	技術の実践発表
	復習	実践発表の振り返りをする
30	予習	
	学習内容	まとめ
	復習	

科目区分	専門教育科目	科目分類	専門科目(内容・方法)	科目番号	BO321B1		
授業科目	保育技術研究 I			担当教員	小林 柚実子		
履修年次	開講時期	単位数	時間	授業形態	卒業要件	幼2種免	保育士
1年	通年	2	60	演習	必修	必修	選択必修
(授業の目的)							
<p>子どものあそびには、子どもの成長や発達にとって大きな役割を果たす体験が多く含まれている。保育者には、そうした子どもの成長や発達段階を捉え、具体的な計画のもとにその更なる成長・発達を促す保育活動を展開する「保育技術」が求められる。「保育技術研究」では、自発的かつ科目横断的な学習能力を習得し、これまでに学んだ知識を基に教材研究、実践的活動を行い、保育活動を展開するために必要な知識・技術を習得することを目的とする。</p>							
(授業の概要)							
<p>「読む」「話す」ことを主とした手法により、子どもの発達段階に応じた遊びを促進し、乳幼児の成長を楽しみながら促すことのできるようさまざまな計画を考案し、実践する。またその成果は「発表(公演)」により完成を目指す。「読む」「話す」に加えて身体表現や、音楽を演出に加えた表現も交え、言葉を立体的に駆使した表現技術を養うよう学習、練習をすすめていく。</p>							
(授業の到達目標)							
<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児向けの文化財への理解を深める。 ・子どもの発達段階に応じ、成長を促すことに配慮した「お話ライブ」の計画を作り、実践する。 ・効果的に伝えるための技術(話術・演出・表現力)を習得する。 							
ディプロマ・ポリシー				卒業認定・学位授与			
(1) 社会人として必要な教養とマナーを身につけていること。				○			
(2) 幼児教育に関する専門的知識と保育技術を身につけていること。				○			
(3) 保育の課題を積極的に探究していこうとする意欲を持っていること。				○			
(学習成果との関連)							
(1) 知識	25%	(2) 技能	25%	計100%			
(3) 態度	25%	(4) 実践力	25%				
【評価方法】							
授業・発表への取り組み 60% 課題に対する達成度 40% 計100%							
【自己学習(予習・復習等)】							
「授業計画」参照(合計60時間分)							
【課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法】							
課題は添削のうえ返却する。発表作品は相互批評をふまえて確認する。							
【使用テキスト】							
授業にて随時配布する。							
【参考図書】							
なし							
【学生へのメッセージ】							
<p>最近、幼児教育の重要性に多くの研究者の注目が集まってきている中、保育者の質の高さを確保することへの配慮も求められてきています。楽しく遊びながらすべての子どもの成長を支えるというのは、簡単なようで難しい、高い技術を要します。そうした技術の習得と、その前提となる正しい知識、深い理解をともに学び合い、充実した研究活動ができるよう、がんばりましょう。</p>							

授 業 計 画

回	授 業 概 要	
1	予習	シラバスを理解し、保育技術研究に関する主体的な取り組みについて考えておく。
	学習内容	ガイダンス(授業概要の説明)
	復習	ガイダンス内容をふまえ、各自の取り組みについて方向性を確認する。
2	予習	シラバスを活用し、関連する授業内容を復習しつつ、研究に関する主体的な準備を行う。
	学習内容	乳幼児の発達段階と、その成長を促す遊びについて
	復習	授業を振り返り、知識や技術の定着をはかる。
3	予習	前時に配布した予習資料を読み、内容を理解する。
	学習内容	乳幼児の発達を促す遊びのための道具、手法について
	復習	授業を振り返り、知識や技術の定着をはかる。
4	予習	前時に配布した予習資料を読み、内容を理解する。
	学習内容	乳幼児の言葉を育む文化財(とくに絵本、紙芝居等)
	復習	授業を振り返り、知識や技術の定着をはかる。
5	予習	前時に配布した予習資料を読み、内容を理解する。
	学習内容	日本語の特性と、特性に配慮した表現方法
	復習	授業を振り返り、知識や技術の定着をはかる。
6	予習	前時に配布した予習資料を読み、内容を理解する。
	学習内容	表現技術の基本的な練習(発声・話し方・言葉の選び方等)
	復習	授業を振り返り、知識や技術の定着をはかる。
7	予習	前時に配布した予習資料を読み、内容を理解する。
	学習内容	「詩」や「物語」の朗読を通じた表現技術の習得①
	復習	授業を振り返り、知識や技術の定着をはかる。
8	予習	前時に配布した予習資料を読み、内容を理解する。
	学習内容	「詩」や「物語」の朗読を通じた表現技術の習得②
	復習	授業を振り返り、知識や技術の定着をはかる。
9	予習	前時に配布した予習資料を読み、内容を理解する。
	学習内容	「歌」「身体表現」を通じた表現技術の習得①
	復習	授業を振り返り、知識や技術の定着をはかる。
10	予習	前時に配布した予習資料を読み、内容を理解する。
	学習内容	「歌」「身体表現」を通じた表現技術の習得②
	復習	授業を振り返り、知識や技術の定着をはかる。
11	予習	前時に配布した予習資料を読み、内容を理解する。
	学習内容	「絵本」の効果的な表現技術
	復習	授業を振り返り、知識や技術の定着をはかる。
12	予習	前時に配布した予習資料を読み、内容を理解する。
	学習内容	「紙芝居」の効果的な表現技術
	復習	授業を振り返り、知識や技術の定着をはかる。
13	予習	発表練習に向けて準備する。
	学習内容	個人、またはグループでの作品発表のための練習①
	復習	授業を振り返り、技術や知識の定着をはかる。
14	予習	発表に向けて各自でリハーサルを行う。
	学習内容	成果発表会
	復習	発表内容に関する課題を確認し、修正点を明確にする。
15	予習	討議に向けて各自意見をまとめておく。
	学習内容	発表会に関する討議、前期の振り返りとまとめ
	復習	前期授業内容を確認し、後期授業に向けて準備する。

授 業 計 画

回	授 業 概 要	
16	予習	前期授業内容の復習
	学習内容	「おはなし会」の計画の作り方
	復習	各自、計画を作成する。
17	予習	前時に配布した予習資料を読み、内容を理解する。
	学習内容	「おはなし会」のテーマ、題材選びについて
	復習	各自、テーマへや題材への理解を深める
18	予習	前時に配布した予習資料を読み、内容を理解する。
	学習内容	「おはなし会」の演出方法について
	復習	授業内容をふまえ、演出方法の工夫について考える。
19	予習	前時に配布した予習資料を読み、内容を理解する。
	学習内容	「おはなし会」の役割、グループ別練習①
	復習	各自の役割を理解し、必要な準備を行う。
20	予習	練習に向けた工夫を考え、効果的に練習が行えるように準備する。
	学習内容	「おはなし会」の役割、グループ別練習②
	復習	授業を振り返り、技術や知識の定着をはかる。
21	予習	練習に向けた工夫を考え、効果的に練習が行えるように準備する。
	学習内容	「おはなし会」の役割、グループ別練習③
	復習	授業を振り返り、技術や知識の定着をはかる。
22	予習	前時に配布した予習資料を読み、内容を理解する。
	学習内容	「おはなし会」に向けた進行状況、課題点等の確認と、課題解決に向けた話し合い
	復習	必要に応じてグループごとに話し合い、課題に取り組む。
23	予習	前時に配布した予習資料を読み、内容を理解する。
	学習内容	「おはなし会」の役割、グループ別練習④
	復習	必要に応じてグループごとに話し合い、課題に取り組む。
24	予習	前時に配布した予習資料を読み、内容を理解する。
	学習内容	「おはなし会」の役割、グループ別練習⑤
	復習	必要に応じてグループごとに話し合い、課題に取り組む。
25	予習	前時に配布した予習資料を読み、内容を理解する。
	学習内容	「おはなし会」の役割、グループ別練習⑥
	復習	必要に応じてグループごとに話し合い、課題に取り組む。
26	予習	前時に配布した予習資料を読み、内容を理解する。
	学習内容	「おはなし会」のプログラムの決定
	復習	必要に応じてグループごとに話し合い、課題に取り組む。
27	予習	前時に配布した予習資料を読み、内容を理解する。
	学習内容	「おはなし会」のプログラム内容の総確認
	復習	必要に応じてグループごとに話し合い、課題に取り組む。
28	予習	リハーサルに向けて各自取り組む。
	学習内容	「おはなし会」のリハーサル
	復習	各自、またはグループごとに課題に取り組む。
29	予習	発表に向けた練習と確認
	学習内容	成果発表(「おはなしライブ」の開催)
	復習	発表を振り返り、課題を確認する。
30	予習	課題に関して討議ができるよう、各自意見をまとめる。
	学習内容	発表の分析、課題の確認、まとめ
	復習	一年間を振り返り、習得できた技術や知識に関して再確認する。

科目区分	専門教育科目	科目分類	専門科目(内容・方法)	科目番号	NT322B2		
授業科目	保育技術研究Ⅱ			担当教員	三井 正人		
履修年次	開講時期	単位数	時間	授業形態	卒業要件	幼2種免	保育士
2年	通年	2	60	演習	選択	—	選択必修
(授業の目的)							
<p>子どものあそびには、子どもの成長や発達にとって大きな役割を果たす体験が多く含まれている。保育者には、子どもの成長や発達段階を捉え、具体的な計画のもとにその更なる成長・発達を促す保育活動を展開する「保育技術」が求められる。「保育技術研究」では、保育に関する自発的、科目横断的な学習能力を習得させ、これまでに学んだ知識を基にして保育実践のための計画、教材研究、実践的活動を行い、これを通して保育活動を展開するために必要な知識・技術を習得させる。</p>							
(授業の概要)							
<p>保育所指針、教育要領、発達の様子を踏まえて保育実践のための特に表現領域の造形製作(平面・立体造形)における教材開発の能力と技術を身につける。</p>							
(授業の到達目標)							
<p>人形劇(15分程度の)マリオネットの人形製作、舞台製作、発表</p>							
(卒業認定・学位授与の方針との関連)							
ディプロマ・ポリシー				卒業認定・学位授与			
(1) 社会人として必要な教養とマナーを身につけていること。				○			
(2) 幼児教育に関する専門的知識と保育技術を身につけていること。				○			
(3) 保育の課題を積極的に探究していこうとする意欲を持っていること。				○			
(学習成果との関連)							
(1) 知識 20%		(2) 技能 20%		計100%			
(3) 態度 20%		(4) 実践力 40%					
【評価方法】							
製作状況の評価:% 発表時の積極性:% 計100%							
【自己学習(予習・復習等)】							
「授業計画」参照(合計60時間分)							
【課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法】							
発表後の意見交換を通して改善点を見出しアドバイスする。							
【使用テキスト】							
インターネットでの物語検索、決定。人形作り、舞台づくりについて先輩他の人形劇の映像を参考に学習。							
【参考図書】							
人形や舞台づくりの実際を近隣のマリオネットを公演している絵本村に見学に行く。							
【学生へのメッセージ】							
人形作りでは1つ1つ課題を、乗り越えて造形活動から効果的な表現にいたる流れを学習します。また子どもたちに発表し子どもたちに見てもらい喜びを体験しよう。							

授 業 計 画

回	授 業 概 要	
1	予習	主体的、対話的で深い学習の一環として保育技術を学ぶ意義を考える
	学習内容	ガイダンス 課題(劇づくり)の決定
	復習	さまざまな人形劇について調べる
2	予習	さまざまな人形劇から好きなストーリーを選ぶ
	学習内容	内容の検討 昔話、絵本などからストーリーを選ぶ
	復習	候補に上がったストーリーをビデオなどで見てくる
3	予習	人形劇の様式について調べる
	学習内容	内容の決定 ストーリーと劇内容の決定
	復習	ストーリーと人形劇が決まったたら、どんな作業が必要か考える
4	予習	先輩の人形劇についてyoutubeなどで見てくる
	学習内容	役割分担(舞台づくり、背景製作、人形製作、小道具)、台本作り 演じる場所の決定
	復習	役割分担(舞台づくり、背景製作、人形製作、小道具)、台本作り を決定し仕事内容を検討する
5	予習	日程を定め、台本を検討する
	学習内容	製作①原案検討 子どもの招待(保育園、幼稚園、施設)
	復習	各担当は製作日程を検討する
6	予習	台本を検討する
	学習内容	製作②原案決定
	復習	台本を見ながら、舞台割、人形の数、種類、背景の描き方を検討する
7	予習	必要なものを購入する予算を立てる
	学習内容	製作③材料購入
	復習	作業内容を確認し、役割分担が決まったら、製作に必要なものを買ってくる
8	予習	作業効率を考え手順を決める
	学習内容	製作④製材・加工
	復習	時間内でできない作業を継続
9	予習	時間内でできない作業を継続
	学習内容	製作⑤製材・加工
	復習	時間内でできない作業を継続
10	予習	時間内でできない作業を継続
	学習内容	製作⑥製材・加工
	復習	時間内でできない作業を継続
11	予習	時間内でできない作業を継続
	学習内容	製作⑦製材・加工
	復習	時間内でできない作業を継続
12	予習	時間内でできない作業を継続
	学習内容	製作⑧加工・着色
	復習	時間内でできない作業を継続
13	予習	時間内でできない作業を継続
	学習内容	製作⑨加工・着色
	復習	時間内でできない作業を継続
14	予習	時間内でできない作業を継続
	学習内容	製作⑩組立・完成
	復習	時間内でできない作業を継続
15	予習	時間内でできない作業を継続
	学習内容	製作終了 完成品提出
	復習	製作した人形、舞台、背景、音響、案内、進行、手遊びなどの各作ったものを確認し、不足しているものをチェックする

授 業 計 画

回	授 業 概 要	
16	予習	製作した人形、舞台、背景、音響、案内、進行、手遊びなどの各作ったものを確認し、不足しているものをチェックする
	学習内容	役者、音響、ライトを交互に担当
	復習	実際に演じてみて不足するものや演技方を工夫する
17	予習	人形の動かし方、声の出し方、音楽、ライトのつけ方などを話し合う
	学習内容	役割に分かれて練習 人形、場面設定 声だし 音楽の検討①
	復習	人形の動かし方、声の出し方、音楽、ライトのつけ方などを話し合う 工夫し、協働する
18	予習	人形の動かし方、声の出し方、音楽、ライトのつけ方などを話し合う
	学習内容	役割に分かれて練習 人形、場面設定 声だし 音楽の検討②
	復習	人形の動かし方、声の出し方、音楽、ライトのつけ方などを話し合う 工夫し、協働する
19	予習	人形の動かし方、声の出し方、音楽、ライトのつけ方などを話し合う
	学習内容	役割に分かれて練習 人形、場面設定 声だし 音楽の検討③
	復習	人形の動かし方、声の出し方、音楽、ライトのつけ方などを話し合う 工夫し、協働する 課題を見つける
20	予習	人形の動かし方、声の出し方、音楽、ライトのつけ方などを話し合う
	学習内容	役割に分かれて練習 人形、場面設定 声だし 音楽の検討④
	復習	人形の動かし方、声の出し方、音楽、ライトのつけ方などを話し合う 工夫し、協働する 課題を見つける
21	予習	全体の大まかな流れができてきたら、実際に子どもの前で演じる時に必要な準備が何か考える
	学習内容	全体練習① 導入の検討 手遊び 司会進行
	復習	全体の大まかな流れができてきたら、実際に子どもの前で演じる時に必要な準備が何か考える
22	予習	全体の大まかな流れができてきたら、実際に子どもの前で演じる時に必要な準備が何か考える
	学習内容	全体練習② 導入手遊び決定
	復習	全体の大まかな流れができてきたら、実際に子どもの前で演じる時に必要な準備が何か考える
23	予習	全体の大まかな流れができてきたら、実際に子どもの前で演じる時に必要な準備が何か考える
	学習内容	全体練習③ 効果的なライト 効果音
	復習	全体の大まかな流れができてきたら、実際に子どもの前で演じる時に必要な準備が何か考える
24	予習	より良い演出のため意見を出し合う
	学習内容	全体練習④
	復習	不足している準備を協力して補う
25	予習	より良い演出のため意見を出し合う ヴィデオ撮影
	学習内容	全体練習⑤
	復習	不足している準備を協力して補う ヴィデオ振り返り
26	予習	最終リハーサル準備 ヴィデオ撮影
	学習内容	発表準備
	復習	不足している準備を協力して補う ヴィデオ振り返り
27	予習	最終 セット
	学習内容	発表
	復習	発表を振り返る
28	予習	課題を確認する
	学習内容	片付け
	復習	次回発表のための準備
29	予習	次回発表のための準備
	学習内容	ビデオ撮影 意見交換
	復習	反省をもとに振り返る 課題を見出す
30	予習	ポートフォリオの下準備
	学習内容	まとめ
	復習	ポートフォリオを確認する

科目区分	専門教育科目	科目分類	専門科目(内容・方法)	科目番号	NT322B2		
授業科目	保育技術研究Ⅱ			担当教員	吉田 百加利		
履修年次	開講時期	単位数	時間	授業形態	卒業要件	幼2種免	保育士
2年	通年	2	60	演習	選択	—	選択必修
(授業の目的)							
<p>子どものあそびには、子どもの成長や発達にとって大きな役割を果たす体験が多く含まれている。保育者には、子どもの成長や発達段階を捉え、具体的な計画のもとにその更なる成長・発達を促す保育活動を展開する「保育技術」が求められる。「保育技術研究」では、保育に関する自発的、科目横断的な学習能力を習得させ、これまでに学んだ知識を基にして保育実践のための計画、教材研究、実践的活動を行い、これを通して保育活動を展開するために必要な知識・技術を習得させる。</p>							
(授業の概要)							
<p>子どもの発達を踏まえ、パネル型シアターの製作や演示、子どもとの関わりを通して保育実践のための技術の更なる修得を目指す。</p>							
(授業の到達目標)							
<ul style="list-style-type: none"> ・パネル型シアターのオリジナル作品をグループ製作することで創造性、積極性、協働することを身につける。 ・子どもの発達に応じた関わり方と演示方の工夫を身につける ・保育教材への理解を深める 							
(卒業認定・学位授与の方針との関連)							
ディプロマ・ポリシー				卒業認定・学位授与			
(1) 社会人として必要な教養とマナーを身につけていること。							
(2) 幼児教育に関する専門的知識と保育技術を身につけていること。				○			
(3) 保育の課題を積極的に探究していこうとする意欲を持っていること。				○			
(学習成果との関連)							
(1) 知識 20 %		(2) 技能 20 %		計100%			
(3) 態度 20 %		(4) 実践力 40 %					
【評価方法】							
発表:40% 学習マナー(取り組み):60% 計100%							
【自己学習(予習・復習等)】							
「授業計画」参照(合計60時間分)							
【課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法】							
課題は添削のうえ返却する。発表作品は映像等を活用し、相互に評価したあと担当が総括する。							
【使用テキスト】							
必要に応じて提示、配布							
【参考図書】							
「実習に役立つパネルシアターハンドブック」 古宇田亮順 萌文書林							
【学生へのメッセージ】							
自ら学ぶ姿勢を期待します。							

授 業 計 画

回	授 業 概 要	
1	予習	授業に向けて課題点や工夫点を整理し、授業時に理解を深められるようにする
	学習内容	オリエンテーション
	復習	授業を振り返り、技能や知識の定着を図る
2	予習	授業に向けて課題点や工夫点を整理し、授業時に理解を深められるようにする
	学習内容	パネル型シアターの説明
	復習	授業を振り返り、技能や知識の定着を図る
3	予習	授業に向けて課題点や工夫点を整理し、授業時に理解を深められるようにする
	学習内容	オリジナルストーリーの選定①
	復習	授業を振り返り、技能や知識の定着を図る
4	予習	授業に向けて課題点や工夫点を整理し、授業時に理解を深められるようにする
	学習内容	オリジナルストーリーの選定② グループ分け
	復習	授業を振り返り、技能や知識の定着を図る
5	予習	授業に向けて課題点や工夫点を整理し、授業時に理解を深められるようにする
	学習内容	ストーリー製作①
	復習	授業を振り返り、技能や知識の定着を図る
6	予習	授業に向けて課題点や工夫点を整理し、授業時に理解を深められるようにする
	学習内容	ストーリー製作②
	復習	授業を振り返り、技能や知識の定着を図る
7	予習	授業に向けて課題点や工夫点を整理し、授業時に理解を深められるようにする
	学習内容	ストーリーにあわせたパーツの整理
	復習	授業を振り返り、技能や知識の定着を図る
8	予習	授業に向けて課題点や工夫点を整理し、授業時に理解を深められるようにする
	学習内容	ストーリーにあわせたパーツの作成①
	復習	授業を振り返り、技能や知識の定着を図る
9	予習	授業に向けて課題点や工夫点を整理し、授業時に理解を深められるようにする
	学習内容	ストーリーにあわせたパーツの作成②
	復習	授業を振り返り、技能や知識の定着を図る
10	予習	授業に向けて課題点や工夫点を整理し、授業時に理解を深められるようにする
	学習内容	ストーリーにあわせたパーツの作成③
	復習	授業を振り返り、技能や知識の定着を図る
11	予習	授業に向けて課題点や工夫点を整理し、授業時に理解を深められるようにする
	学習内容	パネル型シアター製作①
	復習	授業を振り返り、技能や知識の定着を図る
12	予習	授業に向けて課題点や工夫点を整理し、授業時に理解を深められるようにする
	学習内容	パネル型シアター製作②
	復習	授業を振り返り、技能や知識の定着を図る
13	予習	授業に向けて課題点や工夫点を整理し、授業時に理解を深められるようにする
	学習内容	パネル型シアター製作③
	復習	授業を振り返り、技能や知識の定着を図る
14	予習	授業に向けて課題点や工夫点を整理し、授業時に理解を深められるようにする
	学習内容	パネル型シアター製作④
	復習	授業を振り返り、技能や知識の定着を図る
15	予習	授業に向けて課題点や工夫点を整理し、授業時に理解を深められるようにする
	学習内容	パネル型シアター製作⑤
	復習	授業を振り返り、技能や知識の定着を図る

授 業 計 画

回	授 業 概 要	
16	予習	授業に向けて課題点や工夫点を整理し、授業時に理解を深められるようにする
	学習内容	パネル型シアター製作⑥
	復習	授業を振り返り、技能や知識の定着を図る
17	予習	授業に向けて課題点や工夫点を整理し、授業時に理解を深められるようにする
	学習内容	パネル型シアター製作⑦
	復習	授業を振り返り、技能や知識の定着を図る
18	予習	授業に向けて課題点や工夫点を整理し、授業時に理解を深められるようにする
	学習内容	パネル型シアター製作⑧
	復習	授業を振り返り、技能や知識の定着を図る
19	予習	授業に向けて課題点や工夫点を整理し、授業時に理解を深められるようにする
	学習内容	発表用シナリオ作成①
	復習	授業を振り返り、技能や知識の定着を図る
20	予習	授業に向けて課題点や工夫点を整理し、授業時に理解を深められるようにする
	学習内容	発表用シナリオ作成②
	復習	授業を振り返り、技能や知識の定着を図る
21	予習	授業に向けて課題点や工夫点を整理し、授業時に理解を深められるようにする
	学習内容	発表用シナリオ作成③
	復習	授業を振り返り、技能や知識の定着を図る
22	予習	授業に向けて課題点や工夫点を整理し、授業時に理解を深められるようにする
	学習内容	パネル型シアター演習①
	復習	授業を振り返り、技能や知識の定着を図る
23	予習	授業に向けて課題点や工夫点を整理し、授業時に理解を深められるようにする
	学習内容	パネル型シアター演習②
	復習	授業を振り返り、技能や知識の定着を図る
24	予習	授業に向けて課題点や工夫点を整理し、授業時に理解を深められるようにする
	学習内容	パネル型シアター演習③
	復習	授業を振り返り、技能や知識の定着を図る
25	予習	授業に向けて課題点や工夫点を整理し、授業時に理解を深められるようにする
	学習内容	パネル型シアター演習④
	復習	授業を振り返り、技能や知識の定着を図る
26	予習	発表練習に向けて課題点や工夫点を整理し、授業時に理解を深められるようにする
	学習内容	発表練習①
	復習	授業を振り返り、技能や知識の定着を図る
27	予習	発表練習に向けて課題点や工夫点を整理し、授業時に理解を深められるようにする
	学習内容	発表練習②
	復習	授業を振り返り、技能や知識の定着を図る
28	予習	発表に向けて課題点や工夫点を整理し、授業時に理解を深められるようにする
	学習内容	発表
	復習	発表を振り返り、技能や知識の定着を図る
29	予習	発表に向けて課題点や工夫点を整理し、授業時に理解を深められるようにする
	学習内容	発表
	復習	発表を振り返り、技能や知識の定着を図る
30	予習	これまでの授業を振り返り、授業時に理解を深められるようにする
	学習内容	発表の反省、課題
	復習	これまでの学びを振り返り、授業内容について確認する

科目区分	専門教育科目	科目分類	専門科目(内容・方法)	科目番号	NT322B2		
授業科目	保育技術研究Ⅱ			担当教員	清水 健		
履修年次	開講時期	単位数	時間	授業形態	卒業要件	幼2種免	保育士
2年	通年	2	60	演習	選択	—	選択必修

(授業の目的)

子どものあそびには、子どもの成長や発達にとって大きな役割を果たす体験が多く含まれている。保育者には、子どもの成長や発達段階を捉え、具体的な計画のもとにその更なる成長・発達を促す保育活動を展開する「保育技術」が求められる。「保育技術研究」では、保育に関する自発的、科目横断的な学習能力を習得させ、これまでに学んだ知識を基にして保育実践のための計画、教材研究、実践的活動を行い、これを通して保育活動を展開するために必要な知識・技術を習得させる。

(授業の概要)

子どもの発達や絵本の基礎を踏まえ、手作り絵本の製作・発表に取り組む。子どもとの遊び、年中行事への理解を通して保育実践のための技術の修得を目指す。

(授業の到達目標)

- ・手作り絵本を製作する
- ・絵本製作活動を通して絵本に関する基本的な知識をもつ
- ・対象者の姿(子どもの発達等)に応じた遊びとその工夫・配慮を身につける

(卒業認定・学位授与の方針との関連)

ディプロマ・ポリシー	卒業認定・学位授与
(1) 社会人として必要な教養とマナーを身につけていること。	
(2) 幼児教育に関する専門的知識と保育技術を身につけていること。	○
(3) 保育の課題を積極的に探究していこうとする意欲を持っていること。	○

(学習成果との関連)

(1) 知識 20%	(2) 技能 20%	計100%
(3) 態度 30%	(4) 実践力 30%	

【評価方法】

活動への取り組み:60% 発表:40% 計100%

【自己学習(予習・復習等)】

「授業計画」参照(合計60時間分)

【課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法】

課題はその都度確認し、返却する。発表作品は映像等を活用し、相互に評価したあと担当が総括する。

【使用テキスト】

必要に応じて配布、提示

【参考図書】

『絵本のひみつ 絵本の知と読み聞かせの心』 余郷 裕次 南日本新聞社

【学生へのメッセージ】

学生の主体性、自主性を重視します。責任感を持って取り組んでください。クラスメイトや2年生への協力を求めます。

授 業 計 画

回	授 業 概 要	
1	予習	授業時に検討・討論が進められるよう、次回の活動に向けて準備を整えておくこと
	学習内容	オリエンテーション
	復習	授業を振り返り、技術や知識の定着を図ること
2	予習	授業時に検討・討論が進められるよう、次回の活動に向けて準備を整えておくこと
	学習内容	絵本の理解 紙面の構成
	復習	授業を振り返り、技術や知識の定着を図ること
3	予習	授業時に検討・討論が進められるよう、次回の活動に向けて準備を整えておくこと
	学習内容	絵本の理解 色彩
	復習	授業を振り返り、技術や知識の定着を図ること
4	予習	授業時に検討・討論が進められるよう、次回の活動に向けて準備を整えておくこと
	学習内容	絵本の理解 絵本モニタージュ
	復習	授業を振り返り、技術や知識の定着を図ること
5	予習	授業時に検討・討論が進められるよう、次回の活動に向けて準備を整えておくこと
	学習内容	絵本製作 シナリオ作り①
	復習	授業を振り返り、技術や知識の定着を図ること
6	予習	授業時に検討・討論が進められるよう、次回の活動に向けて準備を整えておくこと
	学習内容	絵本製作 シナリオ作り②
	復習	授業を振り返り、技術や知識の定着を図ること
7	予習	授業時に検討・討論が進められるよう、次回の活動に向けて準備を整えておくこと
	学習内容	絵本製作 シナリオ作り③
	復習	授業を振り返り、技術や知識の定着を図ること
8	予習	授業時に検討・討論が進められるよう、次回の活動に向けて準備を整えておくこと
	学習内容	絵本製作 シナリオ作り④
	復習	授業を振り返り、技術や知識の定着を図ること
9	予習	授業時に検討・討論が進められるよう、次回の活動に向けて準備を整えておくこと
	学習内容	絵本製作 シナリオ作り⑤
	復習	授業を振り返り、技術や知識の定着を図ること
10	予習	授業時に検討・討論が進められるよう、次回の活動に向けて準備を整えておくこと
	学習内容	絵本製作 キャラクター作り①
	復習	授業を振り返り、技術や知識の定着を図ること
11	予習	授業時に検討・討論が進められるよう、次回の活動に向けて準備を整えておくこと
	学習内容	絵本製作 キャラクター作り②
	復習	授業を振り返り、技術や知識の定着を図ること
12	予習	授業時に検討・討論が進められるよう、次回の活動に向けて準備を整えておくこと
	学習内容	絵本製作 キャラクター作り③
	復習	授業を振り返り、技術や知識の定着を図ること
13	予習	授業時に検討・討論が進められるよう、次回の活動に向けて準備を整えておくこと
	学習内容	絵本製作 場面構成①
	復習	授業を振り返り、技術や知識の定着を図ること
14	予習	授業時に検討・討論が進められるよう、次回の活動に向けて準備を整えておくこと
	学習内容	絵本製作 場面構成②
	復習	授業を振り返り、技術や知識の定着を図ること
15	予習	授業時に検討・討論が進められるよう、次回の活動に向けて準備を整えておくこと
	学習内容	絵本製作 場面ごとの作画①
	復習	授業を振り返り、技術や知識の定着を図ること

授 業 計 画

回	授 業 概 要	
16	予習	授業時に検討・討論が進められるよう、次回の活動に向けて準備を整えておくこと
	学習内容	絵本製作 場面ごとの作画②
	復習	授業を振り返り、技術や知識の定着を図ること
17	予習	授業時に検討・討論が進められるよう、次回の活動に向けて準備を整えておくこと
	学習内容	絵本製作 場面ごとの作画③
	復習	授業を振り返り、技術や知識の定着を図ること
18	予習	授業時に検討・討論が進められるよう、次回の活動に向けて準備を整えておくこと
	学習内容	絵本製作 場面ごとの作画④
	復習	授業を振り返り、技術や知識の定着を図ること
19	予習	授業時に検討・討論が進められるよう、次回の活動に向けて準備を整えておくこと
	学習内容	絵本製作 文章作成①
	復習	授業を振り返り、技術や知識の定着を図ること
20	予習	授業時に検討・討論が進められるよう、次回の活動に向けて準備を整えておくこと
	学習内容	絵本製作 文章作成②
	復習	授業を振り返り、技術や知識の定着を図ること
21	予習	授業時に検討・討論が進められるよう、次回の活動に向けて準備を整えておくこと
	学習内容	絵本製作 文章作成③
	復習	授業を振り返り、技術や知識の定着を図ること
22	予習	授業時に検討・討論が進められるよう、次回の活動に向けて準備を整えておくこと
	学習内容	絵本製作 文章作成④
	復習	授業を振り返り、技術や知識の定着を図ること
23	予習	授業時に検討・討論が進められるよう、次回の活動に向けて準備を整えておくこと
	学習内容	絵本製作 製本①
	復習	授業を振り返り、技術や知識の定着を図ること
24	予習	授業時に検討・討論が進められるよう、次回の活動に向けて準備を整えておくこと
	学習内容	絵本製作 製本②
	復習	授業を振り返り、技術や知識の定着を図ること
25	予習	授業時に検討・討論が進められるよう、次回の活動に向けて準備を整えておくこと
	学習内容	絵本製作 製本③
	復習	授業を振り返り、技術や知識の定着を図ること
26	予習	授業時に検討・討論が進められるよう、次回の活動に向けて準備を整えておくこと
	学習内容	絵本製作 製本④
	復習	授業を振り返り、技術や知識の定着を図ること
27	予習	授業時に検討・討論が進められるよう、次回の活動に向けて準備を整えておくこと
	学習内容	発表練習
	復習	授業を振り返り、技術や知識の定着を図ること
28	予習	授業時に検討・討論が進められるよう、次回の活動に向けて準備を整えておくこと
	学習内容	発表練習
	復習	授業を振り返り、技術や知識の定着を図ること
29	予習	授業時に検討・討論が進められるよう、次回の活動に向けて準備を整えておくこと
	学習内容	発表
	復習	授業を振り返り、技術や知識の定着を図ること
30	予習	授業時に検討・討論が進められるよう、次回の活動に向けて準備を整えておくこと
	学習内容	発表の反省・課題
	復習	授業を振り返り、技術や知識の定着を図ること

科目区分	専門教育科目	科目分類	専門科目(内容・方法)	科目番号	NT322B2		
授業科目	保育技術研究Ⅱ			担当教員	田川 智美		
履修年次	開講時期	単位数	時間	授業形態	卒業要件	幼2種免	保育士
2年	通年	2	60	演習	選択	—	選択必修
(授業の目的)							
<p>子どものあそびには子供の成長や発達にとって大きな役割を果たす体験が多く含まれている。保育者には、子どもの成長や発達段階を捉え、具体的な計画のもとにその更なる成長・発達を促す保育活動を展開する「保育技術」が求められる。「保育技術研究」では、保育に関する自発的、科目横断的な学習能力を習得させ、これまでに学んだ知識を基にして保育実践のための計画、教材研究、実践的活動を行い、これを通して保育活動を展開するために必要な知識・技術を習得させる。</p>							
(授業の概要)							
<p>子どもの音楽活動である歌うこと、合奏すること、リズムに合わせて活動することを主に、実践的な能力と技術、表現力を身につける。</p>							
(授業の到達目標)							
<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの年齢や状況を考え、題材を選択しアレンジすることができる ・本質を理解し、表現活動ができる ・実践活動を通して音楽の楽しさを知り、技術力を高める 							
(卒業認定・学位授与の方針との関連)							
ディプロマ・ポリシー				卒業認定・学位授与			
(1) 社会人として必要な教養とマナーを身につけていること。							
(2) 幼児教育に関する専門的知識と保育技術を身につけていること。				○			
(3) 保育の課題を積極的に探究していこうとする意欲を持っていること。				○			
(学習成果との関連)							
(1) 知識 10%		(2) 技能 40%		計100%			
(3) 態度 10%		(4) 実践力 40%					
【評価方法】							
授業への取り組み:50% 発表:40% 計100%							
【自己学習(予習・復習等)】							
「授業計画」参照(合計60時間分)							
【課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法】							
発表作品は映像等を活用し、相互に批評したあと担当が総括する。							
【使用テキスト】							
授業内で配布。							
【参考図書】							
なし							
【学生へのメッセージ】							
音楽を通して、表現することの楽しさを知り、実践・発表を通して、保育現場で役立つような力をつけていきます。							

授 業 計 画

回	授 業 概 要	
1	予習	次回のテーマに向けて工夫点を考え、授業時に理解を深められるようにする
	学習内容	オリエンテーション 題材を考える
	復習	授業を振り返り、技術や知識の定着を図ること
2	予習	授業の内容に合わせた準備をする
	学習内容	子どものための音楽表現について研究 題材について
	復習	授業内容の振り返りと次回の授業の準備をする
3	予習	授業の内容に合わせた準備をする
	学習内容	子どものための音楽表現研究 役割について
	復習	授業で出た課題をまとめる
4	予習	授業の内容に合わせた準備をする
	学習内容	子どものための音楽表現研究 ①ストーリー編成
	復習	授業で出た課題をまとめる
5	予習	授業の内容に合わせた準備をする
	学習内容	子どものための音楽表現研究 ②ストーリー編成
	復習	授業で出た課題をまとめる
6	予習	授業の内容に合わせた準備をする
	学習内容	子どものための音楽表現研究 ③ストーリー編成
	復習	授業で出た課題をまとめる
7	予習	各自練習する
	学習内容	子どものための音楽表現研究 ①実践練習 パート毎の練習
	復習	次回の準備をする
8	予習	各自練習する
	学習内容	子どものための音楽表現研究 ②実践練習 パート毎の練習
	復習	次回の準備をする
9	予習	各自練習する
	学習内容	子どものための音楽表現研究 ③実践練習 パート毎の練習
	復習	各自練習する
10	予習	次回の準備をする
	学習内容	子どものための音楽表現研究 ④実践練習 パート毎の練習
	復習	各自練習する
11	予習	次回の準備をする
	学習内容	子どものための音楽表現研究 ⑤実践練習 パート毎の練習
	復習	各自練習する
12	予習	次回の準備をする
	学習内容	子どものための音楽表現研究 ⑥実践練習 パート毎の練習
	復習	各自練習する
13	予習	次回の準備をする
	学習内容	子どものための音楽表現研究 ⑦実践練習 パート毎の練習
	復習	各自練習する
14	予習	全体練習のための準備をする
	学習内容	子どものための音楽表現研究 ①実践練習 全体練習
	復習	問題点の改善に取り組む
15	予習	全体練習のための準備をする
	学習内容	子どものための音楽表現研究 ②実践練習 全体練習
	復習	問題点の改善に取り組む

授 業 計 画

回	授 業 概 要	
16	予習	全体練習のための準備をする
	学習内容	子どものための音楽表現研究 ③実践練習 全体練習
	復習	問題点の改善に取り組む
17	予習	全体練習のための準備をする
	学習内容	子どものための音楽表現研究 ④実践練習 全体練習
	復習	問題点の改善に取り組む
18	予習	全体練習のための準備をする
	学習内容	子どものための音楽表現研究 ⑤実践練習 全体練習
	復習	問題点の改善に取り組む
19	予習	全体練習のための準備をする
	学習内容	子どものための音楽表現研究 ⑥実践練習 全体練習
	復習	問題点の改善に取り組む
20	予習	全体練習のための準備をする
	学習内容	子どものための音楽表現研究 ⑦実践練習 全体練習
	復習	問題点の改善に取り組む
21	予習	全体練習のための準備をする
	学習内容	子どものための音楽表現研究 ⑧実践練習 全体練習
	復習	問題点の改善に取り組む
22	予習	全体練習のための準備をする
	学習内容	子どものための音楽表現研究 ⑨実践練習 全体練習
	復習	問題点の改善に取り組む
23	予習	全体練習のための準備をする
	学習内容	子どものための音楽表現研究 ⑩実践練習 全体練習
	復習	問題点の改善に取り組む
24	予習	各自練習をする
	学習内容	公演練習①
	復習	問題点の改善に取り組む
25	予習	各自練習をする
	学習内容	公演練習②
	復習	問題点の改善に取り組む
26	予習	各自練習をする
	学習内容	公演練習③
	復習	問題点の改善に取り組む
27	予習	各自練習をする
	学習内容	公演練習④
	復習	問題点の改善に取り組む
28	予習	各自練習をする
	学習内容	公演練習⑤
	復習	問題点の改善に取り組む
29	予習	各自練習をする
	学習内容	技術の実践発表
	復習	実践発表の振り返りしておく
30	予習	実践発表の振り返りしておく
	学習内容	まとめ
	復習	

科目区分	専門教育科目	科目分類	専門科目(内容・方法)	科目番号	NT322B2		
授業科目	保育技術研究Ⅱ			担当教員	小林 柚実子		
履修年次	開講時期	単位数	時間	授業形態	卒業要件	幼2種免	保育士
1年	通年	2	60	演習	選択	—	選択必修

(授業の目的)

子どものあそびには、子どもの成長や発達にとって大きな役割を果たす体験が多く含まれている。保育者には、そうした子どもの成長や発達段階を捉え、具体的な計画のもとにその更なる成長・発達を促す保育活動を展開する「保育技術」が求められる。「保育技術研究」では、自発的かつ科目横断的な学習能力を習得し、これまでに学んだ知識を基に教材研究、実践的活動を行い、保育活動を展開するために必要な知識・技術を習得することを目的とする。

(授業の概要)

「読む」「話す」ことを主とした手法により、子どもの発達段階に応じた遊びを促進し、乳幼児の成長を楽しみながら促すことのできるようさまざまな計画を考案し、実践する。またその成果は「発表(公演)」により完成を目指す。「読む」「話す」に加えて身体表現や、音楽を演出に加えた表現も交え、言葉を立体的に駆使した表現技術を養うよう学習、練習をすすめていく。

(授業の到達目標)

- ・乳幼児向けの文化財への理解を深める。
- ・子どもの発達段階に応じ、成長を促すことに配慮した「お話ライブ」の計画を作り、実践する。
- ・効果的に伝えるための技術(話術・演出・表現力)を習得する。

ディプロマ・ポリシー	卒業認定・学位授与
(1) 社会人として必要な教養とマナーを身につけていること。	○
(2) 幼児教育に関する専門的知識と保育技術を身につけていること。	○
(3) 保育の課題を積極的に探究していこうとする意欲を持っていること。	○

(学習成果との関連)

(1) 知識 25%	(2) 技能 25%	計100%
(3) 態度 25%	(4) 実践力 25%	

【評価方法】

授業・発表への取り組み 60% 課題に対する達成度 40% 計100%

【自己学習(予習・復習等)】

「授業計画」参照(合計60時間分)

【課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法】

課題は添削のうえ返却する。発表作品は相互批評をふまえて確認する。

【使用テキスト】

授業にて随時配布する。

【参考図書】

なし

【学生へのメッセージ】

最近、幼児教育の重要性に多くの研究者の注目が集まってきている中、保育者の質の高さを確保することへの配慮も求められてきています。楽しく遊びながらすべての子どもの成長を支えるというのは、簡単なようで難しい、高い技術を要します。そうした技術の習得と、その前提となる正しい知識、深い理解とともに学び合い、充実した研究活動ができるよう、がんばりましょう。

授 業 計 画

回	授 業 概 要	
1	予習	シラバスを理解し、保育技術研究に関する主体的な取り組みについて考えておく。
	学習内容	ガイダンス(授業概要の説明)
	復習	ガイダンス内容をふまえ、各自の取り組みについて方向性を確認する。
2	予習	シラバスを活用し、関連する授業内容を復習しつつ、研究に関する主体的な準備を行う。
	学習内容	乳幼児の発達段階と、その成長を促す遊びについて
	復習	授業を振り返り、知識や技術の定着をはかる。
3	予習	前時に配布した予習資料を読み、内容を理解する。
	学習内容	乳幼児の発達を促す遊びのための道具、手法について
	復習	授業を振り返り、知識や技術の定着をはかる。
4	予習	前時に配布した予習資料を読み、内容を理解する。
	学習内容	乳幼児の言葉を育む文化財(とくに絵本、紙芝居等)
	復習	授業を振り返り、知識や技術の定着をはかる。
5	予習	前時に配布した予習資料を読み、内容を理解する。
	学習内容	日本語の特性と、特性に配慮した表現方法
	復習	授業を振り返り、知識や技術の定着をはかる。
6	予習	前時に配布した予習資料を読み、内容を理解する。
	学習内容	表現技術の基本的な練習(発声・話し方・言葉の選び方等)
	復習	授業を振り返り、知識や技術の定着をはかる。
7	予習	前時に配布した予習資料を読み、内容を理解する。
	学習内容	「詩」や「物語」の朗読を通じた表現技術の習得①
	復習	授業を振り返り、知識や技術の定着をはかる。
8	予習	前時に配布した予習資料を読み、内容を理解する。
	学習内容	「詩」や「物語」の朗読を通じた表現技術の習得②
	復習	授業を振り返り、知識や技術の定着をはかる。
9	予習	前時に配布した予習資料を読み、内容を理解する。
	学習内容	「歌」「身体表現」を通じた表現技術の習得①
	復習	授業を振り返り、知識や技術の定着をはかる。
10	予習	前時に配布した予習資料を読み、内容を理解する。
	学習内容	「歌」「身体表現」を通じた表現技術の習得②
	復習	授業を振り返り、知識や技術の定着をはかる。
11	予習	前時に配布した予習資料を読み、内容を理解する。
	学習内容	「絵本」の効果的な表現技術
	復習	授業を振り返り、知識や技術の定着をはかる。
12	予習	前時に配布した予習資料を読み、内容を理解する。
	学習内容	「紙芝居」の効果的な表現技術
	復習	授業を振り返り、知識や技術の定着をはかる。
13	予習	発表練習に向けて準備する。
	学習内容	個人、またはグループでの作品発表のための練習①
	復習	授業を振り返り、技術や知識の定着をはかる。
14	予習	発表に向けて各自でリハーサルを行う。
	学習内容	成果発表会
	復習	発表内容に関する課題を確認し、修正点を明確にする。
15	予習	討議に向けて各自意見をまとめておく。
	学習内容	発表会に関する討議、前期の振り返りとまとめ
	復習	前期授業内容を確認し、後期授業に向けて準備する。

授 業 計 画

回	授 業 概 要	
16	予習	前期授業内容の復習
	学習内容	「おはなし会」の計画の作り方
	復習	各自、計画を作成する。
17	予習	前時に配布した予習資料を読み、内容を理解する。
	学習内容	「おはなし会」のテーマ、題材選びについて
	復習	各自、テーマへや題材への理解を深める
18	予習	前時に配布した予習資料を読み、内容を理解する。
	学習内容	「おはなし会」の演出方法について
	復習	授業内容をふまえ、演出方法の工夫について考える。
19	予習	前時に配布した予習資料を読み、内容を理解する。
	学習内容	「おはなし会」の役割、グループ別練習①
	復習	各自の役割を理解し、必要な準備を行う。
20	予習	練習に向けた工夫を考え、効果的に練習が行えるように準備する。
	学習内容	「おはなし会」の役割、グループ別練習②
	復習	授業を振り返り、技術や知識の定着をはかる。
21	予習	練習に向けた工夫を考え、効果的に練習が行えるように準備する。
	学習内容	「おはなし会」の役割、グループ別練習③
	復習	授業を振り返り、技術や知識の定着をはかる。
22	予習	前時に配布した予習資料を読み、内容を理解する。
	学習内容	「おはなし会」に向けた進行状況、課題点等の確認と、課題解決に向けた話し合い
	復習	必要に応じてグループごとに話し合い、課題に取り組む。
23	予習	前時に配布した予習資料を読み、内容を理解する。
	学習内容	「おはなし会」の役割、グループ別練習④
	復習	必要に応じてグループごとに話し合い、課題に取り組む。
24	予習	前時に配布した予習資料を読み、内容を理解する。
	学習内容	「おはなし会」の役割、グループ別練習⑤
	復習	必要に応じてグループごとに話し合い、課題に取り組む。
25	予習	前時に配布した予習資料を読み、内容を理解する。
	学習内容	「おはなし会」の役割、グループ別練習⑥
	復習	必要に応じてグループごとに話し合い、課題に取り組む。
26	予習	前時に配布した予習資料を読み、内容を理解する。
	学習内容	「おはなし会」のプログラムの決定
	復習	必要に応じてグループごとに話し合い、課題に取り組む。
27	予習	前時に配布した予習資料を読み、内容を理解する。
	学習内容	「おはなし会」のプログラム内容の総確認
	復習	必要に応じてグループごとに話し合い、課題に取り組む。
28	予習	リハーサルに向けて各自取り組む。
	学習内容	「おはなし会」のリハーサル
	復習	各自、またはグループごとに課題に取り組む。
29	予習	発表に向けた練習と確認
	学習内容	成果発表(「おはなしライブ」の開催)
	復習	発表を振り返り、課題を確認する。
30	予習	課題に関して討議ができるよう、各自意見をまとめる。
	学習内容	発表の分析、課題の確認、まとめ
	復習	一年間を振り返り、習得できた技術や知識に関して再確認する。

科目区分	専門教育科目	科目分類	専門科目(内容・方法)	科目番号	NT323B2		
授業科目	基礎技能(器楽) I			担当教員	田川 智美・関口 和子 青木 陽香・藤巻 都		
履修年次	開講時期	単位数	時間	授業形態	卒業要件	幼2種免	保育士
1年	前期	1	30	演習	選択	—	選択必修
(授業の目的)							
保育実践において必要なピアノ演奏の基礎的・基本的な技能を習得させ、自らが演奏する喜びや楽しさを体験するとともに、幼児のリトミックや伴奏などの音楽活動を活発に展開するための技能を身に付ける。							
(授業の概要)							
バイエル教則本から演習を始めることにより、ピアノ演奏の基礎的・基本的な演奏技能を習得させる。この演習を通して、音楽に関する基礎的知識を理解することは勿論、音楽的感性を高め、将来保育者として最も必要な幼児の豊かな音楽活動を活発にするための楽器演奏の基礎的スキルを身に付けさせる。演習は、それぞれの学習者の進度に合わせて展開する。							
(授業の到達目標)							
<ul style="list-style-type: none"> ・読譜力や演奏技術を習得する ・保育実践に必要な伴奏をマスターすることを目標とする ・より高度の技術を身に付けさせるため個々にあう教材で展開する 							
(卒業認定・学位授与の方針との関連)							
ディプロマ・ポリシー				卒業認定・学位授与			
(1) 社会人として必要な教養とマナーを身につけていること。							
(2) 幼児教育に関する専門的知識と保育技術を身につけていること。				○			
(3) 保育の課題を積極的に探究していこうとする意欲を持っていること。				○			
(学習成果との関連)							
(1) 知識 15%		(2) 技能 35%		計100%			
(3) 態度 15%		(4) 実践力 35%					
【評価方法】							
授業への取り組み:60% 実技試験:40% 計100%							
【自己学習(予習・復習等)】							
「授業計画」参照(合計15時間分)							
【課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法】							
個々のレッスン時に指導、コメントする							
【使用テキスト】							
「バイエル教則本」全音、「こどもの歌ベストテン」ドレミ楽譜、その他(進度に応じて担当教員より指示)							
【参考図書】							
個々の進度に応じ担当教員より紹介							
【学生へのメッセージ】							
上達するために練習を欠かさないこと。繰り返し練習により、より高度の技術をつけること。							

授 業 計 画

回	授 業 概 要	
1	予習	
	学習内容	音楽歴調査によるクラス分け 担当教員によるオリエンテーション
	復習	課題を練習しておく
2	予習	課題を練習しておく
	学習内容	グレード別の指導、次回の課題の練習方法について①
	復習	課題を練習しておく
3	予習	課題を練習しておく
	学習内容	グレード別の指導、次回の課題の練習方法について②
	復習	課題を練習しておく
4	予習	課題を練習しておく
	学習内容	グレード別の指導、次回の課題の練習方法について③
	復習	課題を練習しておく
5	予習	課題を練習しておく
	学習内容	グレード別の指導、次回の課題の練習方法について④
	復習	課題を練習しておく
6	予習	課題を練習しておく
	学習内容	グレード別の指導、次回の課題の練習方法について⑤
	復習	課題を練習しておく
7	予習	課題を練習しておく
	学習内容	グレード別の指導、次回の課題の練習方法について⑥
	復習	課題を練習しておく
8	予習	課題を練習しておく
	学習内容	グレード別の指導、次回の課題の練習方法について⑦
	復習	課題を練習しておく
9	予習	課題を練習しておく
	学習内容	グレード別の指導、次回の課題の練習方法について⑧
	復習	課題を練習しておく
10	予習	課題を練習しておく
	学習内容	グレード別の指導、次回の課題の練習方法について⑨
	復習	課題を練習しておく
11	予習	課題を練習しておく
	学習内容	グレード別の指導、次回の課題の練習方法について⑩
	復習	課題を練習しておく
12	予習	課題を練習しておく
	学習内容	グレード別の指導、次回の課題の練習方法について⑪
	復習	課題を練習しておく
13	予習	課題を練習しておく
	学習内容	グレード別の指導、次回の課題の練習方法について⑫
	復習	課題を練習しておく
14	予習	課題を練習しておく
	学習内容	試験曲の個人指導まとめ①
	復習	課題を練習しておく
15	予習	課題を練習しておく
	学習内容	試験曲の個人指導まとめ②
	復習	課題を練習しておく

科目区分	専門教育科目	科目分類	専門科目(内容・方法)	科目番号	NT324B2		
授業科目	基礎技能(器楽)Ⅱ			担当教員	田川 智美・関口 和子 青木 陽香・藤巻 都		
履修年次	開講時期	単位数	時間	授業形態	卒業要件	幼2種免	保育士
1年	後期	1	30	演習	選択	—	選択必修
(授業の目的) 保育実践において必要なピアノ演奏の基礎的・基本的な技能を習得させ、自らが演奏する喜びや楽しさを体験するとともに、幼児のリトミックや伴奏などの音楽活動を活発に展開するための技能を身に付ける。							
(授業の概要) バイエル教則本から演習を始めることにより、ピアノ演奏の基礎的・基本的な演奏技能を習得させる。この演習を通して、音楽に関する基礎的知識を理解することは勿論、音楽的感性を高め、将来保育者として最も必要な幼児の豊かな音楽活動を活発にするための楽器演奏の基礎的スキルを身に付けさせる。演習は、それぞれの学習者の進度に合わせて展開する。							
(授業の到達目標) ・読譜力や演奏技術を習得する ・保育実践に必要な伴奏をマスターすることを目標とする ・より高度の技術を身に付けさせるため個々にあう教材で展開する							
(卒業認定・学位授与の方針との関連)							
ディプロマ・ポリシー				卒業認定・学位授与			
(1) 社会人として必要な教養とマナーを身につけていること。							
(2) 幼児教育に関する専門的知識と保育技術を身につけていること。				○			
(3) 保育の課題を積極的に探究していこうとする意欲を持っていること。				○			
(学習成果との関連)							
(1) 知識 15 %		(2) 技能 35 %		計100%			
(3) 態度 15 %		(4) 実践力 35%					
【評価方法】 授業への取り組み:60% 実技試験:40% 計100%							
【自己学習(予習・復習等)】 「授業計画」参照(合計15時間分)							
【課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法】 個々のレッスン時に指導、コメントする							
【使用テキスト】 「バイエル教則本」全音、「こどもの歌ベストテン」ドレミ楽譜、その他(進度に応じて担当教員より指示)							
【参考図書】 個々の進度に応じ担当教員より紹介							
【学生へのメッセージ】 上達するために練習を欠かさないこと。繰り返し練習により、より高度の技術をつけること。							

授 業 計 画

回	授 業 概 要	
1	予習	
	学習内容	音楽歴調査によるクラス分け 担当教員によるオリエンテーション
	復習	課題を練習しておく
2	予習	課題を練習しておく
	学習内容	グレード別の指導、次回の課題の練習方法について①
	復習	課題を練習しておく
3	予習	課題を練習しておく
	学習内容	グレード別の指導、次回の課題の練習方法について②
	復習	課題を練習しておく
4	予習	課題を練習しておく
	学習内容	グレード別の指導、次回の課題の練習方法について③
	復習	課題を練習しておく
5	予習	課題を練習しておく
	学習内容	グレード別の指導、次回の課題の練習方法について④
	復習	課題を練習しておく
6	予習	課題を練習しておく
	学習内容	グレード別の指導、次回の課題の練習方法について⑤
	復習	課題を練習しておく
7	予習	課題を練習しておく
	学習内容	グレード別の指導、次回の課題の練習方法について⑥
	復習	課題を練習しておく
8	予習	課題を練習しておく
	学習内容	グレード別の指導、次回の課題の練習方法について⑦
	復習	課題を練習しておく
9	予習	課題を練習しておく
	学習内容	グレード別の指導、次回の課題の練習方法について⑧
	復習	課題を練習しておく
10	予習	課題を練習しておく
	学習内容	グレード別の指導、次回の課題の練習方法について⑨
	復習	課題を練習しておく
11	予習	課題を練習しておく
	学習内容	グレード別の指導、次回の課題の練習方法について⑩
	復習	課題を練習しておく
12	予習	課題を練習しておく
	学習内容	グレード別の指導、次回の課題の練習方法について⑪
	復習	課題を練習しておく
13	予習	課題を練習しておく
	学習内容	グレード別の指導、次回の課題の練習方法について⑫
	復習	課題を練習しておく
14	予習	課題を練習しておく
	学習内容	試験曲の個人指導まとめ①
	復習	課題を練習しておく
15	予習	課題を練習しておく
	学習内容	試験曲の個人指導まとめ②
	復習	課題を練習しておく

科目区分	専門教育科目	科目分類	専門科目(内容・方法)	科目番号	NT325B2		
授業科目	基礎技能(器楽)Ⅲ			担当教員	田川 智美・関口 和子 青木 陽香		
履修年次	開講時期	単位数	時間	授業形態	卒業要件	幼2種免	保育士
2年	前期	1	30	演習	選択	—	選択必修
(授業の目的) 保育実践において必要なピアノ演奏の基礎的・基本的な技能を習得させ、自らが演奏する喜びや楽しさを体験するとともに、幼児のリトミックや伴奏などの音楽活動を活発に展開するための技能を身に付ける。							
(授業の概要) バイエル教則本から演習を始めることにより、ピアノ演奏の基礎的・基本的な演奏技能を習得させる。この演習を通して、音楽に関する基礎的知識を理解することは勿論、音楽的感性を高め、将来保育者として最も必要な幼児の豊かな音楽活動を活発にするための楽器演奏の基礎的スキルを身に付けさせる。演習は、それぞれの学習者の進度に合わせて展開する。							
(授業の到達目標) ・読譜力や演奏技術を習得する ・保育実践に必要な伴奏をマスターすることを目標とする ・より高度の技術を身に付けさせるため個々にあう教材で展開する							
(卒業認定・学位授与の方針との関連)							
ディプロマ・ポリシー				卒業認定・学位授与			
(1) 社会人として必要な教養とマナーを身につけていること。							
(2) 幼児教育に関する専門的知識と保育技術を身につけていること。				○			
(3) 保育の課題を積極的に探究していこうとする意欲を持っていること。				○			
(学習成果との関連)							
(1) 知識 15 %		(2) 技能 35 %		計100%			
(3) 態度 15 %		(4) 実践力 35 %					
【評価方法】 授業への取り組み:60% 実技試験:40% 計100%							
【自己学習(予習・復習等)】 「授業計画」参照(合計15時間分)							
【課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法】 個々のレッスン時に指導、コメントする							
【使用テキスト】 「バイエル教則本」全音、「こどもの歌ベストテン」ドレミ楽譜、その他(進度に応じて担当教員より指示)							
【参考図書】 個々の進度に応じ担当教員より紹介							
【学生へのメッセージ】 上達するために練習を欠かさないこと。繰り返し練習により、より高度の技術をつけること。							

授 業 計 画

回	授 業 概 要	
1	予習	
	学習内容	音楽歴調査によるクラス分け 担当教員によるオリエンテーション
	復習	課題を練習しておく
2	予習	課題を練習しておく
	学習内容	グレード別の指導、次回の課題の練習方法について①
	復習	課題を練習しておく
3	予習	課題を練習しておく
	学習内容	グレード別の指導、次回の課題の練習方法について②
	復習	課題を練習しておく
4	予習	課題を練習しておく
	学習内容	グレード別の指導、次回の課題の練習方法について③
	復習	課題を練習しておく
5	予習	課題を練習しておく
	学習内容	グレード別の指導、次回の課題の練習方法について④
	復習	課題を練習しておく
6	予習	課題を練習しておく
	学習内容	グレード別の指導、次回の課題の練習方法について⑤
	復習	課題を練習しておく
7	予習	課題を練習しておく
	学習内容	グレード別の指導、次回の課題の練習方法について⑥
	復習	課題を練習しておく
8	予習	課題を練習しておく
	学習内容	グレード別の指導、次回の課題の練習方法について⑦
	復習	課題を練習しておく
9	予習	課題を練習しておく
	学習内容	グレード別の指導、次回の課題の練習方法について⑧
	復習	課題を練習しておく
10	予習	課題を練習しておく
	学習内容	グレード別の指導、次回の課題の練習方法について⑨
	復習	課題を練習しておく
11	予習	課題を練習しておく
	学習内容	グレード別の指導、次回の課題の練習方法について⑩
	復習	課題を練習しておく
12	予習	課題を練習しておく
	学習内容	グレード別の指導、次回の課題の練習方法について⑪
	復習	課題を練習しておく
13	予習	課題を練習しておく
	学習内容	グレード別の指導、次回の課題の練習方法について⑫
	復習	課題を練習しておく
14	予習	課題を練習しておく
	学習内容	試験曲の個人指導まとめ①
	復習	課題を練習しておく
15	予習	課題を練習しておく
	学習内容	試験曲の個人指導まとめ②
	復習	課題を練習しておく

科目区分	専門教育科目	科目分類	専門科目(内容・方法)	科目番号	NT326B2		
授業科目	基礎技能(器楽)Ⅳ			担当教員	田川 智美・関口 和子 青木 陽香		
履修年次	開講時期	単位数	時間	授業形態	卒業要件	幼2種免	保育士
2年	後期	1	30	演習	選択	—	選択必修
(授業の目的) 保育実践において必要なピアノ演奏の基礎的・基本的な技能を習得させ、自らが演奏する喜びや楽しさを体験するとともに、幼児のリトミックや伴奏などの音楽活動を活発に展開するための技能を身に付ける。							
(授業の概要) バイエル教則本から演習を始めることにより、ピアノ演奏の基礎的・基本的な演奏技能を習得させる。この演習を通して、音楽に関する基礎的知識を理解することは勿論、音楽的感性を高め、将来保育者として最も必要な幼児の豊かな音楽活動を活発にするための楽器演奏の基礎的スキルを身に付けさせる。演習は、それぞれの学習者の進度に合わせて展開する。							
(授業の到達目標) ・読譜力や演奏技術を習得する ・保育実践に必要な伴奏をマスターすることを目標とする ・より高度の技術を身に付けさせるため個々にあう教材で展開する							
(卒業認定・学位授与の方針との関連)							
ディプロマ・ポリシー				卒業認定・学位授与			
(1) 社会人として必要な教養とマナーを身につけていること。							
(2) 幼児教育に関する専門的知識と保育技術を身につけていること。				○			
(3) 保育の課題を積極的に探究していこうとする意欲を持っていること。				○			
(学習成果との関連)							
(1) 知識 15 %		(2) 技能 35 %		計100%			
(3) 態度 15 %		(4) 実践力 35 %					
【評価方法】 授業への取り組み:60% 実技試験:40% 計100%							
【自己学習(予習・復習等)】 「授業計画」参照(合計15時間分)							
【課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法】 個々のレッスン時に指導、コメントする							
【使用テキスト】 「バイエル教則本」全音、「こどもの歌ベストテン」ドレミ楽譜、その他(進度に応じて担当教員より指示)							
【参考図書】 個々の進度に応じ担当教員より紹介							
【学生へのメッセージ】 上達するために練習を欠かさないこと。繰り返し練習により、より高度の技術をつけること。							

授 業 計 画

回	授 業 概 要	
1	予習	
	学習内容	音楽歴調査によるクラス分け 担当教員によるオリエンテーション
	復習	課題を練習しておく
2	予習	課題を練習しておく
	学習内容	グレード別の指導、次回の課題の練習方法について①
	復習	課題を練習しておく
3	予習	課題を練習しておく
	学習内容	グレード別の指導、次回の課題の練習方法について②
	復習	課題を練習しておく
4	予習	課題を練習しておく
	学習内容	グレード別の指導、次回の課題の練習方法について③
	復習	課題を練習しておく
5	予習	課題を練習しておく
	学習内容	グレード別の指導、次回の課題の練習方法について④
	復習	課題を練習しておく
6	予習	課題を練習しておく
	学習内容	グレード別の指導、次回の課題の練習方法について⑤
	復習	課題を練習しておく
7	予習	課題を練習しておく
	学習内容	グレード別の指導、次回の課題の練習方法について⑥
	復習	課題を練習しておく
8	予習	課題を練習しておく
	学習内容	グレード別の指導、次回の課題の練習方法について⑦
	復習	課題を練習しておく
9	予習	課題を練習しておく
	学習内容	グレード別の指導、次回の課題の練習方法について⑧
	復習	課題を練習しておく
10	予習	課題を練習しておく
	学習内容	グレード別の指導、次回の課題の練習方法について⑨
	復習	課題を練習しておく
11	予習	課題を練習しておく
	学習内容	グレード別の指導、次回の課題の練習方法について⑩
	復習	課題を練習しておく
12	予習	課題を練習しておく
	学習内容	グレード別の指導、次回の課題の練習方法について⑪
	復習	課題を練習しておく
13	予習	課題を練習しておく
	学習内容	グレード別の指導、次回の課題の練習方法について⑫
	復習	課題を練習しておく
14	予習	課題を練習しておく
	学習内容	試験曲の個人指導まとめ①
	復習	課題を練習しておく
15	予習	課題を練習しておく
	学習内容	試験曲の個人指導まとめ②
	復習	課題を練習しておく

科目区分	専門教育科目	科目分類	専門科目(内容・方法)	科目番号	OT327B2		
授業科目	子育て支援実践演習			担当教員	未定		
履修年次	開講時期	単位数	時間	授業形態	卒業要件	幼2種免	保育士
2年	集中	1	30	演習	選択	—	—
(授業の目的) 子育て支援に関する現代的な課題について、プロジェクトを組みながら保育現場の運営という視点から考察することを通して、子育て支援について学びを深める。							
(授業の概要) 保育現場において、子育て支援の運営面での心構えや効果的な方法について、プロジェクトを組んで、実際の地域の子ども課や子育て支援施設を見学・参加しながら、そのシーズとニーズを整理し、自分たちで考えられる改善策を探る。							
(授業の到達目標) ・保育現場でのさまざまな課題について考察する ・各施設のこれからの役割や運営方法について話し合う							
(卒業認定・学位授与の方針との関連)							
ディプロマ・ポリシー				卒業認定・学位授与			
(1) 社会人として必要な教養とマナーを身につけていること。							
(2) 幼児教育に関する専門的知識と保育技術を身につけていること。							
(3) 保育の課題を積極的に探究していこうとする意欲を持っていること。				○			
(学習成果との関連)							
(1) 知識 30 %		(2) 技能 30 %		計100%			
(3) 態度 20 %		(4) 実践力 20 %					
【評価方法】 課題・発表(反省点や展開の工夫、実践発表):50% 学習マナー(練習):50% 計100%							
【自己学習(予習・復習等)】 「授業計画」参照(合計15時間分)							
【課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法】 確認後、各自に返却する予定である。							
【使用テキスト】 必要に応じて資料を提示、配布							
【参考図書】 「…育つ・つながる…子育て支援 具体的な技術・態度を身につける32のリスト」 子育て支援コンピテンシー研究会／編著 チャイルド本社							
【学生へのメッセージ】 子育て支援の運営に関心があり、積極的にかかわろうとする姿勢を求めます。なお、子育て支援施設の見学を実施する予定ですので、参加できる学生を求めます。							

授 業 計 画

回	授 業 概 要	
1	予習	見学先の施設についてWEB等で調べておく
	学習内容	オリエンテーション
	復習	毎時間後に授業の成果についてミニレポートを提出する
2	予習	見学先の施設についてWEB等で調べておく
	学習内容	子育て支援施設の現状と役割
	復習	毎時間後に授業の成果についてミニレポートを提出する
3	予習	見学先の施設についてWEB等で調べておく
	学習内容	園組織論・園経営論
	復習	毎時間後に授業の成果についてミニレポートを提出する
4	予習	見学先の施設についてWEB等で調べておく
	学習内容	行政サービスの現状と課題
	復習	毎時間後に授業の成果についてミニレポートを提出する
5	予習	見学先の施設についてWEB等で調べておく
	学習内容	プロジェクト1(実態把握①:地域の子ども課)
	復習	毎時間後に授業の成果についてミニレポートを提出する
6	予習	見学先の施設についてWEB等で調べておく
	学習内容	プロジェクト1(実態把握②:子育て支援センター他)
	復習	毎時間後に授業の成果についてミニレポートを提出する
7	予習	見学先の施設についてWEB等で調べておく
	学習内容	プロジェクト1(ニーズ調査:子育て支援者と保護者)
	復習	毎時間後に授業の成果についてミニレポートを提出する
8	予習	見学先の施設についてWEB等で調べておく
	学習内容	グループディスカッション①
	復習	毎時間後に授業の成果についてミニレポートを提出する
9	予習	見学先の施設についてWEB等で調べておく
	学習内容	プロジェクト2(実態把握①:地域の子ども課)
	復習	毎時間後に授業の成果についてミニレポートを提出する
10	予習	見学先の施設についてWEB等で調べておく
	学習内容	プロジェクト2(実態把握②:子育て支援センター他)
	復習	毎時間後に授業の成果についてミニレポートを提出する
11	予習	見学先の施設についてWEB等で調べておく
	学習内容	プロジェクト2(ニーズ調査:子育て支援者と保護者)
	復習	毎時間後に授業の成果についてミニレポートを提出する
12	予習	見学先の施設についてWEB等で調べておく
	学習内容	グループディスカッション②
	復習	毎時間後に授業の成果についてミニレポートを提出する
13	予習	見学先の施設についてWEB等で調べておく
	学習内容	グループディスカッション③
	復習	毎時間後に授業の成果についてミニレポートを提出する
14	予習	見学先の施設についてWEB等で調べておく
	学習内容	発表準備
	復習	毎時間後に授業の成果についてミニレポートを提出する
15	予習	見学先の施設についてWEB等で調べておく
	学習内容	発表・まとめ
	復習	毎時間後に授業の成果についてミニレポートを提出する

科目区分	専門教育科目	科目分類	専門科目(実習・他)	科目番号	NT401D2		
授業科目	保育実習 I (保育所)			担当教員	井上・橘田 清水・三井・吉田		
履修年次	開講時期	単位数	時間	授業形態	卒業要件	幼2種免	保育士
1年	集中	2	80	実習	選択	—	必修
(授業の目的)							
<p>保育所の現場でその機能や生活、保育士の役割等について実際の体験を通して学習し、保育士とし学びを深めることを目的とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 施設の概要を把握する 2. 乳幼児と接して発達の特性を知る 3. 子どもの遊びを観察する 4. 担当保育士の指導を受け、デイリープログラムの一部に参加する 5. 安全、疾病予防対策等に対する配慮、処置を学ぶ 							
(授業の概要)							
<p>保育所の現場でその機能や生活、保育士の役割について実際の体験を通して学習し、将来の保育士としての活動の源泉とする。(本実習は、実習現場の職員の指導に基づき行われる。)</p>							
(授業の到達目標)							
<p>保育実習 I (保育所)においては以下の①～⑥についての目標を達成する。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①保育所保育指針や、施設の方針・特色を理解して実習に取り組む ②施設での一日の流れを理解する ③子どもの発達段階を理解して子どもに対応する ④子どもの健康・安全に配慮する ⑤保育技術(手遊び、読み聞かせ、ピアノ等)を積極的に披露する ⑥実習日誌を適切に記述・提出する 							
(卒業認定・学位授与の方針との関連)							
ディプロマ・ポリシー				卒業認定・学位授与			
(1) 社会人として必要な教養とマナーを身につけていること。				○			
(2) 幼児教育に関する専門的知識と保育技術を身につけていること。				○			
(3) 保育の課題を積極的に探究していこうとする意欲を持っていること。				○			
(学習成果との関連)							
(1) 知識 20 %		(2) 技能 20 %		計100%			
(3) 態度 30 %		(4) 実践力 30 %					
【評価方法】							
実習先からの評価票に基づき、各実習指導の成績等を総合的に評価して可否の判定を行う。							
【自己学習(予習・復習等)】							
「授業計画」参照(合計10時間分)							
【課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法】							
各自実習到達目標を設定し、実習終了後、評価を教員とともに面談を通してフィードバックしていく。							
【使用テキスト】							
「学生生活ハンドブック」							
【参考図書】							
<p>「幼稚園・保育所実習 実習日誌の書き方」相馬和子・中田カヨ子編 「保育所保育指針・幼稚園教育要領 解説とポイント」ミネルヴァ書房編集部 「施設実習の常識」教育・保育実習を考える会 編 蒼丘書林</p>							
【学生へのメッセージ】							
実習での学びは、とても重要です。学内での学習をもとに、実習では、目的を持った積極的な行動を心がけましょう。							

授 業 計 画

回	授 業 概 要
1	具体的な実習課題を設定し、達成のために必要な知識・技術の習得に努める
	学外実習(1年次10月の2日間・1月～2月の8日間)。実習現場で、実務を行う職員から直接指導を受ける。
	日誌の記録などから実践を振り返る
5	
45	

科目区分	専門教育科目	科目分類	専門科目(実習・他)	科目番号	NT403B2		
授業科目	保育実習指導 I (保育所)			担当教員	井上 聖子 橋田 重男		
履修年次	開講時期	単位数	時間	授業形態	卒業要件	幼2種免	保育士
1年	通年	1	30	演習	選択	—	必修
(授業の目的)							
<p>①これまで学んだ講義の内容を活かして、実習の場において総合的な実践が行える力を養う</p> <p>②実習の心構えや実習を円滑に行うための事前指導により、実習に対する不安を軽減し、実習の目標を明確にする</p> <p>③実習での実践を通し、保育士として必要な資質、能力、技術、倫理観等を習得する</p>							
(授業の概要)							
<p>保育実習の意義・目的を理解したうえで、実習における自らの課題を明確にする。また、実習施設における職業倫理について学び、具体的な実習の計画、実践、観察、記録、評価の流れを理解する。さらに、事後指導を通して、実習を振り返り、新たな課題や目標を明確にする。</p>							
(授業の到達目標)							
<p>次の項目について、理論と実践から習得する。</p> <p>1. 実習施設の役割、機能</p> <p>2. 保育士の職務(保育指導計画と保育技術等)、倫理観</p> <p>3. 子どもの理解、援助</p>							
(卒業認定・学位授与の方針との関連)							
ディプロマ・ポリシー				卒業認定・学位授与			
(1) 社会人として必要な教養とマナーを身につけていること。							
(2) 幼児教育に関する専門的知識と保育技術を身につけていること。				○			
(3) 保育の課題を積極的に探究していこうとする意欲を持っていること。				○			
(学習成果との関連)							
(1) 知識 20%		(2) 技能 30%		計100%			
(3) 態度 20%		(4) 実践力 30%					
【評価方法】							
実習先からの評価票に基づき、各実習指導の成績等を総合的に評価して可否の判定を行う。							
【自己学習(予習・復習等)】							
「授業計画」参照(合計15時間分)							
【課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法】							
課題は、添削のうえ返却をする。							
【使用テキスト】							
なし							
【参考図書】							
<p>「幼稚園・保育所実習 実習日誌の書き方」相馬和子・中田カヨ子編</p> <p>「施設実習の常識」教育・保育実習を考える会 編 蒼丘書林</p> <p>「保育所保育指針・幼稚園教育要領 解説とポイント」ミネルヴァ書房編集部</p>							
【学生へのメッセージ】							
意欲・積極性に富み、向上心のある保育士を目指しましょう。							

授 業 計 画

回	授 業 概 要	
1	予習	保育所について調べておくこと
	学習内容	実習日程及び実習全体の説明 実習先の開拓について ①電話の掛け方 ②訪問時の注意事項
	復習	授業内容についてまとめ、理解した点・理解できなかった点を明らかにし、さらに学びを深めること
2	予習	事前に配布する資料をもとに、内容について調べてくること
	学習内容	保育所の役割、機能、関連法規 ①保育所とは ②保育所保育指針の概略
	復習	授業内容についてまとめ、理解した点・理解できなかった点を明らかにし、さらに学びを深めること
3	予習	事前に配布する資料をもとに、内容について調べてくること
	学習内容	実習先の把握 実習依頼文書の作成と発送
	復習	授業内容についてまとめ、理解した点・理解できなかった点を明らかにし、さらに学びを深めること
4	予習	事前に配布する資料をもとに、内容について調べてくること
	学習内容	実習段階について 見学実習・観察実習・参加実習・責任実習
	復習	授業内容についてまとめ、理解した点・理解できなかった点を明らかにし、さらに学びを深めること
5	予習	事前に配布する資料をもとに、内容について調べてくること
	学習内容	実習の心構えと目標の立て方について
	復習	授業内容についてまとめ、理解した点・理解できなかった点を明らかにし、さらに学びを深めること
6	予習	事前に配布する資料をもとに、内容について調べてくること
	学習内容	実習日誌の書き方(1)
	復習	授業内容についてまとめ、理解した点・理解できなかった点を明らかにし、さらに学びを深めること
7	予習	事前に配布する資料をもとに、内容について調べてくること
	学習内容	実習日誌の書き方(2)
	復習	授業内容についてまとめ、理解した点・理解できなかった点を明らかにし、さらに学びを深めること
8	予習	事前に配布する資料をもとに、内容について調べてくること
	学習内容	オリエンテーションについて ①電話の掛け方 ②訪問時の注意事項
	復習	授業内容についてまとめ、理解した点・理解できなかった点を明らかにし、さらに学びを深めること
9	予習	事前に出了課題に取り組んでおくこと
	学習内容	模擬授業の実施とそれに対する評価(自己紹介)(1)
	復習	発表の反省を次に生かせるようまとめておくこと
10	予習	前の発表からの学びをまとめておくこと
	学習内容	模擬授業の実施とそれに対する評価(自己紹介)(2)
	復習	発表の反省を次に生かせるようまとめておくこと
11	予習	事前に配布する資料をもとに、内容について調べてくること
	学習内容	子どもの発育・発達を理解と援助について
	復習	授業内容についてまとめ、理解した点・理解できなかった点を明らかにし、さらに学びを深めること
12	予習	事前に配布する資料をもとに、内容について調べてくること
	学習内容	I期の実習に関する指導 実習中の諸注意と持参書類配布
	復習	授業内容についてまとめ、理解した点・理解できなかった点を明らかにし、さらに学びを深めること
13	予習	実習の学びをまとめておくこと
	学習内容	I期実習の振り返りと学び
	復習	授業内容についてまとめ、理解した点・理解できなかった点を明らかにし、さらに学びを深めること
14	予習	事前に配布する資料をもとに、内容について調べてくること
	学習内容	II期実習に関する指導 実習中の諸注意と持参書類配布 礼状の書き方とレポート指導
	復習	授業内容についてまとめ、理解した点・理解できなかった点を明らかにし、さらに学びを深めること
15	予習	実習の学びをまとめておくこと
	学習内容	II期実習の振り返りと学び 実習アンケート パネルシアターの課題について
	復習	今までの学びを振り返り次の実習に向けてまとめておくこと

科目区分	専門教育科目	科目分類	専門科目(実習・他)	科目番号	NT402D2		
授業科目	保育実習 I (施設)			担当教員	清水・橘田 井上・三井・吉田		
履修年次	開講時期	単位数	時間	授業形態	卒業要件	幼2種免	保育士
1年・2年	集中	2	80	実習	選択	—	必修

(授業の目的)

- 施設の現場でその機能や生活、保育士の役割等について実際の体験を通して学習し、保育士として学びを深めることを目的とする。
- ・実習施設の概要を把握する(施設、設備、環境等が利用児(者)の生活のためにどの様に工夫されているのか)
 - ・実習施設の1日の流れ及び利用児(者)の生活の実際を理解する
 - ・実習施設の人的環境、物的環境を理解する(他の専門職職員との交流、保育や生活の準備、環境設定の手伝いを通して現場での配慮や工夫を理解する)
 - ・施設職員としての保育士の職務内容、役割を理解し、担当保育士の補助を行う
 - ・安全、疾病防止などに対する配慮、処置を学ぶ
 - ・家庭、地域社会・関係機関とのかかわりを理解する

(授業の概要)

施設の現場でその機能や生活、保育士の役割等について実際の体験を通して学習し、将来の保育士としての活動の源泉とする。(本実習は、実習現場の職員の指導に基づき行われる。)

(授業の到達目標)

- 保育実習 I (施設)においては以下の①～③について目標を達成する。
- ①施設の内容と機能を理解する
 - ②施設における入所・利用児(者)の姿や生活を観察し、実践的な接触を通して理解する
 - ③保育士の役割、職務内容や保育の方法を理解する

(卒業認定・学位授与の方針との関連)

ディプロマ・ポリシー	卒業認定・学位授与
(1) 社会人として必要な教養とマナーを身につけていること。	○
(2) 幼児教育に関する専門的知識と保育技術を身につけていること。	○
(3) 保育の課題を積極的に探究していこうとする意欲を持っていること。	○

(学習成果との関連)

(1) 知識 10%	(2) 技能 10%	計100%
(3) 態度 60%	(4) 実践力 20%	

【評価方法】

実習先からの評価票に基づき、各実習指導の成績等を総合的に評価して合否の判定を行う。

【自己学習(予習・復習等)】

「授業計画」参照(合計10時間分)

【課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法】

各自実習到達目標を設定し、実習終了後、評価を教員とともに面談を通してフィードバックしていく。

【使用テキスト】

- 「学生生活ハンドブック」
- 「施設実習ガイド 保育者として成長するための事前事後学習」萌文書林

【参考図書】

- 「幼稚園・保育所実習 実習日誌の書き方」相馬和子・中田カヨ子編
- 「保育所保育指針・幼稚園教育要領 解説とポイント」ミネルヴァ書房編集部
- 「保育士を目指す人の福祉施設実習」蒼丘書林

【学生へのメッセージ】

実習での学びは、とても重要です。学内での学習をもとに、実習では、目的を持った積極的な行動を心がけましょう。

授 業 計 画

回	授 業 概 要	
1	予習	実習のねらい・目標の作成・確認
	学習内容	学外実習(1年次3月の10日間もしくは2年次8月～12月の10日間)。実習現場で、実務を行う職員から直接指導を受ける。
	復習	実習日誌の作成。指導計画の作成。
	予習	
	学習内容	
	復習	
	予習	
	学習内容	
	復習	
	予習	
	学習内容	
	復習	
	予習	
	学習内容	
	復習	
	予習	
	学習内容	
	復習	
5	予習	
	学習内容	
	復習	
	予習	
	学習内容	
	復習	
	予習	
	学習内容	
	復習	
	予習	
	学習内容	
	復習	
	予習	
	学習内容	
	復習	
	予習	
	学習内容	
	復習	
45	予習	
	復習	

科目区分	専門教育科目	科目分類	専門科目(実習・他)	科目番号	NT404B2		
授業科目	保育実習指導Ⅰ(施設)			担当教員	清水 健 橋田 重男		
履修年次	開講時期	単位数	時間	授業形態	卒業要件	幼2種免	保育士
1年・2年	後期～前期	1	30	演習	選択	—	必修
(授業の目的)							
<p>①これまで学んだ講義の内容を活かして、実習の場において総合的な実践が行える力を養う</p> <p>②実習の心構えや実習を円滑に行うための事前指導により、実習に対する不安を軽減し、実習の目標を明確にする</p> <p>③実習での実践を通し、保育士として必要な資質、能力、技術、倫理観等を習得する</p>							
(授業の概要)							
<p>保育実習の意義・目的を理解したうえで、実習における自らの課題を明確にする。また、実習施設における職業倫理について学び、具体的な実習の計画、実践、観察、記録、評価の流れを理解する。さらに、事後指導を通して、実習を振り返り、新たな課題や目標を明確にする。</p>							
(授業の到達目標)							
<p>次の項目について、理論と実践から習得する。</p> <p>1. 実習施設の役割、機能</p> <p>2. 保育士の職務(保育指導計画と保育技術等)倫理観</p> <p>3. 子どもの理解、援助</p>							
(卒業認定・学位授与の方針との関連)							
ディプロマ・ポリシー				卒業認定・学位授与			
(1) 社会人として必要な教養とマナーを身につけていること。							
(2) 幼児教育に関する専門的知識と保育技術を身につけていること。				○			
(3) 保育の課題を積極的に探究していこうとする意欲を持っていること。				○			
(学習成果との関連)							
(1) 知識 20%		(2) 技能 10%		計100%			
(3) 態度 50%		(4) 実践力 20%					
【評価方法】							
実習先からの評価票に基づき、各実習指導の成績等を総合的に評価して可否の判定を行う。							
【自己学習(予習・復習等)】							
「授業計画」参照(合計15時間分)							
【課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法】							
<p>実習事前指導においては、指導内容について毎時フィードバックする。</p> <p>実習事後指導においては、実習後面談を通して実習での学生個々の課題や成果をフィードバックする。</p>							
【使用テキスト】							
<p>「学生生活ハンドブック」</p> <p>「施設実習ガイド 保育者として成長するための事前事後学習」萌文書林</p> <p>「保育士をめざす人の福祉施設実習」愛知県保育実習連絡協議会 編 (株)みらい</p>							
【参考図書】							
「施設実習ガイド 保育者として成長するための事前事後学習」駒井美智子編著 萌文書林							
【学生へのメッセージ】							
意欲・積極性に富み、向上心のある保育士を目指しましょう。							

授 業 計 画

回	授 業 概 要	
1	予習	予めテキストを読んでおき、授業時に理解を深められるようにする
	学習内容	児童福祉施設の役割、機能、関連法規 ①実習の意義と目的 ②実習の段階と内容
	復習	ノートや資料を振り返り、知識の定着を図る
2	予習	予めテキストを読んでおき、授業時に理解を深められるようにする
	学習内容	障害の理解と障害児(者)への対応 虐待の理解と被虐待児への対応
	復習	ノートや資料を振り返り、知識の定着を図る
3	予習	予めテキストを読んでおき、授業時に理解を深められるようにする
	学習内容	体験実習に関する指導(1)実習に向けての準備
	復習	ノートや資料を振り返り、知識の定着を図る
4	予習	予めテキストを読んでおき、授業時に理解を深められるようにする
	学習内容	体験実習に関する指導(2)実習中の諸注意と持参書類配布
	復習	ノートや資料を振り返り、知識の定着を図る
5	予習	予めテキストを読んでおき、授業時に理解を深められるようにする
	学習内容	10月実習の振り返りと学び(グループ討議)
	復習	ノートや資料を振り返り、知識の定着を図る
6	予習	予めテキストを読んでおき、授業時に理解を深められるようにする
	学習内容	保育実習のマナー ①掃除 ②食事 ③言葉づかい
	復習	ノートや資料を振り返り、知識の定着を図る
7	予習	予めテキストを読んでおき、授業時に理解を深められるようにする
	学習内容	配属先施設に関する学習会(1)概要と種別の把握
	復習	ノートや資料を振り返り、知識の定着を図る
8	予習	予めテキストを読んでおき、授業時に理解を深められるようにする
	学習内容	配属先施設に関する学習会(2)利用者支援の方法
	復習	ノートや資料を振り返り、知識の定着を図る
9	予習	予めテキストを読んでおき、授業時に理解を深められるようにする
	学習内容	配属先施設に関する学習会(3)事例検討
	復習	ノートや資料を振り返り、知識の定着を図る
10	予習	予めテキストを読んでおき、授業時に理解を深められるようにする
	学習内容	実習オリエンテーション実施に向けての指導
	復習	ノートや資料を振り返り、知識の定着を図る
11	予習	予めテキストを読んでおき、授業時に理解を深められるようにする
	学習内容	実習の直前指導(1)レポートの指導
	復習	ノートや資料を振り返り、知識の定着を図る
12	予習	予めテキストを読んでおき、授業時に理解を深められるようにする
	学習内容	実習の直前指導(2)当日持参書類の確認・実習終了後の提出物について
	復習	ノートや資料を振り返り、知識の定着を図る
13	予習	予めテキストを読んでおき、授業時に理解を深められるようにする
	学習内容	実習中の諸注意と実習に臨む姿勢
	復習	ノートや資料を振り返り、知識の定着を図る
14	予習	予めテキストを読んでおき、授業時に理解を深められるようにする
	学習内容	評価表に基づく個人面談—実習の総括・評価—
	復習	ノートや資料を振り返り、知識の定着を図る
15	予習	予めテキストを読んでおき、授業時に理解を深められるようにする
	学習内容	実習終了後の反省と今後の課題の明確化・実習に関するアンケート—実習の総括・評価—
	復習	ノートや資料を振り返り、知識の定着を図る

科目区分	専門教育科目	科目分類	専門科目(実習・他)	科目番号	NT405D2		
授業科目	保育実習Ⅱ(保育所)			担当教員	吉田・橋田 井上・清水・三井		
履修年次	開講時期	単位数	時間	授業形態	卒業要件	幼2種免	保育士
2年	集中	2	80	実習	選択	—	選択必修

(授業の目的)

保育所の保育を実際実践し、家庭や地域の実態にも触れながら以下の目標を達成する。

1. 施設の内容と機能を理解する
2. 施設における乳幼児の姿や生活を観察し、実践的な接触を通して理解する
3. 保育士の役割、職務内容や保育の方法を理解する
4. 保育計画及び週案、日案の理解と実践を体験する
5. デイリープログラムの理解と実践を体験する
6. 保育士の指導下における乳幼児保育の担当を体験する
7. 発達段階での個人差の大きい子どもへの配慮とかかわりを体験する
8. 保育士と保護者の連携を把握する
9. 保護者の保育ニーズに基づく特別保育対策を理解する

(授業の概要)

保育所の現場でその機能や生活、保育士の役割について実際の体験を通して学習し、将来の保育士としての活動の源泉とする。(本実習は、実習現場の職員の指導に基づき行われる。)

(授業の到達目標)

保育実習Ⅱ(保育所)においては以下の①～⑥についての目標を達成する。

- ①保育計画及び週案、日案を理解した実践が出来る
- ②デイリープログラムを理解した実践が出来る
- ③保育士の指導下において乳幼児保育の担当が出来る
- ④発達段階での個人差の大きい子どもへ配慮したかかわりが出来る
- ⑤保育士と保護者の連携を把握した実践が出来る
- ⑥保護者の保育ニーズに基づく特別保育対策を理解出来る

(卒業認定・学位授与の方針との関連)

ディプロマ・ポリシー	卒業認定・学位授与
(1) 社会人として必要な教養とマナーを身につけていること。	○
(2) 幼児教育に関する専門的知識と保育技術を身につけていること。	○
(3) 保育の課題を積極的に探究していこうとする意欲を持っていること。	○

(学習成果との関連)

(1) 知識 25 %	(2) 技能 25 %	計100%
(3) 態度 25 %	(4) 実践力 25 %	

【評価方法】

実習先からの評価票に基づき、各実習指導の成績等を総合的に評価して可否の判定を行う。

【自己学習(予習・復習等)】

「授業計画」参照(合計10時間分)

【課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法】

各自実習到達目標を設定し、実習終了後、評価を教員とともに面談を通してフィードバックしていく。

【使用テキスト】

「学生生活ハンドブック」

【参考図書】

「幼稚園・保育所実習 実習日誌の書き方」相馬和子・中田カヨ子編
「保育所保育指針・幼稚園教育要領 解説とポイント」ミネルヴァ書房編集部

【学生へのメッセージ】

実習での学びは、とても重要です。学内での学習をもとに、実習では、目的を持った積極的な行動を心がけましょう。

授 業 計 画

回	授 業 概 要		
1	予習	具体的な実習課題を設定し、達成のために必要な知識・技術の習得に努める	
	学習内容	学外実習(2年次9月の10日間)。実習現場で、実務を行う職員から直接指導を受ける。	
	復習	日誌の記録などから実践を振り返る	
5	予習		
	学習内容		
	復習		
	予習		
	学習内容		
	復習		
	予習		
	学習内容		
	復習		
	予習		
	学習内容		
	復習		
	予習		
	学習内容		
	復習		
	予習		
	学習内容		
	復習		
	予習		
	学習内容		
	復習		
	予習		
	学習内容		
	復習		
	予習		
	学習内容		
	復習		
	予習		
	学習内容		
	復習		
	予習		
	学習内容		
	復習		
	予習		
	学習内容		
	復習		
	45	予習	
		学習内容	
		復習	

科目区分	専門教育科目	科目分類	専門科目(実習・他)	科目番号	NT406B2		
授業科目	保育実習指導Ⅱ(保育所)			担当教員	吉田 百加利 橋田 重男		
履修年次	開講時期	単位数	時間	授業形態	卒業要件	幼2種免	保育士
2年	通年	1	30	演習	選択	—	選択必修
(授業の目的)							
<ul style="list-style-type: none"> ・既習の教科や保育実習Ⅰ(保育所)での経験を基に課題を整理し、保育士としての総合的実践的能力を培う ・観察、記録、自己評価を踏まえた保育の改善について実践や事例を通して学ぶ ・保育士の専門性と職業倫理について理解する ・実習の事後指導を通して実習の総括と自己評価を行い、保育に対する課題や認識を明確にする 							
(授業の概要)							
<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの実習での学びを踏まえ、実習における課題と意義を明確にする ・保育者の役割、保育士の職務、子どもについての理解をさらに深め、保育の意義について総合的に学ぶ 							
(授業の到達目標)							
<ul style="list-style-type: none"> ・子どもをより深く理解したうえでの責任実習指導計画を立案できる ・実習の中で意欲的に学ぶ姿勢と保育実践力を身につける ・実習先での学習を客観的に振り返り、今後につながる成果と課題を明らかにする 							
(卒業認定・学位授与の方針との関連)							
ディプロマ・ポリシー				卒業認定・学位授与			
(1) 社会人として必要な教養とマナーを身につけていること。							
(2) 幼児教育に関する専門的知識と保育技術を身につけていること。				○			
(3) 保育の課題を積極的に探究していこうとする意欲を持っていること。				○			
(学習成果との関連)							
(1) 知識 25 %		(2) 技能 25 %		計100%			
(3) 態度 25 %		(4) 実践力 25 %					
【評価方法】							
実習先からの評価票に基づき、各実習指導の成績等を総合的に評価して合否の判定を行う。							
【自己学習(予習・復習等)】							
「授業計画」参照(合計15時間分)							
【課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法】							
第1回目に各自到達目標を設定し、講義終了後、その評価を教員とともに面談を通してフィードバックしていく。							
【使用テキスト】							
「学生生活ハンドブック」 * 実習関連資料は、授業で配布します。							
【参考図書】							
「幼稚園・保育所実習 実習日誌の書き方」相馬和子・中田カヨ子編 「保育所保育指針・幼稚園教育要領 解説とポイント」ミネルヴァ書房編集部							
【学生へのメッセージ】							
就職を視野に入れ、授業は休まず出席し、提出物は期限までに出しましょう。							

授 業 計 画

回	授 業 概 要	
1	予習	テキストや資料を読み、乳幼児の発達、遊びや生活と指導計画への理解を深める
	学習内容	オリエンテーション
	復習	授業で学んだ内容を振り返り、新たな情報収集に努め知識の定着を図る
2	予習	テキストや資料を読み、乳幼児の発達、遊びや生活と指導計画への理解を深める
	学習内容	<事前指導の内容>保育実習Ⅱの目的とねらいについて
	復習	授業で学んだ内容を振り返り、新たな情報収集に努め知識の定着を図る
3	予習	テキストや資料を読み、乳幼児の発達、遊びや生活と指導計画への理解を深める
	学習内容	保育実習Ⅰの振り返りと実習課題の確認
	復習	授業で学んだ内容を振り返り、新たな情報収集に努め知識の定着を図る
4	予習	テキストや資料を読み、乳幼児の発達、遊びや生活と指導計画への理解を深める
	学習内容	保育所の機能と役割、実習先の理解
	復習	授業で学んだ内容を振り返り、新たな情報収集に努め知識の定着を図る
5	予習	テキストや資料を読み、乳幼児の発達、遊びや生活と指導計画への理解を深める
	学習内容	子どもの理解と日誌の書き方(保育記録のとり方)
	復習	授業で学んだ内容を振り返り、新たな情報収集に努め知識の定着を図る
6	予習	テキストや資料を読み、乳幼児の発達、遊びや生活と指導計画への理解を深める
	学習内容	子どもの理解と指導計画について
	復習	授業で学んだ内容を振り返り、新たな情報収集に努め知識の定着を図る
7	予習	テキストや資料を読み、乳幼児の発達、遊びや生活と指導計画への理解を深める
	学習内容	指導計画の立案・作成のための留意点(部分実習)
	復習	授業で学んだ内容を振り返り、新たな情報収集に努め知識の定着を図る
8	予習	テキストや資料を読み、乳幼児の発達、遊びや生活と指導計画への理解を深める
	学習内容	指導計画の立案・作成のための留意点(責任実習)
	復習	授業で学んだ内容を振り返り、新たな情報収集に努め知識の定着を図る
9	予習	テキストや資料を読み、乳幼児の発達、遊びや生活と指導計画への理解を深める
	学習内容	実習直前ガイダンス①
	復習	授業で学んだ内容を振り返り、新たな情報収集に努め知識の定着を図る
10	予習	テキストや資料を読み、乳幼児の発達、遊びや生活と指導計画への理解を深める
	学習内容	実習直前ガイダンス②
	復習	授業で学んだ内容を振り返り、新たな情報収集に努め知識の定着を図る
11	予習	実習を振り返り、乳幼児の発達、遊びや生活と指導計画への理解を深める
	学習内容	<事後指導の内容>実習の振り返りと自己評価①
	復習	授業で学んだ内容を振り返り、新たな情報収集に努め知識の定着を図る
12	予習	実習を振り返り、乳幼児の発達、遊びや生活と指導計画への理解を深める
	学習内容	実習の振り返りと自己評価②
	復習	授業で学んだ内容を振り返り、新たな情報収集に努め知識の定着を図る
13	予習	実習報告会への準備
	学習内容	実習報告会
	復習	実習報告会での学びを振り返り、知識と技能の定着を図る
14	予習	実習を振り返り、乳幼児の発達、遊びや生活と指導計画への理解を深める
	学習内容	自己課題の明確化と今後の目標
	復習	授業で学んだ内容を振り返り、新たな情報収集に努め知識の定着を図る
15	予習	これまでの学びを振り返り、授業時に理解を深められるようにする
	学習内容	まとめ
	復習	これまでの学びを振り返り、授業内容について確認する

科目区分	専門教育科目	科目分類	専門科目(実習・他)	科目番号	NT407D2		
授業科目	保育実習Ⅲ(児童館)			担当教員	三井・橋田 井上・清水・吉田		
履修年次	開講時期	単位数	時間	授業形態	卒業要件	幼2種免	保育士
2年	集中	2	80	実習	選択	—	選択必修

(授業の目的)

- ・児童の健全育成施策の中心としての児童館の実態を知り、そこでの日常業務を通して展開される援助技術を学ぶ
- ・児童館の現場でその機能や生活、児童館職員の役割等について実際の体験を通して学習し、将来の児童厚生員としての活動の源泉とすることを目的とする。具体的には次のとおり
- ①児童館の役割と機能を理解する
- ②児童館を利用する児童について、生活や遊びの観察と実践的な接触を通して理解する
- ③児童館職員の役割と指導方法、職務内容について体験的に学習する

(授業の概要)

児童館の現場でその機能や生活、児童館職員の役割について実際の体験を通して学習し、児童館での健全育成の意義について深く理解する。(本実習は、実習現場の職員の指導に基づき行われる。)

(授業の到達目標)

- ①児童の放課後の活動を支える地域の小型児童館・児童センターで、児童館職員と同じ仕事を体験する
- ②児童の理解を深め、児童の生活を援助する専門職員としての関わりを学ぶ
- ③実習施設の概要を把握する(施設、設備、環境等が利用児の生活のためにどの様に工夫されているのか)
- ④実習施設の1日の流れ及び利用児の生活の実際を理解する
- ⑤実習施設の人的環境、物的環境を理解する(他の専門職職員との交流、生活の準備、環境設定の手伝いを通して現場での配慮や工夫を理解する)
- ⑥施設職員としての児童館職員の職務内容、役割を理解し、担当職員の補助を行う
- ⑦安全、疾病防止等に対する配慮、処置を学ぶ
- ⑧家庭、地域社会、関係機関とのかかわりを理解する
- ⑨コミュニティワーカーとしての児童館職員の姿を学ぶ

(卒業認定・学位授与の方針との関連)

ディプロマ・ポリシー	卒業認定・学位授与
(1) 社会人として必要な教養とマナーを身につけていること。	○
(2) 幼児教育に関する専門的知識と保育技術を身につけていること。	○
(3) 保育の課題を積極的に探究していこうとする意欲を持っていること。	○

(学習成果との関連)

(1) 知識 10 %	(2) 技能 10 %	計100%
(3) 態度 40 %	(4) 実践力 40 %	

【評価方法】

実習先からの評価票に基づき、各実習指導の成績等を総合的に評価して可否の判定を行う。

【自己学習(予習・復習等)】

「授業計画」参照(合計10時間分)

【課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法】

各自実習到達目標を設定し、実習終了後、評価を教員とともに面談を通してフィードバックしていく。

【使用テキスト】

『児童館・放課後児童クラブテキストシリーズ② 児童館論』一般財団法人 児童健全育成推進財団

【参考図書】

『児童館・放課後児童クラブテキストシリーズ① 健全育成論』一般財団法人 児童健全育成推進財団

【学生へのメッセージ】

実習では、積極的な行動や学びの態度を心がけると同時に、健全育成についての理解を深めましょう。

授 業 計 画

回	授 業 概 要	
1	予習	具体的な実習課題を設定し、達成のために必要な知識・技術の習得に努める
	学習内容	学外実習(2年次8月～9月の10日間もしくは12月の10日間)。実習現場で、実務を行う職員から直接指導を受ける。
	復習	日誌の記録などから実践を振り返る
	予習	
	学習内容	
	復習	
	予習	
	学習内容	
	復習	
	予習	
	学習内容	
	復習	
	予習	
	学習内容	
	復習	
	予習	
	学習内容	
	復習	
5	予習	
	学習内容	
	復習	
	予習	
	学習内容	
	復習	
	予習	
	学習内容	
	復習	
	予習	
	学習内容	
	復習	
	予習	
	学習内容	
	復習	
	予習	
	学習内容	
	復習	
45	予習	
	学習内容	
	復習	

科目区分	専門教育科目	科目分類	専門科目(実習・他)	科目番号	NT408B2		
授業科目	保育実習指導Ⅲ(児童館)			担当教員	三井 正人 橋田 重男		
履修年次	開講時期	単位数	時間	授業形態	卒業要件	幼2種免	保育士
2年	前期	1	30	演習	選択	—	選択必修
(授業の目的) 児童厚生施設の意義、目的を知り、児童とかかわる上で必要な資質・能力・技術の習得に向け実践的学習を行う。また、地域社会に対する理解を深め、連携の方法や保護者への子育て支援についても具体的に学習する。							
(授業の概要) 保育実習Ⅰでの経験を踏まえ、保育士としての専門性や現場での実践的知識をより高めるための事前準備・事後考察を行う。児童館の現状、児童、利用者の実態、施設の社会的ニーズ等多角的に保育をとらえる視点を養い、より良い実習につなげることを目指す。							
(授業の到達目標) ・児童の特性や、家庭と地域、児童厚生施設の実態を知る ・子ども家庭福祉ニーズに対する理解力、判断力、子育て支援に必要な能力を身につける							
(卒業認定・学位授与の方針との関連)							
ディプロマ・ポリシー					卒業認定・学位授与		
(1) 社会人として必要な教養とマナーを身につけていること。							
(2) 幼児教育に関する専門的知識と保育技術を身につけていること。					○		
(3) 保育の課題を積極的に探究していこうとする意欲を持っていること。					○		
(学習成果との関連)							
(1) 知識 20 %		(2) 技能 20 %		計100%			
(3) 態度 40 %		(4) 実践力 20 %					
【評価方法】 実習先からの評価票に基づき、各実習指導の成績等を総合的に評価して合否の判定を行う。							
【自己学習(予習・復習等)】 「授業計画」参照(合計15時間分)							
【課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法】 第1回目に各自到達目標を設定し、講義終了後、その評価を教員とともに面談を通してフィードバックしていく。							
【使用テキスト】 なし							
【参考図書】 なし							
【学生へのメッセージ】 遅刻、欠席をしない。積極的にボランティアにも参加し、児童とかかわる機会を持とう。							

授 業 計 画

回	授 業 概 要	
1	予習	テキストや資料を読み、乳幼児の発達、遊びや生活と指導計画への理解を深める
	学習内容	オリエンテーション
	復習	授業で学んだ内容を振り返り、新たな情報収集に努め知識の定着を図る
2	予習	テキストや資料を読み、乳幼児の発達、遊びや生活と指導計画への理解を深める
	学習内容	保育実習Ⅰの振り返りと自己課題の設定
	復習	授業で学んだ内容を振り返り、新たな情報収集に努め知識の定着を図る
3	予習	テキストや資料を読み、乳幼児の発達、遊びや生活と指導計画への理解を深める
	学習内容	保育実習Ⅲ(児童館実習)の意義と目的
	復習	授業で学んだ内容を振り返り、新たな情報収集に努め知識の定着を図る
4	予習	テキストや資料を読み、乳幼児の発達、遊びや生活と指導計画への理解を深める
	学習内容	児童館の役割と社会的ニーズ
	復習	授業で学んだ内容を振り返り、新たな情報収集に努め知識の定着を図る
5	予習	テキストや資料を読み、乳幼児の発達、遊びや生活と指導計画への理解を深める
	学習内容	個別援助活動—児童の特性と発達に応じたかかわりや遊び①
	復習	授業で学んだ内容を振り返り、新たな情報収集に努め知識の定着を図る
6	予習	テキストや資料を読み、乳幼児の発達、遊びや生活と指導計画への理解を深める
	学習内容	個別援助活動—児童の特性と発達に応じたかかわりや遊び②
	復習	授業で学んだ内容を振り返り、新たな情報収集に努め知識の定着を図る
7	予習	テキストや資料を読み、乳幼児の発達、遊びや生活と指導計画への理解を深める
	学習内容	記録の書き方と活用①
	復習	授業で学んだ内容を振り返り、新たな情報収集に努め知識の定着を図る
8	予習	テキストや資料を読み、乳幼児の発達、遊びや生活と指導計画への理解を深める
	学習内容	記録の書き方と活用②
	復習	授業で学んだ内容を振り返り、新たな情報収集に努め知識の定着を図る
9	予習	テキストや資料を読み、乳幼児の発達、遊びや生活と指導計画への理解を深める
	学習内容	実習目標について
	復習	授業で学んだ内容を振り返り、新たな情報収集に努め知識の定着を図る
10	予習	テキストや資料を読み、乳幼児の発達、遊びや生活と指導計画への理解を深める
	学習内容	実習指導案の書き方と活用①
	復習	授業で学んだ内容を振り返り、新たな情報収集に努め知識の定着を図る
11	予習	テキストや資料を読み、乳幼児の発達、遊びや生活と指導計画への理解を深める
	学習内容	実習指導案の書き方と活用②
	復習	授業で学んだ内容を振り返り、新たな情報収集に努め知識の定着を図る
12	予習	テキストや資料を読み、乳幼児の発達、遊びや生活と指導計画への理解を深める
	学習内容	実習中の心構え・諸注意 実習持参書類の確認
	復習	授業で学んだ内容を振り返り、新たな情報収集に努め知識の定着を図る
13	予習	テキストや資料を読み、乳幼児の発達、遊びや生活と指導計画への理解を深める
	学習内容	事後指導について
	復習	授業で学んだ内容を振り返り、新たな情報収集に努め知識の定着を図る
14	予習	テキストや資料を読み、乳幼児の発達、遊びや生活と指導計画への理解を深める
	学習内容	実習報告会と事後指導
	復習	授業で学んだ内容を振り返り、新たな情報収集に努め知識の定着を図る
15	予習	テキストや資料を読み、乳幼児の発達、遊びや生活と指導計画への理解を深める
	学習内容	総括
	復習	授業で学んだ内容を振り返り、新たな情報収集に努め知識の定着を図る

科目区分	専門教育科目	科目分類	専門科目(実習・他)	科目番号	KT409D2		
授業科目	教育実習(幼稚園)			担当教員	清水・橋田 井上・三井・吉田		
履修年次	開講時期	単位数	時間	授業形態	卒業要件	幼2種免	保育士
2年	集中	4	120	実習	選択	必修	—

(授業の目的)

- (1) 幼稚園の役割と機能を理解する
- (2) 幼児期の子どもに対する理解(姿、生活、遊びなど)を深める
- (3) 幼稚園教諭の職務内容や保育の方法、環境構成を理解する
- (4) 幼稚園の教育内容の各領域を理解し、個々の指導技術を習得する
- (5) デイリープログラムの理解と実践を体験する
- (6) 教育計画及び週案、日案の理解と立案の経験をする
- (7) 教師の指導下における幼児教育の担当を体験する
- (8) 子どもの発育、発達個人差への配慮と援助の仕方を学ぶ
- (9) 教師と保護者との連携を把握する

(授業の概要)

幼稚園の現場で、その機能や教育、教諭の役割等について実勢の体験を通して学習し、将来の幼稚園教諭としての活動の源泉とする。(本実習は、実習現場の職員の指導に基づき行われる。)

(授業の到達目標)

- (1) 幼稚園の役割と機能が理解出来る
- (2) 幼児期の子どもに対する理解が深まった
- (3) 幼稚園教諭の職務内容や保育の方法、環境構成を理解出来た
- (4) 幼稚園の教育内容の各領域を理解し、個々の指導技術が習得出来た
- (5) デイリープログラムの理解と実践が理解出来た
- (6) 教育計画及び週案、日案の理解と立案の経験をし、教師の指導下における幼児教育の担当が出来た
- (7) 子どもの発育、発達個人差への配慮と援助の仕方が理解出来た
- (8) 教師と保護者との連携が把握出来た

(卒業認定・学位授与の方針との関連)

ディプロマ・ポリシー	卒業認定・学位授与
(1) 社会人として必要な教養とマナーを身につけていること。	○
(2) 幼児教育に関する専門的知識と保育技術を身につけていること。	○
(3) 保育の課題を積極的に探究していこうとする意欲を持っていること。	○

(学習成果との関連)

(1) 知識 10%	(2) 技能 20%	計100%
(3) 態度 50%	(4) 実践力 20%	

【評価方法】

実習先からの評価票に基づき、各実習指導の成績等を総合的に評価して可否の判定を行う。

【自己学習(予習・復習等)】

「授業計画」参照(合計60時間分)

【課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法】

各自実習到達目標を設定し、実習終了後、評価を教員とともに面談を通してフィードバックしていく。

【使用テキスト】

「学生ハンドブック」
「幼稚園・保育所実習指導計画の考え方・立て方」久富陽子編 萌文書林
* 実習関連資料は授業で配布します。

【参考図書】

「新指針・新要領 イラスト図解ガイド ～保育課程の参考例も解説～」 保育とカリキュラム編集部／編 ひかりのくに

【学生へのメッセージ】

授 業 計 画

回	授 業 概 要	
1	実習期間	学外実習(2年次6月の3週間)
5	見学・観察	<ul style="list-style-type: none"> ○幼稚園の概要を把握する。 (実習園の沿革や教育の基本方針、ならびに立地条件、幼稚園内外の自然的環境等を把握する) ○幼稚園の1日の流れを理解する。 (時間と生活の流れ、およびその内容はどの様になっているのか) ○幼稚園の人的環境(対象幼児の構成、職員組織など)、物的環境(建物、遊具、教具等、幼児の生活、遊びのためにどのような配慮や工夫がなされているか)を理解する。 ○子どもの遊びを観察する。(指導的態度ではなく、自由に遊んでいる子どもの中に参加し、子どもの遊びの方法や工夫、争いや協力の仕方等を観察する) ○各領域がどのように達成されているかを知る。 ○教師の補助を行う。(遊具の活用、教材の準備、清掃の仕方等)
	参加実習	<ul style="list-style-type: none"> ○指導担当教諭の指導を受け、助手的立場で、幼児や教育活動に直接働きかけ、教諭の教育活動を経験的に理解する。 <ul style="list-style-type: none"> ・観察、受け入れ、個別検査 ・歌の指導、お話、紙芝居、絵本の読み聞かせ、手遊び、ペープサート、エプロンシアター、パネルシアター等 ・自由遊びでのかかわり (遊びの様子を見ながら、鬼ごっこや童歌等の遊びを提案し、遊びがより発展するよう助言する) ・食事、排泄、着脱、清潔等の援助 ・その他 ○安全、疾病予防等に対する配慮、処置を学ぶ。 (遊具の使い方、交通安全、避難訓練、食中毒等) ○家庭、地域社会との関わりを理解する。 (園の行事、地域の行事等に参加する)
	部分実習	<ul style="list-style-type: none"> ○子どもの活動のある一部分を受け持ち、指導する。 <ul style="list-style-type: none"> ・生活指導、健康、人間関係、環境、言葉、表現等の活動の一部を受け持ち指導する。 ・一日の保育の流れを乱さないように、指導案(細案)を作成する。 (対象児、内容、方法、時間等十分に考慮する) ・指導案(細案)を作成する場合は、指導担当教諭に相談し、助言を得る。
	一日実習	<ul style="list-style-type: none"> ○実習園の指導計画(月・週案)を理解した上で、一日の指導案(日案)を立てて、実際に指導をする。 <ul style="list-style-type: none"> ・指導案は前もって、指導担当教諭の助言を得ながら早めに立て、期限厳守で提出する。 ・時間、活動等の配分や子どもの状況判断に十分留意して行う。
45		実習現場で、実務を行う職員から直接指導を受ける。

科目区分	専門教育科目	科目分類	専門科目(実習・他)	科目番号	KT410B2		
授業科目	教育実習指導(幼稚園)			担当教員	清水 健 橋田 重男		
履修年次	開講時期	単位数	時間	授業形態	卒業要件	幼2種免	保育士
1年・2年	後期～前期	1	30	演習	選択	必修	—
(授業の目的) 実習の基本的理解と実践的理解を養うとともに、実習への意欲を高め、より充実した実習となるように展開していく。							
(授業の概要) 今までの講義や演習で学習した理論や技術をより実践的・具体的・総合的に実習園で実践できるような展開方法を学ぶ。							
(授業の到達目標) ・幼稚園教育の基礎理解から子どもとのかかわりについて考える ・実習園の教育内容を知り、自分なりの視点を発表する ・責任実習指導案が立案できる							
(卒業認定・学位授与の方針との関連)							
ディプロマ・ポリシー				卒業認定・学位授与			
(1) 社会人として必要な教養とマナーを身につけていること。				○			
(2) 幼児教育に関する専門的知識と保育技術を身につけていること。				○			
(3) 保育の課題を積極的に探究していこうとする意欲を持っていること。				○			
(学習成果との関連)							
(1) 知識 20%		(2) 技能 20%		計100%			
(3) 態度 40%		(4) 実践力 20%					
【評価方法】 実習先からの評価票に基づき、各実習指導の成績等を総合的に評価して可否の判定を行う。							
【自己学習(予習・復習等)】 「授業計画」参照(合計15時間分)							
【課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法】 各自のテーマごとに提出される課題につき、添削の上返却する。模擬授業はグループ内の相互評価を行う。(評価についてはルーブリック等の評価表を用いる)							
【使用テキスト】 「学生生活ハンドブック」 「幼稚園・保育所実習指導計画の考え方・立て方」久富陽子編 萌文書林 「自分でつくるBOOK&NOTE—教育・保育実習でよりよい時間を過ごそう!」安部孝 編著 同文書院							
【参考図書】 文部科学省「幼稚園教育要領解説」フレーベル館 平成30年							
【学生へのメッセージ】 実習はこれまでに学習した理論や技術の検証の場であると同時に社会人、職業人としての体験の場です。日々の授業の中で特に以下の事を意識して過ごしましょう。 ○遅刻厳禁!(チャイムと同時に出席確認を行うので要注意) ○課題及び提出物の期限厳守!(遅れ・未提出はいかなる場合であっても「—」評価となるので注意!) ○「実習の手引き」「テキスト」「実習日誌」は毎回持参する事。							

授 業 計 画

回	授 業 概 要	
1	予習	予めテキストを読んでおき、授業時に理解を深められるようにする
	学習内容	ガイダンスー教育実習の概要と事前事後指導の流れー
	復習	ノートや資料を振り返り、知識の定着を図る
2	予習	予めテキストを読んでおき、授業時に理解を深められるようにする
	学習内容	幼稚園の役割機能と関連法規 ①実習の意義 ②幼稚園教育とは ③幼稚園教育要領の理解
	復習	ノートや資料を振り返り、知識の定着を図る
3	予習	予めテキストを読んでおき、授業時に理解を深められるようにする
	学習内容	幼稚園の基礎知識ー実習園の決定にあたってー(課題:実習園の特色について調べる)
	復習	ノートや資料を振り返り、知識の定着を図る
4	予習	予めテキストを読んでおき、授業時に理解を深められるようにする
	学習内容	実習生としてのマナーと心構え・実習先内諾訪問について(課題:実習園開拓・訪問・内諾書の提出)
	復習	ノートや資料を振り返り、知識の定着を図る
5	予習	予めテキストを読んでおき、授業時に理解を深められるようにする
	学習内容	実習課題の立て方・実習関連書類の作成(課題:実習目標・調査書の作成)
	復習	ノートや資料を振り返り、知識の定着を図る
6	予習	予めテキストを読んでおき、授業時に理解を深められるようにする
	学習内容	実習日誌について(課題:実習目標・教育目標・デイリープログラムの理解)
	復習	ノートや資料を振り返り、知識の定着を図る
7	予習	予めテキストを読んでおき、授業時に理解を深められるようにする
	学習内容	指導案の作成①指導計画作成のポイント整理
	復習	ノートや資料を振り返り、知識の定着を図る
8	予習	予めテキストを読んでおき、授業時に理解を深められるようにする
	学習内容	指導案の作成②部分指導案の書き方(実践)(課題:各自がねらいを設定し、部分指導案(細案)の作成)
	復習	ノートや資料を振り返り、知識の定着を図る
9	予習	予めテキストを読んでおき、授業時に理解を深められるようにする
	学習内容	模擬授業(1)造形遊び(課題:指導案の準備、教材研究、模擬授業の準備)
	復習	ノートや資料を振り返り、知識の定着を図る
10	予習	予めテキストを読んでおき、授業時に理解を深められるようにする
	学習内容	模擬授業(2)運動遊び(課題:指導案の準備、教材研究、模擬授業の準備)
	復習	ノートや資料を振り返り、知識の定着を図る
11	予習	予めテキストを読んでおき、授業時に理解を深められるようにする
	学習内容	模擬授業(3)自然・環境・音楽・言葉(課題:指導案の準備、教材研究、模擬授業の準備)
	復習	ノートや資料を振り返り、知識の定着を図る
12	予習	予めテキストを読んでおき、授業時に理解を深められるようにする
	学習内容	模擬授業のまとめと振り返り
	復習	ノートや資料を振り返り、知識の定着を図る
13	予習	予めテキストを読んでおき、授業時に理解を深められるようにする
	学習内容	教育実習の課題と心構え(直前指導)
	復習	ノートや資料を振り返り、知識の定着を図る
14	予習	予めテキストを読んでおき、授業時に理解を深められるようにする
	学習内容	実習終了後のアンケート及び反省会・事後指導(個別)
	復習	ノートや資料を振り返り、知識の定着を図る
15	予習	予めテキストを読んでおき、授業時に理解を深められるようにする
	学習内容	課題の整理と振り返り
	復習	ノートや資料を振り返り、知識の定着を図る

科目区分	専門教育科目	科目分類	専門科目(実習・他)	科目番号	BO411B2		
授業科目	保育・教職実践演習(幼稚園)			担当教員	清水 健 橋田 重男		
履修年次	開講時期	単位数	時間	授業形態	卒業要件	幼2種免	保育士
2年	後期	2	30	演習	選択	必修	必修
(授業の目的) 本授業では、卒業後に保育者として現場に立つ前に、今まで授業や実習などを通して学んできたことをまとめ、学生各自が今まで学んできたことを整理し、不足している学びについてはそれを補うことで、今後の保育者としての第一歩を確かなものとするを図る。							
(授業の概要) 学生は各グループ担当教員に分かれ、グループワークを行う。ワークシートなどを利用することで、グループ内の学生同士の意見交換が可能となるようにする。そのことで、学生同士が互いの保育観を見つめ直させ、今までの学びをより深く定着させる。							
(授業の到達目標) ・保育者として、今後とも研鑽していくべき課題を知る ・積極的に他の学生との意見交換を行うことで、自らの保育観をより深める							
(卒業認定・学位授与の方針との関連)							
ディプロマ・ポリシー				卒業認定・学位授与			
(1) 社会人として必要な教養とマナーを身につけていること。				○			
(2) 幼児教育に関する専門的知識と保育技術を身につけていること。				○			
(3) 保育の課題を積極的に探究していこうとする意欲を持っていること。				○			
(学習成果との関連)							
(1) 知識 40%		(2) 技能 10%		計100%			
(3) 態度 30%		(4) 実践力 20%					
【評価方法】 授業への取り組み:50% 課題レポート:30% 実習(討論含):20% 計100%							
【自己学習(予習・復習等)】 「授業計画」参照(合計60時間分)							
【課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法】 提出物について、互いに発表させて、意見交換を図る。							
【使用テキスト】 小櫃智子・矢藤誠慈郎他著 『保育教職実践演習 これまでの学びと保育者への歩み 幼稚園 保育所 編』 わかば社							
【参考図書】 授業内で適宜配布する。							
【学生へのメッセージ】 遅刻、欠席をしない。提出物の期限は絶対厳守。							

授 業 計 画

回	授 業 概 要	
1	予習	テキストを読み、次回授業で行うことを確認する
	学習内容	オリエンテーション(授業の進め方の説明・確認)
	復習	授業内で提出を要求された提出物を作成する
2	予習	テキストを読み、次回授業で行うことを確認する
	学習内容	保育者への歩みと足跡
	復習	授業内で提出を要求された提出物を作成する
3	予習	テキストを読み、次回授業で行うことを確認する
	学習内容	子ども理解の方法と実際
	復習	授業内で提出を要求された提出物を作成する
4	予習	テキストを読み、次回授業で行うことを確認する
	学習内容	気になる子どもの行動の理解と対応
	復習	授業内で提出を要求された提出物を作成する
5	予習	テキストを読み、次回授業で行うことを確認する
	学習内容	教育課程および全体的な計画を考える
	復習	授業内で提出を要求された提出物を作成する
6	予習	テキストを読み、次回授業で行うことを確認する
	学習内容	保育内容と保育方法の研究Ⅰ
	復習	授業内で提出を要求された提出物を作成する
7	予習	テキストを読み、次回授業で行うことを確認する
	学習内容	保育内容と保育方法の研究Ⅱ
	復習	授業内で提出を要求された提出物を作成する
8	予習	テキストを読み、次回授業で行うことを確認する
	学習内容	協同的な学びと育ちへ
	復習	授業内で提出を要求された提出物を作成する
9	予習	テキストを読み、次回授業で行うことを確認する
	学習内容	保育の振り返り
	復習	授業内で提出を要求された提出物を作成する
10	予習	テキストを読み、次回授業で行うことを確認する
	学習内容	保護者および地域との関係づくり
	復習	授業内で提出を要求された提出物を作成する
11	予習	テキストを読み、次回授業で行うことを確認する
	学習内容	幼保小の接続
	復習	授業内で提出を要求された提出物を作成する
12	予習	テキストを読み、次回授業で行うことを確認する
	学習内容	園の安全管理
	復習	授業内で提出を要求された提出物を作成する
13	予習	テキストを読み、次回授業で行うことを確認する
	学習内容	保育者の専門性
	復習	授業内で提出を要求された提出物を作成する
14	予習	テキストを読み、次回授業で行うことを確認する
	学習内容	自分の保育者像を目指して
	復習	授業内で提出を要求された提出物を作成する
15	予習	テキストを読み、次回授業で行うことを確認する
	学習内容	総括
	復習	授業内で提出を要求された提出物を作成する

2023年度 帝京学園短期大学 / シラバス

発行日 2023年4月1日
発行所 帝京学園短期大学
所在地 山梨県山梨市上神内川1150-1
TEL 0553-23-1240
FAX 0553-23-2101
編集者 帝京学園短期大学